

平成 27 年度

歳入歳出決算にかかる
主要な施策の成果説明書

宇 治 市

目 次

はじめに	1
平成 27 年度の決算概要	1
(1) 各会計決算額	2
(2) 普通会計決算状況	3
(3) 地方公共団体の財政の健全化に関する法律について	6
(4) 都市計画税の使途	8
(5) 全会計市債等現在高	8
(6) 地方消費税交付金（社会保障財源化分）が充てられる社会保障 4 経費 その他社会保障施策に要する経費	9
(7) 平成 27 年度 普通会計決算状況調書	10
(8) 普通会計における財務書類 4 表	12
部門別決算成果概要	
1 市長公室	17
2 政策経営部.....	26
3 総務部	33
4 市民環境部.....	40
5 福祉こども部.....	81
6 健康長寿部.....	110
7 建設部	152
8 都市整備部.....	165
9 教育部	182
1 0 消防本部	220
1 1 その他	224
議会事務局	224
選挙管理委員会事務局	225
監査委員事務局	227
公平委員会事務局	227
固定資産評価審査委員会事務局	228
農業委員会事務局	229
1 2 用品調達基金運用状況表	230

はじめに

本説明書（歳入歳出決算にかかる主要な施策の成果説明書）は、地方自治法第233条第3項の規定に基づき、市長が決算を議会の認定に付すにあたり、同条第5項の規定により施策の成果を説明するものである。各会計の決算規模並びに総務省地方財政状況調査基準に基づく普通会計（一般会計と墓地公園事業特別会計の合計額から各会計相互間の重複額等を控除したもの）の決算概要と、平成27年度の主要な施策の成果について部門毎に取りまとめたものである。

平成27年度の決算概要

平成27年度各会計歳入歳出決算の状況は、(1)各会計決算額のとおりとなっている。

また、平成27年度普通会計決算状況は、歳入の主な状況を分析すると、基幹歳入である地方税が、前年度から4億4,575万1千円（△1.9%）の減額となった。また、国庫支出金は、地域活性化・地域住民生活等緊急支援交付金などの影響により、前年度から8億6,574万8千円（8.4%）の増額となった。

歳出を目的別に分析すると、前年度から、民生費が民間保育所運営費や生活保護費などにより、3億8,802万9千円（1.4%）、土木費が（仮）宇治川太閤堤跡歴史公園交流ゾーン整備事業などにより、5億3,286万円（7.8%）の増額となった。一方、教育費が宇治中学校改築事業などの影響により6億1,872万3千円（△10.1%）、災害復旧費が5億828万円（△80.0%）の減額となった。

また、歳出を性質別に分析すると、人件費は、前年度から2億9,783万6千円（2.6%）の増額、扶助費は、前年度から4億9,985万6千円（2.9%）の増額、公債費は、前年度から5,851万2千円（△1.1%）の減額となり、義務的経費全体で、前年度から7億3,918万円（2.2%）の増額となった。なお、宇治中学校改築事業などの影響により、普通建設事業費は、前年度から8億1,696万7千円（△17.8%）の減額、災害復旧事業費は、前年度から5億828万円（△80.0%）の減額となった。

(1) 各会計決算額

(単位：千円)

会計名	年度	歳入総額	歳出総額	歳入歳出差引	繰越財源	実質収支	単年度収支
一般会計	平成27年度	60,984,890	60,582,265	402,625	125,629	276,996	△ 15,129
	平成26年度	60,769,633	60,319,028	450,605	158,480	292,125	△ 18,406
	差引	215,257	263,237	△ 47,980	△ 32,851	△ 15,129	3,277
国民健康保険 事業特別会計	平成27年度	23,650,505	23,234,372	416,133	0	416,133	△ 67,265
	平成26年度	20,954,379	20,470,981	483,398	0	483,398	△ 158,888
	差引	2,696,126	2,763,391	△ 67,265	0	△ 67,265	91,623
後期高齢者医療 事業特別会計	平成27年度	2,285,359	2,273,606	11,753	0	11,753	△ 913
	平成26年度	2,260,243	2,247,577	12,666	0	12,666	2,089
	差引	25,116	26,029	△ 913	0	△ 913	△ 3,002
介護保険事業 特別会計	平成27年度	13,121,949	12,775,482	346,467	0	346,467	△ 141,923
	平成26年度	12,764,320	12,275,930	488,390	0	488,390	156,004
	差引	357,629	499,552	△ 141,923	0	△ 141,923	△ 297,927
墓地公園事業 特別会計	平成27年度	37,633	37,633	0	0	0	0
	平成26年度	62,768	62,768	0	0	0	0
	差引	△ 25,135	△ 25,135	0	0	0	0
水道事業会計 (収益的収支)	平成27年度	3,439,070	3,276,021	163,049			
	平成26年度	4,011,400	4,860,570	△ 849,170			
	差引	△ 572,330	△ 1,584,549	1,012,219			
水道事業会計 (資本的収支)	平成27年度	831,099	1,368,097	△ 536,998			
	平成26年度	331,807	830,397	△ 498,590			
	差引	499,292	537,700	△ 38,408			
公共下水道 事業会計 (収益的収支)	平成27年度	5,172,274	5,172,329	△ 55			
	平成26年度						
	差引						
公共下水道 事業会計 (資本的収支)	平成27年度	4,865,831	6,195,595	△ 1,329,764			
	平成26年度						
	差引						

(2) 普通会計決算状況

総務省地方財政状況調査における普通会計の決算状況については、次のとおりである。

ア 歳入決算状況

	27年度決算額 (千円)	構成比 (%)	26年度決算額 (千円)	構成比 (%)	増減額 (千円)	伸び率 (%)
地方税	23,326,080	38.4	23,771,831	39.2	△ 445,751	△ 1.9
うち個人市民税	9,724,215	16.0	9,694,084	16.0	30,131	0.3
うち法人市民税	1,466,165	2.4	1,806,835	3.0	△ 340,670	△ 18.9
うち固定資産税	9,214,201	15.2	9,283,520	15.3	△ 69,319	△ 0.7
地方譲与税	351,027	0.6	334,594	0.6	16,433	4.9
利子割交付金	68,847	0.1	74,290	0.1	△ 5,443	△ 7.3
配当割交付金	204,709	0.3	250,330	0.4	△ 45,621	△ 18.2
株式等譲渡所得割交付金	198,557	0.3	141,543	0.2	57,014	40.3
地方消費税交付金	3,477,480	5.7	2,030,070	3.3	1,447,410	71.3
ゴルフ場利用税交付金	33,355	0.1	29,871	0.1	3,484	11.7
自動車取得税交付金	103,192	0.2	70,599	0.1	32,593	46.2
地方特例交付金	128,859	0.2	142,362	0.2	△ 13,503	△ 9.5
地方交付税	6,722,160	11.1	6,887,119	11.3	△ 164,959	△ 2.4
普通交付税	6,355,461	10.5	6,491,314	10.7	△ 135,853	△ 2.1
特別交付税	366,699	0.6	395,805	0.6	△ 29,106	△ 7.4
交通安全対策特別交付金	29,475	0.1	28,228	0.1	1,247	4.4
分担金及び負担金	833,451	1.4	915,307	1.5	△ 81,856	△ 8.9
使用料	1,323,777	2.2	1,389,697	2.3	△ 65,920	△ 4.7
手数料	130,714	0.2	136,700	0.2	△ 5,986	△ 4.4
国庫支出金	11,156,846	18.4	10,291,098	17.0	865,748	8.4
国有提供施設等所在市町村 助成交付金	66,093	0.1	66,093	0.1	0	0.0
府支出金	4,523,811	7.5	4,565,049	7.5	△ 41,238	△ 0.9
財産収入	64,747	0.1	169,987	0.3	△ 105,240	△ 61.9
寄付金	129,131	0.2	169,300	0.3	△ 40,169	△ 23.7
繰入金	363,130	0.6	312,866	0.5	50,264	16.1
繰越金	450,605	0.7	617,128	1.0	△ 166,523	△ 27.0
諸収入	2,731,946	4.5	2,746,600	4.5	△ 14,654	△ 0.5
地方債	4,268,500	7.0	5,585,800	9.2	△ 1,317,300	△ 23.6
うち臨時財政対策債	2,953,100	4.9	3,631,900	6.0	△ 678,800	△ 18.7
歳入合計	60,686,492	100.0	60,726,462	100.0	△ 39,970	△ 0.1
うち一般財源等	39,233,384	64.6	38,816,630	63.9	416,754	1.1
うち経常一般財源等	33,087,606	54.5	32,155,765	53.0	931,841	2.9

イ 歳出決算状況

目的別決算状況

	27年度決算額 (千円)	構成比 (%)	26年度決算額 (千円)	構成比 (%)	増減額 (千円)	伸び率 (%)
議会費	468,745	0.8	460,278	0.8	8,467	1.8
総務費	4,962,431	8.2	4,678,391	7.8	284,040	6.1
民生費	27,541,828	45.7	27,153,799	45.0	388,029	1.4
衛生費	4,345,855	7.2	4,412,858	7.3	△ 67,003	△ 1.5
労働費	89,568	0.1	94,567	0.2	△ 4,999	△ 5.3
農林水産業費	282,093	0.5	287,297	0.5	△ 5,204	△ 1.8
商工費	2,018,727	3.3	1,813,879	3.0	204,848	11.3
土木費	7,376,134	12.2	6,843,274	11.3	532,860	7.8
消防費	2,098,108	3.5	2,244,534	3.7	△ 146,426	△ 6.5
教育費	5,517,055	9.2	6,135,778	10.2	△ 618,723	△ 10.1
災害復旧費	127,213	0.2	635,493	1.1	△ 508,280	△ 80.0
公債費	5,456,110	9.1	5,514,622	9.1	△ 58,512	△ 1.1
歳出合計	60,283,867	100.0	60,274,770	100.0	9,097	0.0

性質別決算状況

	27年度決算額 (千円)	構成比 (%)	26年度決算額 (千円)	構成比 (%)	増減額 (千円)	伸び率 (%)
人件費	11,773,186	19.5	11,475,350	19.0	297,836	2.6
物件費	5,945,522	9.9	5,816,086	9.7	129,436	2.2
維持補修費	743,526	1.2	758,321	1.3	△ 14,795	△ 2.0
扶助費	17,742,913	29.4	17,243,057	28.6	499,856	2.9
補助費等	5,698,567	9.4	4,469,796	7.4	1,228,771	27.5
公債費	5,456,110	9.1	5,514,622	9.1	△ 58,512	△ 1.1
積立金	304,564	0.5	357,158	0.6	△ 52,594	△ 14.7
投資及び出資金	876,799	1.5	40,247	0.1	836,552	2078.5
貸付金	2,373,665	3.9	2,372,989	3.9	676	0.0
繰出金	5,466,840	9.1	6,999,722	11.6	△ 1,532,882	△ 21.9
普通建設事業費	3,774,962	6.3	4,591,929	7.6	△ 816,967	△ 17.8
災害復旧事業費	127,213	0.2	635,493	1.1	△ 508,280	△ 80.0
歳出合計	60,283,867	100.0	60,274,770	100.0	9,097	0.0
うち義務的経費	34,972,209	58.0	34,233,029	56.7	739,180	2.2
経常的経費	49,774,230	82.6	48,457,834	80.4	1,316,396	2.7

ウ 財政構造

平成 27 年度普通会計決算における各種財政指標は次のとおりである。

- ・ 財政の豊かさを計る財政力指数（過去 3 カ年平均）は 0.746（26 年度 0.746）
- ・ 財政の堅実度を見る実質収支比率は 0.8%（26 年度 0.9%）
- ・ 財政の弾力性を判断する経常収支比率は 94.8%（26 年度 93.7%）
- ・ 一般財源の財政上のゆとりを見る経常一般財源等比率は 94.9%（26 年度 93.8%）

エ 基金現在高

基金全体の平成 27 年度末現在高（普通会計）は、80 億 1,464 万 4 千円で、前年度から 1,522 万 3 千円の減額となった。繰入については、公共施設等整備基金を 2 億 3,507 万 2 千円繰り入れた。一方、積立については、財政調整基金に 1 億 5,620 万円、将来のまちづくりのために宅地開発等協力寄付金等を原資とする公共施設等整備基金に 8,665 万 2 千円を積み立てた。なお、定額運用基金である土地開発基金の現在高は 14 億 3,005 万 8 千円となった。

基金繰入の状況

(単位：千円)

基金名	基金繰入額	充当事業	充当額
公共施設等整備基金	235,072	宇治国道踏切改良事業	11,100
		排水路改良事業	77,900
		黄檗公園再整備事業	39,500
		消防機械器具整備事業	39,472
		中学校雨水流出抑制対策事業	54,100
		宇治中学校改築事業	13,000
減債基金	62,751	財源対策	60,000
		水道事業会計出資金等	2,751
国際交流基金	205	カムループス市交流促進事業	205
文化事業基金	1,608	文化センター文化事業補助金	1,608
ふるさと創生基金	2,423	源氏物語ミュージアム企画展示	2,423
地域福祉振興基金	33,425	一人暮らし高齢者等給配食サービス補助金	3,425
		地域福祉センター再整備事業	30,000
社会福祉事業基金	691	在宅要援護老人対策事業	691
母子福祉基金	90	ひとり親家庭児童中学校卒業祝品支給補助金	90
玉井高齢者福祉事業基金	172	在宅要援護老人対策事業	172
高齢者活動基金	832	高齢者活動事業	732
		生涯学習センター高齢者活動事業	100
国際ソロプチミスト宇治 交通遺児奨学基金	20	交通遺児激励事業	20
スポーツ振興基金	4,945	スポーツ振興基金活用事業	4,774
		全日本中学ボウリング選手権大会事業補助金	171
中小企業振興基金	545	中小企業振興対策事業	545
大気質測定基金	4,932	自動車排出ガス監視測定局運営事業	4,932
交通安全事業基金	190	交通安全対策事業	190
火災予防等事業基金	159	火災予防等事業基金活用事業	159
ふるさと応援基金	500	源氏ろまん事業	500
図書館図書等整備基金	999	図書館資料提供事業	999
合計	349,559		

オ 地方債現在高

平成 27 年度末における地方債の現在高は 450 億 16 万 2 千円となり、前年度から 7 億 5,969 万 5 千円の減少となった。発行額は、一般債が 13 億 1,540 万円、特例債である臨時財政対策債が 29 億 5,310 万円で、総額 42 億 6,850 万円となり、前年度から 13 億 1,730 万円の減額となった。

(3) 地方公共団体の財政の健全化に関する法律について

平成 19 年 6 月に制定された「地方公共団体の財政の健全化に関する法律」に基づき、平成 19 年度決算から、一般会計等の赤字額の標準財政規模に対する比率である「実質赤字比率」と、一般会計等だけでなく、水道事業や下水道事業など全会計を連結した実質赤字額（資金不足額）の標準財政規模に対する比率である「連結実質赤字比率」、さらに、一般会計等が負担する地方債の元利償還金やそれに準ずる元利償還金の標準財政規模に対する比率である「実質公債費比率」、一般会計等が将来負担すべき実質的な負債の標準財政規模に対する比率である「将来負担比率」の 4 つの健全化判断比率と、水道事業や下水道事業、簡易水道事業の公営企業の経営健全化を判断する指標として、公営企業ごとの資金不足額の事業の規模に対する比率である「資金不足比率」を算定している。

4 つの健全化判断比率の数値が、早期健全化基準を超えた場合は、自主的な改善努力による財政健全化に取り組む「財政健全化団体」となり、さらに比率が悪化し、財政再生基準を超えた場合は、国などの関与により確実な財政再生を図る「財政再生団体」となる。

「財政健全化団体」は、議会の議決を経て「財政健全化計画」を定め、市民への公表と、総務大臣、知事への報告が必要となり、毎年度、その実施状況を議会に報告し、公表することが必要となる。

「財政再生団体」は、議会の議決を経て「財政再生計画」を定め、市民への公表を行わなければならない。また、災害復旧事業等を除いた起債が必要な場合は、「財政再生計画」を総務大臣に協議し、その同意を求める必要がある。「財政再生計画」に総務大臣の同意を得た「財政再生団体」は、収支不足額を振り替えるため、地方財政法第 5 条の特例として、総務大臣の許可を受けて、再生振替特例債を起すことができることとなった。

公営企業については、その資金不足比率が、経営健全化基準以上になった場合は、経営健全化計画を定める必要がある。

※ 標準財政規模：地方公共団体の一般財源の標準規模、標準的な財政規模

ア 健全化判断比率

健全化判断比率	27年度 決算	26年度 決算	早期健全 化基準	財政再生 基準	説明
実質赤字比率	—	—	11.61%	20.00%	一般会計等が黒字か赤字を判断する指標（一般会計等の赤字の標準財政規模に対する比率）
連結実質赤字 比率	—	—	16.61%	30.00%	一般会計だけでなく、国民健康保険や下水道、水道事業などすべての特別会計を対象として、赤字を判断する指標（全会計の赤字の標準財政規模に対する比率）
実質公債費比率	2.1%	2.4%	25.0%	35.0%	市債の元利償還金等の一般会計等に対する負担を判断する指標（一般会計等が、負担しなければならない元利償還金等の標準財政規模に対する比率）
将来負担比率	—	—	350.0%		一般会計等が将来負担すべき実質的な負債の一般会計等に対する負担を判断する指標（一般会計等が将来負担すべき実質的な負債の標準財政規模に対する比率）

※ 実質赤字比率と連結実質赤字比率は、黒字のため「—」で表示している。

※ 将来負担比率は、充当可能財源等が将来負担額を上回り、算定されなかったため「—」で表示している。

イ 資金不足比率

特別会計の名称	27年度決算	26年度決算	経営健全化基準
水道事業会計	—	—	20.0%
簡易水道事業特別会計		—	20.0%
公共下水道事業会計	—		20.0%
公共下水道事業特別会計		—	20.0%

※ 資金不足比率は、各会計で不足額が生じていないため「—」で表示している。

(4) 都市計画税の使途

平成 27 年度に実施した都市計画税充当対象事業費 28 億 450 万 2 千円（下水道事業含む）に対して、都市計画税 16 億 4,824 万 4 千円を次のとおり充当した。

対 象 事 業		都市計画税充当額(千円)
街路事業	府営事業負担金	4,297
下水道事業	下水道事業	605,214
その他事業	名木川改修 他	24,323
公債費（下水道事業分含む）		1,014,410
合 計		1,648,244

(5) 全会計市債等現在高

	27 年度末 (千円)	26 年度末 (千円)	増減額 (千円)	伸び率 (%)
全会計市債等現在高	93,167,524	92,737,150	430,374	0.5
一般会計	45,731,849	46,476,093	△744,244	△1.6
墓地公園事業特別会計	37,887	48,519	△10,632	△21.9
簡易水道事業特別会計		964,467	△964,467	皆減
飲料水供給施設事業特別会計		48,193	△48,193	皆減
水道事業会計	5,429,811	4,461,052	968,759	21.7
公共下水道事業会計	41,967,977	40,738,826	1,229,151	3.0

(6) 地方消費税交付金（社会保障財源化分）が充てられる社会保障4経費その他社会保障施策に要する経費

平成26年4月1日より消費税率が5%から8%へ引き上げられたことに伴い、地方消費税交付金の増収分については、その用途を明確化し、社会保障4経費その他社会保障施策に要する経費に充てるものとされています。

平成27年度一般会計における社会保障施策経費への充当状況については、次のとおりです。

【歳入】地方消費税交付金（社会保障財源化分） 1,565,791千円

【歳出】社会保障4経費その他社会保障施策に要する経費 19,502,929千円

＜社会保障4経費その他社会保障施策に要する経費＞ (単位：千円)

事業名	事業費	財源内訳					
		特定財源			一般財源		
		国府支出金	市債	その他	地方消費税交付金 (社会保障財源化分)	その他	
社会福祉	生活保護事業	2,337,493	1,834,957	0	5,425	77,193	419,918
	児童福祉事業	8,972,163	4,583,867	0	1,032,281	521,131	2,834,884
	母子福祉事業	3,982	0	0	866	484	2,632
	高齢者福祉事業	309,824	1,682	0	25,366	43,910	238,866
	障害者福祉事業	174,102	6,350	0	297	26,003	141,452
	その他社会福祉事業	139,326	15,434	0	0	19,238	104,654
	小計	11,936,890	6,442,290	0	1,064,235	687,959	3,742,406
社会保険	国民健康保険事業	1,710,889	928,992	0	0	121,415	660,482
	後期高齢医療事業	1,994,608	239,803	0	0	272,491	1,482,314
	介護保険事業	1,728,375	0	0	0	268,387	1,459,988
	小計	5,433,872	1,168,795	0	0	662,293	3,602,784
保健衛生	母子保健事業	554,298	147,186	0	2,680	62,801	341,631
	高齢者医療事業	256,289	131,687	0	333	19,297	104,972
	障害者医療事業	733,433	420,322	0	6,405	47,626	259,080
	疾病予防対策事業	416,263	550	0	2,039	64,236	349,438
	健康増進対策事業	107,352	0	0	7,931	15,438	83,983
	その他保健事業	64,532	0	0	24,982	6,141	33,409
	小計	2,132,167	699,745	0	44,370	215,539	1,172,513
合計	19,502,929	8,310,830	0	1,108,605	1,565,791	8,517,703	

※ 地方消費税交付金（社会保障財源化分）は、各事業に要する一般財源の比率に応じて充当している。

(7) 平成27年度 普通会計決算状況調査

262048	宇治市			
市町村類型	IV - 1			
交付税種地	I - 5			
産業構造	区分	第1次	第2次	第3次
	22国調	496人	20,332人	55,538人
		0.6%	26.6%	72.7%
	17国調	533人	24,219人	59,560人
0.6%		27.9%	68.6%	

(単位:千円)

人口	国調	22年	189,609人	0.0%	面積	67.54km ²		
		17年	189,591人	0.3%		人口密度	22国調	2,807人/km ²
		12年	189,112人	2.3%		17国調	2,807人/km ²	
	住基	H28.1.1	189,623人	△0.6%	人口集中地区人口	22国調	185,499人	
		H27.1.1	190,856人	△0.5%		17国調	185,370人	
		H26.1.1	191,802人	△0.2%		世帯数	H28.1.1	82,215世帯

区分		平成27年度	平成26年度	増減率	区分	平成27年度		平成26年度	
歳入総額	A	60,686,492	60,726,462	△0.1%	財政力指数(単年/3力年)	0.758	0.746	0.742	0.746
歳出総額	B	60,283,867	60,274,770	0.0%	歳出決算倍率	1.730		1.757	
歳入歳出差引(A-B)	C	402,625	451,692	△10.9%	実質収支比率	0.8 %		0.9 %	
翌年度に繰り越すべき財源	D	125,629	158,480	△20.7%	経常一財等比率	94.9 %		93.8 %	
実質収支(C-D)	E	276,996	293,212	△5.5%	公債費負担比率	13.2 %		13.5 %	
単年度収支	F	△ 16,216	△ 17,319	6.4%	公債費比率(単年/3力年)	8.1%	7.9%	7.7%	8.0%
積立金	G	160,833	150,566	6.8%	起債制限比率(単年/3力年)	6.2%	5.9%	5.5%	5.8%
繰上償還金	H	0	0	-	地方債残高比率	129.1 %		133.4 %	
積立金取崩し額	I	0	0	-	実質債務残高比率	138.7 %		142.0 %	
実質単年度収支(F+G+H-I)	J	144,617	133,247	8.5%	経常収支比率	94.8 %		93.7 %	
基準財政収入額		20,080,313	18,735,597	7.2%	経常収支比率(臨財・減税除)	103.2 %		104.3 %	
基準財政需要額		26,477,521	25,251,285	4.9%	健全化判断比率	平成27年度		平成26年度	
標準税収入額等		25,546,922	24,074,598	6.1%	実質赤字比率	-		-	
標準財政規模		34,855,596	34,297,869	1.6%	連結実質赤字比率	-		-	
地方債現在高		45,000,162	45,759,857	△1.7%	実質公債費比率(単年/3力年)	2.0%	2.1%	2.0%	2.4%
債務負担行為翌年度以降支出予定額		3,361,186	2,946,965	14.1%	将来負担比率	-		-	

一般職の状況(H28.4.1)				特別職等の給料月額			収益事業収入:なし			
区分	平均年齢	職員数	平均給料月額	区分	1人あたり平均給料(報酬)	改定実施年月日	一部事務組合加入状況	京都市		
一般職員	38.57 歳	837 人	304,759 円	市長	1,065,000 円	H21.12.1より			城南衛生管理組合	
教育公務員	43.77 歳	32 人	339,764 円	副市長	885,000 円	"			淀川木津川水防事務組合	
消防関係職員	38.66 歳	203 人	321,608 円	教育長	775,000 円	"			京都府自治会館管理組合	
技能労務職員	42.00 歳	193 人	321,173 円	議長	635,000 円	H15.12.1より			京都府住宅新築資金等貸付事業管理組合	
臨時職員	-	-	-	副議長	585,000 円	"			京都府後期高齢者医療広域連合	
合計	39.24 歳	1,265 人	310,841 円	議員	535,000 円	"			京都府地方税機構	
ラスパイレス指数(H27.4.1)			104.6							

地方債現在高			基金現在高		会計別決算状況(決算統計数値)			
政府資金(旧郵政公社)	機構(旧公庫)	市中銀行	財政調整	2,779,287	会計名	歳入総額	歳出総額	他会計繰入金
22,253,382	5,393,858	10,075,130	減債	1,972,584	国保特会	23,650,505	23,234,372	1,713,702
保険会社等	その他	合計	土地開発	1,430,058	後期高齢特会	2,285,359	2,273,606	448,644
0	7,277,792	45,000,162	退職手当	11,446	介護特会	13,121,949	12,775,482	1,801,043
減収補てん債		臨時財政対策債	その他	3,251,327				
発行額	0	発行額	2,953,100	合計	9,444,702			

(単位:千円・%)

歳入						歳出(性質別)					
区分	決算額	構成比	経常一財等	構成比		区分	決算額	構成比	充当一財等	経常一財等	経常収支比率
地方税	23,326,080	38.4	21,677,836	65.5		人件費	11,773,186	19.5	10,753,291	10,514,722	29.2
地方譲与税	351,027	0.6	351,027	1.1		うち職員給	8,101,121	13.4	7,382,859	7,299,111	20.3
利子割交付金	68,847	0.1	68,847	0.2		扶助費	17,742,913	29.4	5,404,960	5,318,616	14.8
配当割交付金	204,709	0.3	204,709	0.6		公債費	5,456,110	9.1	5,194,268	5,194,268	14.4
株式等譲渡所得割交付金	198,557	0.3	198,557	0.6		元利償還金	5,425,204	9.0	5,192,831	5,163,362	14.3
地方消費税交付金	3,477,480	5.7	3,477,480	10.5		一借利子	30,906	0.1	37,256	30,906	0.1
ゴルフ場利用税交付金	33,355	0.1	33,355	0.1		(義務的経費計)	34,972,209	58.0	21,352,519	21,027,606	58.4
特別地方消費税交付金	0	0.0	0	0.0		物件費	5,945,522	9.9	4,803,764	4,192,040	11.6
自動車取得税交付金	103,192	0.2	103,192	0.3		維持補修費	743,526	1.2	717,998	717,998	2.0
地方特例交付金	128,859	0.2	128,859	0.4		補助費等	5,698,567	9.4	5,244,169	3,971,942	11.0
地方交付税	6,722,160	11.1	6,355,461	19.2		うち一組負担金	1,761,460	2.9	1,761,460	1,240,564	3.4
普通交付税	6,355,461	10.5	6,355,461	19.2		積立金	304,564	0.5	242,852	-	-
特別交付税	366,699	0.6	-	-		投・出・貸付金	3,250,464	5.4	805,503	22,938	0.1
小計	34,614,266	57.0	32,599,323	98.5		繰入金	5,466,840	9.1	4,272,179	4,228,228	11.7
交通安全対策特別交付金	29,475	0.1	29,475	0.1		前年度繰上充用金	0	0.0	0	歳入一財等総額	
分担金及び負担金	833,451	1.4	0	0.0		投資的経費	3,902,175	6.5	1,391,775	39,233,384	
使用料	1,323,777	2.2	356,451	1.1		うち人件費	69,581	0.1	55,501	経常一般財源等	
手数料	130,714	0.2	0	0.0		普通建設	3,774,962	6.3	1,342,610	33,087,606	
国庫支出金	11,156,846	18.4	-	-		補助	1,873,095	3.1	197,455	臨時一般財源等	
国有提供施設等交付金	66,093	0.1	66,093	0.2		単独	1,855,034	3.1	1,138,122	6,145,778	
府支出金	4,523,811	7.5	-	-		府営事業負担金	46,833	0.1	7,033	経常経費充当一財等	
財産収入	64,747	0.1	27,810	0.1		災害復旧	127,213	0.2	49,165	34,160,752	
寄付金	129,131	0.2	-	-		歳出合計	60,283,867	100.0	38,830,759		
繰入金	363,130	0.6	-	-		歳出(目的別)					
繰越金	450,605	0.7	-	-		区分	決算額 A	構成比	うち普通建設	Aの充当一財等	
諸収入	2,731,946	4.5	8,454	0.0		議会費	468,745	0.8	0	468,745	
地方債	4,268,500	7.0	-	-		総務費	4,962,431	8.2	162,275	4,208,624	
歳入合計	60,686,492	100.0	33,087,606	100.0		民生費	27,541,828	45.7	265,043	13,039,295	
市町村税の状況						衛生費	4,345,855	7.2	42,455	4,006,385	
						労働費	89,568	0.1	0	19,659	
法定普通税	区分	収入済額	構成比	前年比	基準税額/0.75	超過課税分	農林水産業費	282,093	0.5	22,280	227,662
	個人均等割	292,723	1.2	1.2	293,631	-	商工費	2,018,727	3.3	12,675	582,269
	所得割	9,431,492	40.4	0.3	10,055,071	-	土木費	7,376,134	12.2	1,950,157	4,681,675
	法人均等割	363,118	1.6	△ 1.2	326,341	60,009	消防費	2,098,108	3.5	172,914	1,964,362
	法人税割	1,103,047	4.7	△ 23.4	1,324,600	192,778	教育費	5,517,055	9.2	1,147,163	4,388,650
	固定資産税	9,214,201	39.5	△ 0.7	8,932,808	-	災害復旧費	127,213	0.2	-	49,165
	うち純固定資産税	9,111,417	39.1	△ 0.8	-	-	公債費	5,456,110	9.1	-	5,194,268
	軽自動車税	227,508	1.0	1.8	232,065	-	諸支出金	0	0.0	0	0
	市町村たばこ税	1,045,598	4.5	△ 4.9	1,028,725	-	前年度繰上充用金	0	0.0	-	0
	特別土地保有税	149	0.0	皆増	-	-	合計	60,283,867	100.0	3,774,962	38,830,759
計	21,677,836	92.9	△ 1.9	22,193,241	252,787	市税収入率					
目的税	都市計画税	1,648,244	7.1	△ 1.0	-	-	うち市民税	うち資産税		合計	
計	1,648,244	7.1	△ 1.0	-	-	現年	98.89%	98.44%	98.71%		
合計	23,326,080	100.0	△ 1.9	22,193,241	252,787	合計	95.72%	95.37%	95.69%		

(8) 普通会計における財務書類4表

財務書類4表は、「貸借対照表」「行政コスト計算書」「純資産変動計算書」「資金収支計算書」の4つの書類により構成されている。本市では、平成20年度決算から「総務省方式改訂モデル」により財務書類の作成を行っている。

ア 貸借対照表

会計年度末における、本市の財政状態を表す。「資産の部」に計上している財産をどのような財源で調達したかについて、将来世代の負担部分を「負債の部」に、過去・現役世代の負担部分を「純資産の部」に計上している。

イ 行政コスト計算書

一会計期間における、資産形成を伴わない経常的な行政活動に伴う費用の状況を表す。「経常行政コスト」には、経常的な行政サービスを提供するために発生したコストを計上し、「経常収益」には、行政サービスの対価としての収入、すなわち受益者負担相当分を計上している。

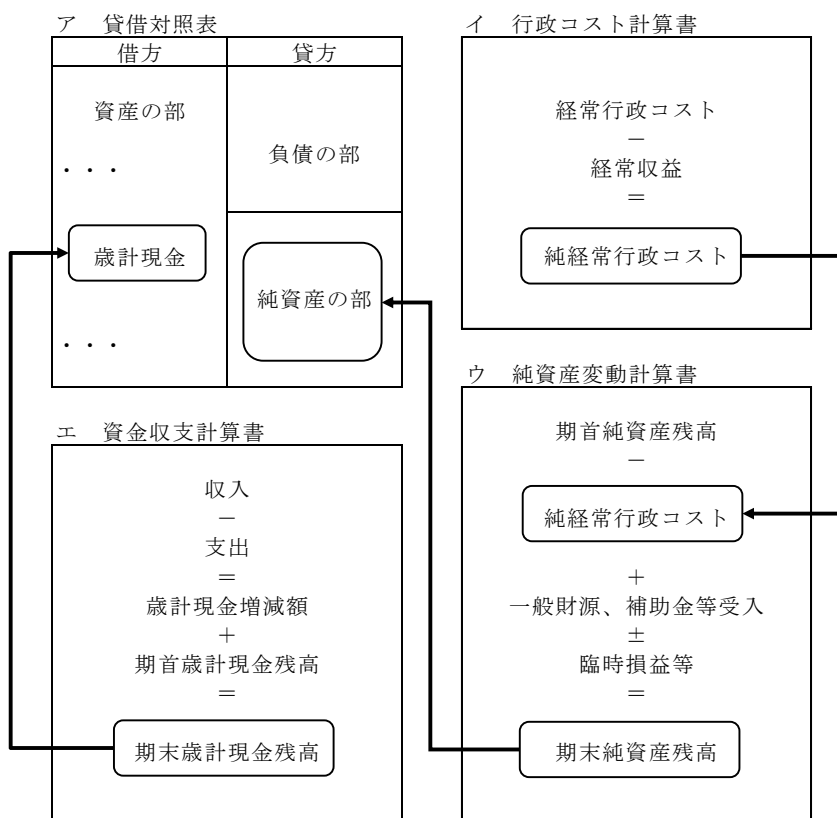
ウ 純資産変動計算書

一会計期間において、「貸借対照表」の「純資産の部」に計上されている各項目がどのように変動したかを表す。主な純資産の減少要因としては、「行政コスト計算書」で算出した「純経常行政コスト」、増加要因としては、市税・地方交付税等の「一般財源」、国・京都府からの「補助金等受入」等が挙げられる。

エ 資金収支計算書

一会計期間における、本市の行政活動に伴う現金等の資金の流れを、性質の異なる3つの活動に分けて表す。「期首歳計現金残高」は前年度普通会計の形式収支であり、「期末歳計現金残高」は当該年度普通会計の形式収支と一致する。

<財務書類4表の相関図>



貸借対照表
(平成28年03月31日現在)

(単位:千円)

借 方		貸 方	
[資産の部]		[負債の部]	
1 公共資産		1 固定負債	
(1) 有形固定資産		(1) 地方債	39,720,002
生活インフラ・国土保全	99,117,362	(2) 長期未払金	
教育	62,337,620	物件の購入等	0
福祉	7,074,657	債務保証又は損失補償	0
環境衛生	2,770,542	その他	0
産業振興	2,831,712	長期未払金計	0
消防	2,849,278	(3) 退職手当引当金	7,040,860
総務	11,851,804	(4) 損失補償等引当金	643,977
有形固定資産合計	188,832,975	固定負債合計	47,404,839
(2) 売却可能資産	44,007		
公共資産合計	188,876,982	2 流動負債	
2 投資等		(1) 翌年度償還予定地方債	5,280,160
(1) 投資及び出資金		(2) 短期借入金(翌年度繰上充用金)	
投資及び出資金	1,349,254	(3) 未払金	
投資損失引当金		(4) 翌年度支払予定退職手当	665,463
投資及び出資金計	1,349,254	(5) 賞与引当金	694,151
(2) 貸付金	103,970	流動負債合計	6,639,774
(3) 基金等		負債合計	54,044,613
退職手当目的基金	11,446		
その他特定目的基金	3,251,327	[純資産の部]	
土地開発基金	1,430,058	1 公共資産等整備国庫補助金等	30,784,572
その他定額運用基金	6,000	2 公共資産等整備一般財源等	148,163,141
退職手当組合積立金		3 その他一般財源等	31,614,350
基金等計	4,698,831	4 資産評価差額	29,113
(4) 長期延滞債権	1,025,878	純資産合計	147,304,250
(5) 回収不能見込額	160,750		
投資等合計	7,017,183		
3 流動資産			
(1) 現金預金			
財政調整基金	2,779,287		
減債基金	1,972,584		
歳計現金	402,625		
現金預金計	5,154,496		
(2) 未収金			
地方税	303,635		
その他	66,690		
回収不能見込額	70,123		
未収金計	300,202		
流動資産合計	5,454,698		
資 産 合 計	201,348,863	負債・純資産合計	201,348,863

1 他団体及び民間への支出金により形成された資産

生活インフラ・国土保全	2,438,861千円
教育	12,789千円
福祉	4,737,897千円
環境衛生	352,169千円
産業振興	1,200,816千円
消防	3,924千円
総務	2,246,026千円
計	10,992,482千円

2 債務負担行為に関する情報

物件の購入等	2,248,289千円
債務保証又は損失補償	7,535,000千円
(うち共同発行地方債に係るもの)	0千円
その他	1,112,897千円

3 地方債残高(翌年度償還予定額を含む)のうち42,360,459千円については、償還時に地方交付税の算定の基礎に含まれることが見込まれているものです。

4 普通会計の将来負担に関する情報

項目	金額	[内訳]	
		負債計上 【(翌年度償還予定) 地方債・(長期) 未払金・引当金】	注記 【契約債務・偶発債務】
普通会計の将来負担額	75,513,313千円		
[内訳] 普通会計地方債残高	45,000,162千円	45,000,162千円	
債務負担行為支出予定額	1,760,784千円	0千円	1,760,784千円
公営事業地方債負担見込額	18,788,483千円		18,788,483千円
一部事務組合等地方債負担見込額	1,613,584千円		千円
退職手当負担見込額	7,706,323千円	7,706,323千円	
第三セクター等債務負担見込額	643,977千円	643,977千円	千円
連結実質赤字額	0千円		千円
一部事務組合等実質赤字負担額	0千円		千円
基金等将来負担軽減資産	90,649,490千円		
[内訳] 地方債償還額等充当基金残高	11,194,223千円		
地方債償還額等充当歳入見込額	14,670,817千円		
地方債償還額等充当交付税見込額	64,784,450千円		
(差引)普通会計が将来負担すべき実質的な負債	15,136,177千円		

5 有形固定資産のうち、土地は79,282,118千円です。また、有形固定資産の減価償却累計額は93,791,632千円です。

行政コスト計算書

〔 自 平成27年 4月 1日
至 平成28年 3月31日 〕

【経常行政コスト】

(単位：千円)

		総 額	(構成比率)	生活インフラ・ 国土保全	教 育	福 祉	環 境 衛 生	産 業 振 興	消 防	総 務	議 会	支 払 利 息	回収不能 見込計上額	その他
1	(1) 人件費	10,320,798	20.0%	1,284,044	1,482,485	2,189,861	1,025,298	211,645	1,676,041	2,049,004	402,420			0
	(2) 退職手当引当金繰入等	127,261	-0.2%	9,181	21,538	25,532	11,955	2,467	19,542	32,355	4,691			0
	(3) 賞与引当金繰入額	694,151	1.3%	75,976	100,170	136,997	64,142	13,241	104,852	173,598	25,175			0
	小 計	10,887,688	21.1%	1,350,839	1,561,117	2,301,326	1,077,485	222,419	1,761,351	2,190,247	422,904			0
2	(1) 物件費	5,945,522	11.5%	506,975	1,852,610	747,528	1,343,454	197,717	114,490	1,153,618	29,130			0
	(2) 維持補修費	743,526	1.4%	652,098	74,461	3,959	173	878	988	10,969	0			0
	(3) 減価償却費	4,440,728	8.6%	1,878,484	1,339,194	239,773	235,189	142,274	167,685	438,129	0			0
	小 計	11,129,776	21.6%	3,037,557	3,266,265	991,260	1,578,816	340,869	283,163	1,602,716	29,130	0		0
3	(1) 社会保障給付	17,742,913	34.4%		154,768	17,575,431	12,714							0
	(2) 補助金等	4,469,422	8.7%	86,074	584,400	1,153,018	1,703,135	510,927	25,397	393,841	12,630			0
	(3) 他会計等への支出額	6,693,541	13.0%	1,201,442	0	5,464,396	27,703	0	0	0	0			0
	(4) 他団体への 公共資産整備補助金等	200,297	0.4%	97,797	0	28,802	664	15,127	0	57,907	0			0
	小 計	29,106,173	56.4%	1,385,313	739,168	24,221,647	1,744,216	526,054	25,397	451,748	12,630			0
4	(1) 支払利息	476,108	0.9%									476,108		0
	(2) 回収不能見込計上額	1,716	0.0%										1,716	0
	(3) その他行政コスト	0	0.0%	0	0	0	0	0	0	0	0			0
	小 計	477,824	0.9%	0	0	0	0	0	0	0	0	476,108	1,716	0
経常行政コスト a		51,601,461		5,773,709	5,566,550	27,514,233	4,400,517	1,089,342	2,069,911	4,244,711	464,664	476,108	1,716	0
(構成比率)				11.2%	10.8%	53.3%	8.5%	2.1%	4.0%	8.2%	0.9%	0.9%	0.0%	0.0%

【経常収益】

														一般財源 振替額	
1	使用料・手数料 b	1,455,934		273,663	214,580	198,217	200,684	37,622	478	88,025	0	86,214		0	356,451
2	分担金・負担金・寄附金 c	957,021		0	5,063	728,839	8,508	0	40	127,919	0	0		0	86,652
経常収益合計 (b+c) d		2,412,955		273,663	219,643	927,056	209,192	37,622	518	215,944	0	86,214		0	443,103
d/a		4.7%		4.7%	3.9%	3.4%	4.8%	3.5%	0.0%	5.1%	0.0%	18.1%		0.0%	
(差引) 純経常行政コスト a		49,188,506		5,500,046	5,346,907	26,587,177	4,191,325	1,051,720	2,069,393	4,028,767	464,664	389,894	1,716	0	443,103

純資産変動計算書

〔 自 平成27年 4月 1日 〕
〔 至 平成28年 3月31日 〕

(単位：千円)

	純資産合計	公共資産等整備 国県補助金等	公共資産等整備 一般財源等	その他 一般財源等	資産評価差額
期首純資産残高	145,735,842	30,724,236	147,027,199	31,942,893	72,700
純経常行政コスト	49,188,506			49,188,506	
一般財源					
地方税	23,286,955			23,286,955	
地方交付税	6,722,160			6,722,160	
その他行政コスト充当財源	5,152,740			5,152,740	
補助金等受入	15,680,657	840,539		14,840,118	
臨時損益	129,185			129,185	
災害復旧事業費	127,213			127,213	
公共資産除売却損益	0			0	
投資損失	0			0	
損失補償等引当金繰入等	1,972			1,972	
科目振替					
公共資産整備への財源投入			1,539,005	1,539,005	
公共資産処分による財源増		0	11,803	11,803	
貸付金・出資金等への財源投入			3,485,472	3,485,472	
貸付金・出資金等の回収等による財源増		0	2,664,558	2,664,558	0
減価償却による財源増		780,203	3,660,525	4,440,728	0
地方債償還に伴う財源振替			2,462,312	2,462,312	
資産評価替えによる変動額	43,587				43,587
無償受贈資産受入	0				0
その他	0		13,961	13,961	
期末純資産残高	147,304,250	30,784,572	148,163,141	31,614,350	29,113

資金収支計算書

〔 自 平成27年 4月 1日
至 平成28年 3月31日 〕

(単位：千円)

1 経常的収支の部	
人件費	11,842,767
物件費	5,945,522
社会保障給付	17,742,913
補助金等	4,469,422
支払利息	476,108
他会計等への事務費等充当財源繰出支出	5,891,102
その他支出	870,739
支出合計	47,238,573
地方税	23,326,080
地方交付税	6,722,160
国県補助金等	14,795,843
使用料・手数料	1,454,491
分担金・負担金・寄附金	957,830
諸収入	2,726,982
地方債発行額	3,103,160
基金取崩額	84,487
その他収入	2,350,279
収入合計	55,521,312
経常的収支額	8,282,739

2 公共資産整備収支の部	
公共資産整備支出	3,505,084
公共資産整備補助金等支出	200,297
他会計等への建設費充当財源繰出支出	120,370
支出合計	3,825,751
国県補助金等	884,814
地方債発行額	1,165,340
基金取崩額	265,072
その他収入	9,796
収入合計	2,325,022
公共資産整備収支額	1,500,729

3 投資・財務的収支の部	
投資及び出資金	0
貸付金	2,373,665
基金積立額	304,564
定額運用基金への繰出支出	2,444
他会計等への公債費充当財源繰出支出	1,558,868
地方債償還額	4,980,002
長期未払金支払支出	0
支出合計	9,219,543
国県補助金等	0
貸付金回収額	2,377,750
基金取崩額	0
地方債発行額	0
公共資産等売却収入	11,803
その他収入	0
収入合計	2,389,553
投資・財務的収支額	6,829,990

翌年度繰上充用金増減額	0
当年度歳計現金増減額	47,980
期首歳計現金残高	450,605
期末歳計現金残高	402,625

1 一時借入金に関する情報

資金収支計算書には一時借入金の増減は含まれていません。
平成27年度における一時借入金の借入限度額は10,000,000千円です。
支払利息のうち、一時借入金利子は30,906千円です。

2 基礎的財政収支（プライマリーバランス）に関する情報

収入総額	60,235,887
地方債発行額	4,268,500
財政調整基金等取崩額	62,751
支出総額	60,283,867
地方債償還額	5,425,204
財政調整基金等積立額	165,991
基礎的財政収支	1,211,964

部門別決算成果概要

平成27年度決算成果説明書

総合計画の体系	
大分類	02 ゆたかな市民生活ができるまち
中分類	01 住民自治の推進
小分類	02 市民参画・協働の推進

所管部局
市長公室

事務事業名	市民と市長の対話ミーティング事業費	所管課	秘書広報課
		決算額	153千円
事業内容	市民と市長の対話を通し、市民参画・協働を推進するとともに地域力の向上を図ることにより、新しい宇治に向けたまちづくりを推進する。		
成果・実績	<p>それぞれの分野で活動する市民と活発な議論を行った。</p> <p>開催状況</p> <p>第9回 テーマ 若者の雇用支援について 日 時 5月30日(土)午後2時～4時 場 所 城南勤労者福祉会館</p> <p>第10回 テーマ 中小企業振興について 日 時 9月5日(土)午後2時～3時40分 場 所 宇治市産業振興センター</p> <p>第11回 テーマ 高校生のあふれるパワーで宇治市を元気に 日 時 12月5日(土)午後2時30分～4時 場 所 京都府立菟道高等学校</p> <p>第12回 テーマ 子育て支援の充実について 日 時 平成28年3月26日(土)午後2時～3時30分 場 所 親子広場「つむぎ」 宇治橋通り商店街内</p>		
事業評価	各分野で活動している市民と活発な議論を行うことにより、市民参画・協働の推進及び地域力向上を図ることができた。様々な分野の市民意見を市政に反映させるように努めるため、今後も引き続き実施する。		



総合計画の体系	
大分類	06 信頼される都市経営のまち
中分類	01 市民参加の機会と情報提供の充実
小分類	02 広報・広聴活動の充実

所管部局
市長公室

事務事業名	コミュニティ放送広報活動費	所管課	秘書広報課
		決算額	24,202千円
事業内容	災害時において、有効な情報伝達媒体として活用することができるコミュニティ放送は市民に身近で手軽なメディアである。また、特質を十分活かして、地域の生活文化の発信基地として地域に密着した番組をきめ細かく提供する。		
成果・実績	エフエム宇治放送に月曜日から金曜日まで毎日30分間、市政情報を伝える番組を提供したほか、環境問題及び男女共同参画などの啓発スポットを流した。平成27年7月の台風11号接近時には、災害時の情報伝達媒体としてその役割を果たした。		
事業評価	市内唯一のコミュニティ放送であるエフエム宇治放送を活用することにより、市民に広く市政情報の発信ができた。今後も引き続き放送内容の充実、より効果的な災害時の対応などを検討する必要がある。		

平成 27 年度決算成果説明書

総合計画の体系	
大分類	06 信頼される都市経営のまち
中分類	01 市民参加の機会と情報提供の充実
小分類	02 広報・広聴活動の充実

所管部局
市長公室

事務事業名	市政だより発行費	所管課	秘書広報課						
		決算額	24,409千円						
事業内容	市政に関することを市民に知らせるため、広報紙「宇治市政だより」を月2回（1日・15日）発行する。								
成果・実績	<p>写真及びイラストを活かし、見やすくわかりやすい市政情報の提供に取り組んだ。ポスティングにより、市内全戸へ配布している。</p> <table style="width: 100%; border: none;"> <tr> <td style="padding-left: 20px;">年間発行部数</td> <td style="text-align: right;">1,963,200部</td> </tr> <tr> <td style="padding-left: 20px;">ポスティング配布部数</td> <td style="text-align: right;">1,946,673部</td> </tr> <tr> <td style="padding-left: 20px;">その他</td> <td style="text-align: right;">16,527部</td> </tr> </table>			年間発行部数	1,963,200部	ポスティング配布部数	1,946,673部	その他	16,527部
年間発行部数	1,963,200部								
ポスティング配布部数	1,946,673部								
その他	16,527部								
事業評価	紙面の工夫に取り組むことにより、市民に提供する市政情報の充実を図ることができた。今後も見やすく、わかりやすい市政情報の発信に努めるとともに、より効果的な情報発信手法を検討する必要がある。								

事務事業名	映像広報活動費	所管課	秘書広報課
		決算額	322千円
事業内容	市の施策をはじめ、文化、観光などに関する情報を、職員が制作する映像でわかりやすく放映する。また、字幕を付けること等により、聴覚障害者にとってもわかりやすい映像としている。		
成果・実績	インターネット動画サイトを活用し「宇治市ちはや茶んねる」で宇治市長が市の施策等について語る「宇治市長語る」を年2回発信したほか、「市営茶室対鳳庵」を紹介する広報映像を作成し同様に発信した。		
事業評価	新規広報媒体としてインターネット動画サイトを活用した広報活動により、市の施策及び観光情報などを広く広報に努めることができた。より多くの人の視聴につながるように、情報発信手法の工夫に努める必要がある。		

平成 27 年度決算成果説明書

総合計画の体系		所管部局
大分類	06 信頼される都市経営のまち	市長公室
中分類	01 市民参加の機会と情報提供の充実	
小分類	02 広報・広聴活動の充実	

事務事業名	広報活動費	所管課	秘書広報課
		決算額	3,696千円
事業内容	<p>広報活動の充実のために、報道機関に対する報道連絡、記者発表の開催、市ホームページの運用などを行う。</p>		
成果・実績	<p>宇治日刊記者クラブ（9社）と宇治日刊地方記者クラブ（2社）に対し、報道資料の提供及び市長定例会見をはじめとする記者発表を行った。 また、宇治市宣伝大使ちはや姫の積極的な活動にも取り組んだ。</p>		
事業評価	<p>市ホームページ、報道機関へ積極的な情報提供を図ることにより、市内外の多くの人への広報に努めることができた。また、キャラクター及びSNSを活用したプロモーション活動の充実にも努めることができた。市政情報の発信及びシティプロモーションの展開などに向けた、より効果的な情報発信手法を検討する必要がある。</p>		

事務事業名	市民カレンダー発行費	所管課	秘書広報課
		決算額	4,235千円
事業内容	<p>市民生活に関わりの深い情報及び市政情報を提供するため、市民カレンダーを毎年発行する。</p>		
成果・実績	<p>市民カレンダーを85,000部発行し、ポスティングによる全戸配布を行った。市の行事予定のほか、災害時避難所・給水場所マップ・福祉避難所、市内公共施設等マップ、資源ごみの分別収集方法、各種相談案内、保健予防年間日程、主な市の施設・市内の官公署一覧を掲載し、情報発信に努めた。</p>		
事業評価	<p>「市民カレンダーと手びき」を発行することにより、市民に提供する市政情報の充実を図ることができた。今後も引き続き効果的な情報媒体の把握、分析に努め、総合的に市政情報提供の手法について検討する必要がある。</p>		

平成 27 年度決算成果説明書

総合計画の体系		所管部局
大分類	06 信頼される都市経営のまち	市長公室
中分類	02 国際化の推進と平和への貢献	
小分類	01 国際化・広域交流活動の推進	

事務事業名	国際交流促進事業	所管課	秘書広報課
		決算額	6,683千円
事業内容	友好都市盟約の趣旨に則り、相互の友好交流を促進する。		
成果・実績	<p>ヌワラエリヤ市写真展の開催、咸陽市との小学生文通事業、カムループス市への公式訪問団の来訪と中学生訪問団の派遣、及びトンプソン・リバーズ大学への市民留学生の派遣などにより、友好都市との交流を深めた。</p> <p>咸陽市交流促進費 670千円</p> <ul style="list-style-type: none"> ・宇治市公式訪問団の派遣 <li style="padding-left: 40px;">行政訪問団員 4人 11月16日～11月20日 <li style="padding-left: 40px;">市民訪問団員に随行の行政訪問団員 1人 <li style="padding-left: 40px;">11月16日～11月23日 <p>カムループス市交流促進費 6,013千円</p> <ul style="list-style-type: none"> ・カムループス市公式訪問団来訪 17人 <li style="padding-left: 40px;">10月15日～10月19日 ・市中学生訪問団の派遣 7月24日～7月30日 <li style="padding-left: 40px;">市内在住の中学生 12人 <li style="padding-left: 40px;">引率者（市職員・中学校教諭） 2人 ・トンプソン・リバーズ大学市民留学生の派遣 <li style="padding-left: 40px;">3人（自費留学生を含む） 		
事業評価	公式訪問団及び中学生の派遣などにより、市民間の国際交流を促進し、友好を深めることができた。今後は、より多くの分野での市民間交流の発展に向けて、交流手法とその支援のあり方について検討する必要がある。		



平成27年度決算成果説明書

総合計画の体系	
大分類	06 信頼される都市経営のまち
中分類	03 行政改革・適正な行政運営の推進
小分類	05 効果的な組織機構の確立と職員の人材育成

所管部局
市長公室

事務事業名	職員研修費	所管課	人事課
		決算額	7,066千円
事業内容	宇治市職員の研修に関する規程に基づき、職務の遂行に必要な知識、技能の向上を図るとともに、職員としての資質と教養を高めるため、職員研修を実施する。		
成果・実績	<p>人口減少社会を迎えた今、市民ニーズを的確に把握する中で、時代の変化を敏感に察知し、活力にあふれ持続的に発展する魅力ある宇治市を築いていくため、「宇治市職員人材育成基本方針」に基づく研修を実施し、職員の育成に努めた。</p> <p>主な研修</p> <p>管理職研修...所属長を対象に、管理職として責任を自覚するとともに、行政を総合的に推進することを目指し意識改革を図った。</p> <p>新任管理職・監督者研修...職場の労務管理、サービス、また、監督者の役割を把握し、管理職・監督者としての資質の向上を図った。</p> <p>階層別研修...初級・中級職員を対象に人権研修を行い、また、職場における立場及び役割の自覚を促し意識改革を図った。</p> <p>求められる職員像</p> <p>(1) 「創造する職員」 長期的かつ多面的な視野で新しい宇治市を創造【Create】</p> <p>(2) 「ニーズや変化をキャッチする職員」 市民ニーズを的確に把握、時代の変化を敏感に察知【Catch】</p> <p>(3) 「チャレンジする職員」 困難な状況や課題に対して前向きに挑戦【Challenge】</p> <p>(4) 「コミュニケーション能力の高い職員」 市民から信頼される誠実な対応、周囲との積極的な意思疎通【Communicate】</p> <p>(5) 「市民と協働する職員」 地域の方々と連携し、市民参加・協働を促進【Collaborate】</p> <p>基本研修 新規採用職員研修、初級職員研修、中級職員研修、管理職研修など</p> <p>特別研修 人権研修、安全運転研修、法務研修、理事者と語る、選択研修、メンタルヘルス研修、おもてなし研修など</p> <p>派遣研修 京都市市町村振興協会、全国市町村国際文化研修所など</p>		
	 <p>管理職研修 (平成27年5月15日)</p>  <p>おもてなし研修 (平成28年2月16日)</p>		
事業評価	各種研修の実施により、職務の遂行に必要な知識、技能の向上などを行った。今後も、階層別職員の実務能力の向上及び管理監督者の管理能力の向上のための研修等により計画的な人材育成に取り組む中で、研修効果について検証する必要がある。		

平成 27 年度決算成果説明書

総合計画の体系		所管部局
大分類	06 信頼される都市経営のまち	市長公室
中分類	03 行政改革・適正な行政運営の推進	
小分類	05 効果的な組織機構の確立と職員の人材育成	

事務事業名	職員健康管理費	所管課	職員厚生課
		決算額	21,221千円
事業内容	職員の健康管理、疾病予防のための各種健診業務及びメンタルヘルス対策を講じるための相談業務などを行う。		
成果・実績	<p>定期健康診断等（文書報告含む）の受診率は99.2%であり、生活習慣改善教室及び産業医による個別指導等の事業を行い、職員の意識向上に努めた。 メンタルヘルス対策については、「宇治市職員のメンタルヘルスケアプラン」に基づき予防から再発防止までのメンタルヘルス対策の推進を図った。 労働安全衛生法の規定に基づき、月45時間以上の超過勤務者（延べ471人）に対し健康調査を行い、健康状態の把握に努めるとともに、特に月80時間超（延べ44人）及び月100時間超（延べ13人）の超過勤務者を含む101人に対して産業医による面接指導を行い、メンタルヘルス不調及び疾病の予防に努めた。</p> <p>職員健康管理医師報酬 1,440千円 産業医、職員の健康診断の実施、健康管理についての指導・助言 長時間超過勤務者の面談、安全衛生管理業務、安全衛生委員会委員</p> <p>心の相談等医師謝礼（メンタルヘルス対策） 828千円 相談事業の実施、メンタルヘルス研修会、メンタルヘルス対策の推進</p> <p>職員（嘱託含む）各種健診手数料 12,561千円 定期健康診断、B型肝炎血液検査、深夜業務健康診断など</p> <p>特殊健康診断等委託料 5,903千円 二次健診、生活習慣改善教室・個別指導、頸腕・腰痛健康診断、VDT作業従事者健康診断、各種健診の有所見者事業、卒煙セミナー等禁煙指導など</p>		
事業評価	労働安全衛生法に基づき、事業者として実施する職員の定期健康診断をはじめ、各種健診等を実施し、健康状態の把握及び疾病防止とメンタルヘルス対策について正しい情報を提供したことにより、職員の健康増進を図ることができた。今後も、職員の健康保持増進に努める必要がある。		

平成27年度決算成果説明書

総合計画の体系	
大分類	01 環境に配慮した安全・安心のまち
中分類	02 安全・安心なまちづくりへの対応
小分類	01 安全・安心なまちづくり

所管部局
市長公室

事務事業名	防災対策推進事業費	所管課	危機管理課												
		決算額	6,430千円												
事業内容	地域の防災力向上を図り、本市の防災対策を進めるため、市民参加の防災訓練を実施するとともに、町内会・自治会を中心とした自主防災組織の育成に向けて、自主防災組織が防災資機材を購入する場合の購入費を補助する。また、本市の備蓄品等の計画的な更新整備及び医療品等の点検、交換を行う。														
成果・実績	<p>日頃から地域の自主防災組織が中心となり、「自分たちのまちは自分たちで守る」を合言葉に、積極的に自主防災活動が展開されることを目的として、平成27年9月6日に宇治市防災訓練及び12月13日に宇治市自主防災リーダーフォローアップ研修（参加70人）を実施した。</p> <p>また、市立小学校6校に防災倉庫を設置するとともに、備蓄用食糧としてカンパン、アルファ米、要配慮者生活用品として粉ミルクの更新を行った。</p> <table border="0"> <tr> <td>市防災訓練開催費</td> <td>931千円</td> </tr> <tr> <td>防災リーダー養成講習会等開催費</td> <td>15千円</td> </tr> <tr> <td>防災倉庫設置費</td> <td>3,390千円</td> </tr> <tr> <td>備蓄用食糧更新費</td> <td>791千円</td> </tr> <tr> <td>要配慮者生活用品購入費</td> <td>310千円</td> </tr> <tr> <td>自主防災活動事業補助金</td> <td>489千円</td> </tr> </table>			市防災訓練開催費	931千円	防災リーダー養成講習会等開催費	15千円	防災倉庫設置費	3,390千円	備蓄用食糧更新費	791千円	要配慮者生活用品購入費	310千円	自主防災活動事業補助金	489千円
	市防災訓練開催費	931千円													
防災リーダー養成講習会等開催費	15千円														
防災倉庫設置費	3,390千円														
備蓄用食糧更新費	791千円														
要配慮者生活用品購入費	310千円														
自主防災活動事業補助金	489千円														
事業評価	<p>自主防災組織への支援等により、地域の防災力向上を図ることができた。今後も引き続き、災害発生時に重要となる関係機関との連携強化等を行うこと並びに自主防災組織の育成及び支援を行うことにより、さらなる地域の防災力の向上に努める必要がある。</p>														



市防災訓練

活動補助金実績（過去3カ年）

年度	補助金交付額 (千円)	交付団体数
25	1,084	11
26	1,040	13
27	489	6

平成 27 年度決算成果説明書

総合計画の体系	
大分類	01 環境に配慮した安全・安心のまち
中分類	02 安全・安心なまちづくりへの対応
小分類	01 安全・安心なまちづくり


所管部局
市長公室他

事務事業名	平成24年8月13日・14日京都府南部地域豪雨災害関連経費	所管課	危機管理課他
		決算額	126,310千円
事業内容	平成24年8月13日・14日の京都府南部地域豪雨災害において大きな被害が発生したため、被災者の生活再建等に取り組む。		
成果・実績	被災者の生活の早期回復を図るため、各種施策を実施した。		
	(千円)		
	事業	課名	事業概要
	地域再建被災者住宅等支援	危機管理課	被災者への住宅再建等にかかる費用補助
	災害ごみ処分支援	ごみ減量推進課	被災者への災害ごみ処分にかかる費用補助
	林業施設災害復旧事業費	農林茶業課	道路、河川、山林等における災害復旧への対応に要した費用
河川等災害復旧事業費	道路建設課	34,908	
	雨水対策課	46,895	
		34,948	
	職員給等人件費は含まない。		
事業評価	災害復旧計画に基づき各種災害復旧・被災者生活再建事業に取り組むことにより、被災者生活の早期回復及び被災箇所の復旧などを図ることができた。		

事務事業名	平成25年9月の台風第18号接近による災害関連経費	所管課	危機管理課
		決算額	100千円
事業内容	平成25年9月の台風第18号接近による災害において大きな被害が発生したため、被災者の生活再建等に取り組む。		
成果・実績	被災者の生活の早期回復を図るため、各種施策を実施した。		
	(千円)		
	事業	課名	事業概要
	地域再建被災者住宅等支援	危機管理課	被災者への住宅再建等にかかる費用補助
			100
事業評価	被災者生活再建事業に取り組んだことにより、被災者生活の早期回復を図ることができた。		

平成 27 年度決算成果説明書

総合計画の体系		所管部局
大分類	01 環境に配慮した安全・安心のまち	市長公室
中分類	02 安全・安心なまちづくりへの対応	
小分類	01 安全・安心なまちづくり	


事務事業名	地域防災力向上事業補助金	所管課	危機管理課											
		決算額	1,139千円											
事業内容	地域における自主的な防災訓練及び防災知識の啓発活動などを実施する町内会・自治会等に対して、防災訓練及び講演会などの取組に必要な事業費の4分の3を助成する制度（10万円を限度）を実施し、自主防災組織の育成を図る。													
成果・実績	平成27年度補助金交付状況 12団体													
	補助金実績（過去3カ年）													
	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 15%;">年度</th> <th style="width: 35%;">補助金交付額 (千円)</th> <th style="width: 50%;">交付団体数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td style="text-align: center;">25</td> <td style="text-align: center;">1,267</td> <td style="text-align: center;">13</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">26</td> <td style="text-align: center;">1,447</td> <td style="text-align: center;">15</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">27</td> <td style="text-align: center;">1,139</td> <td style="text-align: center;">12</td> </tr> </tbody> </table>	年度	補助金交付額 (千円)	交付団体数	25	1,267	13	26	1,447	15	27	1,139	12	
年度	補助金交付額 (千円)	交付団体数												
25	1,267	13												
26	1,447	15												
27	1,139	12												
事業評価	町内会・自治会等が実施する防災訓練等に補助金を交付したことにより、地域防災力の向上を促進することができた。今後は、地域の継続的な自主防災活動及び災害時要援護者避難の取組の支援を検討する必要がある。													

平成27年度決算成果説明書

総合計画の体系	
大分類	06 信頼される都市経営のまち
中分類	03 行政改革・適正な行政運営の推進
小分類	02 行政改革の推進

所管部局
政策経営部

事務事業名	行政改革審議会運営費	所管課	行政経営課
		決算額	95千円
事業内容	社会経済情勢の変化に対応した簡素にして効率的な市政の実現の推進及び行政改革の適切な進行管理を図るため、審議会を設置し行政改革大綱策定及び行政改革推進に必要な事項について調査及び審議、意見交換などを行う。		
成果・実績	「宇治市第6次行政改革実施計画」(計画期間平成25～29年度)の平成26年度の実績を受け、宇治市行政改革審議会を1回開催した。市民公募を含めた各委員から意見を聞き、実施計画に反映させた。		
事業評価	審議会を開催することにより、行政改革実施計画の進行管理に努めることができた。		

事務事業名	ふるさと応援寄付金(歳入)	所管課	行政経営課																		
		決算額	37,842千円																		
事業内容	自治体に寄付をすると住民税等が控除となるふるさと納税制度について、本市では「ふるさと宇治のまちづくりの応援のお願い」の取組として、平成20年10月から実施している。																				
成果・実績	<table border="1" style="margin-bottom: 10px;"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>23</th> <th>24</th> <th>25</th> <th>26</th> <th>27</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>件数</td> <td>16</td> <td>18</td> <td>24</td> <td>26</td> <td>1,403</td> </tr> <tr> <td>金額(千円)</td> <td>1,387</td> <td>925</td> <td>1,648</td> <td>1,397</td> <td>37,842</td> </tr> </tbody> </table> <ul style="list-style-type: none"> ・ 平成27年7月から宇治茶をはじめとしたお礼の特典を拡充。 ・ 平成27年12月からふるさとチョイスと連携したクレジットでの支払いも可能とした。 			年度	23	24	25	26	27	件数	16	18	24	26	1,403	金額(千円)	1,387	925	1,648	1,397	37,842
年度	23	24	25	26	27																
件数	16	18	24	26	1,403																
金額(千円)	1,387	925	1,648	1,397	37,842																
事業評価	市内外の方からの寄付を市政運営に役立てることができた。前年度に比べて、寄付件数・金額が大幅に増加しているとともに、本市のPRにも寄与することから、今後も制度のさらなる広報及び内容の充実を図りながら、寄付の活用方法についても検討する必要がある。																				

平成 27 年度決算成果説明書

総合計画の体系		所管部局
大分類	06 信頼される都市経営のまち	政策経営部
中分類	03 行政改革・適正な行政運営の推進	
小分類	06 持続的なまちの発展を目指した取組の推進	

事務事業名	公共施設等総合管理計画策定費	所管課	行政経営課
		決算額	2千円
事業内容	人口減少・少子高齢社会の進展等を踏まえ、今後の公共施設の利用需要に変化が見込まれることから、公共施設の老朽化等の現状を把握するとともに、その更新、統廃合、長寿命化など、次の世代にできる限り負担を残さない公共施設のあり方を検討する。		
成果・実績	公共施設等総合管理計画の策定に向けて、公共施設等総合管理計画策定及び固定資産台帳整備に関する業務委託契約を締結し、庁内説明会を実施するとともに、全庁調査を実施し、公共施設に関する台帳及び既存資料などの集約並びにデータの分析を実施した。		
事業評価	公共施設に関する台帳及びデータなどが所管課にて管理されており、所管課と連携して計画策定を進める必要がある。状況の把握、分析に努め、今後の公共施設のあり方について検討する。		

事務事業名	総合戦略策定費	所管課	行政経営課
		決算額	8,945千円
事業内容	人口減少及び少子高齢社会の進展が見込まれる中、多くの人に選ばれ持続的に発展するまちとなるためには、本市の地域特性を活かし、魅力あるまちづくりが必要となる。これらを踏まえ、人口減少への歯止め等を目指して、「宇治市人口ビジョン」及び「宇治市まち・ひと・しごと創生総合戦略」を策定する。		
成果・実績	<p>市民をはじめ産学官金労言を含めた外部有識者会議を4回開催し、幅広い意見を聞きながら、「宇治市人口ビジョン」及び「宇治市まち・ひと・しごと創生総合戦略」を策定した。</p> <p><5つの基本目標></p> <ul style="list-style-type: none"> ・『確固たる宇治ブランドの確立』 ～宇治市に新しい人の流れをつくる～ ・『市民の宇治への愛着の醸成と市民によるふるさと宇治の創生』 ～宇治への愛着から定住促進につなげる～ ・『まちの魅力を高める都市基盤の整備』 ～人・物の交流から活力ある宇治市を築く～ ・『地域経済の活力づくり』 ～宇治市における安定した雇用を創出する～ ・『若い世代の就労・結婚・出産・子育ての希望をかなえる環境づくり』 ～子どもが輝く未来の宇治市を築く～ 		
事業評価	外部有識者会議の幅広い意見を踏まえて、本市の特性を活かした「宇治市人口ビジョン」及び「宇治市まち・ひと・しごと創生総合戦略」を策定できた。今後は総合戦略の適切な進捗管理に努める必要がある。		

平成 27 年度決算成果説明書

総合計画の体系	
大分類	06 信頼される都市経営のまち
中分類	01 市民参加の機会と情報提供の充実
小分類	01 市民参加機会の充実と情報公開の推進

所管部局
政策経営部

事務事業名	各種統計調査費	所管課	政策推進課
事業内容	統計法の規定に基づき、市が国の法定受託事務を行い、人口・経済・社会情勢等について実態を把握する。		
成果・実績	法定受託事務として、下表の基幹統計に関する業務を実施した。		決算額 77,570千円
	名称 (所管)	調査期日 (周期・方法)	調査対象・目的等
	学校基本調査 (文部科学省)	27年5月1日 (毎年・ 全数調査)	幼稚園、小・中学校、専修学校などの生徒、教員などの人数及び施設などを調査し、学校に関する基礎資料を得る。
	国勢調査 (総務省)	27年10月1日 (5年毎・ 全数調査)	全世帯を対象として世帯状況、職業等を調査し、年齢別、産業別の人口の構造や世帯の構成、居住状況に関する基礎資料を得る。
	商業統計調査 (経済産業省)	(5年毎・ 全数調査)	平成26年商業統計調査結果に伴い、経済産業省において、各事業所の住所情報と商業集積地区等の領域との関連付けがされた資料を受領し、確認及び修正を行う。
	工業統計調査 (経済産業省)	(毎年実施・ ただし経済センサ ス-活動調査実施 前年は中止)	製造業を営む事業所を対象に、従業者数、出荷額等の調査を行った結果について、関係機関等との連絡調整を行う。
	農林業 センサス (農林水産省)	(5年毎・ 全数調査)	2015年農林業センサス実施後の調査区地図等の用品返却。また確報公表に向け、疑義のあった数値について確認及び修正を行う。
	経済センサス 調査区管理 (総務省)		調査実施上の支障が生じないように、必要に応じ調査区を修正する。また追加された事業所情報等について、調査区の確認を行う。
	平成28年 経済センサス- 活動調査準備 (総務省)		平成28年経済センサス-活動調査の実施に向け、実施体制の整備、調査員の確保、実査用品の準備等の業務を行う。
	調査員確保対策事業(所管：総務省)		45千円
	統計調査員の募集チラシを作成し、市内公共施設に配架を行い、調査員の確保に努めた。		
事業評価	各種統計調査を法定受託事務として適正に実施したことにより、本市の人口・経済・社会情勢等の実態把握を各施策に活用することができた。		

平成 27 年度決算成果説明書


総合計画の体系	
大分類	06 信頼される都市経営のまち
中分類	03 行政改革・適正な行政運営の推進
小分類	04 計画的・効率的な行財政運営の確立

所管部局
政策経営部

事務事業名	政策研究費	所管課	政策推進課
		決算額	925千円
事業内容	先進他都市の優れた制度を取り入れるとともに、本市の組織レベルの課題解決能力及び政策立案能力を高めるため、調査・研究等を行う。		
成果・実績	庁内で募集した研究課題の中から市民ニーズ等を踏まえて採択し、担当課において研究を行った。		
	採択事業一覧		
	担当課	研究テーマ	
	文化自治振興課	地域コミュニティ施策研究	
		文化芸術を生かした地域活性化に関する研究	
	商工観光課	事業者との協働による観光振興について	
	環境企画課	再生可能エネルギーの導入促進に係る研究について	
		新たな形式の墓地について	
	ごみ減量推進課	家庭から不要となった園芸土を回収・再生する仕組みの研究	
		市民ニーズを捉えた新たな啓発方法の研究	
	健康生きがい課	医療、介護、地域で支える看取りと終活について	
保健推進課	地域の関係団体等と連携した健康づくり・食育の推進（受動喫煙対策）について		
国民健康保険課	業務の効率化と市民サービスの向上		
教育支援課	放課後子ども教室運営手法の検討		
事業評価	行政課題の改善に取り組むとともに、職員の政策立案能力の向上に資することができた。今後も引き続き、採択基準等について検討を行い、幅広い行政分野での積極的な研究活動を促進する必要がある。		

平成 27 年度決算成果説明書

総合計画の体系		所管部局	
大分類	06 信頼される都市経営のまち	所管課	政策推進課
中分類	03 行政改革・適正な行政運営の推進	決算額	307千円
小分類	06 持続的なまちの発展を目指した取組の推進		

事務事業名	魅力発信プラットフォーム運営等事業費	所管課	政策推進課						
事業内容	<p>少子高齢社会の進展及び地方分権の推進による自治体間競争の激化が予測される時代であっても、多くの人に選ばれ持続的に発展するまちとなるため、市民、事業者、関係団体との協働により、本市の様々な魅力を発信する仕組みづくりの構築を目指して、「宇治市魅力発信行動指針」等に基づき、具体的な取組を実施する。</p>								
成果・実績	<p>「宇治市魅力発信行動指針」に基づき、宇治の魅力を発信する方策の一つである「宇治の魅力を支える仕組みづくり」を行うため、まちの魅力を支える人及び団体の協働する場として「宇治魅力発信プラットフォーム会議」を開催した。あわせて、魅力発信手法の一つとして、高校生グループ対抗宇治のPR動画コンテストを開催した。</p> <p style="text-align: center;">宇治魅力発信プラットフォーム会議 開催数 4回</p> <p style="text-align: center;">宇治の魅力づくり、魅力発信に携わる市民の方、NPO団体、その他関係機関が主体となり、参加者の方々が相互に連携することで、持続的な宇治のにぎわいの構築を目的とするプラットフォームを立ち上げ意見交換を行った。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-between; align-items: flex-start;"> <div style="width: 60%;"> <p>プラットフォーム会議を踏まえ、特に高校生のエネルギーをまちづくりに活かすことを目的に、市内高等学校の生徒が集う高校生版プラットフォーム会議「めっ茶、好きやねん!!～宇治に届け～」が協働事業として立ち上がり市長との意見交換等を行った。</p> </div> <div style="width: 35%; text-align: center;">  <p>高校生版プラットフォーム会議 「めっ茶、好きやねん!!～宇治に届け～」</p> </div> </div> <p style="margin-top: 20px;">高校生グループ対抗宇治のPR動画コンテスト 応募数 14作品</p> <table style="width: 100%; margin-left: 20px;"> <tr> <td>最優秀賞</td> <td style="text-align: right;">1作品</td> </tr> <tr> <td>ともいき審査員賞</td> <td style="text-align: right;">1作品</td> </tr> <tr> <td>優秀賞</td> <td style="text-align: right;">2作品</td> </tr> </table>			最優秀賞	1作品	ともいき審査員賞	1作品	優秀賞	2作品
最優秀賞	1作品								
ともいき審査員賞	1作品								
優秀賞	2作品								
事業評価	<p>宇治魅力発信プラットフォームを設置したことにより、宇治の魅力を支える市民・団体が集い意見交換を行うことができた。今後は協働プロジェクトの実施に向けた具体的な動き出しができるように進捗管理に努める。</p>								

平成 27 年度決算成果説明書

総合計画の体系	
大分類	06 信頼される都市経営のまち
中分類	03 行政改革・適正な行政運営の推進
小分類	04 計画的・効率的な行財政運営の確立

所管部局
政策経営部

事務事業名	地域活性化・地域住民生活等緊急支援交付金（歳入）	所管課	財務課																										
		決算額	361,565千円																										
事業内容	地方の活性化を促していくことを目的とした国の緊急経済対策の一環として、交付金を活用し、子育て支援事業及び観光地域づくり事業を実施した。																												
成果・実績	<p>< 地方創生先行型 ></p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>対象事業</th> <th>充当事業費(千円)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>宇治市総合戦略策定事業</td> <td>8,945</td> </tr> <tr> <td>魅力発信プラットフォーム運営等事業</td> <td>307</td> </tr> <tr> <td>雇用促進事業</td> <td>2,000</td> </tr> <tr> <td>産業活性化事業</td> <td>17,536</td> </tr> <tr> <td>子育て支援環境充実事業</td> <td>43,891</td> </tr> <tr> <td>子育て支援・学習環境等充実事業</td> <td>32,976</td> </tr> <tr> <td>観光地域づくり事業</td> <td>43,613</td> </tr> <tr> <td>合 計</td> <td>149,268</td> </tr> </tbody> </table> <p>< 地域消費喚起・生活支援型 ></p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>対象事業</th> <th>充当事業費(千円)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>宇治市プレミアム商品券発行事業</td> <td>165,313</td> </tr> <tr> <td>多子世帯支援事業等</td> <td>46,984</td> </tr> <tr> <td>合 計</td> <td>212,297</td> </tr> </tbody> </table>			対象事業	充当事業費(千円)	宇治市総合戦略策定事業	8,945	魅力発信プラットフォーム運営等事業	307	雇用促進事業	2,000	産業活性化事業	17,536	子育て支援環境充実事業	43,891	子育て支援・学習環境等充実事業	32,976	観光地域づくり事業	43,613	合 計	149,268	対象事業	充当事業費(千円)	宇治市プレミアム商品券発行事業	165,313	多子世帯支援事業等	46,984	合 計	212,297
	対象事業	充当事業費(千円)																											
宇治市総合戦略策定事業	8,945																												
魅力発信プラットフォーム運営等事業	307																												
雇用促進事業	2,000																												
産業活性化事業	17,536																												
子育て支援環境充実事業	43,891																												
子育て支援・学習環境等充実事業	32,976																												
観光地域づくり事業	43,613																												
合 計	149,268																												
対象事業	充当事業費(千円)																												
宇治市プレミアム商品券発行事業	165,313																												
多子世帯支援事業等	46,984																												
合 計	212,297																												
事業評価	交付金を活用して、子育て支援事業及び観光地域づくり事業などを実施したことにより、地域の活性化を図ることができた。今後も、国の動向に注視し、各種事業の状況の把握、効果等分析に努め、実施事業を検討する必要がある。																												

平成 27 年度決算成果説明書

総合計画の体系		所管部局
大分類	01 環境に配慮した安全・安心のまち	総務部
中分類	02 安全・安心なまちづくりへの対応	
小分類	01 安全・安心なまちづくり	

事務事業名	安全・安心まちづくり推進事業費	所管課	総務課
		決算額	1,095千円
事業内容	地域における犯罪の発生を未然に防止するため、「宇治市安全・安心まちづくり条例」に基づき、安全・安心なまちづくりの取組を展開する。		
成果・実績	<p>市民の防犯意識の啓発 75千円 年2回の「市民安全・安心推進旬間」では、7月に「防犯講演会」を、12月に宇治市教育委員会主催の「宇治市子どもの安全な生活を守るネットワーク会議」を開催した。</p> <p>安全・安心まちづくりへの助成 820千円 小学校区単位の防犯推進組織の活動を支援し、全22小学校区に助成金を交付した。</p> <p>第3次防犯推進計画印刷 199千円 宇治市第3次防犯推進計画を策定し、1,300部印刷した。</p>		
事業評価	防犯推進組織の活動支援等の取組により、安全・安心なまちづくりを促進できた。地域における自主的な防犯活動が一層推進されるように、宇治市第3次防犯推進計画に定める各種施策に取り組む必要がある。		

事務事業名	防犯カメラ設置事業費	所管課	総務課
		決算額	3,165千円
事業内容	市民の安全で安心な暮らしの実現に向け、街頭における犯罪の防止と市民の体感治安の向上を目的として、防犯カメラを設置する。		
成果・実績	<p>市内の駅周辺を中心に12台のカメラ設置を行った。</p> <p>カメラ等備品購入費 2,563千円</p> <p>カメラ等設置委託 573千円</p> <p>光熱費等 29千円</p>		
事業評価	路上犯罪の発生密度が高く、不特定多数の市民等が利用する駅周辺への設置を行うことにより、市民の体感治安の向上を図ることができた。防犯カメラ設置の効果を検証し、効果的な設置箇所を検討しながら、今後も引き続き実施する。		

平成 27 年度決算成果説明書

総合計画の体系		所管部局
大分類	06 信頼される都市経営のまち	総務部
中分類	01 市民参加の機会と情報提供の充実	
小分類	01 市民参加機会の充実と情報公開の推進	

事務事業名	情報公開審査会委員報酬 5人分	所管課	総務課
		決算額	636千円
事業内容	情報公開制度の適正かつ公正な運用を図るため、市長の附属機関として宇治市情報公開審査会（学識経験者5人）を設置し、審査を行う。		
成果・実績	公文書公開請求に係る不服申立てが6件あった。平成26年度の実施状況報告等のために1回、不服申立てに係る諮問事項を審議するため及び情報公開条例の改正に係る報告のために1回、不服申立てに係る諮問事項を審議するために6回、情報公開審査会を開催した。		
事業評価	審査会を開催することにより、情報公開制度の適正な運用を図ることができた。円滑な審査会運営に努め、今後も引き続き実施する。		

事務事業名	情報公開事務費	所管課	総務課										
		決算額	58千円										
事業内容	市政への積極的な市民参加と公正な市政を推進するため、宇治市情報公開条例に沿って、市が保有する公文書の閲覧または写しの交付を請求することができることにより、市民の知る権利を具体的に保障する。												
成果・実績	<p>市が保有する情報を公開することにより、市政に対する市民の理解と信頼を深め、公正な市政を推進した。</p> <p>公文書公開請求 379件 (件)</p> <table border="1" style="margin-left: 20px; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="padding: 2px;">全部公開</td> <td style="padding: 2px;">139</td> </tr> <tr> <td style="padding: 2px;">部分公開</td> <td style="padding: 2px;">211</td> </tr> <tr> <td style="padding: 2px;">非公開 (うち不存在)</td> <td style="padding: 2px;">21 (17)</td> </tr> <tr> <td style="padding: 2px;">取下げ</td> <td style="padding: 2px;">8</td> </tr> <tr> <td style="padding: 2px;">不服申立て</td> <td style="padding: 2px;">6</td> </tr> </table> <p>市出資法人（宇治市土地開発公社等8法人）及び指定管理者に対する公開申出 0件</p>			全部公開	139	部分公開	211	非公開 (うち不存在)	21 (17)	取下げ	8	不服申立て	6
全部公開	139												
部分公開	211												
非公開 (うち不存在)	21 (17)												
取下げ	8												
不服申立て	6												
事業評価	公文書公開請求に応じて公文書の閲覧、写しの交付など、適正な事務を執行することにより、公正な市政を推進することができた。今後も制度の円滑な運用に努める必要がある。												

平成 27 年度決算成果説明書

総合計画の体系		所管部局
大分類	06 信頼される都市経営のまち	総務部
中分類	01 市民参加の機会と情報提供の充実	
小分類	01 市民参加機会の充実と情報公開の推進	

事務事業名	個人情報保護審議会委員報酬 8人分	所管課	総務課
		決算額	344千円
事業内容	個人情報を保護し、適正かつ公正な運用を図るため、市長の附属機関として宇治市個人情報保護審議会（学識経験者5人、市民代表3人）を設置し、審議を行う。		
成果・実績	個人情報開示請求に係る不服申立てが1件あった。平成26年度の運用状況に係る報告、防犯カメラの設置状況及び個人情報の収集等の管理運営状況に係る報告、特定個人情報保護評価に係る報告及び個人情報保護条例の改正に係る報告のために1回、不服申立てに係る諮問事項を審議するために3回、個人情報保護審議会を開催した。		
事業評価	審議会を開催することにより、個人情報保護の適正な運用を図ることができた。円滑な審議会運営に努め、今後も引き続き実施する。		

事務事業名	個人情報事務費	所管課	総務課																				
		決算額	28千円																				
事業内容	宇治市個人情報保護条例は、行政の保有する個人情報に対するアクセス権及びコントロール権を具体的に保障し、個人の権利利益の保護を図るものである。情報公開制度とあわせ、制度の円滑な運用を行うことにより、より充実した豊かな市民生活を実現する。																						
成果・実績	<p>個人情報の適正な取扱いを確保し、個人の権利利益の保護を図った。</p> <p>これまでの個人情報流出事案については、人事異動及び担当業務再編などに伴い、特に新年度当初の4月及び5月に発生する傾向がみられることから、年度当初に職員が個人情報保護についての正しい認識と、緊張感を持って個人情報の取扱いを行うよう徹底を図った。</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 50%; text-align: center;">個人情報開示請求 43件 (件)</td> <td style="width: 50%; text-align: center;">個人情報訂正請求 3件 (件)</td> </tr> <tr> <td style="border: 1px solid black; text-align: center;"> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr><td style="text-align: center;">全部開示</td><td style="text-align: center;">14</td></tr> <tr><td style="text-align: center;">部分開示</td><td style="text-align: center;">22</td></tr> <tr><td style="text-align: center;">不開示 (うち不存在)</td><td style="text-align: center;">7 (7)</td></tr> <tr><td style="text-align: center;">不服申立て</td><td style="text-align: center;">1</td></tr> </table> </td> <td style="border: 1px solid black; text-align: center;"> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr><td style="text-align: center;">全部訂正</td><td style="text-align: center;">2</td></tr> <tr><td style="text-align: center;">部分訂正</td><td style="text-align: center;">0</td></tr> <tr><td style="text-align: center;">訂正拒否</td><td style="text-align: center;">1</td></tr> <tr><td style="text-align: center;">不服申立て</td><td style="text-align: center;">0</td></tr> </table> </td> </tr> </table> <p style="text-align: center;">市出資法人（宇治市土地開発公社等8法人）及び指定管理者に対する開示申出等 0件</p>			個人情報開示請求 43件 (件)	個人情報訂正請求 3件 (件)	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr><td style="text-align: center;">全部開示</td><td style="text-align: center;">14</td></tr> <tr><td style="text-align: center;">部分開示</td><td style="text-align: center;">22</td></tr> <tr><td style="text-align: center;">不開示 (うち不存在)</td><td style="text-align: center;">7 (7)</td></tr> <tr><td style="text-align: center;">不服申立て</td><td style="text-align: center;">1</td></tr> </table>	全部開示	14	部分開示	22	不開示 (うち不存在)	7 (7)	不服申立て	1	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr><td style="text-align: center;">全部訂正</td><td style="text-align: center;">2</td></tr> <tr><td style="text-align: center;">部分訂正</td><td style="text-align: center;">0</td></tr> <tr><td style="text-align: center;">訂正拒否</td><td style="text-align: center;">1</td></tr> <tr><td style="text-align: center;">不服申立て</td><td style="text-align: center;">0</td></tr> </table>	全部訂正	2	部分訂正	0	訂正拒否	1	不服申立て	0
個人情報開示請求 43件 (件)	個人情報訂正請求 3件 (件)																						
<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr><td style="text-align: center;">全部開示</td><td style="text-align: center;">14</td></tr> <tr><td style="text-align: center;">部分開示</td><td style="text-align: center;">22</td></tr> <tr><td style="text-align: center;">不開示 (うち不存在)</td><td style="text-align: center;">7 (7)</td></tr> <tr><td style="text-align: center;">不服申立て</td><td style="text-align: center;">1</td></tr> </table>	全部開示	14	部分開示	22	不開示 (うち不存在)	7 (7)	不服申立て	1	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr><td style="text-align: center;">全部訂正</td><td style="text-align: center;">2</td></tr> <tr><td style="text-align: center;">部分訂正</td><td style="text-align: center;">0</td></tr> <tr><td style="text-align: center;">訂正拒否</td><td style="text-align: center;">1</td></tr> <tr><td style="text-align: center;">不服申立て</td><td style="text-align: center;">0</td></tr> </table>	全部訂正	2	部分訂正	0	訂正拒否	1	不服申立て	0						
全部開示	14																						
部分開示	22																						
不開示 (うち不存在)	7 (7)																						
不服申立て	1																						
全部訂正	2																						
部分訂正	0																						
訂正拒否	1																						
不服申立て	0																						
事業評価	個人情報取扱事務登録簿の整備、個人情報開示事務などを適切に実施したことにより、個人情報の保護施策を適正に運用することができた。今後も制度の円滑な運用に努める必要がある。																						

平成 27 年度決算成果説明書

総合計画の体系			所管部局
大分類	06 信頼される都市経営のまち		総務部
中分類	01 市民参加の機会と情報提供の充実		
小分類	01 市民参加機会の充実と情報公開の推進		

事務事業名	廃棄文書リサイクル事業費	所管課	総務課						
		決算額	268千円						
事業内容	個人情報保護及び資源の有効利用の観点から、庁内業務で使用した個人情報を含む廃棄文書をリサイクル施設で溶解し、紙への資源再生処理を行う。								
成果・実績	機密文書をリサイクル施設で溶解し、文書の復元が不可能な状態にしてから、紙への再生処理を行った。 <table style="width: 100%; border: none;"> <tr> <td style="width: 40%;">廃棄文書リサイクル委託料</td> <td style="width: 20%; text-align: right;">268千円</td> <td style="width: 40%;"></td> </tr> <tr> <td>廃棄文書量</td> <td style="text-align: right;">45.33 t</td> <td></td> </tr> </table>			廃棄文書リサイクル委託料	268千円		廃棄文書量	45.33 t	
廃棄文書リサイクル委託料	268千円								
廃棄文書量	45.33 t								
事業評価	個人情報を含む廃棄文書を適正に処理し、個人情報保護とともに環境資源を有効活用することができた。紙の使用量削減に努める中で、用紙の再生利用を今後も引き続き実施する。								

総合計画の体系			所管部局
大分類	06 信頼される都市経営のまち		総務部
中分類	02 国際化の推進と平和への貢献		
小分類	02 平和への貢献		

事務事業名	平和のつどい事業費	所管課	総務課			
		決算額	4,490千円			
事業内容	本市は核兵器廃絶平和都市宣言の自治体として、世界の恒久平和に向け、宇治市平和都市推進協議会を母体としながら啓発等の事業を行っており、毎年8月を中心に平和事業を実施する。					
成果・実績	核兵器廃絶平和都市宣言の理念に基づき宇治市平和都市推進協議会が実施する、小・中学生平和訪問団の沖縄への派遣を始め、市人権啓発課・市教育委員会と共同開催した「平和 ひゅうまん夏フェスタ」の開催及び市民平和祈念集会などの平和啓発事業に対して、補助金を交付した。 27年度については、戦後70年という節目の年であったことから、特別事業として「平和の木植樹お披露目」「平和コンサート」「戦争遺品巡回展」を実施した。 <table style="width: 100%; border: none;"> <tr> <td style="width: 40%;">平和都市推進協議会補助金</td> <td style="width: 20%; text-align: right;">4,490千円</td> <td style="width: 40%;"></td> </tr> </table>			平和都市推進協議会補助金	4,490千円	
平和都市推進協議会補助金	4,490千円					
事業評価	啓発等の平和事業を実施したことにより、平和への市民意識の醸成を図ることができた。平和事業への参加者増加を図るなど、さらなる事業効果の向上を図るため、事業内容の工夫・検討に努める必要がある。今後も引き続き、あらゆる機会を通して平和への啓発を実施する。					

平成 27 年度決算成果説明書

総合計画の体系	
大分類	06 信頼される都市経営のまち
中分類	01 市民参加の機会と情報提供の充実
小分類	03 行政情報化の推進

所管部局
総務部

事務事業名	情報システム運営費（京都府共同開発分含む）	所管課	IT推進課
		決算額	330,338千円
事業内容	市民サービスの向上及び迅速な事務処理、適切な情報管理のため、住民基本台帳システムや各種税システムをはじめとするサーバ機を利用した様々なシステムを稼働させ情報処理を行っている。また、パソコンの利用促進により、システム化になじまない少量・多種・非定形の業務領域でのOA化を進め、より効率的な行政運用を図る。		
成果・実績	情報システムで使用する機器及びソフトウェアなどの維持管理、並びに制度改正に伴う情報システムの変更作業を行った。情報システムの安定稼働を実現し、市民へのサービス提供を行った。		
	保守・機器賃借等	183,573千円	
	社会保障・税番号制度導入	85,274千円	
	制度改正に伴うシステム改修	26,869千円	
	電算処理にかかるパンチ業務委託	10,476千円	
	京都府・市町村共同開発システム運用等負担金	9,480千円	
事業評価	制度改正に対応したシステム改修等により、各事業担当課の業務を円滑に進め、市民サービスを効率的に提供するための環境整備ができた。様々な市民サービスを安定的に提供するため、適切にシステムの改修及び更新を今後も引き続き実施する。また、管理するシステム数が増加しており、管理手法等を検討する必要がある。		

事務事業名	公共施設情報ネットワークシステム運営費	所管課	IT推進課
		決算額	107,124千円
事業内容	市公共施設の情報共有による市民サービスの提供と行政運営の効率化のため、公共施設情報ネットワークの安定的な運用を行う。		
成果・実績	公共施設情報ネットワークの安定的な運用を行った。		
	情報ネットワーク維持管理業務委託料	22,032千円	
	ネットワーク機器（L2L3スイッチ）更新業務委託料	18,900千円	
	光ファイバー使用料	16,637千円	
	情報ネットワーク用機器使用料	12,543千円	
	個人認証システム保守業務委託料	7,232千円	
	社会保障・税番号制度導入に係る環境整備	2,970千円	
	社会保障・税番号制度導入に係るネットワーク		
	環境設計支援業務委託料	6,912千円	
事業評価	公共施設情報ネットワークの安定的な運用を図ることにより、庁外施設を含めて円滑に業務を推進することができた。今後も、適切に維持管理しながら安定した運用に努める必要がある。		

平成27年度決算成果説明書

総合計画の体系		所管部局	
大分類	01 環境に配慮した安全・安心のまち		
中分類	01 環境保全対策の推進		総務部
小分類	01 地球環境対策の推進		

事務事業名	庁舎温室効果ガス削減対策事業費	所管課	管財課
		決算額	42,390千円
事業内容	平成25年度から新たに設定された地球温暖化対策実行計画（第4期計画）に沿って、平成29年度までに平成23年度比5%以上温室効果ガス削減を目指し、庁舎における排出量の削減を図るため、老朽化設備の改修等、省エネルギーの実現に向けた取組を行う。		
成果・実績	エネルギー消費の節減を図るため、庁舎建設時より稼働している庁舎中央監視装置の更新を行う事業に着手した。（平成28年12月完了予定の2カ年事業）		
	庁舎中央監視装置更新工事	42,390千円	
事業評価	老朽化した庁舎中央監視装置の更新に着手したことにより、宇治市地球温暖化対策実行計画に定める温室効果ガス排出量の削減に向けて取り組むことができた。今後も引き続き当該計画に基づく事業効果を検証しながら、具体的な取組を進める必要がある。		

総合計画の体系		所管部局	
大分類	06 信頼される都市経営のまち		
中分類	03 行政改革・適正な行政運営の推進		総務部
小分類	03 行政サービスの充実		

事務事業名	市有林造林事業費	所管課	管財課
		決算額	7,631千円
事業内容	国土保全とともに森林の多面的機能及び植林の材質を高めるため、池尾仙郷山等の市有林において、森林施業計画に基づき保育施業（下刈り、枝打ち、間伐など）を行うとともに、間伐材出材を実施する。		
成果・実績	森林施業計画に基づく保育事業を重点的に施業することとし、宇治市森林組合に枝打ち2.00ha、間伐13.48ha、作業道作設500m、出材19.565m ³ を委託実施した。		
	市有林造林事業委託料（枝打ち・間伐・作業道作設・出材）	6,842千円	
	間伐材売払収入	80千円	
事業評価	森林施業計画に基づき事業実施したことにより、市有林の保全を図ることができた。保育施業による森林整備を促進するため、今後も引き続き宇治市森林組合と連携した除間伐等の森林施業に努める必要がある。		

平成 27 年度決算成果説明書

総合計画の体系		所管部局
大分類	06 信頼される都市経営のまち	総務部
中分類	03 行政改革・適正な行政運営の推進	
小分類	04 計画的・効率的な行財政運営の確立	

事務事業名	京都地方税機構負担金	所管課	市民税課・納税課								
		決算額	124,370千円								
事業内容	納税者の利便性向上及び業務の効率化を図るとともに、公平・公正な税業務を一層推進するため、京都府及び府内25市町村（京都市を除く）で組織する広域連合の京都地方税機構において、法人市民税課税事務の一部及び移管した滞納案件の整理を行った。										
成果・実績	<p>法人市民税課税事務及び滞納市税の徴収業務を統合的に行うことにより、納税者の利便性向上及び業務の効率化を図るとともに、公平・公正な税業務を推進した。</p> <table style="width: 100%; border: none;"> <tr> <td style="padding-left: 20px;">京都地方税機構への移管額</td> <td style="text-align: right;">2,180,479千円</td> </tr> <tr> <td style="padding-left: 20px;">移管額のうち収入額</td> <td style="text-align: right;">861,757千円</td> </tr> </table> <table style="width: 100%; border: none;"> <tr> <td style="padding-left: 20px;">負担金（市民税課）</td> <td style="text-align: right;">6,357千円</td> </tr> <tr> <td style="padding-left: 20px;">負担金（納税課）</td> <td style="text-align: right;">118,013千円</td> </tr> </table>			京都地方税機構への移管額	2,180,479千円	移管額のうち収入額	861,757千円	負担金（市民税課）	6,357千円	負担金（納税課）	118,013千円
京都地方税機構への移管額	2,180,479千円										
移管額のうち収入額	861,757千円										
負担金（市民税課）	6,357千円										
負担金（納税課）	118,013千円										
事業評価	京都地方税機構と連携し、効率的に法人市民税課税事務及び滞納整理事務を行うことにより、公平・公正な税務行政を推進することができた。安定した財政基盤を確保するため、京都地方税機構と連携した市税徴収業務を今後も引き続き実施する。										

平成 27 年度決算成果説明書

総合計画の体系		所管部局
大分類	02 ゆたかな市民生活ができるまち	市民環境部
中分類	01 住民自治の推進	
小分類	01 地域コミュニティの育成	

事務事業名	地域社会貢献者表彰費	所管課	文化自治振興課
		決算額	122千円
事業内容	市制施行50周年を記念に創設した制度で、市民の主体的な活動を奨励するとともに、住民自治の精神に基づき、明るく住みよい心豊かな地域社会づくりを推進するため、自発的な善行及び優れた活動によって、地域社会に対し特に顕著な貢献を行った者を表彰する。		
成果・実績	地域社会貢献者表彰式 平成28年3月1日 16回目となる平成27年度は、11件表彰した。 受賞者名 上村 正文 氏 辻 伊三雄 氏 梅村 岳伸 氏 西堀 あき子 氏 岡田 盛敏 氏 林田 範子 氏 古世 哲也 氏 匿名 2名（本人の申出による） 近藤 豊 氏 京都市南ライオンズクラブ		
事業評価	自発的な善行及び優れた活動を表彰したことにより、地域活動の活性化及び社会貢献に対する市民の意欲向上を図ることができた。被表彰者の選定については、基準の見直しを検討する中で、今後も引き続き実施する。		

事務事業名	ふれあいセンター運営費	所管課	文化自治振興課
		決算額	19,827千円
事業内容	菟道、伊勢田、平盛のふれあいセンターの管理、運営を行う。地域のコミュニティ形成の場として子どもから高齢者まで、地域住民の交流、趣味、娯楽、各種会合、講習会及びスポーツといった活動に利用されており、貸館業務を主とした運営を行う。		
成果・実績	市民が気軽に利用できる施設として、子どもから高齢者まで幅広い層に親しまれている。菟道・伊勢田・平盛の3館で、サークル活動及び各種会合などに年間58,339人の利用があった。		
事業評価	ふれあいセンターの適切な管理運営により、地域住民のコミュニティ活動を促進することができた。施設の老朽化及び耐震の課題がある中で、市民ニーズ及び利用状況などを踏まえ、今後のふれあいセンターのあり方について、引き続き検討する必要がある。		

平成27年度決算成果説明書

総合計画の体系	
大分類	02 ゆたかな市民生活ができるまち
中分類	01 住民自治の推進
小分類	01 地域コミュニティの育成

所管部局
市民環境部

事務事業名	コミュニティセンター運営費	所管課	文化自治振興課								
		決算額	66,563千円								
事業内容	平成18年度から地域住民で組織する地区コミュニティ推進協議会を指定管理者とし、住民自治の振興とコミュニティ活動の拠点となるコミュニティセンターの管理運営を行う。市民相互の交流と地域活動の振興、市民文化の向上、福祉の増進に寄与するとともに、住民自治意識の高揚と地域活性化に貢献する。										
成果・実績	<p>西小倉・東宇治・南宇治・槇島の4つのコミュニティセンターで合わせて15,003件、169,857人の利用があった。</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 60%;">西小倉コミュニティセンター運営費</td> <td style="text-align: right;">15,221千円</td> </tr> <tr> <td>東宇治コミュニティセンター運営費</td> <td style="text-align: right;">19,369千円</td> </tr> <tr> <td>南宇治コミュニティセンター運営費</td> <td style="text-align: right;">17,842千円</td> </tr> <tr> <td>槇島コミュニティセンター運営費</td> <td style="text-align: right;">14,131千円</td> </tr> </table>			西小倉コミュニティセンター運営費	15,221千円	東宇治コミュニティセンター運営費	19,369千円	南宇治コミュニティセンター運営費	17,842千円	槇島コミュニティセンター運営費	14,131千円
西小倉コミュニティセンター運営費	15,221千円										
東宇治コミュニティセンター運営費	19,369千円										
南宇治コミュニティセンター運営費	17,842千円										
槇島コミュニティセンター運営費	14,131千円										
事業評価	指定管理者によって、適切に管理運営できた。地域コミュニティの拠点施設として、今後も適切な施設の管理運営に努める必要がある。										

事務事業名	集会所維持管理費	所管課	文化自治振興課
		決算額	44,058千円
事業内容	住民相互の連帯と福祉・文化の向上を図るため、地域コミュニティづくりの拠点となる集会所の維持管理を行う。		
成果・実績	市が管理する集会所131カ所について、適切な管理運営を行うとともに、必要に応じて改修・修繕を実施し環境整備を行った。また、集会所7カ所の耐震診断を行った。		
事業評価	公立集会所の適切な管理運営により、地域住民の身近な活動の場としてコミュニティの活性化を図ることができた。施設の耐震診断の結果を踏まえて、今後の対策を検討する必要がある。		

平成27年度決算成果説明書




総合計画の体系	
大分類	02 ゆたかな市民生活ができるまち
中分類	01 住民自治の推進
小分類	01 地域コミュニティの育成

所管部局
市民環境部

事務事業名	民間集会所環境整備事業費補助金	所管課	文化自治振興課
		決算額	4,832千円
事業内容	町内会・自治会が自主的に管理運営する民間集会所の新築及び修繕などについて補助を行う。		
成果・実績	民間集会所の環境整備として、修繕4件、下水道接続2件、光熱水費28件に補助金を交付した。		
事業評価	宇治市民間集会所環境整備事業費補助金の交付に関する条例に基づき適正に執行し、町内会・自治会が管理運営する民間集会所を地域住民の身近な活動の場としてコミュニティの活性化を図ることができた。制度の周知を図り、今後も引き続き実施する。		

総合計画の体系	
大分類	02 ゆたかな市民生活ができるまち
中分類	02 市民文化の創造
小分類	01 市民文化の創造・発展


所管部局
市民環境部

事務事業名	文化祭開催費	所管課	文化自治振興課																						
		決算額	1,546千円																						
事業内容	子ども手づくり文化祭は、児童・生徒の地域、学校を越えた交流、情操豊かな青少年の育成及び健全な児童文化活動を推進することを目的に行う。市民文化芸術祭は、市民が日頃の文化活動の成果を発表し、あわせて相互交流を行うことにより、文化意識の高揚と文化活動の推進を図る。																								
成果・実績	子ども手づくり文化祭では、市立小学校の協力のもと、展示、クラフト、お茶席を開催し、市民文化芸術祭では、展示、舞台披露、お茶席、フリーマーケットを開催した。また、市民文化芸術祭から独立した参加事業（いけばな・音楽・写真・絵画）を開催した。																								
	<table border="0"> <tr> <td>子ども手づくり文化祭</td> <td>開催日</td> <td>9月19日</td> <td rowspan="2"></td> </tr> <tr> <td></td> <td>来場者数</td> <td>約2,400人</td> </tr> <tr> <td>市民文化芸術祭</td> <td>開催日</td> <td>10月24日、25日</td> <td rowspan="3">宇治市民文化芸術祭</td> </tr> <tr> <td></td> <td>参加者数</td> <td>約1,000人</td> </tr> <tr> <td></td> <td>来場者数</td> <td>約7,000人</td> </tr> <tr> <td>同参加事業</td> <td>参加者数</td> <td>約750人</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>来場者数</td> <td>約2,400人</td> <td></td> </tr> </table>	子ども手づくり文化祭	開催日	9月19日			来場者数	約2,400人	市民文化芸術祭	開催日	10月24日、25日	宇治市民文化芸術祭		参加者数	約1,000人		来場者数	約7,000人	同参加事業	参加者数	約750人			来場者数	約2,400人
子ども手づくり文化祭	開催日	9月19日																							
	来場者数	約2,400人																							
市民文化芸術祭	開催日	10月24日、25日	宇治市民文化芸術祭																						
	参加者数	約1,000人																							
	来場者数	約7,000人																							
同参加事業	参加者数	約750人																							
	来場者数	約2,400人																							
事業評価	文化祭の開催により、市民相互の文化交流を促進し、文化活動の活性化を図ることができた。より文化意識を高めるため、効果的な実施方法を検討しながら、今後も引き続き実施する。																								

平成27年度決算成果説明書

総合計画の体系	
大分類	02 ゆたかな市民生活ができるまち
中分類	02 市民文化の創造
小分類	01 市民文化の創造・発展


所管部局
市民環境部


事務事業名	源氏ろまん事業費	所管課	文化自治振興課
		決算額	24,264千円
事業内容	ふるさと創生事業として創設した「紫式部文学賞」「紫式部市民文化賞」及び両賞の贈呈式を中心としたイベントである「源氏ろまん」事業を実施し、文化の振興とともに「源氏物語のまち宇治」としての本市のイメージアップを図る。		
成果・実績	<p>第25回紫式部文学賞・紫式部市民文化賞 11月15日に贈呈式と記念イベントを行った。記念イベントでは、約1,300人の観客に対して源氏物語の朗読及び瀬戸内寂聴源氏物語ミュージアム名誉館長と假屋崎省吾氏（華道家）による講演が行われた。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="width: 60%;"> <p>紫式部文学賞（全国から61作品の推薦） 佐藤 愛子氏 「晩鐘」</p> <p>紫式部市民文化賞（43作品の応募・推薦） 若原 憲和氏 「太八の青春と死 - 戦時下の昭和史断章」</p> <p>みぎわ せり氏 「ひなの川、町を流れて - 生家への鎮魂歌」</p> <p>選考委員特別賞 宇治川柳会 「宇治川柳会 創立五周年記念合同句集 番茶」</p> </div> <div style="width: 35%; text-align: center;">  <p>紫式部文学賞贈呈式</p> </div> </div> <p>宇治十帖スタンプラリー 宇治十帖の古跡をめぐる基本コースと、宇治上神社及び平等院など史跡・寺社を巡る健脚コースの2コースを設定し、スタンプラリーを開催した。 開催日数 5日(10月24日、25日、31日、11月1日、3日) 踏破者数 17,744人</p> <p>宇治田楽まつり 平安時代に栄えた田楽を、現代風にアレンジし、10月17日に府立宇治公園中の島で盛大に宇治田楽まつりとして開催した。 出演者数 約100人 観覧者数 約2,500人</p>		
事業評価	源氏物語をテーマとするイベントを開催してきたことにより、市民の文化活動の活性化及び「源氏物語のまちづくり」の定着を図ることができた。幅広い分野において事業の効果が期待できるような実施方法等を検討する中で、今後も引き続き実施する。		

平成27年度決算成果説明書

総合計画の体系	
大分類	02 ゆたかな市民生活ができるまち
中分類	02 市民文化の創造
小分類	01 市民文化の創造・発展

所管部局
市民環境部


事務事業名	合唱団活動費	所管課	文化自治振興課
		決算額	2,570千円
事業内容	合唱団活動を通して、自主的で情操豊かな児童・生徒を育成することを目的とし、昭和54年8月に、国際児童年を記念して結成した。毎週土曜日の定期練習及び定期演奏会の開催のほか、各種発表会・市の公式行事等に出演する。		
成果・実績	<p>団員は市内在住の小学2年生から中学3年生までの約80人で、毎週土曜日午後の練習、強化合宿、定期演奏会のほか、市行事及びコンサート出演など、年間10回を超える演奏を行った。また、市民交流ロビーコンサート及び京都フィルハーモニー室内合奏団と共演するなど精力的に活動を行った。</p>		
事業評価	合唱団活動に取り組んだことにより、小・中学生の文化意識及び協調性を育てることができた。市内小・中学校の協力を得ながら団員確保に努め、今後も引き続き実施する。		

事務事業名	市民交流ロビーコンサート開催費	所管課	文化自治振興課
		決算額	370千円
事業内容	昼休憩時間にミニコンサートを開催し、市庁舎を市民の気軽な音楽活動の発表の場にするにより、音楽文化の促進と市民相互の交流を図るとともに、市民にとって親しみやすい市役所にする。		
成果・実績	<p>昼休み中の午後0時15分～45分に市役所1階市民交流ロビーを会場として開催し、毎回多数の観客を迎えた。</p> <p>開催回数 17回 延べ観覧者数 3,093人</p>		
事業評価	市民交流ロビーコンサートを開催したことにより、市民の文化活動及び相互交流を促進することができた。観覧者が多くあることから、今後も引き続き実施する。		

平成27年度決算成果説明書

総合計画の体系	
大分類	02 ゆたかな市民生活ができるまち
中分類	02 市民文化の創造
小分類	01 市民文化の創造・発展

所管部局
市民環境部

事務事業名	文化センター管理運営費	所管課	文化自治振興課
		決算額	134,247千円
事業内容	<p>(公財)宇治市文化センターを指定管理者とし、文化会館の健全な管理・運営を行うとともに、企画立案した自主事業の実施及び優れた文化、芸術公演を公開して、市民文化の振興を図る。また、市内団体及びサークルなどが文化会館を使用する際の使用料の助成(補助)を行う。</p>		
成果・実績	<p>自主事業として、プロのアーティストによるコンサート、源氏物語宇治十帖朗読劇、ファミリーミュージカル、宇治シネマ劇場など、幅広い分野の事業に取り組み、21,958人が鑑賞した。 また、市民の文化芸術活動の普及及び振興を図るため、文化事業基金による市内文化団体等に対する文化会館使用料の助成を18件行った。</p>		
			
	<p>ファミリーミュージカル「ピノッキオ」</p>		
事業評価	<p>指定管理者によって、適切に管理運営できた。市民の文化芸術活動の普及・振興を図る施設であり、優れた文化・芸術の発信拠点として、今後も適切な管理運営に努める。</p>		

総合計画の体系	
大分類	02 ゆたかな市民生活ができるまち
中分類	05 勤労者福祉・消費生活の向上
小分類	02 消費生活の充実

所管部局
市民環境部

事務事業名	消費者支援事業費	所管課	文化自治振興課
		決算額	677千円
事業内容	<p>事業者と消費者との間の取り引きに関して生じた苦情を専門の消費生活相談員が助言、情報提供、あっせんなどを行うとともに、市民の消費生活の向上を図るための啓発を行う。</p>		
成果・実績	<p>消費生活センターに専門の消費生活相談員を3人配置し、1,055件の相談に応じた。また、複雑多岐にわたる案件に対処する必要があることから、消費生活相談員の一層のレベルアップを図るために、各種研修会等へ参加した。さらに、消費生活に関する市民啓発等を行った。</p>		
事業評価	<p>専門の消費生活相談員が適切な助言、あっせんなどを行うことにより、消費生活の改善、向上に寄与することができた。今後も広範な消費生活に関する苦情及び相談が想定されることから、消費生活に関する市民啓発を図りながら、相談員の一層の資質向上に努める必要がある。</p>		

平成 27 年度決算成果説明書

総合計画の体系	
大分類	06 信頼される都市経営のまち
中分類	01 市民参加の機会と情報提供の充実
小分類	02 広報・広聴活動の充実

所管部局
市民環境部

事務事業名	広聴事務費	所管課	文化自治振興課
		決算額	407千円
事業内容	<p>市民の行政に対する苦情・要望及び困り事などについての相談機関として、関係各課及び他の行政機関に事案の解決を図るべく依頼要請を行うなどして市民の生活環境の向上を図る。</p>		
成果・実績	<p>市民相談</p> <p>市民相談・行政懇談会等の内容を関係部課へ伝え、適切な措置を求め、市政に反映するように努めた。あわせて、総務省主催の行政相談への協力を行った。</p> <p>さらに、市役所、公民館、コミュニティセンターなどの公共施設29カ所に設置している「市民の声」投書箱により、より広い範囲から市政に対する意見、提言などを求めた。</p> <p>なお、市民相談では、近隣関係、相続、夫婦・親子、金銭貸借など市民の個々の悩みごと、心配ごとなど日常生活上での諸問題についても、専門的な相談機関を紹介するなどの対応を行い、市政への親しみと信頼感の向上に努めた。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市民相談 1,262件 (市政相談874件、他の行政機関等41件、民事相談ほか347件) ・行政懇談会 10回 ・行政相談 12回 (毎月第3木曜日) <p>市政モニター</p> <p>広く全市的視野に立った調査広聴として市政モニター制度を実施した。</p> <p>市政モニター162人(平成27年度末現在)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市政モニターアンケート(2回4テーマ実施) <ul style="list-style-type: none"> 第1回アンケート(回収率73.5%) <ul style="list-style-type: none"> 文化に関するアンケート 宇治市の広報に関するアンケート 第2回アンケート(回収率74.1%) <ul style="list-style-type: none"> 市政モニター事業に関するアンケート 防災に関するアンケート ・市政モニター公共施設見学会(2回実施) <ul style="list-style-type: none"> 市政について理解を深め、市政モニター活動の参考となるよう実施した。 第1回 7月14日 エコ・ポート長谷山、リサイクルセンター長谷山、クリーン21長谷山 第2回 11月18日 うじ安心館 ・市政モニター随時通信 14テーマ ・市政モニターのつどい(5月28日) <ul style="list-style-type: none"> 「市政モニター制度について」「宇治市の総合計画について」 		
事業評価	<p>市民相談及び市政モニター制度を実施したことにより、市民ニーズを把握するとともに市民の要望を市政に反映することができた。今後も幅広く市民ニーズを把握できるように広聴手法の充実に努める必要がある。</p>		

平成 27 年度決算成果説明書

総合計画の体系	
大分類	06 信頼される都市経営のまち
中分類	03 行政改革・適正な行政運営の推進
小分類	03 行政サービスの充実

所管部局
市民環境部

事務事業名	行政サービスコーナー運営費	所管課	市民課														
		決算額	54,070千円														
事業内容	小倉、木幡など市内6カ所の行政サービスコーナーにおいて、住民票の写し、戸籍全部事項証明書などの市民課の諸証明及び税関係の諸証明の発行業務等を行う。																
成果・実績	<p>諸証明及び税関係証明書の取扱い、他課業務の申請書等の受付を行った。</p> <p>市民課業務の年間取扱い件数（公用請求を除く）</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 70%;">名称</th> <th style="width: 30%;">件数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>小倉行政サービスコーナー</td> <td style="text-align: right;">12,217</td> </tr> <tr> <td>木幡行政サービスコーナー</td> <td style="text-align: right;">14,224</td> </tr> <tr> <td>南宇治行政サービスコーナー</td> <td style="text-align: right;">9,183</td> </tr> <tr> <td>榎島行政サービスコーナー</td> <td style="text-align: right;">7,257</td> </tr> <tr> <td>東宇治行政サービスコーナー</td> <td style="text-align: right;">6,853</td> </tr> <tr> <td>開行政サービスコーナー</td> <td style="text-align: right;">4,795</td> </tr> </tbody> </table>			名称	件数	小倉行政サービスコーナー	12,217	木幡行政サービスコーナー	14,224	南宇治行政サービスコーナー	9,183	榎島行政サービスコーナー	7,257	東宇治行政サービスコーナー	6,853	開行政サービスコーナー	4,795
名称	件数																
小倉行政サービスコーナー	12,217																
木幡行政サービスコーナー	14,224																
南宇治行政サービスコーナー	9,183																
榎島行政サービスコーナー	7,257																
東宇治行政サービスコーナー	6,853																
開行政サービスコーナー	4,795																
事業評価	諸証明の発行業務を市内6カ所で実施したことにより、地域住民の利便性向上に努めることができた。今後も市民ニーズを踏まえて、サービスの充実に努める必要がある。																

事務事業名	受付証明等事務費	所管課	市民課																								
		決算額	62,031千円																								
事業内容	住民票の写し、印鑑登録証明書、戸籍全部事項証明書などの諸証明発行業務を行う。																										
成果・実績	<p>住民票等諸証明発行数（行政サービスコーナー取扱い分を含む）</p> <p style="text-align: right;">（通）</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tbody> <tr> <td>印鑑登録証明書交付数</td> <td style="text-align: right;">60,364</td> </tr> <tr> <td>住民票の写し交付数</td> <td style="text-align: right;">78,522</td> </tr> <tr> <td>戸籍全部事項証明書等交付数</td> <td style="text-align: right;">17,960</td> </tr> <tr> <td>戸籍個人事項証明書等交付数</td> <td style="text-align: right;">5,456</td> </tr> <tr> <td>除かれた戸籍全部事項証明書等交付数</td> <td style="text-align: right;">7,579</td> </tr> <tr> <td>除かれた戸籍個人事項証明書等交付数</td> <td style="text-align: right;">178</td> </tr> <tr> <td>戸籍附票交付数</td> <td style="text-align: right;">2,912</td> </tr> <tr> <td>閲覧件数</td> <td style="text-align: right;">10</td> </tr> <tr> <td>諸証明交付数</td> <td style="text-align: right;">7,303</td> </tr> <tr> <td>印鑑登録証交付数</td> <td style="text-align: right;">5,826</td> </tr> <tr> <td>住民基本台帳カード交付数</td> <td style="text-align: right;">337</td> </tr> <tr> <td>通知カード・個人番号カード再交付数</td> <td style="text-align: right;">164</td> </tr> </tbody> </table> <p style="text-align: right;">は件数</p> <p>公的個人認証サービスの申請件数 159件（うち2件無料） （住民基本台帳カード搭載分）</p>			印鑑登録証明書交付数	60,364	住民票の写し交付数	78,522	戸籍全部事項証明書等交付数	17,960	戸籍個人事項証明書等交付数	5,456	除かれた戸籍全部事項証明書等交付数	7,579	除かれた戸籍個人事項証明書等交付数	178	戸籍附票交付数	2,912	閲覧件数	10	諸証明交付数	7,303	印鑑登録証交付数	5,826	住民基本台帳カード交付数	337	通知カード・個人番号カード再交付数	164
印鑑登録証明書交付数	60,364																										
住民票の写し交付数	78,522																										
戸籍全部事項証明書等交付数	17,960																										
戸籍個人事項証明書等交付数	5,456																										
除かれた戸籍全部事項証明書等交付数	7,579																										
除かれた戸籍個人事項証明書等交付数	178																										
戸籍附票交付数	2,912																										
閲覧件数	10																										
諸証明交付数	7,303																										
印鑑登録証交付数	5,826																										
住民基本台帳カード交付数	337																										
通知カード・個人番号カード再交付数	164																										
事業評価	各種証明書の発行等の事務を適正に執行した。今後は市民ニーズを踏まえて、さらなるサービスの充実に検討する必要がある。																										

平成 27 年度決算成果説明書

総合計画の体系		所管部局
大分類	02 ゆたかな市民生活ができるまち	市民環境部
中分類	03 農林漁業・茶業の振興	
小分類	01 農業の振興	

事務事業名	新規就農者確保事業費	所管課	農林茶業課			
		決算額	5,250千円			
事業内容	農業者の高齢化が急速に進展する中、農業を持続させるためには青年の新規就農者を確保する必要があることから、青年の就農意欲の喚起と就農後の定着を図る。					
成果・実績	新規就農者5人に対し、青年就農給付金（経営開始型）を給付した。 給付対象者5人のうち2人に前期・後期合わせて1,500千円をそれぞれ給付し、3人に前期分750千円を給付した。 <table border="1" style="margin: 10px auto; width: 80%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="padding: 5px;">青年就農給付金 （経営開始型）</td> <td style="padding: 5px;">1,500千円×2人 （3,000千円）</td> <td style="padding: 5px;">750千円×3人 （2,250千円）</td> </tr> </table>			青年就農給付金 （経営開始型）	1,500千円×2人 （3,000千円）	750千円×3人 （2,250千円）
青年就農給付金 （経営開始型）	1,500千円×2人 （3,000千円）	750千円×3人 （2,250千円）				
事業評価	新規就農者に対し青年就農給付金を給付したことにより、農業の持続と振興を図ることができた。農業者の高齢化に対応する取組が必要であり、国、京都府の動向を注視し、今後も引き続き実施する。					

事務事業名	宇治のこだわり農業支援事業費	所管課	農林茶業課												
		決算額	1,250千円												
事業内容	国が行う経営所得安定対策等の目的を踏まえ、本市独自の地域特産物を振興するため、指定する転作奨励作物について助成を行う。														
成果・実績	本市独自の転作奨励作物の助成を実施することで、国が行う経営所得安定対策等の各事業を補完するとともに、地域特産物の生産を振興した。 <table style="margin: 10px auto; width: 80%;"> <tr> <td style="padding: 5px;">奨励作物</td> <td colspan="3" style="padding: 5px;">ブロッコリー、水菜、ナス、ねぎ、キャベツ、ほうれん草、伏見とうがらし、花き、花壇苗、大豆、加工用米</td> </tr> <tr> <td style="padding: 5px;">生産調整目標面積</td> <td style="padding: 5px;">87.74 ha</td> <td style="padding: 5px;">達成率</td> <td style="padding: 5px;">106.31 %</td> </tr> <tr> <td style="padding: 5px;">生産調整実施面積</td> <td style="padding: 5px;">93.27 ha</td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			奨励作物	ブロッコリー、水菜、ナス、ねぎ、キャベツ、ほうれん草、伏見とうがらし、花き、花壇苗、大豆、加工用米			生産調整目標面積	87.74 ha	達成率	106.31 %	生産調整実施面積	93.27 ha		
奨励作物	ブロッコリー、水菜、ナス、ねぎ、キャベツ、ほうれん草、伏見とうがらし、花き、花壇苗、大豆、加工用米														
生産調整目標面積	87.74 ha	達成率	106.31 %												
生産調整実施面積	93.27 ha														
事業評価	本市の農業の実情に応じた助成を実施したことにより、水田を活用した地域特産物の振興とともに、転作による米の生産調整の円滑化を図ることができた。今後も国の動向に注視し、地域特産物の振興に努める必要がある。														

平成 27 年度決算成果説明書

総合計画の体系	
大分類	02 ゆたかな市民生活ができるまち
中分類	03 農林漁業・茶業の振興
小分類	01 農業の振興

所管部局
市民環境部

事務事業名	農道・ため池・農業用施設維持管理費	所管課	農林茶業課
		決算額	8,070千円
事業内容	農業基盤の保全整備を図るため、本市が所有または管理する農道及びため池、農業用水路の維持管理等を行う。		
成果・実績	農業用水路の草刈り及び浚渫をはじめ、農業用施設の修繕等維持管理に努めた。		
事業評価	農業用施設の適正な維持管理により、農地等の農業基盤の環境保全を図ることができた。今後も適切な施設管理に努める。		

事務事業名	巨椋池地域排水対策協議会負担金	所管課	農林茶業課
		決算額	7,522千円
事業内容	巨椋池土地改良区管理水路への都市排水流入による維持管理費用の負担について、本市、京都市、久御山町及び巨椋池土地改良区で平成3年6月に設立した巨椋池地域排水対策協議会において、負担割合を定め共同で管理を行う。		
成果・実績	巨椋池地域排水対策協議会への負担を通して、排水路の維持管理を行い、排水機能の保全を図った。 巨椋池地域排水対策協議会管理水路 排水幹線、承水溝3号、主排4号、主排5号、主排8号		
事業評価	関係団体と巨椋池地域排水対策協議会を組織し、共同で適正な維持管理を実施したことにより、管理水路流域の排水機能の保全を図ることができた。今後の維持管理のあり方については引き続き検討する必要がある。		

平成 27 年度決算成果説明書

総合計画の体系	
大分類	02 ゆたかな市民生活ができるまち
中分類	03 農林漁業・茶業の振興
小分類	01 農業の振興

所管部局
市民環境部

事務事業名	巨椋池農地基盤整備事業費	所管課	農林茶業課
		決算額	5,952千円
事業内容	国営総合農地防災事業で整備された巨椋池排水機場の機能を高めるための巨椋池農地基盤整備事業に要する費用を負担する。本市、京都市、久御山町、巨椋池土地改良区で推進協議会を組織し、事業の早期完成を目指す。		
成果・実績	国営総合農地防災事業で整備された巨椋池排水機場に接続する排水関連施設の整備が、府営事業として実施され、防災機能の強化が進んだ。		
事業評価	関係団体と巨椋池農地基盤整備推進協議会を組織し共同で事業に取り組んだことにより、必要な農業用水の排水関連施設を整備することができた。今後も京都府等と連携して、事業の推進に努める必要がある。		

事務事業名	巨椋池排水機場管理協議会負担金	所管課	農林茶業課
		決算額	26,339千円
事業内容	国営総合農地防災事業で整備された巨椋池排水機場を管理するため、本市、京都市、久御山町で管理協議会を組織し、排水機場の管理を行う。		
成果・実績	巨椋池排水機場管理協議会への負担を通して、排水機場の適正な管理及び運転を行い、水害の防止に寄与した。		
事業評価	関係団体と巨椋池排水機場管理協議会を組織し排水機場の維持管理及び施設整備を行ったことにより、施設の機能回復及び災害の未然防止を図ることができた。今後も関係団体と連携し、排水機場の適切な施設管理に努める必要がある。		

平成27年度決算成果説明書

総合計画の体系		所管部局
大分類	02 ゆたかな市民生活ができるまち	市民環境部
中分類	03 農林漁業・茶業の振興	
小分類	01 農業の振興	

事務事業名	農地中間管理事業費	所管課	農林茶業課						
		決算額	5,727千円						
事業内容	平成26年度から農地流動化を進める手法として、各都道府県に一つ農地中間管理機構が設立された。農業振興地域内の農地を借り受け、担い手に対して転貸を行う農地中間管理機構の委託を受け、農地集積・耕作放棄地解消を図る。また機構を通して農地集積に協力した農業者へ支援を行う。								
成果・実績	<p>農地の借受希望者及び貸出希望者の公募を支援し、マッチングを行った結果、約7haの農地を担い手へ集積し、耕作放棄地化の解消・防止とともに担い手の農業経営基盤を強化した。また、農地を貸し付けた農業者等に対して補助金を交付した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・マッチング 11件 ・貸付済面積 約6.9ha <p>機構集積協力金【経営転換協力金】</p> <table style="margin-left: 20px;"> <tr> <td>0.5ha未満</td> <td>9件</td> </tr> <tr> <td>0.5ha超2.0ha未満</td> <td>1件</td> </tr> <tr> <td>2.0ha超</td> <td>1件</td> </tr> </table>			0.5ha未満	9件	0.5ha超2.0ha未満	1件	2.0ha超	1件
0.5ha未満	9件								
0.5ha超2.0ha未満	1件								
2.0ha超	1件								
事業評価	農地の借受希望者と貸出希望者のマッチングと協力金の交付により、農地集積及び耕作放棄地解消を図ることができた。国、京都府の動向に注視し、今後も引き続き当該機構を活用した支援に努める。								

事務事業名	多面的機能支払制度推進事業費	所管課	農林茶業課				
		決算額	11,966千円				
事業内容	農地の持続的発展と多面的機能の健全な発揮を図るため、効率的、安定的な農業構造の確立と併せて、その基盤となる農地、農業用水などの保全と地域の環境保全を図ることを目的として、活動地域において取り組まれる効果の高い共同活動と農業者ぐるみでの先進的な営農活動を一体的に支援する。						
成果・実績	<p>檜島地区農業環境保全組合の地域資源の基礎的保全活動及び質的向上を図る共同活動、並びに巨椋池農地保全会の施設の長寿命化のための活動に対して助成を行い、水路・側溝の泥上げ、路肩・法面の草刈り、破損施設の改修などを通じて、地域における環境意識の向上と農業環境の保全を進めた。</p> <p>対象農用地面積</p> <table style="margin-left: 20px;"> <tr> <td>農地維持支払及び資源向上支払（共同活動）</td> <td>3,630a</td> </tr> <tr> <td>資源向上支払（施設の長寿命化）</td> <td>23,632a</td> </tr> </table>			農地維持支払及び資源向上支払（共同活動）	3,630a	資源向上支払（施設の長寿命化）	23,632a
農地維持支払及び資源向上支払（共同活動）	3,630a						
資源向上支払（施設の長寿命化）	23,632a						
事業評価	農業基盤の保全活動に対して助成したことにより、農地の多面的機能の発揮を促進することができた。国、京都府の動向に注視し、地域が共同で行う農業環境の保全活動の推進に努める。						

平成 27 年度決算成果説明書

総合計画の体系	
大分類	02 ゆたかな市民生活ができるまち
中分類	03 農林漁業・茶業の振興
小分類	02 茶業の振興

所管部局
市民環境部

事務事業名	茶・茶園品評会出品奨励費	所管課	農林茶業課																																
		決算額	5,312千円																																
事業内容	市内産宇治茶の名声を維持し、さらに高めるためには、生産者の高い意欲と品評会での上位入賞、評価結果に基づく絶え間ない生産技術の改善と品質向上が不可欠であることから、品評会への出品を奨励するとともに、成績優秀者には報奨金等を交付する。																																		
成果・実績	<p>全国茶品評会、関西茶品評会など各種品評会への出品を奨励し、出品奨励金及び入賞報奨金などを交付した。</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; margin-top: 10px;"> <thead> <tr> <th></th> <th style="text-align: center;">第69回全国 茶品評会</th> <th style="text-align: center;">第68回関西 茶品評会</th> <th style="text-align: center;">第48回宇治市 茶品評会</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td style="text-align: center;">出品数</td> <td style="text-align: center;">43</td> <td style="text-align: center;">42</td> <td style="text-align: center;">35</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">優等数</td> <td style="text-align: center;">-</td> <td style="text-align: center;">-</td> <td style="text-align: center;">2</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">1等賞</td> <td style="text-align: center;">2</td> <td style="text-align: center;">2</td> <td style="text-align: center;">3</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">2等賞</td> <td style="text-align: center;">6</td> <td style="text-align: center;">7</td> <td style="text-align: center;">5</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">3等賞</td> <td style="text-align: center;">11</td> <td style="text-align: center;">12</td> <td style="text-align: center;">3</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">農林水産大臣賞</td> <td style="text-align: center;">-</td> <td style="text-align: center;">-</td> <td style="text-align: center;">-</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">産地賞</td> <td style="text-align: center;">-</td> <td style="text-align: center;">-</td> <td style="text-align: center;">-</td> </tr> </tbody> </table>				第69回全国 茶品評会	第68回関西 茶品評会	第48回宇治市 茶品評会	出品数	43	42	35	優等数	-	-	2	1等賞	2	2	3	2等賞	6	7	5	3等賞	11	12	3	農林水産大臣賞	-	-	-	産地賞	-	-	-
	第69回全国 茶品評会	第68回関西 茶品評会	第48回宇治市 茶品評会																																
出品数	43	42	35																																
優等数	-	-	2																																
1等賞	2	2	3																																
2等賞	6	7	5																																
3等賞	11	12	3																																
農林水産大臣賞	-	-	-																																
産地賞	-	-	-																																
事業評価	品評会への出品を奨励することにより、生産者の生産意欲を高めるとともにブランド力の向上につなげることができた。継続して質の高い宇治茶の生産に努める必要がある。																																		

事務事業名	優良茶園振興事業補助金	所管課	農林茶業課															
		決算額	380千円															
事業内容	市内産宇治茶の名声を維持し、さらに高めるためには、優良茶園の整備が不可欠であり、茶園拡大・新植及び改植事業への支援を通じ、品質及び生産力の向上を図る。																	
成果・実績	<p>新植及び改植事業に補助金を交付し、優良茶園の拡大を図った。</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; margin-top: 10px;"> <thead> <tr> <th></th> <th style="text-align: center;">事業実施件数</th> <th style="text-align: center;">面積(a)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td style="text-align: center;">茶園拡大</td> <td style="text-align: center;">0</td> <td style="text-align: center;">-</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">新植</td> <td style="text-align: center;">1</td> <td style="text-align: center;">4.7</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">改植</td> <td style="text-align: center;">3</td> <td style="text-align: center;">20.4</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">合計</td> <td style="text-align: center;">4</td> <td style="text-align: center;">25.1</td> </tr> </tbody> </table>				事業実施件数	面積(a)	茶園拡大	0	-	新植	1	4.7	改植	3	20.4	合計	4	25.1
	事業実施件数	面積(a)																
茶園拡大	0	-																
新植	1	4.7																
改植	3	20.4																
合計	4	25.1																
事業評価	新植及び改植事業に対し助成したことにより、宇治茶の生産振興を図ることができた。今後も引き続き、優良茶園の整備による質の高い宇治茶の生産に努める必要がある。																	

平成 27 年度決算成果説明書

総合計画の体系	
大分類	02 ゆたかな市民生活ができるまち
中分類	03 農林漁業・茶業の振興
小分類	02 茶業の振興

所管部局
市民環境部

事務事業名	高品質茶推進事業補助金	所管課	農林茶業課	
		決算額	4,392千円	
事業内容	市内産宇治茶の名声を維持し、さらに高めるために、品質の改善及び生産性の向上につながる農家の幅広い対策を支援する。			
成果・実績	環境にやさしい茶づくり及び寒冷紗等による茶園管理の省力化などへの支援を行うとともに、ほんず茶園及び手摘みによる高品質茶の生産には欠かせない市内産宇治茶の伝統の継承を図る農家の取組にも支援を行った。			
		事業実施件数	面積(a)	
	環境にやさしい茶生産対策	13	976.0	
	手摘み茶推進対策	32	-	
	凍霜害対策	0	-	
	伝統技術継承対策	18	343.1	
	生産省力化 対策	寒冷紗二重式	1	30.0
		寒冷紗一重式	0	-
		棚整備(永久棚)	0	-
		被覆張替え	5	33.9
点滴灌水		1	50.0	
	合計	70	1,433.0	
事業評価	ほんず茶園及び手摘みなどによる生産を支援することにより、より高品質な宇治茶の生産を促進できた。継続して宇治茶、とりわけ市内産の名声を維持するとともに、さらなる向上のため、質の高い宇治茶の生産に努める必要がある。			

事務事業名	市内産宇治茶ブランド化推進事業費	所管課	農林茶業課
		決算額	10,000千円
事業内容	宇治茶のブランド価値の源泉である宇治市内の茶園及び茶業を継承するため、宇治市内における茶業生産の現状を改めて整理し、市内産宇治茶の高付加価値化のあり方を定めるとともに、宇治茶商工業協会と本市で共同開発したオリジナル茶「碾玉(てんぎょく)」について市内産宇治茶の象徴としてブランド化を戦略的に推進するツールの一つとして有効な活用戦略を検討し、課題の解決を図る。		
成果・実績	茶業に関する現状を把握するための各種調査を実施した。また、調査結果に基づき「市内産宇治茶」のブランディング戦略構築のための研究会を4回開催し、市内産宇治茶振興に向けた取組案及び「碾玉」の活用方法についての提言を受けた。		
事業評価	茶業に関する各種調査及びブランド化に向けた研究を実施したことにより、市内産宇治茶振興に向けた手法の方向性を定めることができた。今後も宇治茶のブランド価値を高めることにより、茶価の向上及び生産農家の後継者育成など、茶業振興を図る必要がある。		

平成 27 年度決算成果説明書

総合計画の体系		所管部局
大分類	02 ゆたかな市民生活ができるまち	市民環境部
中分類	03 農林漁業・茶業の振興	
小分類	02 茶業の振興	

事務事業名	宇治茶おもてなし推進事業費	所管課	農林茶業課
		決算額	1,371千円
事業内容	「宇治茶の普及とおもてなしの心の醸成に関する条例」に基づき、おもてなしの心を醸成するために必要な事業を実施する。		
成果・実績	<ul style="list-style-type: none"> ・ 各種イベントにて市内産宇治茶の普及啓発を図った。 <ul style="list-style-type: none"> 7月 京都縦貫自動車道全線開通記念プレオープンイベント 9月 国民参加の森林づくりシンポジウム 平成28年2月 京あるき in東京2016～恋する京都ウィークス～ 3月 渋谷ヒカリエプロモーション（鎧塚俊彦シェフ×宇治茶伝道師小山茂樹氏対談トークショー） 日本旅行大宮支店前プロモーション ・ 宇治市役所1階市民交流ロビー給茶機を7月から約1カ月間、市内産玉露かりがねの新茶が味わえる特別仕様にした。 ・ 市主催の会議等の際に用意する飲み物について市内産玉露かりがねを使用した。 ・ 市職員向けにお茶の淹れ方研修を実施した。（全5回実施） 		
事業評価	「宇治茶の普及とおもてなしの心の醸成に関する条例」に基づき各種事業を実施したことにより、宇治茶の伝統及び茶業の情報発信を図ることができた。事業効果の検討に努めながら、今後も引き続き実施する。		

総合計画の体系		所管部局
大分類	02 ゆたかな市民生活ができるまち	市民環境部
中分類	03 農林漁業・茶業の振興	
小分類	03 林業・漁業の振興	

事務事業名	森林病虫害防除費	所管課	農林茶業課						
		決算額	1,334千円						
事業内容	従来の松くい虫対策に加え、平成22年度より実施している市有林を対象としたカシノナガキクイムシの対策で、薬剤による予防・保護を行うとともに、被害木の伐倒処理を行い、被害の蔓延を防止する。								
成果・実績	森林組合に委託して薬剤散布を実施した。 <table border="1" style="margin-left: 20px; width: 60%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 50%;">工種</th> <th style="width: 50%;">事業量(m³)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>松くい虫（樹幹注入）</td> <td style="text-align: center;">13</td> </tr> <tr> <td>カシノナガキクイムシ（コーティング）</td> <td style="text-align: center;">24</td> </tr> </tbody> </table>			工種	事業量(m ³)	松くい虫（樹幹注入）	13	カシノナガキクイムシ（コーティング）	24
工種	事業量(m ³)								
松くい虫（樹幹注入）	13								
カシノナガキクイムシ（コーティング）	24								
事業評価	薬剤散布を実施したことにより、病虫害被害の予防・保護を図ることができた。カシノナガキクイムシについては市有林保護のため、対応が必要となっており、被害の状況の把握に努めながら、今後も引き続き実施する。								

平成 27 年度決算成果説明書

総合計画の体系		所管部局
大分類	02 ゆたかな市民生活ができるまち	市民環境部
中分類	03 農林漁業・茶業の振興	
小分類	03 林業・漁業の振興	

事務事業名	鳥獣捕獲飼養対策費	所管課	農林茶業課
		決算額	6,022千円
事業内容	シカ及びイノシシなどの鳥獣による農林業生産物への被害を防止するため、鳥獣の駆除及び侵入防止の措置を講じる。		
成果・実績	<p>東部山間地を中心に、宇治猟友会に委託して有害鳥獣を捕獲するとともに、猟期内の捕獲に対して奨励金を交付した。また、地元山間集落の協力のもと集落周辺に防護柵を設置した。</p> <p>宇治猟友会への委託による捕獲頭数 85頭 (うち、鳥獣被害防止緊急捕獲等対策報償金対象捕獲頭数 71頭)</p> <p>猟期内のシカの捕獲に対する 「シカ捕獲報奨金」による補助対象捕獲頭数 84頭 (全捕獲頭数 127頭)</p> <p>防護柵(金網)の設置 H=2.0m L=2,806m</p>		
事業評価	有害鳥獣捕獲業務の委託及び捕獲奨励金を交付したことなどにより、農林産物の被害の軽減を図ることができた。国、京都府の動向に注視し、引き続き事業の効果を検証しながら取り組む必要がある。		

事務事業名	林道維持管理費	所管課	農林茶業課
		決算額	8,724千円
事業内容	林道における通行の安全を確保するため、日常の維持管理を行うとともに、災害等にも適切に対応する。		
成果・実績	林道は、山間部における生活道路としての機能を有するため、不法投棄された廃棄物の撤去及び路肩草刈り、側溝清掃、法面補修などの日常の維持管理に努めた。		
事業評価	本市が所有または管理する林道を適正に維持管理したことにより、生活道路としての機能保全を図ることができた。引き続き、市民の利用状況及び防災上の観点などを考慮しながら、適正な管理に努める必要がある。		

平成 27 年度決算成果説明書

総合計画の体系	
大分類	02 ゆたかな市民生活ができるまち
中分類	03 農林漁業・茶業の振興
小分類	03 林業・漁業の振興

所管部局
市民環境部

事務事業名	河川種苗放流事業補助金	所管課	農林茶業課
		決算額	1,288千円
事業内容	<p>稚魚の放流による水産資源の増殖を通して、快適な水辺空間及び良好な漁場を地域住民及び観光客に提供し、魚の棲めるきれいな川づくりへの気運を高める。</p>		
成果・実績	<p>宇治川・志津川・笠取川等で行われた、あゆ（5万尾）、うなぎ（4千尾）、ふな（5千尾）、あまご（1千3百尾）の稚魚放流に対して助成を行い、水産資源の増殖に努めた。 なお、はえの種苗は入手困難のため、代替措置として産卵床の造成が行われ、コイヘルペスの蔓延防止のため、こいの放流は自粛となった。</p>		
事業評価	<p>京都府制度に基づき、種苗放流事業へ助成したことにより、水産資源の増殖及び河川の環境改善などを図ることができた。宇治川の快適な水辺空間の創出は観光にも寄与するため、今後も引き続き実施する。</p>		

平成 27 年度決算成果説明書

総合計画の体系	
大分類	02 ゆたかな市民生活ができるまち
中分類	04 商工業・観光の振興
小分類	01 商業の振興

所管部局
市民環境部

事務事業名	産業会館管理運営費	所管課	商工観光課																								
		決算額	13,258千円																								
事業内容	<p>宇治市産業会館は、商工業の振興の中核施設として、各種情報交換の場、会議・研修の場、地場産品の展示・紹介の場など、幅広く利用されている。地域経済を担う商工業者等が有効に活用することにより、産業の振興と発展につながる。会館の管理運営については宇治商工会議所を指定管理者としている。</p>																										
成果・実績	<p style="text-align: center;">施設利用状況</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th></th> <th style="text-align: center;">件数</th> <th style="text-align: center;">人数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>産業情報コーナー</td> <td style="text-align: center;">6</td> <td style="text-align: center;">6</td> </tr> <tr> <td>多目的ホール</td> <td style="text-align: center;">400</td> <td style="text-align: center;">31,668</td> </tr> <tr> <td>会議室</td> <td style="text-align: center;">122</td> <td style="text-align: center;">2,749</td> </tr> <tr> <td>第一研修室</td> <td style="text-align: center;">183</td> <td style="text-align: center;">4,638</td> </tr> <tr> <td>第二研修室</td> <td style="text-align: center;">280</td> <td style="text-align: center;">4,897</td> </tr> <tr> <td>茶室</td> <td style="text-align: center;">210</td> <td style="text-align: center;">2,721</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td style="text-align: center;">1,201</td> <td style="text-align: center;">46,679</td> </tr> </tbody> </table>				件数	人数	産業情報コーナー	6	6	多目的ホール	400	31,668	会議室	122	2,749	第一研修室	183	4,638	第二研修室	280	4,897	茶室	210	2,721	合計	1,201	46,679
	件数	人数																									
産業情報コーナー	6	6																									
多目的ホール	400	31,668																									
会議室	122	2,749																									
第一研修室	183	4,638																									
第二研修室	280	4,897																									
茶室	210	2,721																									
合計	1,201	46,679																									
事業評価	<p>指定管理者によって、適切に管理運営できた。民間企業の研修、商工会議所の活動などに幅広く利用されており、さらなる商工業の振興に向けて、施設の有効活用を図りながら、今後も引き続き実施する。</p>																										

事務事業名	宇治市中小企業低利融資事業費	所管課	商工観光課																		
		決算額	1,537,267千円																		
事業内容	<p>市内の中小企業者に対して、事業資金を低利・無担保で融資し、その経営の安定を図る。市内に引き続き1年以上住所を有し、市税に滞納がなく京都信用保証協会の保証対象業種であること、法人は代表者の連帯保証人が必要であること（個人の場合不要）を条件として融資する。また、当該融資利用者に対し、支払った保証料及び利子の一部に相当する額を補給する。</p>																				
成果・実績	<p style="text-align: center;">宇治市中小企業低利融資</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th></th> <th style="text-align: center;">件数</th> <th style="text-align: center;">金額（千円）</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>保証料補給</td> <td style="text-align: center;">369</td> <td style="text-align: center;">32,397</td> </tr> <tr> <td>利子補給</td> <td style="text-align: center;">1,084</td> <td style="text-align: center;">114,037</td> </tr> <tr> <td>利子補給（京都府南部地域豪雨災害対応分）</td> <td style="text-align: center;">6</td> <td style="text-align: center;">143</td> </tr> <tr> <td>損失補償</td> <td style="text-align: center;">5</td> <td style="text-align: center;">2,690</td> </tr> <tr> <td>預託金</td> <td style="text-align: center;">5金融機関</td> <td style="text-align: center;">1,388,000</td> </tr> </tbody> </table> <p>宇治市中小企業低利融資実行は359件、融資金額は3,886,000千円</p>				件数	金額（千円）	保証料補給	369	32,397	利子補給	1,084	114,037	利子補給（京都府南部地域豪雨災害対応分）	6	143	損失補償	5	2,690	預託金	5金融機関	1,388,000
	件数	金額（千円）																			
保証料補給	369	32,397																			
利子補給	1,084	114,037																			
利子補給（京都府南部地域豪雨災害対応分）	6	143																			
損失補償	5	2,690																			
預託金	5金融機関	1,388,000																			
事業評価	<p>市内の中小企業者へ事業資金の低利融資、保証料及び利子補給補助を行うことにより、中小企業経営の安定化に努めることができた。健全な事業資金供給のため、今後も引き続き実施する。</p>																				

平成 27 年度決算成果説明書

総合計画の体系	
大分類	02 ゆたかな市民生活ができるまち
中分類	04 商工業・観光の振興
小分類	01 商業の振興

所管部局
市民環境部

事務事業名	中小企業振興対策事業費	所管課	商工観光課									
		決算額	4,859千円									
事業内容	商店街・小売市場が行う商店街施設（アーケード・街路灯・統一看板等）を設置する事業並びに商工業団体の行う活性化対策事業、情報化対策事業に対して補助し、商店街等の振興を図る。											
成果・実績	<p>商店街等が実施する活性化、情報化対策事業などに対して、10件8団体に対し補助を行い、中小企業の振興に努めた。</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th></th> <th style="text-align: center;">件数</th> <th style="text-align: center;">金額（千円）</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td style="text-align: center;">活性化対策事業</td> <td style="text-align: center;">5</td> <td style="text-align: center;">2,931</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">情報化対策事業</td> <td style="text-align: center;">5</td> <td style="text-align: center;">1,928</td> </tr> </tbody> </table>				件数	金額（千円）	活性化対策事業	5	2,931	情報化対策事業	5	1,928
	件数	金額（千円）										
活性化対策事業	5	2,931										
情報化対策事業	5	1,928										
事業評価	商店街等が行う活性化対策事業等に補助したことにより、商店街等の振興に努めることができた。今後も、自立・自主性を高め、より効果的な支援となるように各商店街等における「商店街活性化計画」の策定を推進し、商店街等の活性化を図る必要がある。											

事務事業名	プレミアム付商品券発行事業費補助金	所管課	商工観光課
		決算額	165,313千円
事業内容	国の「地域活性化・地域住民生活等緊急支援のための交付金」を活用し、地元消費の拡大、地域経済の活性化を図るため、地元商店等において共通して使用できるプレミアム付商品券を発行する事業で、市は、商品券の発行者である宇治商工会議所に対し、プレミアム額と事務費の一部について補助を行う。		
成果・実績	<p>商品券の発行・販売</p> <ul style="list-style-type: none"> ・販売額：10,000円（20%のプレミアム付） ・販売冊数：82,899冊（発行83,000冊） ・販売総額：828,990,000円 ・発行総額：994,788,000円 <p>商品券の利用・換金</p> <ul style="list-style-type: none"> ・商品券取扱い店舗：460店舗 ・商品券換金額：993,535,500円（換金率99.8%） 		
事業評価	国制度を活用し、プレミアム付商品券の発行を行ったことにより、地元消費の需要喚起等に結び付き、経済波及効果も生まれるなど、地域経済の活性化を図ることができた。		

平成 27 年度決算成果説明書

総合計画の体系	
大分類	02 ゆたかな市民生活ができるまち
中分類	04 商工業・観光の振興
小分類	03 観光の振興

所管部局
市民環境部

事務事業名	観光センター管理運営費	所管課	商工観光課									
		決算額	26,938千円									
事業内容	観光情報サービスの拠点として、市内の観光案内のほか観光パンフレットの配布を行っている。センターの管理運営については（公社）宇治市観光協会を指定管理者としている。											
成果・実績	<p>入館者数 329,100人 観光案内件数 52,943件</p> <p>貸館状況</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 30%;"></th> <th style="width: 35%;">利用件数</th> <th style="width: 35%;">施設使用料（円）</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>展示会場</td> <td>98（うち有料件数3）</td> <td>15,000</td> </tr> <tr> <td>和室</td> <td>11（うち有料件数4）</td> <td>12,000</td> </tr> </tbody> </table>				利用件数	施設使用料（円）	展示会場	98（うち有料件数3）	15,000	和室	11（うち有料件数4）	12,000
	利用件数	施設使用料（円）										
展示会場	98（うち有料件数3）	15,000										
和室	11（うち有料件数4）	12,000										
事業評価	指定管理者によって、適切に管理運営できた。観光宇治の拠点施設であり、老朽化への対応を検討しながら、今後も適切な施設管理に努める必要がある。											

事務事業名	市営茶室管理運営費	所管課	商工観光課				
		決算額	13,901千円				
事業内容	宇治茶及び茶道の普及並びに観光の振興を図るために、市営茶室「対鳳庵」を設置している。宇治を訪れる観光客が本場の宇治茶を気軽に味わうことができるようになっており、茶室の管理運営については（公社）宇治市観光協会を指定管理者としている。						
成果・実績	<p>入席者数 21,632人 うち有料券数 20,321人 うち招待券数 1,311人</p> <p>専用使用料利用状況</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 40%;">件数</th> <th style="width: 60%;">専用使用料（円）</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>2（うち有料件数2）</td> <td>6,000</td> </tr> </tbody> </table>			件数	専用使用料（円）	2（うち有料件数2）	6,000
件数	専用使用料（円）						
2（うち有料件数2）	6,000						
事業評価	指定管理者によって、適切に管理運営できた。「対鳳庵」で宇治茶を提供することで宇治茶の普及及び観光の振興を図ることができた。今後も国内外に対して施設のPR強化に努める必要がある。						

平成 27 年度決算成果説明書

総合計画の体系	
大分類	02 ゆたかな市民生活ができるまち
中分類	04 商工業・観光の振興
小分類	03 観光の振興

所管部局
市民環境部

事務事業名	観光振興計画推進委員会運営費	所管課	商工観光課
		決算額	79千円
事業内容	近年の観光客のニーズ及び社会情勢の変化を的確に把握し、恵まれた観光資源に磨きをかけ、多くの人々が訪れる観光地を目指すため、平成34年度までを実施期間とする「宇治市観光振興計画」を推進する。		
成果・実績	平成25年に策定した「宇治市観光振興計画」の推進に向け、学識経験者、（公社）宇治市観光協会、宇治商工会議所、平等院、商店街、茶業関係者などで構成する「宇治市観光振興計画推進委員会」を設置し、宇治の観光活性化のための議論を行った。		
事業評価	宇治市観光振興計画を適正に進捗管理することにより、観光活性化のための具体的な取組につなげることができた。今後も引き続き、観光事業者等をはじめ、宇治市観光協会、市民、行政が互いに協働して、「宇治茶に染める観光まちづくり」に取り組む必要がある。		

事務事業名	宇治茶巡りガイドツアー事業費	所管課	商工観光課
		決算額	150千円
事業内容	観光客に宇治茶への興味を持ってもらい、より多くの宇治の魅力を感じてもらうために、宇治観光ボランティアガイドクラブの案内による宇治茶関連施設の無料ツアーを行う。		
成果・実績	<p style="text-align: center;">ツアー開催日数：72日（1日につき、午前・午後の2回開催）</p> <p style="text-align: center;">ツアー参加者数：1,036人</p>		
事業評価	観光客に対し宇治茶に関する情報提供及び施設見学を行うことにより、宇治茶のブランド力の強化と宇治の魅力発信に努めることができた。ツアー内容の充実を図り、今後も引き続き実施する。		

平成 27 年度決算成果説明書

総合計画の体系	
大分類	02 ゆたかな市民生活ができるまち
中分類	04 商工業・観光の振興
小分類	03 観光の振興

所管部局
市民環境部

事務事業名	観光サイン等整備計画策定事業費	所管課	商工観光課
		決算額	7,037千円
事業内容	宇治市観光振興計画推進委員会の専門部会として、宇治市観光案内サイン等整備計画策定委員会を開催し、現況サインの課題、サインのあり方・配置・情報・デザイン・運用について検討を行い、宇治市観光案内サイン整備ガイドラインを策定する。		
成果・実績	宇治市歴史的風致維持向上計画の重点区域及び黄檗エリアにおいて、宇治市内観光サインの現況について調査を行った上で、宇治市観光案内サイン等整備計画策定委員会を開催し、宇治市観光案内サイン整備ガイドラインをとりまとめた。		
事業評価	宇治市観光案内サイン等整備計画策定委員会を開催したことにより、観光サインのあり方等を検討することができた。策定した宇治市観光案内サイン整備ガイドラインに沿ったサインの配置場所及び整備手法（撤去、リノベーション、新設）についての検討を行い、サイン整備に向けた取り組みに努める必要がある。		

事務事業名	観光インバウンド推進事業費	所管課	商工観光課
		決算額	4,700円
事業内容	海外からの観光客誘客のために、様々なメディアによる海外向けの情報発信を行う。香港ウォーカー・ジャパンウォーカーに宇治情報を掲載するとともに、中国本土にて放映されるケーブルTV番組「関西印象」での放映及び中国動画サイトでの配信を行う。		
成果・実績	<p>香港ウォーカー</p> <p>発行日：10月15日</p> <p>発行部数：70,000部</p> <p>ジャパンウォーカー（台湾で発行）</p> <p>発行日：11月1日</p> <p>発行部数：100,000部</p> <p>関西印象（中国本土で放映）</p> <p>放送日：12月27日、平成28年1月2日、3日</p> <p>動画再生：約27万アクセス（平成27年度末現在）</p>		
事業評価	海外に向けた宇治の情報発信を行うことにより、海外からの観光誘客を図ることができた。将来的な観光客の増加につながることから、様々なメディアを利用し今後も引き続き情報発信に努める必要がある。		

平成 27 年度決算成果説明書

総合計画の体系	
大分類	02 ゆたかな市民生活ができるまち
中分類	04 商工業・観光の振興
小分類	03 観光の振興

所管部局
市民環境部

事務事業名	観光情報発信事業	所管課	商工観光課
		決算額	17,871千円
事業内容	宇治市の観光資源の情報発信として、各地での観光プロモーションの実施、パンフレット等広報印刷物の発行を行うとともに、市内Wi-Fi設置箇所拡充の促進、新たな観光資源としてアニメーションとの連携等を行う。		
成果・実績	<ul style="list-style-type: none"> ・観光雑誌「ことりっぷ」でのブックインブック制作 発行部数：10万部（雑誌発行部数） 別刷印刷：1万部 ・パンフレット「京都・宇治」増刷 発行部数：9万部 ・英語版パンフレット「京都・宇治」 発行部数：7万部 ・Wi-Fi設置箇所：40箇所（平成27年度末現在） ・宇治探訪マップ（アニメ「響け！ユーフォニアム」連携） 発行部数：5万部 		
事業評価	宇治の観光情報発信への様々な取り組みを行うことにより、宇治の認知度及び宇治へ訪問意欲の向上に努めることができた。今後も引き続き効果的な情報発信に努める。		

事務事業名	観光関連補助事業	所管課	商工観光課																				
		決算額	20,817千円																				
事業内容	宇治の観光振興に係るイベント及び放ち鶉飼プロジェクトの検討、花火大会検討等諸事業に対して（公社）宇治市観光協会等へ助成を行うとともに宇治市観光案内所の管理運営を行う。																						
成果・実績	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th colspan="2" style="text-align: left;">委託及び補助金の内訳</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td style="width: 80%;">宇治市観光案内所管理運営委託</td> <td style="text-align: right;">3,725千円</td> </tr> <tr> <td>宇治市観光協会諸事業補助金（観光宣伝事業）</td> <td style="text-align: right;">1,433千円</td> </tr> <tr> <td>宇治市観光協会諸事業補助金（鶉飼事業）</td> <td style="text-align: right;">1,000千円</td> </tr> <tr> <td>宇治市観光協会諸事業補助金（観光ボランティアガイド運営事業）</td> <td style="text-align: right;">375千円</td> </tr> <tr> <td>県祭り安全対策事業</td> <td style="text-align: right;">439千円</td> </tr> <tr> <td>宇治市観光協会諸事業補助金（観光宣伝ポスター作成事業）</td> <td style="text-align: right;">487千円</td> </tr> <tr> <td>放ち鶉飼プロジェクト検討事業補助金</td> <td style="text-align: right;">4,000千円</td> </tr> <tr> <td>観光活性化事業（宇治川花火大会代替イベント）</td> <td style="text-align: right;">4,000千円</td> </tr> <tr> <td>観光活性化事業（宇治川花火大会実施計画策定）</td> <td style="text-align: right;">5,000千円</td> </tr> </tbody> </table>			委託及び補助金の内訳		宇治市観光案内所管理運営委託	3,725千円	宇治市観光協会諸事業補助金（観光宣伝事業）	1,433千円	宇治市観光協会諸事業補助金（鶉飼事業）	1,000千円	宇治市観光協会諸事業補助金（観光ボランティアガイド運営事業）	375千円	県祭り安全対策事業	439千円	宇治市観光協会諸事業補助金（観光宣伝ポスター作成事業）	487千円	放ち鶉飼プロジェクト検討事業補助金	4,000千円	観光活性化事業（宇治川花火大会代替イベント）	4,000千円	観光活性化事業（宇治川花火大会実施計画策定）	5,000千円
委託及び補助金の内訳																							
宇治市観光案内所管理運営委託	3,725千円																						
宇治市観光協会諸事業補助金（観光宣伝事業）	1,433千円																						
宇治市観光協会諸事業補助金（鶉飼事業）	1,000千円																						
宇治市観光協会諸事業補助金（観光ボランティアガイド運営事業）	375千円																						
県祭り安全対策事業	439千円																						
宇治市観光協会諸事業補助金（観光宣伝ポスター作成事業）	487千円																						
放ち鶉飼プロジェクト検討事業補助金	4,000千円																						
観光活性化事業（宇治川花火大会代替イベント）	4,000千円																						
観光活性化事業（宇治川花火大会実施計画策定）	5,000千円																						
事業評価	観光振興に係る諸事業への補助及び観光案内所の運営を通じ、観光宇治のイメージアップを図ることができた。今後も引き続き協働で、さらなる観光振興につなげていく必要があるものの、助成のあり方について検討する必要がある。																						

平成 27 年度決算成果説明書

総合計画の体系	
大分類	02 ゆたかな市民生活ができるまち
中分類	04 商工業・観光の振興
小分類	03 観光の振興

所管部局
市民環境部

事務事業名	市民観光デイ推進事業費	所管課	商工観光課
		決算額	445千円
事業内容	市民に宇治市の良さを知ってもらい、ふるさと意識や観光客を歓迎する意識の醸成を図るための取組として、平成27年度については、宇治上神社の夜間ライトアップ、宇治上神社拝殿での宇治市産抹茶による接待及び源氏物語ミュージアム展示ゾーンの夜間開館を行う。		
成果・実績	宇治上神社拝殿での市内産抹茶の接待 日時：9月26日 午後6時30分～午後8時30分 定員：100組200人 応募数：393件		
事業評価	世界文化遺産である宇治上神社の夜間ライトアップ、宇治上神社拝殿での宇治市産抹茶による接待、宇治市源氏物語ミュージアム展示ゾーンの夜間開館を通じて、市民のふるさと意識及び観光客に対するおもてなしの心の醸成を図ることができた。今後も市内観光施設における取組を引き続き実施する。		

総合計画の体系	
大分類	02 ゆたかな市民生活ができるまち
中分類	05 勤労者福祉・消費生活の向上
小分類	01 勤労者福祉の向上

所管部局
市民環境部

事務事業名	城南地域職業訓練協会運営補助金	所管課	商工観光課
		決算額	2,472千円
事業内容	技能労働者の養成と在職労働者の職業能力の向上を図るため、職業訓練法人城南地域職業訓練協会が実施する職業訓練事業に対して補助する。		
成果・実績	求職者及び在職者に対し、パソコン・ビジネス英会話・医療事務・介護事務・調剤薬局事務講座等を開催した。 講座数 41 講座 受講人数 220 人		
事業評価	職業訓練事業に補助し、求職者及び在職者の職業能力開発向上等を図ることができた。利用者ニーズの把握、分析に努め、さらなる効果発現に向けて検討する必要がある。		

平成27年度決算成果説明書

総合計画の体系		所管部局
大分類	02 ゆたかな市民生活ができるまち	市民環境部
中分類	05 勤労者福祉・消費生活の向上	
小分類	01 勤労者福祉の向上	

事務事業名	技能功労者表彰費	所管課	商工観光課
		決算額	221千円
事業内容	永く同一の職業に従事し優れた技能を持つ方の功労を称えることによって、技能水準の一層の向上と技能尊重の気運を高めることを目的に実施する。		
成果・実績	技能功労者 6人 (内訳)		
	職種	表彰人数	
	電気工事	2	
	大工	1	
	舗装工事	1	
	製茶	2	
事業評価	技能功労者を表彰することにより、技能水準の一層の向上及び技能尊重の気運の高揚を図ることができた。技能継承等を把握する中で、今後も引き続き実施する。		

事務事業名	地域人づくり事業	所管課	商工観光課
		決算額	25,878千円
事業内容	消費税の引上げにより見込まれる消費の減少等を緩和し、景気の下振れリスクに対応するとともに、経済の成長力の底上げと好循環の実現を図るため国が創設した「地域人づくり事業」を実施し、雇用の拡大、賃金の上昇に努める。		
成果・実績	(実施事業)		
	観光人材育成事業	5,328	
	海外販路開拓支援・企業経理人材育成事業	2,700	
	地場産品を活用した新・ご当地グルメ開発支援事業	5,850	
	外国人観光客受け入れ支援事業	7,500	
	海外販路開拓支援事業	4,500	
	合計	25,878	
事業評価	国制度に基づき、雇用・就職機会を創出を目的とした各種事業を展開したことにより、雇用の拡大及び賃金の上昇を図ることができた。国の事業期間が終了したことに伴い、平成27年度で終了する。		

平成 27 年度決算成果説明書

総合計画の体系	
大分類	02 ゆたかな市民生活ができるまち
中分類	04 商工業・観光の振興
小分類	02 工業の振興

所管部局
市民環境部

事務事業名	企業立地促進助成事業費	所管課	産業推進課
		決算額	21,822千円
事業内容	宇治市企業立地促進条例に基づき、地域経済の活性化と産業振興の促進を図るため、市内に事業場等の設置、拡張を図る企業に助成金を交付する。		
成果・実績	<p>市内に工場、事業所などを新設または増設した企業に対して操業支援助成金等を交付した。</p> <p style="text-align: center;">交付社数 5社</p>		
事業評価	条例に基づき適正に執行し、地域経済の活性化等を行うことができた。市内への企業誘致及び企業の市外移転防止、雇用の創出の状況の把握、分析に努め、今後も引き続き実施する。		

事務事業名	ベンチャー企業育成支援事業費	所管課	産業推進課
		決算額	14,688千円
事業内容	インキュベーションマネージャーを配置し、VIF（宇治ベンチャー企業育成工場）入居企業及び市内のベンチャー企業の育成支援のための諸施策を実施する。		
成果・実績	京都リサーチパーク（株）に業務委託してコーディネーターを配置し、ベンチャー企業育成工場の入居企業に対して経営・販路拡大等の伴走型支援を行った。また、セミナーの実施及び年内100社の目標を立て、市内企業を訪問し、市及び国・府の補助制度等を紹介するなど、市内既存企業にも支援を行った。		
事業評価	VIF（宇治ベンチャー企業育成工場）を拠点とした各種支援を行うことにより、ベンチャー企業の育成を図ることができた。今後も引き続き、入居企業の退去時に市内への定着と新入居企業の確保に努める必要がある。		

平成 27 年度決算成果説明書

総合計画の体系	
大分類	02 ゆたかな市民生活ができるまち
中分類	04 商工業・観光の振興
小分類	02 工業の振興

所管部局
市民環境部

事務事業名	展示会出展支援助成事業費	所管課	産業推進課
		決算額	690千円
事業内容	市内の中小企業者（製造業及び情報系産業など）が開発・製作した製品を公的機関等の開催する展示会に出展することにより、当該製品に関心がある企業との会合を契機として、見積書の提出、新規取引へとマーケティング拡大に向けて取り組む。本市が出展経費の一部を助成することにより、産業振興を図る。		
成果・実績	企業の新規取引の促進を図るため、開発・製作した製品を公的機関等の開催する展示会に出展した市内の中小企業に対し、その経費の一部を助成した。 助成社数 3社		
事業評価	市内中小企業の展示会出展費用の一部を助成することにより、出展企業のマーケティング拡大を図ることができた。展示会への出展は、企業の積極的な事業展開を支援するために有効な手法であるため、今後も引き続き実施する。		

事務事業名	産業振興センター運営費	所管課	産業推進課
		決算額	6,382千円
事業内容	産業に関する情報の収集・提供及び企業の育成・支援を行うため設置された産業振興センターの管理・運営を行う。		
成果・実績	同一敷地内にあるベンチャー企業育成工場のサポートを行うとともに、産業振興を推進する中核施設として、産業振興センターの円滑な管理・運営に努めた。		
事業評価	産業振興センターを円滑に管理運営し、市内企業のサポートをはじめ、各種セミナーの開催等産業振興の推進を図ることができた。今後も引き続き、貸館業務及び企業向けセミナーの実施など、さらなるセンターの活用にも努める必要がある。		

平成 27 年度決算成果説明書

総合計画の体系	
大分類	02 ゆたかな市民生活ができるまち
中分類	04 商工業・観光の振興
小分類	02 工業の振興

所管部局
市民環境部

事務事業名	産業連関表策定事業費	所管課	産業推進課
		決算額	4,421千円
事業内容	本市の経済構造を把握し、産業戦略を策定するため、産業連関表を策定する。		
成果・実績	産業連関表策定業務委託契約（平成27～28年度）を締結し、策定のための基礎データの収集と市内事業所へのアンケート調査を行った。		
事業評価	本市の経済活性化を図るための産業戦略策定に必要な事業であり、市内事業所への実態調査の分析に努め、調査結果の反映及び京都府産業連関表との整合を図りながら、平成28年度に宇治市版産業連関表を策定する。		

平成27年度決算成果説明書

総合計画の体系	
大分類	02 ゆたかな市民生活ができるまち
中分類	06 人権尊重社会の実現
小分類	01 人権教育・啓発の推進

所管部局
市民環境部

事務事業名	人権啓発事業費	所管課	人権啓発課																											
		決算額	7,812千円																											
事業内容	<p>人権尊重理念を普及し、さまざまな人権問題の解決に対する市民の理解を深めるため、「宇治市人権教育・啓発推進計画」に基づき、各種の広報・啓発事業に取り組んでいる。</p>																													
成果・実績	<p>宇治市第2次人権教育・啓発推進計画策定</p> <p>平成18年に「宇治市人権教育・啓発推進計画」を策定し、人権問題の解決に取り組んできた。しかしながら、依然として同和問題及び女性、子ども、高齢者、障害のある人、外国人など、さまざまな人権問題が存在していることから、前計画を継承・発展させ、引き続き総合的・計画的に進めることができるよう、「宇治市第2次人権教育・啓発推進計画」を策定した。</p>																													
																														
	<p>人権強調月間（8月）の取組</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>事業名</th> <th>実施場所</th> <th>成果等</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>平和・ひゅうまん夏フェスタ</td> <td>文化センター</td> <td>2,000人参加</td> </tr> <tr> <td>人権啓発スポットCM放送</td> <td>エフエム宇治放送</td> <td>1日3回放送</td> </tr> <tr> <td>人権啓発懸垂幕掲示</td> <td>市役所庁舎</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>人権啓発パネル展示</td> <td>市役所市民ギャラリー</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>街頭啓発</td> <td>近鉄大久保駅前</td> <td>啓発物品配布・コンサート</td> </tr> </tbody> </table>			事業名	実施場所	成果等	平和・ひゅうまん夏フェスタ	文化センター	2,000人参加	人権啓発スポットCM放送	エフエム宇治放送	1日3回放送	人権啓発懸垂幕掲示	市役所庁舎	-	人権啓発パネル展示	市役所市民ギャラリー	-	街頭啓発	近鉄大久保駅前	啓発物品配布・コンサート									
	事業名	実施場所	成果等																											
	平和・ひゅうまん夏フェスタ	文化センター	2,000人参加																											
	人権啓発スポットCM放送	エフエム宇治放送	1日3回放送																											
	人権啓発懸垂幕掲示	市役所庁舎	-																											
	人権啓発パネル展示	市役所市民ギャラリー	-																											
	街頭啓発	近鉄大久保駅前	啓発物品配布・コンサート																											
	<p>人権週間（12月4日～12月10日）の取組</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>事業名</th> <th>実施場所</th> <th>成果等</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>ひゅうまんフェスタ</td> <td>生涯学習センター周辺一帯</td> <td>950人参加</td> </tr> <tr> <td>人権啓発スポットCM放送</td> <td>エフエム宇治放送</td> <td>1日3回放送</td> </tr> <tr> <td>人権啓発懸垂幕掲示</td> <td>市役所庁舎</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>人権啓発パネル展示</td> <td>市役所市民ギャラリー</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>街頭啓発</td> <td>コーナンJR宇治駅北店</td> <td>啓発物品配布</td> </tr> </tbody> </table>			事業名	実施場所	成果等	ひゅうまんフェスタ	生涯学習センター周辺一帯	950人参加	人権啓発スポットCM放送	エフエム宇治放送	1日3回放送	人権啓発懸垂幕掲示	市役所庁舎	-	人権啓発パネル展示	市役所市民ギャラリー	-	街頭啓発	コーナンJR宇治駅北店	啓発物品配布									
事業名	実施場所	成果等																												
ひゅうまんフェスタ	生涯学習センター周辺一帯	950人参加																												
人権啓発スポットCM放送	エフエム宇治放送	1日3回放送																												
人権啓発懸垂幕掲示	市役所庁舎	-																												
人権啓発パネル展示	市役所市民ギャラリー	-																												
街頭啓発	コーナンJR宇治駅北店	啓発物品配布																												
<p>その他の取組</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>事業名</th> <th>実施時期</th> <th>実施場所</th> <th>成果等</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>情報紙「jinken」配布</td> <td>8月,1月</td> <td>-</td> <td>各号8万部</td> </tr> <tr> <td>楽しく学ぶ人権講座</td> <td>2月～3月</td> <td>生涯学習センター他</td> <td>230人参加</td> </tr> <tr> <td>人権の花運動</td> <td>10月</td> <td>市内保育所4カ所</td> <td>球根250個配付</td> </tr> <tr> <td>人権啓発物品配布</td> <td>年間</td> <td>各種催し</td> <td>6,050個配布</td> </tr> <tr> <td>啓発教材（DVD等）貸出</td> <td>年間</td> <td>-</td> <td>年39本貸出</td> </tr> <tr> <td>市政だよりによる広報・啓発</td> <td>年間</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> </tbody> </table>			事業名	実施時期	実施場所	成果等	情報紙「jinken」配布	8月,1月	-	各号8万部	楽しく学ぶ人権講座	2月～3月	生涯学習センター他	230人参加	人権の花運動	10月	市内保育所4カ所	球根250個配付	人権啓発物品配布	年間	各種催し	6,050個配布	啓発教材（DVD等）貸出	年間	-	年39本貸出	市政だよりによる広報・啓発	年間	-	-
事業名	実施時期	実施場所	成果等																											
情報紙「jinken」配布	8月,1月	-	各号8万部																											
楽しく学ぶ人権講座	2月～3月	生涯学習センター他	230人参加																											
人権の花運動	10月	市内保育所4カ所	球根250個配付																											
人権啓発物品配布	年間	各種催し	6,050個配布																											
啓発教材（DVD等）貸出	年間	-	年39本貸出																											
市政だよりによる広報・啓発	年間	-	-																											
<p>山城地区広域連携事業</p> <p>山城人権ネットワーク推進協議会（ひゅうまんねっとやましろ）を通じて、広域連携・市民連携の啓発活動に取り組んだ。</p>																														
事業評価	<p>各種の広報・啓発事業を実施したことにより、人権尊重理念を普及し、様々な人権問題の解決に対する市民の理解を深めることができた。今後も、ニーズの把握、分析に努めるとともに、さらに啓発効果を高めるため、市民自らが実践活動できるような取組を検討する必要がある。</p>																													

平成27年度決算成果説明書


総合計画の体系		所管部局
大分類	02 ゆたかな市民生活ができるまち	市民環境部
中分類	06 人権尊重社会の実現	
小分類	01 人権教育・啓発の推進	

事務事業名	コミュニティワークうじ館・こはた館運営事業	所管課	人権啓発課
		決算額	15,813千円
事業内容	福祉の向上と人権啓発のための市民活動・市民交流促進に向けた、地域福祉の推進を図るための事業及び各種人権啓発交流事業に取り組んでいる。		
成果・実績	コミュニティワークうじ館・こはた館地域福祉活動推進事業費 10,470千円 地域福祉の推進を図るため、相談事業及び学習講座開催事業、隣保館デイサービス事業を実施した。		
	コミュニティワークうじ館・こはた館啓発交流活動推進事業費 5,343千円 「人権尊重理念の普及」及び「さまざまな人権問題の解決」に向け、交流講座の開催及び人権啓発イベント開催事業を実施した。		
			
		人権映画上映会（うじ館）	男性のための料理教室（こはた館）
事業評価	各種人権啓発交流事業等に取り組んだことにより、市民活動及び市民交流の促進を図ることができた。利用者も徐々に増えているが、さらなる利用者増を含め、今後も効果的な取組を検討する必要がある。		

平成27年度決算成果説明書

総合計画の体系	
大分類	02 ゆたかな市民生活ができるまち
中分類	07 男女共同参画社会の形成
小分類	01 男女共同参画の推進

所管部局
市民環境部

事務事業名	男女共同参画施策推進費	所管課	男女共同参画課																																		
		決算額	5,729千円																																		
事業内容	男女の人権の確立と地域に根ざした男女共同参画社会を実現するため、宇治市男女生き生きまちづくり条例（平成16年10月制定）及び宇治市男女共同参画計画「UJIあさぎりプラン」に基づき、広報・啓発事業や学習機会の提供、市民活動支援を行う。																																				
成果・実績	広報・啓発 <table border="1" style="width: 100%;"> <thead> <tr> <th>事業名</th> <th>実施時期</th> <th>実施場所</th> <th>成果</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>男女共同参画情報誌「リズム」発行</td> <td>6・10・11・2月</td> <td>-</td> <td>各2,000部</td> </tr> <tr> <td>市政だよりによる広報・啓発</td> <td>年間</td> <td>-</td> <td>年25回掲載</td> </tr> <tr> <td>男女共同参画週間UJIのつどい講演会</td> <td>6月28日</td> <td>男女共同参画支援センター</td> <td>154人参加</td> </tr> <tr> <td>UJIあさぎりフェスティバル</td> <td>12月5・6日</td> <td>男女共同参画支援センター</td> <td>延べ900人参加</td> </tr> </tbody> </table>	事業名	実施時期	実施場所	成果	男女共同参画情報誌「リズム」発行	6・10・11・2月	-	各2,000部	市政だよりによる広報・啓発	年間	-	年25回掲載	男女共同参画週間UJIのつどい講演会	6月28日	男女共同参画支援センター	154人参加	UJIあさぎりフェスティバル	12月5・6日	男女共同参画支援センター	延べ900人参加	学習機会の提供・市民活動支援 <table border="1" style="width: 100%;"> <thead> <tr> <th>事業名</th> <th>実施時期</th> <th>実施場所</th> <th>成果</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>各種セミナー（全7セミナー）</td> <td rowspan="5">年間</td> <td rowspan="5">男女共同参画支援センター他</td> <td>延べ341人参加</td> </tr> <tr> <td>ここからチャレンジ相談（全24回うち2回出前相談）</td> <td>延べ102人参加</td> </tr> <tr> <td>市民企画事業奨励事業（3件）</td> <td rowspan="3">延べ544人参加</td> </tr> <tr> <td>地域推進支援事業（2件）</td> </tr> <tr> <td>市民企画サポート事業（4件）</td> </tr> </tbody> </table>		事業名	実施時期	実施場所	成果	各種セミナー（全7セミナー）	年間	男女共同参画支援センター他	延べ341人参加	ここからチャレンジ相談（全24回うち2回出前相談）	延べ102人参加	市民企画事業奨励事業（3件）	延べ544人参加	地域推進支援事業（2件）	市民企画サポート事業（4件）
	事業名	実施時期	実施場所	成果																																	
男女共同参画情報誌「リズム」発行	6・10・11・2月	-	各2,000部																																		
市政だよりによる広報・啓発	年間	-	年25回掲載																																		
男女共同参画週間UJIのつどい講演会	6月28日	男女共同参画支援センター	154人参加																																		
UJIあさぎりフェスティバル	12月5・6日	男女共同参画支援センター	延べ900人参加																																		
事業名	実施時期	実施場所	成果																																		
各種セミナー（全7セミナー）	年間	男女共同参画支援センター他	延べ341人参加																																		
ここからチャレンジ相談（全24回うち2回出前相談）			延べ102人参加																																		
市民企画事業奨励事業（3件）			延べ544人参加																																		
地域推進支援事業（2件）																																					
市民企画サポート事業（4件）																																					
DV対策 宇治市DV対策ネットワーク会議を年3回開催し、DV被害に関する情報共有を図るとともに、事例の研究等を通じて、DV防止及び被害者の保護・支援に係る関係機関・団体の相互連携に努めた。																																					
DV啓発 子どもへの虐待・女性に対する暴力の根絶を目指し、それぞれのシンボルマークである「オレンジリボン」と「パープルリボン」の啓発を一体化し、「オレンジリボン・パープルリボンキャンペーン」として、こども福祉課と共催で広報・啓発活動を実施した。																																					
デートDV啓発しおりの作成 デートDV防止に向けた啓発のためしおりを作成し、成人式の資料に同封して新成人に配布した。（3,000部作成）																																					
第4次UJIあさぎりプランの策定 第3次UJIあさぎりプランの計画期間が終了することから、引き続き、地域に根ざした男女共同参画社会の実現に向けた施策を総合的かつ計画的に推進するため、新たに第4次UJIあさぎりプランを策定した。（計画書700部、計画書概要版3,000部作成）																																					
事業評価	宇治市男女生き生きまちづくり条例及び宇治市男女共同参画計画「UJIあさぎりプラン」に基づき、各種事業を実施したことにより、男女の人権の確立と地域に根ざした男女共同参画社会の推進に努めることができた。地域の課題解決に向けた市民等の実践的活動を一層促進し、連携・協働してより効果的な事業を検討する必要がある。																																				

平成 27 年度決算成果説明書

総合計画の体系	
大分類	02 ゆたかな市民生活ができるまち
中分類	07 男女共同参画社会の形成
小分類	01 男女共同参画の推進

所管部局
市民環境部

事務事業名	男女共同参画支援センター運営費	所管課	男女共同参画課																			
		決算額	12,280千円																			
事業内容	男女共同参画のための市民活動・市民交流の拠点施設として、市民利用の促進に努めるとともに、女性のための相談事業・男性のための相談事業及び女性問題アドバイザー派遣事業を行う。																					
成果・実績	<p>センター年間利用者数 45,528人 女性問題アドバイザー派遣実績 8件</p> <p>女性のための相談事業実績</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th colspan="2" style="text-align: center;">相談区分</th> <th style="text-align: center;">件数 (うちDVに関するもの)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3" style="text-align: center;">一般相談</td> <td style="text-align: center;">来館相談</td> <td style="text-align: center;">158 (49)</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">電話相談</td> <td style="text-align: center;">57 (7)</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">合計</td> <td style="text-align: center;">215 (56)</td> </tr> <tr> <td rowspan="4" style="text-align: center;">専門相談</td> <td style="text-align: center;">フェミニスト・カウンセリング</td> <td style="text-align: center;">79</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">こころとからだの相談</td> <td style="text-align: center;">9</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">法律相談</td> <td style="text-align: center;">37</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">合計</td> <td style="text-align: center;">125</td> </tr> </tbody> </table> <p>男性のための相談事業実績 18件</p>			相談区分		件数 (うちDVに関するもの)	一般相談	来館相談	158 (49)	電話相談	57 (7)	合計	215 (56)	専門相談	フェミニスト・カウンセリング	79	こころとからだの相談	9	法律相談	37	合計	125
相談区分		件数 (うちDVに関するもの)																				
一般相談	来館相談	158 (49)																				
	電話相談	57 (7)																				
	合計	215 (56)																				
専門相談	フェミニスト・カウンセリング	79																				
	こころとからだの相談	9																				
	法律相談	37																				
	合計	125																				
事業評価	「女性のための相談」事業に加え「男性のための相談」事業も行ったことにより、男性のセンター利用促進を図ることができた。今後も利用状況及びニーズを把握、分析に努め、利用者にとってより効果的な取組を検討する必要がある。																					

事務事業名	JR宇治駅前市民交流プラザ運営費	所管課	男女共同参画課
		決算額	11,214千円
事業内容	男女共同参画支援センター、地域子育て支援基幹センター、ファミリー・サポート・センター、観光案内所、民間保育園及び宇治駅前交番の複合施設であるJR宇治駅前市民交流プラザ(ゆめりあ うじ)の施設管理を行う。		
成果・実績	男女共同参画、子育て支援、観光など市民交流のための複合施設として多くの利用を図るため、機械設備総合管理業務、清掃業務、駐車場料金精算システム保守業務を委託し施設の適正管理に努めた。		
事業評価	施設を適切に管理運営することにより、男女問わず幅広い年代の市民及び観光客の利用に供することができた。市民交流の場として活用されるように施設の周知に努めるとともに、今後も適正な管理運営に努める必要がある。		

平成 27 年度決算成果説明書

総合計画の体系	
大分類	01 環境に配慮した安全・安心のまち
中分類	01 環境保全対策の推進
小分類	01 地球環境対策の推進

所管部局
市民環境部

事務事業名	地球温暖化対策関連事業	所管課	環境企画課
		決算額	4,519千円
事業内容	本市域から発生する温室効果ガスを平成35年度までに平成2年度比で25%以上削減するため、「宇治市第2次地球温暖化対策地域推進計画」等に基づき、市民・事業者に対して温室効果ガス排出量削減に対する効果的な取組の普及啓発を行うとともに、本市自ら温室効果ガス排出量削減対策を推進する。		
成果・実績	<p>エコファミリー推進事業費 96千円 家庭の温室効果ガス排出量削減を目的に、市立小学校1年生の児童に対して啓発マグネットを配布し家庭での省エネを啓発した。</p> <p>地球温暖化対策推進事業費 367千円 宇治環境フェスタを開催し、地球温暖化対策等の普及啓発を図った。来場者は約900人であった。</p> <p>公共施設温室効果ガス削減対策事業費 4,056千円 「宇治市地球温暖化対策実行計画（第4期計画）」に基づき、夏冬の節電期間に合わせ公共施設の蛍光灯のLED化を実施した。夏冬あわせて15施設で458台をLED化し、年間のCO₂削減量は26.7 t-CO₂となる。</p>		
事業評価	計画に基づき、市民・事業者に対する地球温暖化防止活動の普及啓発及び市自らの温室効果ガス排出量削減対策の推進などに取り組んだことにより、温室効果ガスの排出抑制を図ることができた。国及び京都府の動向を注視し、今後も引き続きより効果の発揮される取組を検討する必要がある。		

事務事業名	家庭用雨水タンク設置事業費補助金	所管課	環境企画課				
		決算額	2,147千円				
事業内容	雨水利用を通じた環境意識及び防災意識の向上を図るため、雨水タンクを設置する者に対し購入費用の一部を補助する。						
成果・実績	<p>補助対象となる雨水タンク設置費に対して、費用の一部を補助した。 府補助1/4 市補助1/2 上限45,000円</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <thead> <tr> <th>補助件数</th> <th>交付金額 (千円)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td style="text-align: center;">81件</td> <td style="text-align: center;">2,147</td> </tr> </tbody> </table>			補助件数	交付金額 (千円)	81件	2,147
補助件数	交付金額 (千円)						
81件	2,147						
事業評価	雨水タンクの設置費用の一部を補助したことにより、雨水タンクの設置を促進し雨水利用を通じた環境意識及び防災意識の向上を図ることができた。						

平成 27 年度決算成果説明書

総合計画の体系		所管部局
大分類	01 環境に配慮した安全・安心のまち	市民環境部
中分類	01 環境保全対策の推進	
小分類	01 地球環境対策の推進	

事務事業名	地球温暖化対策推進パートナーシップ会議運営費	所管課	環境企画課												
		決算額	225千円												
事業内容	「宇治市第2次地球温暖化対策地域推進計画」を進めるため、市民・事業者・行政が協働して地球温暖化防止活動の全市的な普及啓発を行う「宇治市地球温暖化対策推進パートナーシップ会議（ecoット宇治）」を運営する。														
成果・実績	<p>環境学習推進グループ、エコライフ推進グループ、みどりのまちづくり推進グループ、森林保全グループ、広報グループの5グループで、市民に対し身近で楽しみながら実践できる地球温暖化防止活動の普及啓発を行った。</p> <table style="width: 100%; border: none;"> <tr> <td style="width: 33%;">家庭の省エネ相談所</td> <td style="width: 33%;">15回開設</td> <td style="width: 34%;">宇治環境フェスタ出展</td> </tr> <tr> <td>緑のカーテン講習会</td> <td>7回講師派遣</td> <td>環境展出展</td> </tr> <tr> <td>エコットクッキング教室</td> <td>2回開催</td> <td>どんぐりプロジェクト実施</td> </tr> <tr> <td>エコツアー</td> <td>1回実施</td> <td style="text-align: right;">他</td> </tr> </table> <p>イベント参加者 総計2,000人以上 広報紙 年4回発行 総計3,000部</p>			家庭の省エネ相談所	15回開設	宇治環境フェスタ出展	緑のカーテン講習会	7回講師派遣	環境展出展	エコットクッキング教室	2回開催	どんぐりプロジェクト実施	エコツアー	1回実施	他
家庭の省エネ相談所	15回開設	宇治環境フェスタ出展													
緑のカーテン講習会	7回講師派遣	環境展出展													
エコットクッキング教室	2回開催	どんぐりプロジェクト実施													
エコツアー	1回実施	他													
事業評価	「宇治市地球温暖化対策推進パートナーシップ会議（ecoット宇治）」を市民・事業者・行政が協働して運営することにより、地球温暖化対策を推進することができた。今後は、市民に対する地球温暖化対策の普及啓発を強化するとともに、事業者の参加促進及び効果的・効率的な運営方法のあり方について検討する必要がある。														

事務事業名	緑のカーテン推進事業費	所管課	環境企画課
		決算額	1,109千円
事業内容	地球温暖化対策としての緑のカーテンを普及させるため、市自ら緑のカーテンを設置することで市民に啓発するとともに、市民・事業者向けに講習会及びコンテストなどを実施する。		
成果・実績	<p>市庁舎議会棟南側等において、緑のカーテンを設置し、普及啓発及び庁舎の温室効果ガス排出量の削減を図った。また、小学校（4校）、中学校（5校）、幼稚園（4園）、保育所（6園）、その他公共施設（12施設）及び1つの商店街が、緑のカーテンに取り組んだ。緑のカーテンを設置した施設においては、冷房の使用頻度が減少するとともに、市民への啓発に寄与した。また、緑のカーテン講習会を7回実施し、199人の市民が参加した。コンテストには16件の応募があり、市長賞等6件を表彰した。</p>		
事業評価	緑のカーテンの設置及び普及啓発活動を実施したことにより、庁舎の温室効果ガス排出量の削減等地球温暖化対策を推進することができた。地球環境対策に取り組む気運を醸成するため、今後も引き続き実施する。		

平成27年度決算成果説明書

総合計画の体系	
大分類	01 環境に配慮した安全・安心のまち
中分類	01 環境保全対策の推進
小分類	02 環境保全対策の強化

所管部局
市民環境部

事務事業名	IS014001推進費	所管課	環境企画課
		決算額	122千円
事業内容	<p>「宇治市第2次環境保全計画」の望ましい環境像である『宇治の豊かな「歴史・文化」と「自然」を守り育て、将来にわたって安心して暮らせる「ふるさと宇治」』の実現のため、IS014001環境マネジメントシステムを運用し、市の事務事業における環境負荷低減を継続的に実施する。</p>		
成果・実績	<p>本市のIS014001の取組は、これまでに蓄積した環境マネジメントシステム運用の経験とノウハウを活かし、平成25年4月に「自己適合宣言」へと移行した。 平成27年12月には外部審査を受け、本市の環境マネジメントシステムがIS014001の規格に適合しているものと判断されたことから、本市の環境負荷の低減に向けた取組は適正に維持・管理され着実に実施されているといえる。</p>		
事業評価	<p>自己適合宣言後の市独自の取組として、IS014001の規格に適合した運用を実施したことにより、「宇治市第2次環境保全計画」に定める望ましい環境像の実現に向けた取組とすることができた。ISO規格の適合を維持し継続的な改善に向けた市独自の運用を図る中で、今後も引き続き実施する。</p>		

事務事業名	環境保全関連事業	所管課	環境企画課						
		決算額	7,990千円						
事業内容	<p>市内における生活環境の状況把握を行うため、大気、水質、騒音などの監視測定を実施する。また、京滋バイパスを走行する車両の排気ガスによる大気汚染の状況把握を行うため、自動車排出ガス測定局を設置するとともに大気汚染物質の常時監視を実施する。</p>								
成果・実績	<p>市内において自動車排出ガス等の大気測定、市内河川・事業場の水質測定、道路・鉄道等の騒音測定を行い、監視結果はいずれも概ね良好であった。</p> <table border="0" style="width: 100%;"> <tr> <td>環境監視費</td> <td style="text-align: right;">2,103千円</td> </tr> <tr> <td>発生源監視費</td> <td style="text-align: right;">954千円</td> </tr> <tr> <td>自動車排出ガス監視測定局運営費</td> <td style="text-align: right;">4,933千円</td> </tr> </table>			環境監視費	2,103千円	発生源監視費	954千円	自動車排出ガス監視測定局運営費	4,933千円
環境監視費	2,103千円								
発生源監視費	954千円								
自動車排出ガス監視測定局運営費	4,933千円								
事業評価	<p>市内における大気、水質、騒音などの監視測定を適正に実施することにより、生活環境保全に努めることができた。測定結果を公表し周知するとともに、安定的な環境及び発生源監視測定を今後も引き続き実施する。</p>								

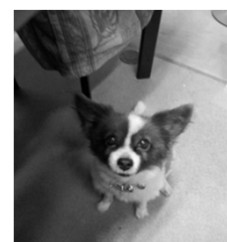


平成27年度決算成果説明書

総合計画の体系	
大分類	01 環境に配慮した安全・安心のまち
中分類	01 環境保全対策の推進
小分類	03 環境美化及び住宅周辺の環境整備の推進

所管部局
市民環境部

事務事業名	狂犬病予防費	所管課	環境企画課
		決算額	2,152千円
事業内容	狂犬病の発生予防、まん延防止及び撲滅のため、狂犬病予防注射接種を推進するとともに、犬の登録及び鑑札の交付、狂犬病事業の予防注射済票の交付など事務を行う。		
成果・実績	市内公共施設を中心に計24カ所で集合注射接種会場を設け、824頭に対し狂犬病予防注射を実施した。また、犬の登録業務では、新たに615頭の登録を行い、総登録数11,168頭となった。		
事業評価	狂犬病予防注射の集合注射及び犬の登録事務などを適正に実施することにより、狂犬病の発生予防に寄与することができた。公衆衛生のさらなる向上を図るため、今後も引き続き実施する。		



事務事業名	環境衛生対策関連事業	所管課	環境企画課																
		決算額	2,550千円																
事業内容	良好な生活環境を保全するため、「宇治市環境保全基本条例」「宇治市あき地の雑草等の除去に関する条例」などに基づき、各種の環境衛生対策を行う。																		
成果・実績	<table border="0"> <tr> <td>そ族及び衛生害虫対策費</td> <td>2,257千円</td> <td rowspan="3"> </td> </tr> <tr> <td>野蜂駆除</td> <td>469件</td> </tr> <tr> <td>トビケラ駆除薬剤散布</td> <td>年3回（宇治川兩岸）</td> </tr> <tr> <td>あき地雑草等除去費</td> <td>293千円</td> <td></td> </tr> <tr> <td>指導件数</td> <td>85件（26,650㎡）</td> <td></td> </tr> <tr> <td>処理件数</td> <td>66件（18,475㎡）</td> <td></td> </tr> </table>			そ族及び衛生害虫対策費	2,257千円		野蜂駆除	469件	トビケラ駆除薬剤散布	年3回（宇治川兩岸）	あき地雑草等除去費	293千円		指導件数	85件（26,650㎡）		処理件数	66件（18,475㎡）	
そ族及び衛生害虫対策費	2,257千円																		
野蜂駆除	469件																		
トビケラ駆除薬剤散布	年3回（宇治川兩岸）																		
あき地雑草等除去費	293千円																		
指導件数	85件（26,650㎡）																		
処理件数	66件（18,475㎡）																		
事業評価	衛生害虫対策、あき地の適正管理に関する指導などを実施したことにより、生活環境の保全を図ることができた。今後も引き続き実施する。																		

平成 27 年度決算成果説明書

総合計画の体系	
大分類	01 環境に配慮した安全・安心のまち
中分類	01 環境保全対策の推進
小分類	03 環境美化及び住宅周辺の環境整備の推進

所管部局
市民環境部

事務事業名	斎場施設運営費	所管課	環境企画課								
		決算額	76,681千円								
事業内容	利用者の宗教的感情を意識した火葬・葬祭等の利便を供するため、厳粛な環境の整備に努めるとともに、公共の福祉に資する事業を行い、効率的で安全性が高く衛生的な施設運営を図る。										
成果・実績	(一財)宇治市霊園公社を指定管理者として指定し、円滑な斎場事業を実施した。										
	斎場利用実績 <table border="1" style="margin-left: 20px; border-collapse: collapse;"> <tbody> <tr> <td style="width: 10%;">火葬場</td> <td style="width: 10%;">3,136 件</td> </tr> <tr> <td>待合室</td> <td>688 件</td> </tr> <tr> <td>安置室</td> <td>95 件</td> </tr> <tr> <td>葬祭場</td> <td>121 件</td> </tr> </tbody> </table>			火葬場	3,136 件	待合室	688 件	安置室	95 件	葬祭場	121 件
火葬場	3,136 件										
待合室	688 件										
安置室	95 件										
葬祭場	121 件										
事業評価	市民ニーズの状況を把握、分析し、適切な施設管理に努める。										



事務事業名	墓地公園管理費	所管課	環境企画課								
		決算額	26,539千円								
事業内容	市民福祉の向上に寄与するため、公園と一体となった墓地として宇治市墓地公園を設置し、墓地使用者の利便だけでなく墓地公園を利用する全ての人に癒えるくつろぎの場を提供する。 また、公営の墓地として公平性・永続性を踏まえた墓地運営を行い、使用者が永代にわたって安心して墓参できる墓園環境を保持する。										
成果・実績	(一財)宇治市霊園公社を指定管理者として指定し、円滑な墓地公園事業を実施した。また、墓所使用者を年2回募集し、新たに使用を許可した。これにより総使用区画数は、2,967区画となった。										
	新規使用許可数 <table border="1" style="margin-left: 20px; border-collapse: collapse;"> <tbody> <tr> <td style="width: 10%;">2m²</td> <td style="width: 10%;">8 件</td> </tr> <tr> <td>3m²</td> <td>3 件</td> </tr> <tr> <td>4m²</td> <td>7 件</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>18 件</td> </tr> </tbody> </table>			2m ²	8 件	3m ²	3 件	4m ²	7 件	合計	18 件
2m ²	8 件										
3m ²	3 件										
4m ²	7 件										
合計	18 件										
事業評価	市民のニーズに対する状況を把握、分析し、適切な施設管理に努めるとともに、墓所のあり方について検討する。										

平成 27 年度決算成果説明書

総合計画の体系	
大分類	01 環境に配慮した安全・安心のまち
中分類	01 環境保全対策の推進
小分類	04 ごみ・し尿の適正処理の推進

所管部局
市民環境部

事務事業名	浄化槽設置整備事業費補助金	所管課	環境企画課
		決算額	677千円
事業内容	生活排水による河川の水質汚濁を防止するため、浄化槽設置費用の一部を助成することにより、浄化槽の設置を促進する。		
成果・実績	下水道事業計画区域外等の地域において補助対象の住宅に、浄化槽設置費用の一部を補助した。		
	人槽	設置数	補助単価 (千円)
	5	2	332
	7	0	414
	10	0	548
交付金額 (千円)	664	0	0
事業評価	浄化槽設置費用の一部を補助したことにより、浄化槽設置を促進し、河川・水路等の水質改善に寄与した。国の動向を注視し、今後も引き続き実施する。		

平成 27 年度決算成果説明書

総合計画の体系	
大分類	01 環境に配慮した安全・安心のまち
中分類	01 環境保全対策の推進
小分類	03 環境美化及び住宅周辺の環境整備の推進

所管部局
市民環境部

事務事業名	不法投棄防止対策事業	所管課	ごみ減量推進課
		決算額	1,925千円
事業内容	不法投棄の抑止及び不法投棄されたごみ等の回収のため、特に不法投棄が多い市内山間地について、地域住民にパトロールを委託する。		
成果・実績	不法投棄監視業務委託費 1,925千円 延べ550人、297日		
事業評価	不法投棄されたごみ等を早期発見し回収することにより、不法投棄の連鎖的な発生を抑止することができた。		

総合計画の体系	
大分類	01 環境に配慮した安全・安心のまち
中分類	01 環境保全対策の推進
小分類	04 ごみ・し尿の適正処理の推進

所管部局
市民環境部

事務事業名	廃家電運搬委託費	所管課	ごみ減量推進課																																
		決算額	498千円																																
事業内容	不法投棄された廃家電及びパソコンを、「特定家庭用機器再商品化法施行令」及び「資源有効利用促進法」に定められた再資源化率が達成可能な再資源化施設に運搬し、同法に準じた適切な処理を図る。																																		
成果・実績	廃家電運搬処理委託費 494千円 不法投棄分処理台数 (台) <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; margin-top: 10px;"> <thead> <tr> <th style="text-align: center;">品目 \ 年度</th> <th style="text-align: center;">25</th> <th style="text-align: center;">26</th> <th style="text-align: center;">27</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td style="text-align: center;">テレビ</td> <td style="text-align: center;">91</td> <td style="text-align: center;">86</td> <td style="text-align: center;">90</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">冷蔵庫(冷凍庫含む)</td> <td style="text-align: center;">35</td> <td style="text-align: center;">39</td> <td style="text-align: center;">22</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">洗濯機・衣類乾燥機</td> <td style="text-align: center;">8</td> <td style="text-align: center;">7</td> <td style="text-align: center;">9</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">エアコン</td> <td style="text-align: center;">3</td> <td style="text-align: center;">2</td> <td style="text-align: center;">1</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">パソコン</td> <td style="text-align: center;">2</td> <td style="text-align: center;">3</td> <td style="text-align: center;">8</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">その他</td> <td style="text-align: center;">0</td> <td style="text-align: center;">1</td> <td style="text-align: center;">2</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">合 計</td> <td style="text-align: center;">139</td> <td style="text-align: center;">138</td> <td style="text-align: center;">132</td> </tr> </tbody> </table>			品目 \ 年度	25	26	27	テレビ	91	86	90	冷蔵庫(冷凍庫含む)	35	39	22	洗濯機・衣類乾燥機	8	7	9	エアコン	3	2	1	パソコン	2	3	8	その他	0	1	2	合 計	139	138	132
品目 \ 年度	25	26	27																																
テレビ	91	86	90																																
冷蔵庫(冷凍庫含む)	35	39	22																																
洗濯機・衣類乾燥機	8	7	9																																
エアコン	3	2	1																																
パソコン	2	3	8																																
その他	0	1	2																																
合 計	139	138	132																																
事業評価	「特定家庭用機器再商品化法施行令」及び「資源有効利用促進法」に基づき、不法投棄された廃家電及びパソコンについて、適切に処理することができた。																																		

平成27年度決算成果説明書

総合計画の体系	
大分類	01 環境に配慮した安全・安心のまち
中分類	01 環境保全対策の推進
小分類	04 ごみ・し尿の適正処理の推進

所管部局
市民環境部

事務事業名	一般廃棄物収集運搬事業	所管課	ごみ減量推進課		
		決算額	347,164千円		
事業内容	一般家庭から排出される可燃性・不燃性一般廃棄物の収集運搬業務及び資源ごみの収集運搬業務、また町内会等が側溝を清掃する際に必要な容器の貸出、回収業務を民間委託を活用しながら実施する。				
成果・実績	可燃物等収集運搬委託費	165,095千円			
	不燃物収集運搬委託費	124,956千円			
	びん・ペットボトル収集運搬委託費	52,227千円			
	溝土収集運搬委託費	4,886千円			
	家庭系ごみ等収集実績				
		各年度の収集量 (t)			収集方法等
		平成25年度	平成26年度	平成27年度	
	可燃ごみ	24,920	24,720	24,597	直営 (一部委託)
	不燃ごみ	9,264	8,534	6,373	委託(一部地域除く)
	プラマーク (発泡トレイ類含む)	-	455	1,909	直営 (27年1月開始)
	缶	345	314	326	直営 (一部委託)
	びん	1,131	1,114	1,129	委託(一部地域除く)
	ペットボトル	502	467	487	委託(一部地域除く)
	発泡トレイ類	84	59	0	委託(一部地域除く) (26年12月まで)
紙パック	28	25	22	直営	
溝土	55	50	48	委託	
家電リサイクル法 対象家電製品	66台	80台	91台	直営	
死獣	7	6	5	直営 (一部委託)	
小型家電	3	11	9	直営 (26年1月開始)	
ごみ出しが困難な高齢者世帯などに対して、ふれあい収集(戸別収集)を実施 ふれあい収集 総世帯数416世帯(平成27年度末現在)					
事業評価	一般家庭から排出される廃棄物について、民間委託を活用しながら適切に収集することにより、快適な市民生活を支えることができた。				

平成 27 年度決算成果説明書

総合計画の体系	
大分類	01 環境に配慮した安全・安心のまち
中分類	01 環境保全対策の推進
小分類	05 ごみの減量化の推進

所管部局
市民環境部

事務事業名	古紙回収事業費	所管課	ごみ減量推進課																			
		決算額	44,525千円																			
事業内容	本市と協定を締結した古紙類の集団回収に取り組む町内会・自治会等に対し、民間再生事業者に引き渡した古紙類の量に応じて報償金を交付する。																					
成果・実績	<p>引き渡した古紙類の量に応じて、1kgあたり5円の報償金を交付。</p> <p>古紙回収報償金 44,172千円</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th rowspan="2" style="text-align: center;">種別</th> <th colspan="3" style="text-align: center;">各年度の古紙類回収量 (t)</th> </tr> <tr> <th style="text-align: center;">25</th> <th style="text-align: center;">26</th> <th style="text-align: center;">27</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td style="text-align: center;">集団回収</td> <td style="text-align: center;">9,227</td> <td style="text-align: center;">8,914</td> <td style="text-align: center;">8,834</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">直営回収</td> <td style="text-align: center;">250</td> <td style="text-align: center;">239</td> <td style="text-align: center;">237</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">合 計</td> <td style="text-align: center;">9,477</td> <td style="text-align: center;">9,153</td> <td style="text-align: center;">9,071</td> </tr> </tbody> </table>			種別	各年度の古紙類回収量 (t)			25	26	27	集団回収	9,227	8,914	8,834	直営回収	250	239	237	合 計	9,477	9,153	9,071
種別	各年度の古紙類回収量 (t)																					
	25	26	27																			
集団回収	9,227	8,914	8,834																			
直営回収	250	239	237																			
合 計	9,477	9,153	9,071																			
事業評価	当該事業により、市民のリサイクルに対する意識を高め、ごみの減量化と資源のリサイクルを促進することができた。今後も引き続き実施する。																					

事務事業名	ごみ減量化促進対策費	所管課	ごみ減量推進課																							
		決算額	363千円																							
事業内容	可燃ごみの減量化に効果がある生ごみ堆肥化容器及び機器を購入した世帯に対して、購入補助金を交付する。																									
成果・実績	<p>生ごみ堆肥化容器等購入費補助金 363千円</p> <p>生ごみ堆肥化容器等購入費補助実績 (台)</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th rowspan="2" style="text-align: center;">品目</th> <th colspan="3" style="text-align: center;">年度</th> </tr> <tr> <th style="text-align: center;">25</th> <th style="text-align: center;">26</th> <th style="text-align: center;">27</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td style="text-align: center;">電気式機器補助基数</td> <td style="text-align: center;">9</td> <td style="text-align: center;">21</td> <td style="text-align: center;">19</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">コンポスト補助基数</td> <td style="text-align: center;">10</td> <td style="text-align: center;">12</td> <td style="text-align: center;">3</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">ぼかし容器補助基数</td> <td style="text-align: center;">1</td> <td style="text-align: center;">1</td> <td style="text-align: center;">1</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">合 計</td> <td style="text-align: center;">20</td> <td style="text-align: center;">34</td> <td style="text-align: center;">23</td> </tr> </tbody> </table>			品目	年度			25	26	27	電気式機器補助基数	9	21	19	コンポスト補助基数	10	12	3	ぼかし容器補助基数	1	1	1	合 計	20	34	23
品目	年度																									
	25	26	27																							
電気式機器補助基数	9	21	19																							
コンポスト補助基数	10	12	3																							
ぼかし容器補助基数	1	1	1																							
合 計	20	34	23																							
事業評価	生ごみ堆肥化容器等の購入費用の一部を補助したことにより、市民のごみの減量化に対する意識の向上を図ることができた。ごみの減量化への効果及び市民ニーズの把握と現状の分析に努めながら、今後も引き続き実施する。																									

平成 27 年度決算成果説明書

総合計画の体系	
大分類	03 健康でいきいきと暮らせるまち
中分類	01 地域福祉の推進
小分類	01 地域福祉活動の推進

所管部局
福祉こども部

事務事業名	地域福祉推進事業費	所管課	地域福祉課						
		決算額	400千円						
事業内容	「宇治市地域福祉計画」に基づき、福祉のまちづくりを進めるため実施する各事業の進行管理を行う。								
成果・実績	<p>平成22年度に策定した「第2期宇治市地域福祉計画」に掲げた事業の進行管理を行い、地域福祉の推進を図った。また、地域福祉の担い手である住民の参加・参画が得られる取組として、地域づくり事業「いきいき福祉ふれあいのつどい」（地域懇談会）を開催した。</p> <table style="width: 100%; border: none;"> <tr> <td style="width: 50%;">いきいき福祉ふれあいのつどい</td> <td style="width: 50%;">1小学校区 1回</td> </tr> <tr> <td>地域福祉推進委員会開催数</td> <td>2回</td> </tr> <tr> <td>出前講座開催数</td> <td>1回</td> </tr> </table>			いきいき福祉ふれあいのつどい	1小学校区 1回	地域福祉推進委員会開催数	2回	出前講座開催数	1回
いきいき福祉ふれあいのつどい	1小学校区 1回								
地域福祉推進委員会開催数	2回								
出前講座開催数	1回								
事業評価	地域福祉推進委員会での議論を踏まえて、「第2期宇治市地域福祉計画」に定める各事業の進行管理、評価を実施し、地域福祉の推進に努めた。社会福祉協議会が策定する「宇治市地域福祉活動計画」との連携を図り、住民主体の地域福祉の実現に向けた取組を今後も引き続き実施する。								

事務事業名	宇治市社会福祉協議会補助金	所管課	地域福祉課												
		決算額	64,356千円												
事業内容	地域福祉推進の中核的役割を担っている（福）宇治市社会福祉協議会の独自事業及び人件費に対して財政的援助を行うことにより、地域福祉の充実強化を図る。														
成果・実績	<p>（福）宇治市社会福祉協議会に対し、次に掲げる補助を行い、財政的援助と事業の充実を図った。</p> <table style="width: 100%; border: none;"> <tr> <td style="width: 50%;">宇治市社会福祉協議会事務所運営事業補助金</td> <td style="width: 50%;">51,982千円</td> </tr> <tr> <td>福祉活動専門員設置事業補助金</td> <td>2,535千円</td> </tr> <tr> <td>福祉サービス利用援助事業専門員設置事業補助金</td> <td>980千円</td> </tr> <tr> <td>ボランティアコーディネーター設置事業補助金</td> <td>1,959千円</td> </tr> <tr> <td>ふれあい福祉センター事業補助金</td> <td>3,600千円</td> </tr> <tr> <td>学区福祉委員会活動事業補助金</td> <td>3,300千円</td> </tr> </table>			宇治市社会福祉協議会事務所運営事業補助金	51,982千円	福祉活動専門員設置事業補助金	2,535千円	福祉サービス利用援助事業専門員設置事業補助金	980千円	ボランティアコーディネーター設置事業補助金	1,959千円	ふれあい福祉センター事業補助金	3,600千円	学区福祉委員会活動事業補助金	3,300千円
宇治市社会福祉協議会事務所運営事業補助金	51,982千円														
福祉活動専門員設置事業補助金	2,535千円														
福祉サービス利用援助事業専門員設置事業補助金	980千円														
ボランティアコーディネーター設置事業補助金	1,959千円														
ふれあい福祉センター事業補助金	3,600千円														
学区福祉委員会活動事業補助金	3,300千円														
事業評価	民間組織の自主性と法に基づく公共性を持つ社会福祉協議会の活動を支援し、地域住民が主体となった地域福祉の推進を図ることができた。少子高齢化の進展に伴い、福祉ニーズが複雑・多様化する中で、今後の連携・協働のあり方を検討する必要がある。														

平成27年度決算成果説明書

総合計画の体系	
大分類	03 健康でいきいきと暮らせるまち
中分類	01 地域福祉の推進
小分類	01 地域福祉活動の推進

所管部局
福祉こども部

事務事業名	民生児童委員活動助成費	所管課	地域福祉課						
		決算額	37,766千円						
事業内容	<p>民生委員法・児童福祉法に定められた民生児童委員の職務を遂行するために必要な活動費を助成し、地域における福祉活動を推進するとともにその向上を図る。民生児童委員は、高齢者等世帯、ひとり親世帯、児童・子育て支援世帯、障害児・者世帯、生活困難者世帯などの福祉向上及び公的社会福祉施策への協力など、地域福祉の担い手として広範な社会福祉活動を担っている。</p>								
成果・実績	<p>民生児童委員に対して次に掲げる補助を行い、委員活動の一層の充実を図った。</p> <table border="0"> <tr> <td>民生児童委員活動費補助金</td> <td>35,735千円</td> </tr> <tr> <td>民生児童委員協議会会長活動費補助金</td> <td>360千円</td> </tr> <tr> <td>民生児童委員地域福祉活動促進費補助金</td> <td>1,671千円</td> </tr> </table>			民生児童委員活動費補助金	35,735千円	民生児童委員協議会会長活動費補助金	360千円	民生児童委員地域福祉活動促進費補助金	1,671千円
民生児童委員活動費補助金	35,735千円								
民生児童委員協議会会長活動費補助金	360千円								
民生児童委員地域福祉活動促進費補助金	1,671千円								
事業評価	<p>民生児童委員活動への助成を通して、地域福祉の推進を図ることができた。少子高齢化の進展等の社会状況の変化に伴い、その活動は複雑・多様化しており、民生児童委員の確保に努めるとともに、相談等に対処するため研修活動及び委員相互の連携強化に努める必要がある。京都府制度とあわせて活動支援を今後も引き続き実施する。</p>								

事務事業名	総合福祉会館管理運営費	所管課	地域福祉課				
		決算額	28,509千円				
事業内容	<p>(福)宇治市社会福祉協議会を指定管理者(平成27年度~31年度)として、地域福祉推進の拠点施設である宇治市総合福祉会館(昭和58年1月開館)を管理・運営する。</p>						
成果・実績	<p>宇治市総合福祉会館を指定管理者によって管理・運営し、必要な修繕を行った。</p> <table border="0"> <tr> <td>総合福祉会館指定管理料</td> <td>24,965千円</td> </tr> <tr> <td>総合福祉会館修繕費</td> <td>3,544千円</td> </tr> </table>			総合福祉会館指定管理料	24,965千円	総合福祉会館修繕費	3,544千円
総合福祉会館指定管理料	24,965千円						
総合福祉会館修繕費	3,544千円						
事業評価	<p>指定管理者によって、適切に管理運営できた。本市の福祉拠点施設として、今後も指定管理者と連携し適切な施設管理に努めるとともに、施設の老朽化及び利用者ニーズの多様化による設備改修の要望もあることから、引き続き対応を検討する必要がある。</p>						

平成27年度決算成果説明書

総合計画の体系	
大分類	03 健康でいきいきと暮らせるまち
中分類	06 低所得者福祉の充実
小分類	01 低所得者福祉の充実

所管部局
福祉こども部

事務事業名	くらしの資金貸付事業費	所管課	地域福祉課																																		
		決算額	4,030千円																																		
事業内容	生活保護（生活扶助）基準の1.8倍以下の収入世帯に対し、その経済的安定と生活意欲の向上を図るため、生活維持に必要な資金を年2回（夏期、冬期）、貸付限度額10万円（夏期・冬期の合計）、償還期間最長20カ月返済で貸し付ける。（福）宇治市社会福祉協議会へ事務委託。																																				
成果・実績	<p>厳しい生活状況に置かれた市民に対して、本事業により生活の安定を図った。平成27年度は件数、金額ともに平成26年度と比べ減少となった。</p> <p style="text-align: center;">くらしの資金貸付実績</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; margin: 10px 0;"> <thead> <tr> <th rowspan="2"></th> <th colspan="2">平成25年度</th> <th colspan="2">平成26年度</th> <th colspan="2">平成27年度</th> </tr> <tr> <th>件数</th> <th>貸付金額 (千円)</th> <th>件数</th> <th>貸付金額 (千円)</th> <th>件数</th> <th>貸付金額 (千円)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>夏期</td> <td style="text-align: center;">17</td> <td style="text-align: right;">1,680</td> <td style="text-align: center;">19</td> <td style="text-align: right;">1,900</td> <td style="text-align: center;">16</td> <td style="text-align: right;">1,560</td> </tr> <tr> <td>冬期</td> <td style="text-align: center;">23</td> <td style="text-align: right;">2,300</td> <td style="text-align: center;">23</td> <td style="text-align: right;">2,250</td> <td style="text-align: center;">19</td> <td style="text-align: right;">1,850</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td style="text-align: center;">40</td> <td style="text-align: right;">3,980</td> <td style="text-align: center;">42</td> <td style="text-align: right;">4,150</td> <td style="text-align: center;">35</td> <td style="text-align: right;">3,410</td> </tr> </tbody> </table>				平成25年度		平成26年度		平成27年度		件数	貸付金額 (千円)	件数	貸付金額 (千円)	件数	貸付金額 (千円)	夏期	17	1,680	19	1,900	16	1,560	冬期	23	2,300	23	2,250	19	1,850	合計	40	3,980	42	4,150	35	3,410
	平成25年度		平成26年度		平成27年度																																
	件数	貸付金額 (千円)	件数	貸付金額 (千円)	件数	貸付金額 (千円)																															
夏期	17	1,680	19	1,900	16	1,560																															
冬期	23	2,300	23	2,250	19	1,850																															
合計	40	3,980	42	4,150	35	3,410																															
事業評価	資金貸付により、低所得者等の生活意欲の向上と自立助成に一定の効果を挙げることができた。今後も業務を委託している（福）宇治市社会福祉協議会と引き続き連携し、さらなる償還率の向上に努めるとともに、情勢に応じた制度のあり方について検討する必要がある。																																				

事務事業名	臨時福祉給付金給付事業費	所管課	地域福祉課
		決算額	220,198千円
事業内容	平成26年4月からの消費税率の引き上げに伴い、低所得者の負担を緩和するため、臨時的な措置として臨時福祉給付金を支給する。		
成果・実績	<p>平成27年1月1日時点で本市に住民登録がある人で、平成27年度の市民税（均等割）が非課税の人（課税者の扶養親族及び生活保護受給者などは除く）に対し、1人につき6千円を支給した。</p> <p style="margin-left: 20px;">支給人数 31,247人</p> <p style="margin-left: 20px;">支給金額 187,482千円</p>		
事業評価	国制度に基づき、「臨時福祉給付金」を支給し、低所得者の負担を緩和することができた。		

平成 27 年度決算成果説明書

総合計画の体系		所管部局
大分類	03 健康でいきいきと暮らせるまち	福祉こども部
中分類	06 低所得者福祉の充実	
小分類	01 低所得者福祉の充実	

事務事業名	住居確保給付金給付費	所管課	生活支援課								
		決算額	796千円								
事業内容	離職後2年以内及び65歳未満で、就労能力及び就労意欲のある者のうち、住宅を喪失している者または喪失するおそれのある者に対して、住居確保給付金を支給することにより、これらの者の住居費及び就労活動を支援する。										
成果・実績	支給状況等（平成27年4月1日～平成28年3月31日） <table style="width: 100%; margin-top: 10px;"> <tr> <td style="width: 60%;">支給対象者数</td> <td style="text-align: right;">6人</td> </tr> <tr> <td>支給額合計</td> <td style="text-align: right;">796千円</td> </tr> <tr> <td>支給決定者数</td> <td style="text-align: right;">5人</td> </tr> <tr> <td>不支給決定者数</td> <td style="text-align: right;">1人</td> </tr> </table> 就労状況（平成27年4月1日～平成28年3月31日） 平成27年度に支給した5人中3人（60%）が常用就職できた。			支給対象者数	6人	支給額合計	796千円	支給決定者数	5人	不支給決定者数	1人
支給対象者数	6人										
支給額合計	796千円										
支給決定者数	5人										
不支給決定者数	1人										
事業評価	生活困窮者自立支援法に基づき適正に執行し、失業者に対するセーフティネットとしての役割を果たすことができた。雇用対策としての取組でもあり、ハローワーク及び京都府との連携に努める必要がある。										

事務事業名	中国残留邦人生活支援事業費	所管課	生活支援課																							
		決算額	66,199千円																							
事業内容	「中国残留邦人等の円滑な帰国の促進及び永住帰国後の自立の支援に関する法律」の一部が改正されたことにより平成20年4月1日より国からの法定受託事務として支援給付事業を行うこととされたもの。支援給付の内容は今までの生活保護費に代わるものである。																									
成果・実績	中国残留邦人等帰国者に対し、支援給付費の支給及び日本語教室の開催などの支援を行った。 <table style="width: 100%; margin-top: 10px;"> <tr> <td style="width: 60%;">中国残留邦人等支援給付費</td> <td style="text-align: right;">61,554千円</td> <td style="width: 40%;">（対象：16世帯、21人）</td> </tr> <tr> <td>中国残留邦人等支援事務費</td> <td style="text-align: right;">2,217千円</td> <td></td> </tr> <tr> <td>中国残留邦人生活支援日本語教室委託料</td> <td style="text-align: right;">2,428千円</td> <td></td> </tr> </table> 支援給付費決算額（千円） <table border="1" style="width: 100%; margin-top: 5px; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>支援の種類</th> <th>生活</th> <th>住宅</th> <th>介護</th> <th>医療</th> <th>その他</th> <th>合計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>支援給付費</td> <td style="text-align: center;">18,356</td> <td style="text-align: center;">3,363</td> <td style="text-align: center;">870</td> <td style="text-align: center;">38,965</td> <td style="text-align: center;">0</td> <td style="text-align: center;">61,554</td> </tr> </tbody> </table>			中国残留邦人等支援給付費	61,554千円	（対象：16世帯、21人）	中国残留邦人等支援事務費	2,217千円		中国残留邦人生活支援日本語教室委託料	2,428千円		支援の種類	生活	住宅	介護	医療	その他	合計	支援給付費	18,356	3,363	870	38,965	0	61,554
中国残留邦人等支援給付費	61,554千円	（対象：16世帯、21人）																								
中国残留邦人等支援事務費	2,217千円																									
中国残留邦人生活支援日本語教室委託料	2,428千円																									
支援の種類	生活	住宅	介護	医療	その他	合計																				
支援給付費	18,356	3,363	870	38,965	0	61,554																				
事業評価	国制度に基づき適正に執行し、対象者の生活支援を図ることができた。																									

平成 27 年度決算成果説明書

総合計画の体系	
大分類	03 健康でいきいきと暮らせるまち
中分類	06 低所得者福祉の充実
小分類	01 低所得者福祉の充実

所管部局
福祉こども部

事務事業名	生活保護	所管課	生活支援課																						
		決算額	4,766,832千円																						
事業内容	<p>日本国憲法第25条に基づき、生活困窮者に対し健康で文化的な最低限度の生活を保障するとともに、その自立を助長することを目的とする。国が示す生活保護基準により扶助費を支給する。</p>																								
成果・実績	<p>生活困窮者の困窮の程度に応じて必要な保護を行い、生活、住宅、教育、介護、医療、出産、生業及び葬祭扶助を実施した。被保護世帯は平成27年度中の月平均で2,030世帯、被保護人員は、3,044人であった。</p> <p>平成27年度生活保護扶助費決算額 (千円)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; margin-left: 20px;"> <thead> <tr> <th style="width: 30%;">扶助の種類</th> <th style="width: 70%;">扶助費</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>生活</td><td style="text-align: right;">1,591,956</td></tr> <tr><td>住宅</td><td style="text-align: right;">748,766</td></tr> <tr><td>教育</td><td style="text-align: right;">38,663</td></tr> <tr><td>介護</td><td style="text-align: right;">85,073</td></tr> <tr><td>医療</td><td style="text-align: right;">2,244,195</td></tr> <tr><td>出産</td><td style="text-align: right;">0</td></tr> <tr><td>生業</td><td style="text-align: right;">26,751</td></tr> <tr><td>葬祭</td><td style="text-align: right;">7,403</td></tr> <tr><td>その他</td><td style="text-align: right;">24,025</td></tr> <tr><td>合計</td><td style="text-align: right;">4,766,832</td></tr> </tbody> </table>			扶助の種類	扶助費	生活	1,591,956	住宅	748,766	教育	38,663	介護	85,073	医療	2,244,195	出産	0	生業	26,751	葬祭	7,403	その他	24,025	合計	4,766,832
扶助の種類	扶助費																								
生活	1,591,956																								
住宅	748,766																								
教育	38,663																								
介護	85,073																								
医療	2,244,195																								
出産	0																								
生業	26,751																								
葬祭	7,403																								
その他	24,025																								
合計	4,766,832																								
事業評価	<p>国制度に基づき適正に執行し、対象世帯の経済的な生活支援と自立助長を図ることができた。今後も受給者の経済的自立を目指すとともに、濫給防止、漏給防止に配慮しながら法令遵守を徹底し、生活保護運営に努める必要がある。</p>																								

事務事業名	生活保護申請者つなぎ立替金貸付事業費	所管課	生活支援課				
		決算額	2,598千円				
事業内容	<p>平成15年度に発足した制度であり、生活保護の申請から決定までの期間、生活困窮者のつなぎ資金として、3万円を限度として生活費の貸付を行う。</p>						
成果・実績	<table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 30%;">貸付件数</td> <td style="width: 70%; text-align: right;">231件</td> </tr> <tr> <td>貸付額合計</td> <td style="text-align: right;">2,598千円</td> </tr> </table>			貸付件数	231件	貸付額合計	2,598千円
貸付件数	231件						
貸付額合計	2,598千円						
事業評価	<p>適正に貸付を行うことにより、対象者の生活安定を図ることができた。新規申請者の増減等を考慮し、的確な状況把握及び関連施策と連携に努めながら、今後も引き続き実施する。</p>						

平成 27 年度決算成果説明書

総合計画の体系		所管部局
大分類	03 健康でいきいきと暮らせるまち	福祉こども部
中分類	05 障害者福祉の推進	
小分類	01 障害者福祉の充実	

事務事業名	障害者福祉基本計画施策推進協議会運営費	所管課	障害福祉課
		決算額	178千円
事業内容	宇治市障害者福祉基本計画施策推進協議会を年2回程度開催し、障害者福祉基本計画に沿った障害者に関わる事業を報告し、その意見を聞く。		
成果・実績	「第4期宇治市障害福祉計画」の進捗状況を報告し、その意見を聴くことができた。また、宇治市地域自立支援協議会の取り組みについて報告を行った。		
事業評価	宇治市障害者福祉基本計画施策推進協議会を開催することにより、協議会委員の意見を施策に反映することができた。今後も、制度改正に的確に対応していくため、国・京都府の動向を注視しながら、協議会の運営に努める必要がある。		

事務事業名	障害者介護給付費等支給認定審査会運営費	所管課	障害福祉課
		決算額	4,587千円
事業内容	障害者の介護給付費等の支給申請に対し、障害者の障害支援区分に関する審査及び判定を行う。		
成果・実績	<p>「障害者総合支援法」に基づき、障害者の障害支援区分を審査判定する審査会を開催し、審査判定を行った。</p> <p style="margin-left: 40px;">審査会開催数 29回 審査判定件数 530件（宇治田原町分22件を含む）</p>		
事業評価	障害者総合支援法に基づき適正に運営した。		

平成27年度決算成果説明書

総合計画の体系	
大分類	03 健康でいきいきと暮らせるまち
中分類	05 障害者福祉の推進
小分類	01 障害者福祉の充実

所管部局
福祉こども部

事務事業名	障害者自立支援医療費	所管課	障害福祉課
		決算額	243,110千円
事業内容	身体障害者手帳の交付を受けた18歳以上の人に対し、身体の機能障害を除去、または軽減する医療を指定の医療機関で受ける場合にその医療費の一部を支給する。		
成果・実績	<p>自立支援医療費（更生医療）事業 身体の機能障害を除去、または軽減し日常生活及び職業生活に適應するように改善するため、医療費の一部を816人に支給した。（入院・通院重複者は除く）</p> <p>自立支援医療特別対策事業 自立支援医療費（更生医療）の対象にならない、在宅酸素療法、ストマ周辺の感染防止等のための治療、及びぼうこう・直腸の機能障害の原因疾患の治療を受けている該当障害3級の手帳所持者44人に対し、医療費の一部を支給した。</p>		
事業評価	国・京都府制度に基づき適正に医療費を支給することにより、身体の機能障害を除去、または軽減させる治療を促進することができた。京都府及び医療機関と連携し、今後も引き続き実施する。		

事務事業名	特別障害者手当等給付費	所管課	障害福祉課						
		決算額	127,778千円						
事業内容	在宅の重度障害児・者の福祉の向上を図るため、特別障害者手当、障害児福祉手当、経過的福祉手当を支給する。								
成果・実績	<p>在宅の重度障害児・者に対し手当を支給し、経済的負担の軽減を図った。</p> <table border="0"> <tr> <td>特別障害者手当延べ支給人数</td> <td>3,617人</td> </tr> <tr> <td>障害児福祉手当延べ支給人数</td> <td>2,129人</td> </tr> <tr> <td>経過的福祉手当延べ支給人数</td> <td>76人</td> </tr> </table>			特別障害者手当延べ支給人数	3,617人	障害児福祉手当延べ支給人数	2,129人	経過的福祉手当延べ支給人数	76人
特別障害者手当延べ支給人数	3,617人								
障害児福祉手当延べ支給人数	2,129人								
経過的福祉手当延べ支給人数	76人								
事業評価	国制度に基づき適正に手当を支給することにより、在宅の重度障害児・者の経済的負担の軽減を図ることができた。								

平成 27 年度決算成果説明書

総合計画の体系	
大分類	03 健康でいきいきと暮らせるまち
中分類	05 障害者福祉の推進
小分類	01 障害者福祉の充実

所管部局
福祉こども部

事務事業名	障害者介護給付費	所管課	障害福祉課
		決算額	1,853,700千円
事業内容	<p>「障害者総合支援法」に基づく障害福祉サービスの利用に対し、介護給付費等の給付を行う。障害福祉サービスの支給決定を受けた障害児・者が、都道府県の指定を受けた事業所と契約し、自立生活に必要な支援を受けることにより、障害児・者が基本的人権を共有する個人としての尊厳にふさわしい日常生活または社会生活を営むことができるようにすることを目的とする。</p>		
成果・実績	<p>「障害者総合支援法」に基づく障害福祉サービスの利用に対し、介護給付費等の給付を行った。</p> <p style="text-align: center;">障害者介護給付利用延べ人数 18,745人</p>		
事業評価	<p>国制度に基づき個々の障害の状態に応じて給付を実施したことにより、障害児・者の福祉の推進を図ることができた。</p>		

事務事業名	障害者訓練等給付費	所管課	障害福祉課
		決算額	864,031千円
事業内容	<p>「障害者総合支援法」に基づく障害福祉サービスの利用に対し、訓練等給付費等の給付を行う。障害福祉サービスの支給決定を受けた障害児・者が、都道府県の指定を受けた事業所と契約し、自立生活に必要な就労訓練等を行うことにより、障害児・者が基本的人権を共有する個人としての尊厳にふさわしい日常生活または社会生活を営むことができるようにすることを目的とする。</p>		
成果・実績	<p>「障害者総合支援法」に基づく障害福祉サービスの利用に対し、訓練等給付費等の給付を行った。</p> <p style="text-align: center;">障害者訓練等給付利用延べ人数 6,754人</p>		
事業評価	<p>国制度に基づき個々の障害の状態に応じて給付を実施したことにより、障害児・者の福祉の推進を図ることができた。</p>		

平成 27 年度決算成果説明書

総合計画の体系	
大分類	03 健康でいきいきと暮らせるまち
中分類	05 障害者福祉の推進
小分類	01 障害者福祉の充実

所管部局
福祉こども部

事務事業名	障害者日常生活用具費	所管課	障害福祉課
		決算額	52,503千円
事業内容	在宅の重度障害児・者に対し、日常生活の便宜を図るため、介護・訓練支援用具、自立生活支援用具、在宅療養等支援用具、情報・意思疎通支援用具、排泄管理支援用具などの日常生活用具を給付または貸与する。		
成果・実績	在宅の重度障害児・者に対し、日常生活用具を給付・貸与した。 給付件数 4,397件		
事業評価	在宅の重度障害児・者に対し、日常生活用具を給付・貸与したことにより、障害児・者の日常生活を支援することができた。適正な事業運営に努めながら、今後も引き続き実施する。		

事務事業名	障害者補装具費	所管課	障害福祉課
		決算額	41,100千円
事業内容	障害児・者の失われた身体機能を補完・代替するために用いられる用具である補装具の購入または修理に要する費用の一部または全部を支給する。		
成果・実績	義肢・装具・車いす等の補装具の購入及び修理に要する費用を支給した。 延べ支給件数 505件		
事業評価	障害者総合支援法に基づき適正に事務を執行し、障害者の自立を促進することができた。今後も引き続き実施する。		

平成 27 年度決算成果説明書

総合計画の体系		所管部局
大分類	03 健康でいきいきと暮らせるまち	福祉こども部
中分類	05 障害者福祉の推進	
小分類	01 障害者福祉の充実	

事務事業名	障害者意思疎通支援事業費	所管課	障害福祉課				
		決算額	4,479千円				
事業内容	聴覚障害者に対し、日常生活及び社会生活に必要な意思疎通の円滑化を図るため、手話通訳者、要約筆記者の派遣を行う。						
成果・実績	聴覚障害者の意思疎通支援を行うため、手話通訳者・要約筆記者を派遣した。 <table style="width: 100%; border: none;"> <tr> <td style="padding-left: 20px;">手話通訳者派遣延べ件数</td> <td style="text-align: right;">604件</td> </tr> <tr> <td style="padding-left: 20px;">要約筆記者派遣延べ件数</td> <td style="text-align: right;">503件</td> </tr> </table>			手話通訳者派遣延べ件数	604件	要約筆記者派遣延べ件数	503件
手話通訳者派遣延べ件数	604件						
要約筆記者派遣延べ件数	503件						
事業評価	手話通訳者・要約筆記者を派遣することにより、聴覚障害者の意思疎通の円滑化及び社会参加を促進することができた。効率的な支援が実施できるように利用者のニーズ等の把握、分析に努め、今後も引き続き実施する。						

事務事業名	手話奉仕員養成講座開設事業費	所管課	障害福祉課		
		決算額	923千円		
事業内容	聴覚障害者の意思疎通支援を行う手話奉仕員を養成する養成講座を開催する。				
成果・実績	市内在住・在勤・在学の方を対象に、手話奉仕員養成講座（後期課程）を実施した。 <table style="width: 100%; border: none;"> <tr> <td style="padding-left: 20px;">受講者数</td> <td style="text-align: right;">28人</td> </tr> </table>			受講者数	28人
受講者数	28人				
事業評価	2カ年単位で奉仕員を養成することにより、聴覚障害者の意思疎通支援につなげることができた。障害者総合支援法に掲げられている聴覚障害者の意思疎通を保障するため、より学習効果が高まる手法の検討に努め、今後も引き続き実施する。				

平成 27 年度決算成果説明書

総合計画の体系		所管部局
大分類	03 健康でいきいきと暮らせるまち	福祉こども部
中分類	05 障害者福祉の推進	
小分類	01 障害者福祉の充実	

事務事業名	福祉タクシー扶助費	所管課	障害福祉課
		決算額	37,217千円
事業内容	外出困難な重度心身障害者の日常生活の利便を図り、生活行動範囲の拡大及び社会参加の促進を図るため、タクシー料金の一部を助成する。		
成果・実績	1カ月あたり1,200円の福祉タクシー利用券を交付し、タクシー料金の一部助成を行った。 交付件数 3,627件		
事業評価	対象者に福祉タクシー利用券の交付を行うことにより、外出困難な重度心身障害者の生活行動範囲の拡大及び社会参加の促進を図ることができた。利用状況の的確な把握、分析に努め、より効果的な実施方法について引き続き検討する必要がある。		

事務事業名	各種自己負担助成金	所管課	障害福祉課
		決算額	3,346千円
事業内容	身体障害者手帳及び精神障害者保健福祉手帳を交付（新規、再交付）申請する際に要する医師の診断書料並びに特別障害者手当等認定請求（新規）時に要する診断書料の全部または一部を助成することで、障害者の経済的負担を軽減する。		
成果・実績	手帳の交付申請等に要する診断書料の自己負担に対して助成を行った。 診断書料の自己負担に対する延べ助成件数 身体障害者手帳・精神障害者保健福祉手帳の交付申請時 1,102件 特別障害者手当等の認定請求時 20件		
事業評価	各種制度の申請に要する診断書料の助成を行うことにより、障害者の経済的負担の軽減を図ることができた。申請状況等を的確に把握する中で、今後も引き続き実施する。		

平成 27 年度決算成果説明書

総合計画の体系		所管部局
大分類	03 健康でいきいきと暮らせるまち	福祉こども部
中分類	05 障害者福祉の推進	
小分類	01 障害者福祉の充実	

事務事業名	障害者生活支援事業費	所管課	障害福祉課						
		決算額	3,016千円						
事業内容	障害者等に対し、日常生活上必要な訓練・指導等、本人活動支援などを行うことにより、生活の質的向上を図り、社会復帰を促進する。								
成果・実績	<p>宇治市視覚障害者協会に委託し、中途失明者を対象に点字講習会を行った。また、精神障害者を対象に、創作及びゲームなどのプログラムを通して、作業能力及び生活能力を高め、社会生活への適応が図れるように、うじ安心館等において精神障害者社会復帰集団指導事業を開催した。</p> <table style="width: 100%; margin-top: 10px;"> <tr> <td style="width: 70%;">中途失明者点字講習会開催数</td> <td style="text-align: right;">96回</td> </tr> <tr> <td>精神障害者社会復帰集団指導事業開催数</td> <td style="text-align: right;">39回</td> </tr> <tr> <td>精神障害者社会復帰集団指導事業延べ参加者数</td> <td style="text-align: right;">284人</td> </tr> </table>			中途失明者点字講習会開催数	96回	精神障害者社会復帰集団指導事業開催数	39回	精神障害者社会復帰集団指導事業延べ参加者数	284人
中途失明者点字講習会開催数	96回								
精神障害者社会復帰集団指導事業開催数	39回								
精神障害者社会復帰集団指導事業延べ参加者数	284人								
事業評価	各種生活支援事業を実施したことにより、障害者の自立した社会生活と社会参加の促進及び生活の質的向上を図ることができた。本事業が唯一の社会参加の場、他者との交流の場となっている障害者もあり、利用状況の把握、分析に努め、今後も引き続き実施する。								

事務事業名	地域活動支援センター等事業費	所管課	障害福祉課
		決算額	30,673千円
事業内容	地域活動支援センターにおいて、創作的活動または生産活動の機会の提供、社会との交流の促進など、障害者が自立した日常生活及び社会生活を営むために必要な支援を行う。		
成果・実績	5カ所の地域活動支援センターに通う延べ1,131人の障害者に対し支援を行った。		
事業評価	地域活動支援センターにおける社会交流等の事業を実施したことにより、障害者の自立した社会生活及び社会参加を促進できた。支援状況の把握、分析に努め、今後も引き続き実施する。		

平成27年度決算成果説明書

総合計画の体系	
大分類	03 健康でいきいきと暮らせるまち
中分類	04 少子化社会への対応
小分類	01 総合的な子育て支援の充実

所管部局
福祉こども部

事務事業名	こどもショートステイ事業費	所管課	こども福祉課						
		決算額	274千円						
事業内容	保護者が疾病、疲労その他の身体上若しくは精神上または環境上の理由により、家庭において児童を養育することが一時的に困難になった場合に、実施施設において、児童の養育・保護を行う。								
成果・実績	<p>一時的に家庭で子育てが困難となった場合に、児童養護施設等で一定期間養育する事業を実施した。</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 20%;">実施施設</td> <td>桃山学園（京都市伏見区）</td> </tr> <tr> <td></td> <td>京都大和の家（精華町）</td> </tr> <tr> <td>利用日数</td> <td>39日</td> </tr> </table>			実施施設	桃山学園（京都市伏見区）		京都大和の家（精華町）	利用日数	39日
実施施設	桃山学園（京都市伏見区）								
	京都大和の家（精華町）								
利用日数	39日								
事業評価	児童の一時的な保護を行うことにより、保護者・児童への支援を図ることができた。年度により利用件数の増減はあるものの、セーフティネットとしての機能と役割があるため、制度の周知に努めながら、今後も引き続き実施する。								

事務事業名	ファミリー・サポート・センター運営費	所管課	こども福祉課								
		決算額	6,164千円								
事業内容	保護者の就労と子育て等の両立を支援し、安心して働くことのできる環境をつくるため、子育て等の援助を行いたい人と受けたい人で構成される会員組織であるファミリー・サポート・センターにおいて、地域での会員相互間の活動を支援する。JR宇治駅前市民交流プラザ「ゆめりあうじ」に事務局を設置している。										
成果・実績	<p>ファミリー・サポート・センターを運営し、地域における相互援助活動を実施した。平成27年度より、対象児童を「小学生6年生まで」に拡大するとともに「家事等支援」の対象期間を「産前2カ月から1歳に達するまで」に拡大した。</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 20%;">援助会員数</td> <td>136人</td> </tr> <tr> <td>依頼会員数</td> <td>1,474人</td> </tr> <tr> <td>両方会員数</td> <td>29人</td> </tr> <tr> <td>利用件数</td> <td>2,099件</td> </tr> </table>			援助会員数	136人	依頼会員数	1,474人	両方会員数	29人	利用件数	2,099件
援助会員数	136人										
依頼会員数	1,474人										
両方会員数	29人										
利用件数	2,099件										
事業評価	市民で構成される会員組織を運営し、地域における相互援助活動を実施したことにより、安心して働くことのできる環境づくりを推進することができた。多様化するニーズ等の状況の把握、分析に努めるとともに、安全面等にも十分留意しながら利用促進に努める。										

平成 27 年度決算成果説明書

総合計画の体系		所管部局
大分類	03 健康でいきいきと暮らせるまち	福祉こども部
中分類	04 少子化社会への対応	
小分類	01 総合的な子育て支援の充実	

事務事業名	児童虐待防止対策事業費	所管課	こども福祉課
		決算額	308千円
事業内容	児童虐待の未然防止と早期発見のために、児童福祉法に基づき要保護児童対策地域協議会を設置している。 要保護児童対策地域協議会代表者会議（年2回）の開催 要保護児童対策地域協議会調整会議（年6回）の開催		
成果・実績	代表者会議（年2回）では、関係機関等の代表者らの出席のもと、児童虐待の現状とケースの報告を行うとともに、関係機関等の連携を深めた。 調整会議（年6回）には、関係機関等の実務担当者が出席し、市と児童相談所の児童虐待ケースの情報を共有し、援助方針を話し合い、連携を深めた。 また、平成27年度から、児童相談所と市関係課の実務者による、支援内容の検討会議を年2回実施し、関係機関との情報共有に努めた。 代表者会議開催日 9月16日、平成28年3月28日 調整会議開催日 奇数月の第3金曜日 児童虐待ケースの延べ対応件数 315件		
事業評価	児童福祉法に基づき要保護児童対策地域協議会を設置し、児童虐待の未然防止と早期発見に努めることができた。対応件数の増加及びケースの深刻化に対応するため、より一層の関係機関との情報共有及び密接な連携に努める必要がある。		

事務事業名	児童虐待防止対策緊急強化事業費	所管課	こども福祉課
		決算額	3,500千円
事業内容	児童虐待の未然防止と早期発見のために、地域子育て支援基幹センター（児童虐待担当）の体制を強化し、児童相談所との連携強化及び相談ケースへの対応力の向上を図るとともに、啓発及び研修など様々な取組を実施し、児童虐待防止対策の緊急的な強化を図る。		
成果・実績	地域子育て支援基幹センターにおいて専門職員を継続して配置し、児童相談所及び関係機関との連携を強化するとともに、相談ケースへの対応力のさらなる強化を図った。 また、要保護児童対策地域協議会の関係機関等を対象に、研修会を開催した。 広報・啓発活動としては、子どもへの虐待・女性に対する暴力の根絶を目指し、それぞれのシンボルマークである「オレンジリボン」と「パープルリボン」の啓発を一体化し、「オレンジリボン・パープルリボンキャンペーン」を、男女共同参画課と共催で実施した。 嘱託職員配置 専門職員を継続配置 研修会開催日 11月4日 キャンペーン実施内容 街頭啓発・パネル展示・関連図書展示等		
事業評価	専門職員を配置し児童相談所及び関係機関との連携を強化するとともに、研修会の開催及び広報・啓発活動などを実施したことにより、児童虐待の緊急的な防止対策の強化を図ることができた。相談件数の増加及びケースの深刻化に対応するため、今後も引き続き実施する。		

平成 27 年度決算成果説明書

総合計画の体系	
大分類	03 健康でいきいきと暮らせるまち
中分類	04 少子化社会への対応
小分類	01 総合的な子育て支援の充実

所管部局
福祉こども部

事務事業名	しあわせ子育て・子育て応援事業費	所管課	こども福祉課
		決算額	607千円
事業内容	子どもが生まれた家庭に子どもを生き育てる喜びを感じてもらえるように、お祝いの記念品等を贈るとともに、子育て情報誌等で市の子育て支援事業を利用してもらうように広報する。		
成果・実績	お祝いのメッセージカード、アルバム式身長計、子育て情報誌、ファミリー・サポート・センターの無料利用券などを送付した。 送付件数 1,276世帯		
事業評価	子育て支援の第一歩として記念品及び子育て情報誌などを送付することにより、子どもの健やかな成長への支援と親の子育てへの喜びの増進を図ることができた。子育て世代のニーズの把握、分析に努め、今後の事業展開を検討する。		


事務事業名	地域子育てひろば支援事業費	所管課	こども福祉課
		決算額	406千円
事業内容	家族規模の縮小等により地域コミュニティが希薄化する中で、孤立しがちな子育て家庭を支援するため、集会所等での地域住民による「子育てひろば」の運営を促進し、地域における子育て家庭と地域住民との子育て支援関係を作り上げる。		
成果・実績	地域住民による「子育てひろば」の運営に係る補助金を交付した。 実施場所 下村集会所 開集会所 平町集会所 平尾東集会所 伊勢田北集会所 明星集会所 (新規)		
事業評価	地域住民が開設する「子育てひろば」に運営費等の補助を実施したことにより、交流及び情報交換などによって子育て家庭の支援を促進できた。市民ニーズの把握、分析に努めながら、引き続き地域子育て支援拠点も含めた今後の子育て支援施策の展開を検討する。		

平成27年度決算成果説明書

総合計画の体系	
大分類	03 健康でいきいきと暮らせるまち
中分類	04 少子化社会への対応
小分類	01 総合的な子育て支援の充実

所管部局
福祉こども部

事務事業名	地域子育て支援拠点事業費	所管課	こども福祉課																														
		決算額	50,909千円																														
事業内容	<p>地域における子育ての交流等を促進する子育て支援拠点を設置し、地域の子育て支援機能の充実を図り、子育ての不安感等を緩和することにより、子どもの健やかな育ちを促進することを目的とする。</p> <p>地域子育て支援拠点では、子育て家庭の親とその子どもが気軽に集い、相互に交流を図る場を提供するとともに、子育てについての相談及び情報の提供、講習等の実施を行う。また地域子育て支援基幹センターでは、子育て支援の総合的なコーディネートを行い、子育て支援施策を総合的に推進する。</p>																																
成果・実績	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th style="width: 40%;">名称</th> <th style="width: 15%;">運営方法</th> <th style="width: 20%;">ひろば延べ利用者数(人)</th> <th style="width: 25%;">相談件数(件)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1. 地域子育て支援基幹センター</td> <td rowspan="2">直営</td> <td>9,647</td> <td>600</td> </tr> <tr> <td>2. 西部地域子育て支援センター</td> <td>6,176</td> <td>319</td> </tr> <tr> <td>3. 南部地域子育て支援センター</td> <td rowspan="6">委託</td> <td>375</td> <td>47</td> </tr> <tr> <td>4. 東部地域子育て支援センター</td> <td>5,755</td> <td>103</td> </tr> <tr> <td>5. 北部地域子育て支援センター</td> <td>8,319</td> <td>91</td> </tr> <tr> <td>6. りぼん</td> <td>7,359</td> <td>289</td> </tr> <tr> <td>7. ぶんきょうにこにこルーム</td> <td>8,248</td> <td>89</td> </tr> <tr> <td>8. ひあ にしおぐら</td> <td>2,340</td> <td>140</td> </tr> </tbody> </table>			名称	運営方法	ひろば延べ利用者数(人)	相談件数(件)	1. 地域子育て支援基幹センター	直営	9,647	600	2. 西部地域子育て支援センター	6,176	319	3. 南部地域子育て支援センター	委託	375	47	4. 東部地域子育て支援センター	5,755	103	5. 北部地域子育て支援センター	8,319	91	6. りぼん	7,359	289	7. ぶんきょうにこにこルーム	8,248	89	8. ひあ にしおぐら	2,340	140
名称	運営方法	ひろば延べ利用者数(人)	相談件数(件)																														
1. 地域子育て支援基幹センター	直営	9,647	600																														
2. 西部地域子育て支援センター		6,176	319																														
3. 南部地域子育て支援センター	委託	375	47																														
4. 東部地域子育て支援センター		5,755	103																														
5. 北部地域子育て支援センター		8,319	91																														
6. りぼん		7,359	289																														
7. ぶんきょうにこにこルーム		8,248	89																														
8. ひあ にしおぐら		2,340	140																														
事業評価	<p>地域子育て支援基幹センター等において各種子育て支援事業を実施したことにより、子どもの健やかな育ちを促進することができた。市民ニーズの把握、分析に努めながら、引き続き今後の子育て支援施策の展開を検討する。</p>																																

事務事業名	子育て支援総合コーディネート事業費	所管課	こども福祉課
		決算額	8,197千円
事業内容	<p>子育て家庭への支援の充実を図るため、「来庁者子育て支援コーナー」に子育て支援総合コーディネーター（専門相談員）と保育士を配置し、来庁者の子どもの一時預かり及び子育て支援全般に関する相談を実施する。</p>		
成果・実績	<p>市役所1階市民交流ロビーにおいて、「来庁者子育て支援コーナー」を開設し、通年運営した。</p> <p style="margin-left: 20px;">職員配置 保育士2人 子育て支援総合コーディネーター（専門相談員）1人（週2日） 地域子育て支援基幹センターにも週1日配置</p> <p style="margin-left: 20px;">利用人数 預かり 1,794人 相談 815人</p> <div style="text-align: right; margin-top: 10px;">  </div>		
事業評価	<p>本市独自の行政サービスである来庁者の子どもの一時預かり及び子ども・子育て支援新制度に基づいた利用者支援事業として子育て支援全般に関する相談を実施したことにより、子育て家庭への支援の充実を図ることができた。今後は利用状況の分析に努めながら、事業展開のあり方について検討する。</p>		

平成27年度決算成果説明書

総合計画の体系	
大分類	03 健康でいきいきと暮らせるまち
中分類	04 少子化社会への対応
小分類	01 総合的な子育て支援の充実

所管部局
福祉こども部

事務事業名	子育て世帯臨時特例給付金給付事業費	所管課	こども福祉課
		決算額	79,480千円
事業内容	平成26年4月からの消費税率の引き上げに伴い、「子育て世帯」の負担を緩和するため、臨時的な措置として「子育て世帯臨時特例給付金」を支給する。		
成果・実績	平成27年5月31日時点で宇治市に住民票がある人で、平成27年6月分の児童手当支給対象者に対し、児童1人につき3,000円を支給した。		
	支給件数（うち支給対象児童数）	14,405件（24,087人）	
	支給金額	72,261千円	
事業評価	国制度に基づき「子育て世帯臨時特例給付金」を支給し、子育て世帯の負担を緩和することができた。		

事務事業名	宇治市奨学資金貸与費	所管課	こども福祉課
		決算額	4,003千円
事業内容	勉学意欲がありながら経済的理由により修学が困難な大学、高校及び高等専門学校の在学者に奨学資金を貸与する。		
成果・実績	貸与人数	高校生	0人
		高等専門学校生	0人
		大学生	12人
	奨学資金貸与額	3,996千円	
事業評価	奨学資金の貸与により、勉学意欲はあるが経済的理由により修学が困難な市民を支援することができた。引き続き、的確な償還に向けた周知徹底等の働きかけを行うとともに、関連する他奨学金制度の実施状況等の把握、分析に努め、今後のあり方について検討する。		

平成27年度決算成果説明書

総合計画の体系			所管部局	
大分類	03 健康でいきいきと暮らせるまち			
中分類	04 少子化社会への対応			
小分類	02 保育サービスの充実			
			福祉こども部	

事務事業名	乳幼児健康支援一時預かり事業費	所管課	こども福祉課	
		決算額	29,520千円	
事業内容	病気回復期等で集団保育が困難であり、保護者の勤務の都合等により家庭での保育が困難な児童に対して保育と看護を行う。平成8年9月から宇治病院、平成14年11月から浅妻医院、平成27年7月から宇治徳洲会病院の3カ所で行っている。			
成果・実績	<p>児童の病気回復期等における保護者の就労を支援するため、市内の医療機関で病児保育を実施した。</p> <p style="margin-left: 20px;">実施施設 宇治市乳幼児健康支援デイサービスセンター（宇治病院） 浅妻医院パピールーム（浅妻医院） 宇治徳洲会病院ひまわりルーム（宇治徳洲会病院）</p> <p style="margin-left: 20px;">利用日数 1,782日</p>			
事業評価	医療機関での病児保育を実施したことにより、児童の病気回復期等における保護者の就労を支援することができた。緊急時に対応する子育て支援として利用者ニーズは高いため、今後も引き続き実施する。			

総合計画の体系			所管部局	
大分類	03 健康でいきいきと暮らせるまち			
中分類	04 少子化社会への対応			
小分類	03 放課後児童育成の充実			
			福祉こども部	

事務事業名	育成学級運営費	所管課	こども福祉課	
		決算額	333,960千円	
事業内容	宇治市立小学校に就学する児童であって、下校しても保護者の就労及び疾病などの理由により保護に欠ける児童を組織的に指導し、危険防止と心身の健全な育成を図る。			
成果・実績	<p>放課後留守家庭児童の健全育成のため育成学級を運営した。</p> <p style="margin-left: 20px;">開設学校数 20校 学級数 20学級（39クラス） 入級児童数 1,929人（平成27年5月1日現在）</p>			
事業評価	育成学級の運営により、放課後に保護者が不在である児童の健全な育成を図ることができた。平成27年度より対象学年を6年生までに拡大し、保護者ニーズへの対応を図ることができた。子ども・子育て支援新制度を踏まえ、教育部と連携した総合的な放課後児童対策を引き続き検討する。			

平成27年度決算成果説明書

総合計画の体系		所管部局
大分類	03 健康でいきいきと暮らせるまち	福祉こども部
中分類	04 少子化社会への対応	
小分類	03 放課後児童育成の充実	

事務事業名	育成学級施設整備費	所管課	こども福祉課
		決算額	133,805千円
事業内容	入級児童数の増加に対応し、待機児童の解消と放課後児童の安全と健全育成に資するため、育成学級施設の整備を実施する。		
成果・実績	三室戸育成学級、小倉育成学級、槇島育成学級の入級児童数の増加に対応するため、新たに専用プレハブ施設の建替工事を実施した。		
	<p>三室戸育成学級：定員 90名 120名</p> <p>小倉育成学級：定員 100名 120名</p> <p>槇島育成学級：定員 90名 120名 (平成28年5月完成予定)</p>		
事業評価	入級児童数の増加に対応した育成学級施設の整備を行うことにより、待機児童の解消と放課後の児童の安全と健全育成を図ることができた。今後も引き続き利用ニーズを見極めながら、教育部と連携して、施設整備を計画的に実施する。		



事務事業名	育成学級緊急安全対策事業費	所管課	こども福祉課
		決算額	4,014千円
事業内容	安全・安心な育成学級運営のため、学校休業日である土曜日及び夏季休業日などに各学級に安全対策支援員等を配置し、児童の安全確保を図る。		
成果・実績	安全対策支援員等(1日4時間程度)を学校休業日に配置し、校内への不審者侵入を防ぐため、巡視及び来校者の確認などを行った		
事業評価	安全対策支援員等の配置により、学校休業日における児童の安全確保を図り、安全・安心な学級運営を行うことができた。状況の把握、分析に努めながら、今後も引き続き実施する。		

平成27年度決算成果説明書

総合計画の体系	
大分類	03 健康でいきいきと暮らせるまち
中分類	04 少子化社会への対応
小分類	02 保育サービスの充実

所管部局
福祉こども部

事務事業名	公立保育所運営経費	所管課	保育支援課
		決算額	1,410,576千円
事業内容	子育て支援を進め、児童の健全な心身の発達を図るため、公立保育所7園における児童の安全と良好な保育環境を確保する。		
成果・実績	公立保育所数	7園	
	定員	940人	延べ入所数 11,412人
成果・実績	保育所運営費	45,810千円	
	保育所維持修繕費	16,076千円	
	非常勤職員設置費	160,278千円	
	保育所児童健康管理費	6,385千円	
	保育所給食費	73,989千円	
	パート保育士設置費	115,676千円	
	障害児特別保育費（賃金・旅費）	58,782千円	
	保育士等職員給	933,579千円	
事業評価	公立保育所7園の運営に関する経費を適正に執行し、児童の安全と良好な保育環境の確保に努め、子育て及び児童の健全な心身の発達を支援することができた。保育ニーズに対応した運営を今後も引き続き実施する。		

事務事業名	保育所緊急安全対策事業費	所管課	保育支援課
		決算額	33,507千円
事業内容	安全・安心な保育所運営のため、各公立保育所に保育所安全運営支援員を配置するとともに、民間保育所での保育所安全運営支援員の配置等に対し補助を行う。		
成果・実績	公立保育所	8,743千円	保育所安全運営支援員（有償ボランティア）の配置等を行った。
	民間保育所	24,763千円	保育所安全運営支援員（有償ボランティア）の配置等に対する補助を行った。
事業評価	保育所安全運営支援員の配置等により、安全・安心な保育所運営を図ることができた。		

平成 27 年度決算成果説明書

総合計画の体系		所管部局
大分類	03 健康でいきいきと暮らせるまち	福祉こども部
中分類	04 少子化社会への対応	
小分類	02 保育サービスの充実	

事務事業名	民間保育所運営経費	所管課	保育支援課																								
		決算額	3,413,755千円																								
事業内容	子育て支援を進め、児童の健全な心身の発達を図るため、民間保育所19園における児童の安全と良好な保育環境を確保する。																										
成果・実績	<table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 30%;">民間保育所（園）数</td> <td style="width: 10%;">19 園</td> <td style="width: 30%;">延べ入所数</td> <td style="width: 30%;">36,474人</td> </tr> <tr> <td>定員</td> <td>2,900人</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>民間保育所運営費</td> <td></td> <td>2,869,520千円</td> <td></td> </tr> <tr> <td>延長保育促進基盤整備事業費</td> <td></td> <td>31,762千円</td> <td></td> </tr> <tr> <td>障害児特別保育費（負担金、補助及び交付金）</td> <td></td> <td>59,619千円</td> <td></td> </tr> <tr> <td>民間保育所運営補助金</td> <td></td> <td>452,854千円</td> <td></td> </tr> </table>			民間保育所（園）数	19 園	延べ入所数	36,474人	定員	2,900人			民間保育所運営費		2,869,520千円		延長保育促進基盤整備事業費		31,762千円		障害児特別保育費（負担金、補助及び交付金）		59,619千円		民間保育所運営補助金		452,854千円	
民間保育所（園）数	19 園	延べ入所数	36,474人																								
定員	2,900人																										
民間保育所運営費		2,869,520千円																									
延長保育促進基盤整備事業費		31,762千円																									
障害児特別保育費（負担金、補助及び交付金）		59,619千円																									
民間保育所運営補助金		452,854千円																									
事業評価	児童の安全と良好な保育環境を確保するため、民間保育所19園の運営及び各種保育事業に対して補助金を交付し、子育て及び児童の健全な心身の発達を支援することができた。今後も国の制度変更を見極めながら、各種保育ニーズに対応していく必要がある。																										

事務事業名	病児・病後児保育費	所管課	保育支援課
		決算額	38,790千円
事業内容	保育中に微熱を出すなど体調不良となった児童に対し、保護者が迎えに来るまでの間、保育所の専用スペースにおいて看護師等が緊急的な対応を行う。		
成果・実績	実施施設（民間保育所9園） 登り保育園 北小倉こひつじ保育園 ひいらぎ保育園 第2登り保育園 榎島ひいらぎ保育園 同胞保育園 みんなのき保育園 伊勢田保育園 三室戸保育園（新規）		
事業評価	国制度に沿って病児・病後児保育事業を実施する民間保育所に補助金を交付することにより、子育て支援と保護者負担の軽減を図ることができた。利用状況を見ながら国制度を活用し、今後も引き続き実施する。		

平成27年度決算成果説明書

総合計画の体系	
大分類	03 健康でいきいきと暮らせるまち
中分類	04 少子化社会への対応
小分類	02 保育サービスの充実

所管部局
福祉こども部

事務事業名	家庭的保育事業費	所管課	保育支援課																														
		決算額	132,954千円																														
事業内容	喫緊の課題である待機児童対策として、3歳未満の児童を対象に、児童福祉法に位置付けられた家庭的保育事業を実施する。また、開設にあたり、保育環境整備のための改修等に対して補助を行う。																																
成果・実績	<p>開設場所</p> <table border="0"> <tr> <td>木幡花揃</td> <td>(福) あけぼの会 (登り保育園)</td> <td>定員5人</td> </tr> <tr> <td>五ヶ庄福角</td> <td>(福) 宇治福祉園 (三室戸保育園)</td> <td>定員5人</td> </tr> <tr> <td>神明石塚</td> <td>(福) 心華会 (ひいらぎ保育園)</td> <td>定員5人</td> </tr> <tr> <td>五ヶ庄梅林官有地</td> <td>(福) 白菊福祉会 (いずみ保育園)</td> <td>定員10人</td> </tr> <tr> <td>伊勢田町若林</td> <td>(福) かおり福祉会 (伊勢田保育園)</td> <td>定員5人</td> </tr> <tr> <td>広野町西裏</td> <td>(福) 同胞会 (同胞保育園)</td> <td>定員5人</td> </tr> <tr> <td>木幡赤塚</td> <td>(福) あけぼの会 (登り保育園)</td> <td>定員5人</td> </tr> <tr> <td>開町</td> <td>(福) 心華会 (ひいらぎ保育園)</td> <td>定員5人</td> </tr> <tr> <td>木幡陣ノ内</td> <td>(福) あけぼの会 (登り保育園)</td> <td>定員5人</td> </tr> <tr> <td>伊勢田町ウト口</td> <td>(福) かおり福祉会 (伊勢田保育園)</td> <td>定員5人</td> </tr> </table>			木幡花揃	(福) あけぼの会 (登り保育園)	定員5人	五ヶ庄福角	(福) 宇治福祉園 (三室戸保育園)	定員5人	神明石塚	(福) 心華会 (ひいらぎ保育園)	定員5人	五ヶ庄梅林官有地	(福) 白菊福祉会 (いずみ保育園)	定員10人	伊勢田町若林	(福) かおり福祉会 (伊勢田保育園)	定員5人	広野町西裏	(福) 同胞会 (同胞保育園)	定員5人	木幡赤塚	(福) あけぼの会 (登り保育園)	定員5人	開町	(福) 心華会 (ひいらぎ保育園)	定員5人	木幡陣ノ内	(福) あけぼの会 (登り保育園)	定員5人	伊勢田町ウト口	(福) かおり福祉会 (伊勢田保育園)	定員5人
木幡花揃	(福) あけぼの会 (登り保育園)	定員5人																															
五ヶ庄福角	(福) 宇治福祉園 (三室戸保育園)	定員5人																															
神明石塚	(福) 心華会 (ひいらぎ保育園)	定員5人																															
五ヶ庄梅林官有地	(福) 白菊福祉会 (いずみ保育園)	定員10人																															
伊勢田町若林	(福) かおり福祉会 (伊勢田保育園)	定員5人																															
広野町西裏	(福) 同胞会 (同胞保育園)	定員5人																															
木幡赤塚	(福) あけぼの会 (登り保育園)	定員5人																															
開町	(福) 心華会 (ひいらぎ保育園)	定員5人																															
木幡陣ノ内	(福) あけぼの会 (登り保育園)	定員5人																															
伊勢田町ウト口	(福) かおり福祉会 (伊勢田保育園)	定員5人																															
事業評価	児童福祉法に位置付けられた家庭的保育事業の実施を通して、待機児童対策を図ることができた。子ども・子育て支援新制度の枠組みの中で、今後の方向性を検討していく必要がある。																																

事務事業名	小規模保育事業費	所管課	保育支援課						
		決算額	31,228千円						
事業内容	喫緊の課題である待機児童対策として、3歳未満の児童を対象に、児童福祉法に位置付けられた小規模保育事業を実施する。また、開設にあたり、保育環境整備のための改修等に対して補助を行う。								
成果・実績	<p>開設場所</p> <table border="0"> <tr> <td>六地藏奈良町</td> <td>(福) あけぼの会 (第2登り保育園、登り保育園)</td> <td>定員15人</td> </tr> <tr> <td>広野町西裏</td> <td>(福) 同胞会 (同胞保育園)</td> <td>定員15人</td> </tr> </table>			六地藏奈良町	(福) あけぼの会 (第2登り保育園、登り保育園)	定員15人	広野町西裏	(福) 同胞会 (同胞保育園)	定員15人
六地藏奈良町	(福) あけぼの会 (第2登り保育園、登り保育園)	定員15人							
広野町西裏	(福) 同胞会 (同胞保育園)	定員15人							
事業評価	児童福祉法に位置付けられた小規模保育事業の実施を通して、待機児童対策を図ることができた。子ども・子育て支援新制度の枠組みの中で、今後の方向性を検討していく必要がある。								

平成 27 年度決算成果説明書

総合計画の体系	
大分類	03 健康でいきいきと暮らせるまち
中分類	04 少子化社会への対応
小分類	02 保育サービスの充実

所管部局
福祉こども部

事務事業名	多子世帯支援事業費	所管課	保育支援課
		決算額	64,959千円
事業内容	保育所に通う園児の保護者の経済的負担を軽減し、安心して子どもを産み育てられる環境づくりを推進するため、就学前までとしている保育所保育料に係る多子計算の年齢制限を満18歳未満に拡大し、第3子以降の保育料助成（無償化）を行う。		
成果・実績	対象世帯の保育所保育料について、助成を行うことにより、多子世帯の経済的負担の軽減に努めた。		
	助成金交付人数 413人 助成金交付額 64,959千円		
事業評価	多子世帯に対する保育料助成を通して、対象世帯の経済的負担の軽減を図ることができた。引き続き対象世帯の経済的負担の軽減を図る。		

平成 27 年度決算成果説明書

総合計画の体系	
大分類	03 健康でいきいきと暮らせるまち
中分類	02 健康づくりの推進
小分類	01 健康づくりの推進

所管部局
健康長寿部

事務事業名	健康教育費	所管課	健康生きがい課
		決算額	1,253千円
事業内容	生活習慣病の予防及び健康増進、介護予防など健康に関する正しい知識の普及を図ることにより、健康の保持増進を図る。市内各会場において、知識・経験を有する各専門職を講師とし、広く市民に対し各種健康教室等を行う。		
成果・実績	<p>各種健康教室等を各教室の目的に応じて専門職が実施した。生活習慣病の予防及び健康増進、介護予防など健康に関する正しい知識を普及するほか、家庭で継続しやすい内容の紹介に努めた。また、地域からの依頼及びイベントなどの機会を利用して広く市民へ普及することに努めた。</p> <p>(65歳未満) 決算額：662千円 実施回数 72回 実施人数 1,937人</p> <p>(65歳以上) 決算額：591千円 実施回数 33回 実施人数 836人</p>		
事業評価	各種健康教室等の開催により、健康に関する正しい知識の普及を図ることにより、健康の保持増進を図ることができた。今後も参加しやすい開催日程の工夫、効果的な広報及び学習内容の検討に努める中で、今後も引き続き実施する。		

事務事業名	健康相談費	所管課	健康生きがい課
		決算額	430千円
事業内容	市民の心身の健康に関する個別の相談に応じ、必要な指導及び助言を行い、家庭における健康管理に資することを目的とする。うじ安心館を拠点に、気軽に幅広く相談できるよう実施する。		
成果・実績	<p>市民に対し、個別に健康相談を実施した。</p> <p>(65歳未満) 決算額：180千円 実施回数 64回 実施人数 241人</p> <p>(65歳以上) 決算額：250千円 実施回数 105回 実施人数 637人</p>		
事業評価	健康に関する市民の相談に個別に対応することにより、健康管理の促進を図ることができた。今後はより多くの市民の健康増進に向けて、広報の見直し及び開催条件を検討するなど実施手法の改善に努める中で、今後も引き続き実施する。		

平成 27 年度決算成果説明書

総合計画の体系		所管部局
大分類	03 健康でいきいきと暮らせるまち	健康長寿部
中分類	02 健康づくりの推進	
小分類	01 健康づくりの推進	

事務事業名	食生活改善推進員地区組織活動費	所管課	健康生きがい課												
		決算額	458千円												
事業内容	市民の健康づくり及び生活習慣病予防のために食生活改善を進める宇治市食生活改善推進員協議会「若葉の会」の活動を支援する。														
成果・実績	<p>食生活改善推進員の地域での活動に対して支援を行い、行政研修会を実施した。</p> <p>(65歳未満) 決算額：227千円</p> <table style="width: 100%; border: none;"> <tr> <td style="width: 50%;">「若葉の会」活動状況</td> <td style="width: 50%;">「若葉の会」に対する行政研修会の実施</td> </tr> <tr> <td>支援活動回数 25回</td> <td>実施回数 3回</td> </tr> <tr> <td>参加者数 216人</td> <td>参加会員数 70人</td> </tr> </table> <p>(65歳以上) 決算額：231千円</p> <table style="width: 100%; border: none;"> <tr> <td style="width: 50%;">「若葉の会」活動状況</td> <td style="width: 50%;">「若葉の会」に対する行政研修会の実施</td> </tr> <tr> <td>支援活動回数 23回</td> <td>実施回数 3回</td> </tr> <tr> <td>参加者数 166人</td> <td>参加会員数 70人</td> </tr> </table>			「若葉の会」活動状況	「若葉の会」に対する行政研修会の実施	支援活動回数 25回	実施回数 3回	参加者数 216人	参加会員数 70人	「若葉の会」活動状況	「若葉の会」に対する行政研修会の実施	支援活動回数 23回	実施回数 3回	参加者数 166人	参加会員数 70人
「若葉の会」活動状況	「若葉の会」に対する行政研修会の実施														
支援活動回数 25回	実施回数 3回														
参加者数 216人	参加会員数 70人														
「若葉の会」活動状況	「若葉の会」に対する行政研修会の実施														
支援活動回数 23回	実施回数 3回														
参加者数 166人	参加会員数 70人														
事業評価	ボランティアへの活動を支援することにより、地域での健康増進活動を活性化することができた。会員の高齢化及び会員数の減少など課題を踏まえた支援内容を検討する必要がある。														

事務事業名	食生活改善推進員養成費	所管課	健康生きがい課				
		決算額	157千円				
事業内容	市民の健康づくり及び生活習慣病予防のため、食生活改善を進める食生活改善推進員を養成する。						
成果・実績	<p>食生活改善推進員として活動するために必要な講義及び実習をカリキュラムに沿って実施した。</p> <p>講座実施状況</p> <table style="width: 100%; border: none;"> <tr> <td style="width: 50%;">実施回数 18回</td> <td style="width: 50%;"></td> </tr> <tr> <td>延べ受講者数 162人</td> <td></td> </tr> </table>			実施回数 18回		延べ受講者数 162人	
実施回数 18回							
延べ受講者数 162人							
事業評価	食生活改善を進める新たな食生活改善推進員を養成したことにより、市民の健康づくり及び生活習慣病予防を図ることができた。今後も、周知方法、会場選定などを検討し事業の啓発に努める必要がある。						

平成 27 年度決算成果説明書

総合計画の体系	
大分類	03 健康でいきいきと暮らせるまち
中分類	02 健康づくりの推進
小分類	02 保健・医療の推進

所管部局
健康長寿部

事務事業名	各種がん検診等事業費	所管課	健康生きがい課
		決算額	102,815千円
事業内容	各種がん検診等を実施することにより、がんによる死亡率等を減少させることを目的とし、検診を実施する。		
成果・実績	対象者に個別検診及び集団検診を実施した。		
	(人)		
		受診者数	要精検者数
	健康診査	92	-
	胃がん検診	1,791	86
	子宮頸がん検診	2,854	76
	乳がん検診	3,155	179
	肺がん検診	3,274	173
	大腸がん検診	11,365	1,072
	成人歯科健診	32	27
肝炎ウイルス検診	1,740	7	
結核健診	2,455	0	
前立腺がん検診	3,147	289	
事業評価	検診等の実施により、市民の健康保持・増進を図ることができた。今後も市民ニーズの把握・分析に努め、市民の意識啓発・周知活動等効果的な実施方法について工夫、検討する中で、今後も引き続き実施する。		

事務事業名	骨粗しょう症予防対策費	所管課	健康生きがい課
		決算額	1,184千円
事業内容	骨粗しょう症予防を目的に、骨密度測定及び骨の健康に関する学習をすることにより、現在の骨及び体の状態を把握するとともに、市民自らが生活習慣病予防及び健康づくりを実践する動機付けとなるよう実施する。		
成果・実績	骨密度の測定後、生活・栄養の話と運動実技の体験を行った。		
	(65歳未満)	決算額：562千円	
	実施回数	5回	
	実施人数	147人	
成果・実績	(65歳以上)	決算額：622千円	
	実施回数	3回	
	実施人数	191人	
	事業評価	教室を実施したことにより、市民の運動・食・生活習慣の改善等を図るための動機付けを行うことができた。市民ニーズの把握、分析に努め、効果的な実施方法について工夫する中で、今後も引き続き実施する。	

平成 27 年度決算成果説明書


総合計画の体系		所管部局
大分類	03 健康でいきいきと暮らせるまち	健康長寿部
中分類	03 長寿社会への対応	
小分類	01 生きがいづくりの充実	

事務事業名	高年齢者アカデミー運営費	所管課	健康生きがい課										
		決算額	3,923千円										
事業内容	京都文教大学にて、70歳以上の市民を対象に、「高年齢者アカデミー」を開校する。プログラムは2年制（1年＝秋期・春期）で、受講生は週1回の科目履修と月1回のアカデミーアワーを受講する。												
成果・実績	<p>高年齢者アカデミーを開校し、高年齢者の社会参加、生きがいづくりに寄与するとともに、地域社会に貢献する人材養成を行った。</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <thead> <tr> <th style="width: 15%;">受講者数</th> <th style="width: 10%;">1期生</th> <th style="width: 10%;">2期生</th> <th style="width: 10%;">3期生</th> <th style="width: 10%;">合計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td style="text-align: center;">22人</td> <td style="text-align: center;">21人</td> <td style="text-align: center;">14人</td> <td style="text-align: center;">57人</td> </tr> </tbody> </table>			受講者数	1期生	2期生	3期生	合計		22人	21人	14人	57人
受講者数	1期生	2期生	3期生	合計									
	22人	21人	14人	57人									
事業評価	高年齢者アカデミーの開校により、高年齢者の交流機会の創出と生きがいづくりの促進を図ることができた。より広い年齢層の高年齢者が学び活動できる環境を整備するため、平成28年度から対象者年齢を満70歳以上から65歳以上へと引き下げて実施する。												

事務事業名	敬老会開催費	所管課	健康生きがい課				
		決算額	10,726千円				
事業内容	長年社会に貢献されてきた高年齢者に敬愛の精神をもって接するよう広く市民の関心と理解を深め、高年齢者自らの生活意欲を高めるため、当該年中に70歳以上になる高年齢者を敬老の日に文化センターへ招待し式典を開催する。また、9月15日現在、数え年88歳の高年齢者に対し、米寿を祝うための記念品を贈呈する。						
成果・実績	<p>敬老の日に宇治市文化センターで午前と午後の2回、市内在住の70歳以上の高年齢者を招待して敬老会を開催した。</p> <table style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <tr> <td style="padding-right: 20px;">参加申込者</td> <td style="text-align: right;">2,993人</td> </tr> <tr> <td>米寿記念品支給者数</td> <td style="text-align: right;">680人</td> </tr> </table>			参加申込者	2,993人	米寿記念品支給者数	680人
参加申込者	2,993人						
米寿記念品支給者数	680人						
事業評価	敬老の日に式典を開催するとともに、米寿記念品を贈呈したことにより、高年齢者に敬愛の念を表し、高年齢者福祉に関する市民の関心と理解を深めることができた。高年齢者の増加及びニーズなどの状況の把握、分析に努め、引き続き、開催場所の選定及び実施方法などを検討する必要がある。						

平成 27 年度決算成果説明書

総合計画の体系		所管部局
大分類	03 健康でいきいきと暮らせるまち	健康長寿部
中分類	03 長寿社会への対応	
小分類	01 生きがいづくりの充実	

事務事業名	老人園芸ひろば管理費	所管課	健康生きがい課																		
		決算額	1,402千円																		
事業内容	高齢者の生きがい対策と地域コミュニティ活動の一つとして、高齢者の社会交流、心身の健康保持のために、趣味を活かして園芸を楽しみ、自然の恵沢と長寿の喜びを味わってもらうことにより、高齢者福祉の増進を図る。 また年2回、全利用者を対象に園芸教室を開催する。																				
成果・実績	8カ所606区画を管理し、60歳以上の者に1世帯約10㎡を1区画として貸与した。																				
	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 60%;">園芸ひろば名称</th> <th style="width: 40%;">区画数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>芝ノ東</td><td style="text-align: center;">95</td></tr> <tr><td>大久保</td><td style="text-align: center;">88</td></tr> <tr><td>伊勢田第2</td><td style="text-align: center;">55</td></tr> <tr><td>羽戸山</td><td style="text-align: center;">55</td></tr> <tr><td>槇島</td><td style="text-align: center;">117</td></tr> <tr><td>伊勢田若林</td><td style="text-align: center;">49</td></tr> <tr><td>木幡</td><td style="text-align: center;">87</td></tr> <tr><td>小倉寺内</td><td style="text-align: center;">60</td></tr> </tbody> </table>	園芸ひろば名称	区画数	芝ノ東	95	大久保	88	伊勢田第2	55	羽戸山	55	槇島	117	伊勢田若林	49	木幡	87	小倉寺内	60	 <p style="text-align: center;">園芸教室</p>	
園芸ひろば名称	区画数																				
芝ノ東	95																				
大久保	88																				
伊勢田第2	55																				
羽戸山	55																				
槇島	117																				
伊勢田若林	49																				
木幡	87																				
小倉寺内	60																				
事業評価	市内8カ所の園芸ひろばを整備・運営することにより、高齢者の生きがい増進と仲間づくりを図ることができた。利用状況の把握、分析に努め、今後も運営方法等を検討する必要がある。																				

事務事業名	高齢者活動事業費	所管課	健康生きがい課
		決算額	1,601千円
事業内容	(宗) 平等院からの寄付金1億円を高齢者活動基金として積み立て、運用益を高齢者の生きがい対策のための各種サービス(健康まつりの開催、敬老月間、喜老会への補助など)の充実を図る目的の事業のために使用し、寄付者の意思に報う。		
成果・実績	高齢者の活動を促進するため、事業開催及び事業費補助を行った。 健康まつり 148千円 機器による各種測定、診断及び協力団体等によるストレッチ指導などを行い、楽しみながら市民の健康への意識を高めた。〈うー茶ん〉のつどい事業と合同で開催した。 参加者 約450人 老人クラブ活動促進特別事業 850千円 老人福祉センター交流事業 250千円 宇治市老人福祉センターサークル活動発表大会事業 300千円 宇治市敬老月間事業 53千円		
事業評価	健康まつりの開催及び喜老会活動への助成などを行うことにより、高齢者の生きがい活動を促進できた。世代間交流の推進及び関係団体等との連携など、効果的な実施手法の検討に努める中で、今後も引き続き実施する。		

平成 27 年度決算成果説明書

総合計画の体系		所管部局
大分類	03 健康でいきいきと暮らせるまち	健康長寿部
中分類	03 長寿社会への対応	
小分類	01 生きがいづくりの充実	

事務事業名	地域福祉センター管理運営費	所管課	健康生きがい課
		決算額	135,355千円
事業内容	地域住民の福祉ニーズに応じた事業を総合的に行うとともに、地域住民の福祉の増進及び福祉意識の高揚を図り、地域の実情に応じた各種事業を実施する。また、高齢者が健康づくり及び生きがいづくりなど様々な活動に気軽に利用でき、集会所機能も持たせた多目的活用によって、世代間交流及び地域交流を促進する複合施設である地域福祉センターの管理・運営を行う。		
成果・実績	市内6カ所の地域福祉センターを管理・運営した。木幡・開については直営で管理し、その他4カ所は管理者を指定し、管理運営した。		
	榎島地域福祉センター管理運営費 指定管理者：（福）山城福祉会	6,220千円	
	木幡地域福祉センター管理運営費 直営	5,879千円	
	開地域福祉センター管理運営費 直営	6,664千円	
	西小倉地域福祉センター管理運営費 指定管理者：（一財）宇治市福祉サービス公社	16,341千円	
	東宇治地域福祉センター管理運営費 指定管理者：（一財）宇治市福祉サービス公社	7,190千円	
	広野地域福祉センター管理運営費 指定管理者：（一財）宇治市福祉サービス公社	6,288千円	
	地域福祉センター再整備事業費	86,773千円	
事業評価	各センターを適正に管理運営する中で、地域住民の福祉ニーズに応じた事業を実施したことにより、高齢者の福祉向上を図ることができた。地域福祉の拠点としての役割及び利用効果などを検証し、将来の福祉ニーズも見据え計画的な施設の修繕を検討する必要がある。		

平成 27 年度決算成果説明書

総合計画の体系		所管部局
大分類	03 健康でいきいきと暮らせるまち	健康長寿部
中分類	03 長寿社会への対応	
小分類	02 高齢者福祉サービスの充実	

事務事業名	機能訓練事業費	所管課	健康生きがい課
		決算額	37,875千円
事業内容	<p>(1) 40歳以上65歳未満で運動機能の低下を生じている人に対して、身体機能の向上、閉じこもりの予防のため、パワーリハビリ教室を行う。</p> <p>(2)</p> <p>パワーリハビリ教室：二次予防事業対象者に対し、心身の機能の維持・向上のため、マシンを利用した軽度な負荷での運動及びストレッチ体操などを行う。</p> <p>足しっかり体操教室：生活機能の維持・改善のため、自重運動及び体操を中心としたトレーニングを行う。</p> <p>(3)</p> <p>パワーリハビリ事業：医療制限を受けていない自力でトレーニング可能な65歳以上の人を対象に、心身の機能の維持・向上のため、マシンを利用した軽度な負荷での運動等を行う。</p> <p>B型リハビリ教室：疾病等により閉じこもりがちな虚弱高齢者及び障害のある人などを対象に、地域との交流を通じて「閉じこもり症候群」を防止し、生活機能の維持・改善を図る。</p>		
成果・実績	<p>(1) パワーリハビリ教室を行い、心身の機能の維持改善を図った。</p> <p style="padding-left: 20px;">実人数 2人</p> <p>(2) 二次予防事業対象者に、通所により介護予防を目的とした運動器の機能向上プログラムを実施した。</p> <p style="padding-left: 20px;">実人数 338人</p> <p>(3) 介護予防の普及・啓発に資する機能訓練を行った。</p> <p style="padding-left: 20px;">パワーリハビリ事業参加者数（実人数） 375人</p> <p style="padding-left: 20px;">B型リハビリ教室参加者数（実人数） 220人</p>		
事業評価	<p>各々の段階に応じた心身の機能維持、回復を図るための必要な訓練を実施し、日常生活の自立の促進を図ることができた。プログラム構成の改善及び他事業との連携など、より効果的な事業の実施手法の検討に努める必要がある。</p>		

平成 27 年度決算成果説明書

総合計画の体系	
大分類	03 健康でいきいきと暮らせるまち
中分類	03 長寿社会への対応
小分類	02 高齢者福祉サービスの充実

所管部局
健康長寿部

事務事業名	地域包括ケア体制推進事業費	所管課	健康生きがい課												
		決算額	372千円												
事業内容	地域の高齢者が安心していきいきと暮らせるまちづくりを行うことを目的として「地域包括ケア会議」及び「小地域包括ケア会議」を開催し、地域ネットワークの構築を図る。講義、事例検討を通して地域包括支援センター及びケアマネジャーの資質向上を図る。														
成果・実績	地域ネットワークの構築を図るとともに、地域包括支援センター及びケアマネジャーへ資質向上のための研修を実施した。														
	<table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td colspan="2" style="padding-left: 20px;">延べ人員数</td> <td></td> </tr> <tr> <td style="padding-left: 40px;">地域包括ケア会議</td> <td style="text-align: right;">82人</td> <td></td> </tr> <tr> <td style="padding-left: 40px;">小地域包括ケア会議</td> <td style="text-align: right;">455人</td> <td></td> </tr> <tr> <td style="padding-left: 40px;">資質向上研修</td> <td style="text-align: right;">78人</td> <td></td> </tr> </table>			延べ人員数			地域包括ケア会議	82人		小地域包括ケア会議	455人		資質向上研修	78人	
延べ人員数															
地域包括ケア会議	82人														
小地域包括ケア会議	455人														
資質向上研修	78人														
事業評価	地域包括ケア会議及び研修を行うことにより、関係団体及び多職種の連携を促し、地域包括ケアを推進することができた。今後も効果的な会議のあり方を検討し、関係団体等との連携体制の強化に努める必要がある。														

事務事業名	在宅寝たきり者等訪問指導事業費	所管課	健康生きがい課						
		決算額	136千円						
事業内容	40歳以上65歳未満の在宅寝たきり者及びその家族など、支援が必要な者に対し、健康の保持増進及び在宅療養条件の整備のため、訪問による保健指導を行う。								
成果・実績	居宅を訪問し、必要な相談・指導等を行った。								
	<table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="padding-left: 20px;">実人数</td> <td style="text-align: right;">8人</td> <td></td> </tr> <tr> <td style="padding-left: 20px;">延人数</td> <td style="text-align: right;">25人</td> <td></td> </tr> </table>			実人数	8人		延人数	25人	
実人数	8人								
延人数	25人								
事業評価	訪問保健指導により、在宅寝たきり者と家族の心身機能の維持改善を図ることができた。利用者ニーズ及び対象者の状況を把握する中で、今後も引き続き実施する。								

平成 27 年度決算成果説明書

総合計画の体系		所管部局
大分類	03 健康でいきいきと暮らせるまち	健康長寿部
中分類	03 長寿社会への対応	
小分類	02 高齢者福祉サービスの充実	

事務事業名	老人保護措置費等	所管課	健康生きがい課
		決算額	119,471千円
事業内容	環境上及び経済的な理由により居宅において養護を受けることが困難と認める65歳以上の高齢者等について、養護老人ホームへの入所措置を行う。		
成果・実績	<p>対象者について養護老人ホームに入所措置を行った。</p> <p style="margin-left: 20px;">措置延べ人数 672人</p> <p style="margin-left: 20px;">措置人数 58人 (平成27年度末現在)</p>		
事業評価	老人福祉法に基づき養護老人ホームへの入所措置を適正に実施したことにより、高齢者福祉の向上に努めることができた。老人福祉法に基づき、今後も引き続き実施する。		

事務事業名	高齢者日常生活支援事業	所管課	健康生きがい課
		決算額	333千円
事業内容	<p>高齢者が住み慣れた地域で安全・安心に暮らせるよう低所得（市民税非課税世帯）の高齢者による日常生活支援サービスの利用促進を図るため、日常生活支援サービスを実施する団体（非営利団体）が当該サービスに係る利用料を減免した場合に、当該減免部分について、対象者1人あたり年間5千円を上限に利用料の2分の1以内を助成する。</p> <p>また、営利を目的としないサポート団体（社会福祉法人、NPO法人、一般財団法人、町内会・自治会など）が地域のボランティア及び元気高齢者を支援者として、高齢者の日常生活を支援する活動を実施する際に、その経費を助成する。</p>		
成果・実績	<p>日常生活支援サービスの利用料の減免に対する助成</p> <p style="margin-left: 20px;">利用件数 208件 244千円</p> <p style="margin-left: 20px;">サポート団体に対する助成</p> <p style="margin-left: 20px;">補助団体 1件 89千円</p>		
事業評価	高齢者が利用した日常生活支援サービスの利用料について助成することにより、利用者の負担軽減を図り高齢者の福祉の向上に努めることができた。今後も引き続き利用者ニーズ等状況の把握、分析に努める必要がある。		

平成 27 年度決算成果説明書

総合計画の体系		所管部局
大分類	03 健康でいきいきと暮らせるまち	健康長寿部
中分類	03 長寿社会への対応	
小分類	02 高齢者福祉サービスの充実	

事務事業名	在宅要援護老人対策費	所管課	健康生きがい課
		決算額	19,306千円
事業内容	<p>高齢化の進行により、寝たきり・一人暮らし高齢者、高齢者世帯の要援護者が増加しており、日常生活で手助けが必要な部分について、類型に応じたサービスを提供し、地域社会での日常生活を送れるよう援助する。シルバーホン設置、訪問活動事業への助成などを行う。</p>		
成果・実績	<p>在宅で援護が必要である高齢者等に対して、各種事業を行った。</p> <p>一人暮らし高齢者等訪問活動事業 1,901千円 おおむね65歳以上の一人暮らし高齢者を対象に自宅への訪問等を月1回以上行い、一人暮らし高齢者の安否確認及び不安解消を行った。</p> <p style="padding-left: 40px;">対象者数 1,901人</p> <p>在宅ねたきり高齢者等見舞品支給事業 359千円 要介護認定3・4・5で在宅にて介護を受けている高齢者等に民生児童委員を通して見舞品を支給した。</p> <p style="padding-left: 40px;">支給者数 1,216人</p> <p>シルバーホン（緊急発信設備付電話）設置事業 15,461千円 本市に在住するおおむね65歳以上の一人暮らし高齢者を対象に緊急時の連絡手段としてシルバーホンを設置した。</p> <p style="padding-left: 40px;">新規設置数 166台 年度末設置数 936台</p> <p>福祉電話の基本通話料の助成 1,575千円 所得税非課税の65歳以上の一人暮らしで電話のない高齢者に貸与、設置した福祉電話の基本料金等を助成した。</p> <p style="padding-left: 40px;">年度末助成対象者数 61人</p> <p>家具等倒壊防止金具購入の助成 10千円 家具等倒壊防止金具等を設置する高齢者（65歳以上の市民税非課税世帯）に、その金具等の費用を助成した。</p> <p style="padding-left: 40px;">助成件数 2件</p>		
事業評価	<p>（福）宇治市社会福祉協議会への補助及び民生児童委員との連携などにより、社会的支援が必要な高齢者の在宅生活を支援することができた。地域・他団体との連携のあり方及び支援のあり方について検討しながら、支援内容の改善を図り、今後も引き続き実施する。</p>		

平成 27 年度決算成果説明書

総合計画の体系	
大分類	03 健康でいきいきと暮らせるまち
中分類	03 長寿社会への対応
小分類	02 高齢者福祉サービスの充実

所管部局
健康長寿部

事務事業名	介護予防安心住まい推進事業費	所管課	健康生きがい課
		決算額	923千円
事業内容	生活機能について回答する「お元気チェックリスト」による運動器の機能低下がみられ、かつ市民税非課税の世帯が、居住する住宅に介護保険給付対象工事をしたときに要した経費の一部を助成（認定工事の合計額3分の2（1世帯につき16万円限度））する。		
成果・実績	要介護状態等になるおそれの高い状態にあると認められる高齢者の居住する住宅等について改造費の助成を行った。 <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> 助成件数 9件 </div>		
事業評価	住宅の介護保険給付対象工事へ助成することにより、転倒事故防止に努めるなど生活機能の維持向上を図り、介護予防の促進に努めることができた。利用者ニーズ等状況の把握、分析に努める中で実施する必要がある。		

事務事業名	高齢者成年後見制度助成費	所管課	健康生きがい課
		決算額	5,613千円
事業内容	判断能力が不十分な認知症高齢者等のうち、身寄りがないなど当事者による成年後見人の申立が期待できない状況にあるものについて、成年後見制度の利用による本人の権利を擁護するため、審判の請求手続きの代行を行う。また、成年後見制度の利用に要する費用について助成を受けなければ利用が困難であるものに対して、後見人等の報酬等を市が助成する。		
成果・実績	判断能力がないまたは乏しいことにより契約等の行為が行えない認知症高齢者等に対して、成年後見人等を選任するための申立の代行、報酬助成等を行った。 <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> 申立件数 16件 </div> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> 報酬助成件数 20件 </div>		
事業評価	後見人制度の利用にあたり報酬等を助成したことにより、認知症等判断能力が十分でない高齢者の権利保護を図ることができた。制度の利用状況の把握、分析に努め、今後も引き続き実施する。		

平成 27 年度決算成果説明書

総合計画の体系		所管部局
大分類	03 健康でいきいきと暮らせるまち	健康長寿部
中分類	03 長寿社会への対応	
小分類	02 高齢者福祉サービスの充実	

事務事業名	老人クラブ助成金	所管課	健康生きがい課
		決算額	5,490千円
事業内容	高齢者の心身の健康保持、社会参加を促進するため、老人クラブが自主的に行う教養講座、レクリエーション、社会奉仕、スポーツなどを年間を通じて恒常的かつ計画的な活動に向け助成・育成を行う。老人クラブ活動の充実と発展を図り、老後の生きがいを高め、その生活を健康で豊かなものとする。		
成果・実績	老人クラブの活動に対して助成し、育成・指導に努めた。 会員数 3,154人 （平成27年度末現在） クラブ数 60		
事業評価	宇治市連合喜老会への助成及び事業の委託料などを適正に執行したことにより、高齢者の生きがい活動を促進できた。今後は、対象者のニーズの把握、分析に努め、助成のあり方等を含め今後の施策展開について検討する必要がある。		

事務事業名	一人暮らし高齢者等給配食サービス補助金	所管課	健康生きがい課
		決算額	3,424千円
事業内容	一人暮らし高齢者等の不安と孤独感の解消と社会参加のため、地区社会福祉協議会と学区福祉委員会が実施している一人暮らし高齢者等給配食サービスに対し、補助することによって、在宅福祉の充実に向け、行政、地域住民などの連携及びボランティアの育成、地区社会福祉協議会、学区福祉委員会の充実を図る。		
成果・実績	給配食サービスへの助成を行い、一人暮らし高齢者等の福祉の向上を図った。 延べ給配食数 9,784食		
事業評価	（福）宇治市社会福祉協議会へ補助金を交付し給配食サービスへ助成したことにより、社会的支援が必要な一人暮らし高齢者等の在宅福祉の向上を図ることができた。地域・他団体との連携等を強化し、より効果的な手法を検討しながら、今後も引き続き実施する。		

平成 27 年度決算成果説明書

総合計画の体系		所管部局
大分類	03 健康でいきいきと暮らせるまち	健康長寿部
中分類	03 長寿社会への対応	
小分類	02 高齢者福祉サービスの充実	

事務事業名	在宅高齢者介護者激励金支給費	所管課	健康生きがい課
		決算額	19,998千円
事業内容	介護保険法における要介護3・4・5の認定を受けた65歳以上の高齢者を在宅で介護している人を対象に日常の介護を激励するため、在宅高齢者介護者激励金を支給し、高齢者福祉の増進を図る。平成18年度より基準日（10月1日）を年1回とし、支給要件の対象期間を基準日前1年間に見直した。		
成果・実績	<p>日常の介護を激励するため、要介護高齢者の介護者へ1人3万円の激励金を支給し、在宅高齢者福祉の増進を図った。</p> <p style="text-align: center;">支給者数 666人</p>		
事業評価	対象者に激励金を支給したことにより、在宅で介護する家族の精神的・経済的負担を軽減することができた。激励金の効果を検証しつつ、今後の国、京都府の動向に注視し、在宅で介護する家族の支援のあり方について検討する必要がある。		

事務事業名	高齢者あん摩・マッサージ・指圧・はり・きゅう施術費助成事業費	所管課	健康生きがい課
		決算額	12,602千円
事業内容	高齢者の健康の保持及び福祉の増進を図るため、はり・きゅう・マッサージ等の施術費の一部を助成する。（対象者は市民税非課税の満65歳以上の方）		
成果・実績	<p>施術費の一部を助成し、健康の保持及び増進を図った。</p> <p style="text-align: center;">助成券交付件数 2,197件</p>		
事業評価	対象者が受けた施術費を助成し経済的負担を軽減することにより、高齢者の健康保持・増進を図ることができた。高齢化の進行によって対象者数は増加傾向にあり、ニーズ等の把握、分析及び効果の検証に努める中で、今後も引き続き実施する。		

平成 27 年度決算成果説明書

総合計画の体系		所管部局
大分類	03 健康でいきいきと暮らせるまち	健康長寿部
中分類	03 長寿社会への対応	
小分類	02 高齢者福祉サービスの充実	


事務事業名	地域包括支援センター運営事業費	所管課	健康生きがい課
		決算額	99,210千円
事業内容	介護、福祉、医療、保健などのサービスを包括的・継続的に提供するために、平成18年度に地域包括支援センターを市内6カ所の日常生活圏域（東宇治南、北宇治圏域は支所も設置）に設置した。要支援者が可能な限り居宅において自立した日常生活を営むことができるように、総合相談、権利擁護、包括的・継続的ケアマネジメント、指定介護予防支援を実施する。また、地域包括支援センター運営協議会を設置する。		
成果・実績	3職種 of 専門職を配置し、圏域内 of 高齢者の心身の状況に応じた介護予防ケアプランの作成、指定介護予防支援、高齢者及びその家族に対する相談支援、高齢者の権利擁護、包括的・継続的なケア体制の構築などを行った。 新規相談者数（実人数） 4,099人		
事業評価	国の指針に基づき日常生活圏域ごとに専門職を配置し、地域の中で高齢者の生活を支援することができた。効率的な業務及び適切な体制の整備など、地域包括ケアの推進と包括的支援事業の充実に向けて、今後も引き続き実施する。		

事務事業名	初期認知症総合相談支援事業	所管課	健康生きがい課
		決算額	13,848千円
事業内容	認知症になっても住み慣れた地域で生活を継続するために、認知症コーディネーターを配置し、認知症の人とその家族への効果的な支援を行う。また、医療機関、介護サービス及び地域の支援機関の連携強化などによる支援体制の構築を図る。		
成果・実績	認知症の人とその家族に訪問を実施し、早期発見、早期支援を行った。また、認知症対応型カフェを市内6圏域で32回開催し、認知症の人に社会参加ができる場、居場所、生きがいづくり、ピアサポートの場を提供し、加えて、認知症の人とその家族、地域住民に、認知症に関する正しい知識の普及啓発を行った。 認知症スクリーニング訪問対象者数（延べ人数） 625人 認知症対応型カフェ参加者数（延べ人数） 876人 認知症初期集中支援チーム対象事例数 54事例		
事業評価	認知症の初期の支援策を実施したことにより、住み慣れた地域での生活を支援することができた。認知症に関する正しい知識の普及、啓発など「認知症の人にやさしいまち・うじ」の具現化を図るための取り組みを、今後も引き続き実施する。		

平成 27 年度決算成果説明書

総合計画の体系	
大分類	03 健康でいきいきと暮らせるまち
中分類	03 長寿社会への対応
小分類	02 高齢者福祉サービスの充実

所管部局
健康長寿部

事務事業名	家族介護者支援事業費	所管課	健康生きがい課																																							
		決算額	5,398千円																																							
事業内容	<p>要介護の高齢者等を介護する家族を支援するため、以下の事業を行う。</p> <p>紙おむつ等購入費助成：要介護4・5の在宅高齢者の紙おむつ等を給付する。（月額購入費の2分の1相当の額の紙おむつ等5千円上限、市民税非課税世帯）</p> <p>リフレッシュ事業：介護者の交流事業とともに、介護者の誕生日に花束を贈呈する。</p> <p>家族介護慰労事業：要介護4・5の市民税非課税世帯の高齢者で1年間介護サービスを受けずに介護した家族に慰労金を支給する。</p> <p>家族介護者教室：介護者自身の健康づくりを目指し、健康管理等の知識を指導する。</p> <p>はいかい高齢者家族安心事業：徘徊のおそれがある高齢者及びその家族に、GPS機能を備えた機器の貸与費用等を助成する。</p>																																									
成果・実績	<table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 30%;">紙おむつ支給事業</td> <td style="width: 30%; text-align: right;">2,253千円</td> <td style="width: 40%;"></td> </tr> <tr> <td>助成件数</td> <td style="text-align: right;">777件</td> <td></td> </tr> <tr> <td> </td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>リフレッシュ事業</td> <td style="text-align: right;">2,710千円</td> <td></td> </tr> <tr> <td colspan="3">介護者家族の会の紹介及び介護者交流会を兼ねた昼食会を行った。</td> </tr> <tr> <td>参加人数</td> <td style="text-align: right;">91人</td> <td></td> </tr> <tr> <td>介護者花束贈呈者数</td> <td style="text-align: right;">505人</td> <td></td> </tr> </table> <div style="text-align: center; margin-top: 10px;">  <p style="margin-top: 5px;">介護者交流会</p> </div> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse; margin-top: 10px;"> <tr> <td style="width: 30%;">家族介護者教室</td> <td style="width: 30%; text-align: right;">308千円</td> <td style="width: 40%;"></td> </tr> <tr> <td colspan="3">介護者の家族に教室を実施し、体操及びクラフト・茶話会などで交流を行った。</td> </tr> <tr> <td>参加者実数</td> <td style="text-align: right;">31人</td> <td></td> </tr> <tr> <td> </td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>はいかい高齢者家族安心事業</td> <td style="text-align: right;">127千円</td> <td></td> </tr> <tr> <td>年度末利用者数</td> <td style="text-align: right;">14人</td> <td></td> </tr> </table>			紙おむつ支給事業	2,253千円		助成件数	777件		 			リフレッシュ事業	2,710千円		介護者家族の会の紹介及び介護者交流会を兼ねた昼食会を行った。			参加人数	91人		介護者花束贈呈者数	505人		家族介護者教室	308千円		介護者の家族に教室を実施し、体操及びクラフト・茶話会などで交流を行った。			参加者実数	31人		 			はいかい高齢者家族安心事業	127千円		年度末利用者数	14人	
紙おむつ支給事業	2,253千円																																									
助成件数	777件																																									
リフレッシュ事業	2,710千円																																									
介護者家族の会の紹介及び介護者交流会を兼ねた昼食会を行った。																																										
参加人数	91人																																									
介護者花束贈呈者数	505人																																									
家族介護者教室	308千円																																									
介護者の家族に教室を実施し、体操及びクラフト・茶話会などで交流を行った。																																										
参加者実数	31人																																									
はいかい高齢者家族安心事業	127千円																																									
年度末利用者数	14人																																									
事業評価	<p>教室の実施及びサービス提供などにより、高齢者の介護を行う家族の精神的・経済的負担の軽減及び介護者同士の交流などを図ることができた。在宅生活を支える家族への支援は重要であり、介護者の状況及びニーズの把握、分析並びに事業の啓発に努め、今後も引き続き実施する。</p>																																									

平成 27 年度決算成果説明書

総合計画の体系		所管部局
大分類	03 健康でいきいきと暮らせるまち	健康長寿部
中分類	03 長寿社会への対応	
小分類	02 高齢者福祉サービスの充実	


事務事業名	二次予防事業対象者把握事業費	所管課	健康生きがい課				
		決算額	5,554千円				
事業内容	介護認定を持たない65歳以上の高齢者に対して、二次予防事業の対象者を決定するため、生活機能について回答する「お元気チェックリスト」の配布・回収を行う。平成24年度から平成26年度まで3年かけて全数把握を行った。平成27年度は、すでに二次予防対象者である人を除いて再度把握に取り組む。						
成果・実績	<p>「お元気チェックリスト」の回答により二次予防事業対象者を決定し、二次予防事業への参加を呼び掛けた。</p> <table style="width: 100%; margin-top: 10px;"> <tr> <td style="width: 60%;">配布対象者数（郵送分）</td> <td style="text-align: right;">12,209人</td> </tr> <tr> <td>二次予防事業対象者数</td> <td style="text-align: right;">2,019人</td> </tr> </table>			配布対象者数（郵送分）	12,209人	二次予防事業対象者数	2,019人
配布対象者数（郵送分）	12,209人						
二次予防事業対象者数	2,019人						
事業評価	当該事業により、二次予防事業対象者を把握し、二次予防事業へつなげることに努めた。把握した対象者に対して、生活機能の低下を防ぐなど、効果的な支援を実施に努める。また、全数把握の成果・効果を検証する中で、総合事業の実施に併せて事業のあり方について検討する必要がある。						

事務事業名	複合型介護予防教室開催費	所管課	健康生きがい課		
		決算額	40,815千円		
事業内容	二次予防事業対象者に対し、介護予防の三本柱である運動、栄養、口腔及び認知症について複合的に学ぶことで全身的な機能の改善を図る。				
成果・実績	<p>二次予防事業対象者に、通所により介護予防を目的とした複合型介護予防教室を市内12会場で行った。</p> <table style="width: 100%; margin-top: 10px;"> <tr> <td style="width: 60%;">実人数</td> <td style="text-align: right;">429人</td> </tr> </table>			実人数	429人
実人数	429人				
事業評価	各プログラムを複合的に実施することで、二次予防事業対象者の機能改善を図ることができた。他の事業との連携を図り、より効果的な事業実施の手法等の検討に努める中で、総合事業の実施に併せて事業のあり方について検討する必要がある。				

平成 27 年度決算成果説明書

総合計画の体系	
大分類	03 健康でいきいきと暮らせるまち
中分類	03 長寿社会への対応
小分類	02 高齢者福祉サービスの充実

所管部局
健康長寿部

事務事業名	デイホーム管理運営費	所管課	健康生きがい課
		決算額	7,901千円
事業内容	平成5年に国の地方分権特例制度の適用市町村（パイロット自治体）第1号の指定を受け、全国初の試みとして小倉小学校・平盛小学校の空き教室を改築し、デイサービスセンター・在宅介護支援センター・デイホームといった高齢者福祉施設を開設し、高齢者施策の充実と、世代間・地域交流を促進するデイホームの管理・運営を行う。		
成果・実績	市内2カ所のデイホームについて、管理者を指定し、管理運営を行った。		
	<p>小倉デイホーム管理運営費 4,205千円 指定管理者：（福）宇治明星園</p> <p>平盛デイホーム管理運営費 3,696千円 指定管理者：（福）不動園</p>		
事業評価	各デイホームを適正に管理運営する中で、地域住民の福祉ニーズに応じた事業を実施したことにより、高齢者の福祉向上を図ることができた。地域福祉の拠点としての役割及び利用効果などを検証し、将来の福祉ニーズも見据え計画的な施設の修繕を検討する必要がある。		

事務事業名	ボランティア研修会開催費	所管課	健康生きがい課
		決算額	308千円
事業内容	市民の積極的な社会参加を促進するとともに、介護予防事業への理解と普及・啓発を促進する。		
成果・実績	介護予防に関するボランティア等の人材育成及び介護予防に資する地域活動組織の育成・支援のための事業を行った。		
	<p>実人数 248人</p>		
事業評価	研修の実施により、介護予防に関わる人材の育成を行うことで、積極的な地域福祉活動への参加につなげることができた。関係機関と連携し、育成した人材の有効活用及び研修効果の検証など効果的な実施手法の検討に努め、今後も引き続き実施する。		

平成27年度決算成果説明書

総合計画の体系	
大分類	03 健康でいきいきと暮らせるまち
中分類	02 健康づくりの推進
小分類	01 健康づくりの推進

所管部局
健康長寿部

事務事業名	健康づくり・食育推進事業費	所管課	保健推進課
		決算額	302千円
事業内容	健康づくり推進プランと食育推進計画を一体化した「宇治市健康づくり・食育推進計画」を策定し、「健康長寿日本一」の実現に向けて健康づくりと食育を一体的に推進する。		
成果・実績	「宇治市健康づくり・食育推進計画」を策定し、「健康長寿日本一」の実現に向けて、市民の健康づくりと食育の推進に関して協議・検討を行った。 協議会開催回数 2回		
事業評価	「宇治市健康づくり・食育推進計画」に基づき、時代に応じた健康づくりと食育を一体的に推進することができた。本市の健康づくりと食育に対する意見をいただき、各種施策に反映させていくため、今後も引き続き実施する。		

総合計画の体系	
大分類	03 健康でいきいきと暮らせるまち
中分類	02 健康づくりの推進
小分類	02 保健・医療の推進

所管部局
健康長寿部

事務事業名	病院群輪番制病院運営事業費補助金	所管課	保健推進課
		決算額	10,576千円
事業内容	山城北医療圏内において、第二次救急医療体制の整備に要する経費を補助し、休日（昼・夜）における初期医療を受けた救急患者（入院等を要する重傷患者）搬送の円滑化及び医療の確保を目的とする。		
成果・実績	4市3町で構成する山城北医療圏において専用病床を2床確保し、休日における二次救急医療体制を確立している。本市が事務局となり、12病院等へ補助を行った。		
事業評価	第二次救急医療体制を整備することにより、他自治体とも広域的に連携し救急患者の適切な治療を行うことができた。京都府及び医療機関と協力・連携しながら引き続き実施する。		

平成 27 年度決算成果説明書

総合計画の体系		所管部局
大分類	03 健康でいきいきと暮らせるまち	健康長寿部
中分類	02 健康づくりの推進	
小分類	02 保健・医療の推進	

事務事業名	各種予防接種事業費	所管課	保健推進課																														
		決算額	305,857千円																														
事業内容	予防接種法に基づき、予防接種を実施することにより、発病及び感染を予防する。																																
成果・実績	<p>予防接種法に基づく予防接種は、健やかセンターと協力医療機関等で実施し、法改正に対応して適切な疾病予防に努めた。また、各種乳幼児健診時、市民カレンダー、市政だより、ホームページなどで幅広く広報することにより、接種率の向上を図った。</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; margin: 10px 0;"> <thead> <tr> <th style="width: 30%;"></th> <th style="width: 20%;">接種者数</th> <th style="width: 50%;">実施場所</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>BCG</td> <td style="text-align: center;">1,324</td> <td rowspan="12" style="text-align: center; vertical-align: middle;">協力医療機関等</td> </tr> <tr> <td>不活化ポリオ</td> <td style="text-align: center;">301</td> </tr> <tr> <td>4種混合</td> <td style="text-align: center;">5,523</td> </tr> <tr> <td>3種混合</td> <td style="text-align: center;">14</td> </tr> <tr> <td>2種混合</td> <td style="text-align: center;">1,036</td> </tr> <tr> <td>麻しん風しん混合</td> <td style="text-align: center;">2,928</td> </tr> <tr> <td>麻しん</td> <td style="text-align: center;">0</td> </tr> <tr> <td>風しん</td> <td style="text-align: center;">0</td> </tr> <tr> <td>日本脳炎</td> <td style="text-align: center;">6,340</td> </tr> <tr> <td>水痘</td> <td style="text-align: center;">3,054</td> </tr> <tr> <td>BCG</td> <td style="text-align: center;">16</td> </tr> <tr> <td>ヒブ</td> <td style="text-align: center;">5,419</td> </tr> <tr> <td>小児用肺炎球菌</td> <td style="text-align: center;">5,430</td> </tr> </tbody> </table> <p style="margin-left: 40px;">ヒブと小児用肺炎球菌は平成25年4月、水痘は平成26年10月より定期接種化</p>				接種者数	実施場所	BCG	1,324	協力医療機関等	不活化ポリオ	301	4種混合	5,523	3種混合	14	2種混合	1,036	麻しん風しん混合	2,928	麻しん	0	風しん	0	日本脳炎	6,340	水痘	3,054	BCG	16	ヒブ	5,419	小児用肺炎球菌	5,430
		接種者数	実施場所																														
	BCG	1,324	協力医療機関等																														
	不活化ポリオ	301																															
	4種混合	5,523																															
	3種混合	14																															
	2種混合	1,036																															
	麻しん風しん混合	2,928																															
	麻しん	0																															
	風しん	0																															
	日本脳炎	6,340																															
	水痘	3,054																															
	BCG	16																															
	ヒブ	5,419																															
	小児用肺炎球菌	5,430																															
事業評価	<p>予防接種法に基づき適正に執行し、感染症予防対策を行うことにより、市民の健康保持を図ることができた。今後も、国の措置に対応し、適切な疾病予防の実施と市民への周知・啓発に努める必要がある。</p>																																

事務事業名	妊婦健康診査費	所管課	保健推進課
		決算額	112,052千円
事業内容	<p>健やかな母体と胎児の保健管理の向上を図るため、受診券を交付し、妊婦の経済的負担の軽減及び妊娠・出産に支障を及ぼす疾病の早期発見・早期治療を推進する。</p>		
成果・実績	<p>妊娠・出産に支障を及ぼす疾病の早期発見・早期治療を推進するため、健診費用の助成を行った。</p>		
	母子健康手帳交付件数	1,390件	
	助成金額	110,986千円	
事業評価	<p>健診費用の適正な助成を行うとともに妊娠早期に母子健康手帳を発行することにより、適切な健康管理の促進と妊婦の経済的負担を軽減することができた。今後も健やかな母体と胎児の保健管理の向上に努める必要がある。</p>		

平成 27 年度決算成果説明書

総合計画の体系	
大分類	03 健康でいきいきと暮らせるまち
中分類	02 健康づくりの推進
小分類	02 保健・医療の推進

所管部局
健康長寿部

事務事業名	不妊治療助成事業費	所管課	保健推進課
		決算額	10,950千円
事業内容	不妊治療を受けている夫婦に対し、その治療費の一部を助成し、経済的負担の軽減を図る。		
成果・実績	<p>不妊治療の保険診療分及び人工授精について、年間6万円（人工授精を含む場合は10万円）を限度に、治療に要した医療費の自己負担の2分の1を助成した。 男性不妊治療・不育治療等の治療について、男性不妊治療はTESE 20万円、MESA 5万円、1年度につき20万円まで、不育治療等は1回の妊娠につき10万円までを限度に治療等に要した医療費の自己負担額の2分の1を助成した。</p> <p style="text-align: center;">助成件数 515件</p>		
事業評価	不妊治療経費を助成することにより、対象者の経済的負担の軽減と少子化対策の推進に努めることができた。今後も引き続き実施する。		

事務事業名	乳幼児健康診査費	所管課	保健推進課																						
		決算額	26,631千円																						
事業内容	内科（小児科）健診、身体計測、保健・栄養指導などを実施し、必要に応じて個別の発達相談及び栄養相談を行う。総合的な判断と指導により、乳幼児期の疾病及び問題の早期発見をし、健やかな成長・発達を図る。また、育児不安の解消、子育て支援をする。																								
成果・実績	<p>乳幼児期の健康の保持・増進を図った。</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; margin-top: 10px;"> <thead> <tr> <th style="width: 30%;"></th> <th style="width: 20%;">受診数（人）</th> <th style="width: 20%;">受診率（％）</th> <th style="width: 30%;"></th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>3か月児健診</td> <td style="text-align: center;">1,341</td> <td style="text-align: center;">99.3</td> <td rowspan="3" style="text-align: center; vertical-align: middle;">健やかセンター 月3～4回</td> </tr> <tr> <td>1歳8か月児健診</td> <td style="text-align: center;">1,396</td> <td style="text-align: center;">95.6</td> </tr> <tr> <td>3歳児健診</td> <td style="text-align: center;">1,509</td> <td style="text-align: center;">95.6</td> </tr> <tr> <td>10か月児健診</td> <td style="text-align: center;">1,361</td> <td style="text-align: center;">96.4</td> <td style="text-align: center;">（一社）宇治久世医師会委託</td> </tr> <tr> <td>10か月児経過健診</td> <td style="text-align: center;">145</td> <td style="text-align: center;">—</td> <td style="text-align: center;">健やかセンター月1回</td> </tr> </tbody> </table>				受診数（人）	受診率（％）		3か月児健診	1,341	99.3	健やかセンター 月3～4回	1歳8か月児健診	1,396	95.6	3歳児健診	1,509	95.6	10か月児健診	1,361	96.4	（一社）宇治久世医師会委託	10か月児経過健診	145	—	健やかセンター月1回
	受診数（人）	受診率（％）																							
3か月児健診	1,341	99.3	健やかセンター 月3～4回																						
1歳8か月児健診	1,396	95.6																							
3歳児健診	1,509	95.6																							
10か月児健診	1,361	96.4	（一社）宇治久世医師会委託																						
10か月児経過健診	145	—	健やかセンター月1回																						
事業評価	子どもの発達段階にあわせた健診を実施することにより、子どもの健康保持・増進、疾患の早期発見、親の育児支援を行うことができた。発達支援が必要な子どもの増加等により、育児不安となる親の相談件数が増えており、今後も総合的な子育て支援を推進する必要がある。																								

平成 27 年度決算成果説明書

総合計画の体系		所管部局
大分類	03 健康でいきいきと暮らせるまち	健康長寿部
中分類	02 健康づくりの推進	
小分類	02 保健・医療の推進	

事務事業名	パパママスタート開催費	所管課	保健推進課																				
		決算額	2,243千円																				
事業内容	妊娠・出産・育児についての正しい知識を広め、妊産婦・子どもの健康の保持・増進を図ることを目的として「母子健康手帳GET記念日」、「おいしい! たのしい! クッキング」、「パパ出番ですよ～沐浴にチャレンジ～」、「ハイリスク妊婦訪問」を行っている。																						
成果・実績	妊婦及びその夫を対象に、健やかな子どもの成長発達を促すことを目的とした講座・相談を実施した。																						
	<table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 40%;">母子健康手帳GET記念日</td> <td style="width: 20%;">参加者数</td> <td style="width: 20%;">247人</td> <td style="width: 20%;"></td> </tr> <tr> <td>パパ出番ですよ</td> <td>参加者数</td> <td>219人</td> <td></td> </tr> <tr> <td>クッキング</td> <td>参加者数</td> <td>188人</td> <td></td> </tr> <tr> <td colspan="4">参加者数には、妊婦の配偶者・先輩ママ等も含む</td> </tr> <tr> <td>ハイリスク妊婦訪問</td> <td>訪問件数</td> <td>36件</td> <td></td> </tr> </table>			母子健康手帳GET記念日	参加者数	247人		パパ出番ですよ	参加者数	219人		クッキング	参加者数	188人		参加者数には、妊婦の配偶者・先輩ママ等も含む				ハイリスク妊婦訪問	訪問件数	36件	
母子健康手帳GET記念日	参加者数	247人																					
パパ出番ですよ	参加者数	219人																					
クッキング	参加者数	188人																					
参加者数には、妊婦の配偶者・先輩ママ等も含む																							
ハイリスク妊婦訪問	訪問件数	36件																					
事業評価	教室の開催により、妊娠期の仲間づくりにつなげるとともに、父母ともに子育てするという意識を醸成することができた。今後は参加者数、市民ニーズ及び事業効果の把握、分析に努め、より効果的な実施手法を検討する必要がある。																						

事務事業名	離乳食教室開催費	所管課	保健推進課								
		決算額	447千円								
事業内容	親が初めての離乳食を調理体験することにより、安心して適切な離乳食作りを家庭で実践するとともに、母子・親子関係の形成を促し、育児不安を緩和する。また、子どもの健康を維持し、成長・発達を促すとともに、生活リズムを身に付け、食べる楽しさを体験させることで「食べる力」を育む。										
成果・実績	親が子どもの食生活についての知識を深め、自宅で安全に離乳食を実践できるよう促した。										
	<table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 40%;">開催回数</td> <td style="width: 20%;">12回</td> <td style="width: 20%;"></td> <td style="width: 20%;"></td> </tr> <tr> <td>参加者数</td> <td>224人</td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			開催回数	12回			参加者数	224人		
開催回数	12回										
参加者数	224人										
事業評価	教室の開催により、家庭での適切な離乳食の実践等、子どもの健康づくりを促進することができた。発達年齢に応じた支援を検討する必要がある。また、参加者数、市民ニーズ及び事業効果の把握、分析に努め、より効果的な実施手法を検討する中で、今後も引き続き実施する。										

平成 27 年度決算成果説明書

総合計画の体系		所管部局
大分類	03 健康でいきいきと暮らせるまち	健康長寿部
中分類	02 健康づくりの推進	
小分類	02 保健・医療の推進	

事務事業名	乳幼児相談事務費	所管課	保健推進課
		決算額	1,171千円
事業内容	<p>生後2カ月から就学までの子どもと保護者を対象に、育児及び発達上の相談に対応し、育児不安軽減等の育児支援及び虐待予防、地域の育児力向上を図る。また、乳幼児健診後のフォローの場としても位置付け、計測、栄養指導、保健指導、発達についての相談などを開催する。</p>		
成果・実績	<p>専門職が適切に対応することにより、育児不安の軽減、虐待予防、地域の育児力向上を図った。また、地域子育て支援センター等関係機関と連携し、簡便な育児相談の場とした。</p> <p style="margin-left: 20px;">開催回数 65回 相談者数 1,799人</p>		
事業評価	<p>保健師及び栄養士などの専門職が育児相談に対応することにより、育児負担の軽減等子育て支援を図ることができた。今後も地域子育て支援センターと連携し、市民が気軽に利用できる体制の充実に努める。また、市民ニーズを把握、分析し、より効果的な事業の今後のあり方について検討する。</p>		

事務事業名	絵本ふれあい事業費	所管課	保健推進課
		決算額	3,603千円
事業内容	<p>3か月児健康診査受診児と1歳8か月児健康診査受診児保護者を対象に、親子がふれあうことで子育てが楽しくなるきっかけ作り、子育て支援を図る。絵本とのふれあい体験を行い、ブックスタートパックにメッセージを添えて渡す。</p>		
成果・実績	<p>3か月児健診及び1歳8か月児健診時に、1冊ずつ手渡しで配付した。3か月児健診の会場では、中央図書館、中央図書館おはなしサークルの協力により絵本の読み聞かせを行い、各年齢に応じた絵本の紹介及び遊び方の指導を行った。</p> <p style="margin-left: 20px;">3か月児健診配付数 1,341人 1歳8か月児健診配付数 1,396人</p>		
事業評価	<p>絵本の配付により、健やかな親子の関係づくりを促進することができた。図書館等との連携を図り実施方法の検討をしながら、今後も引き続き実施する。</p>		

平成 27 年度決算成果説明書

総合計画の体系	
大分類	03 健康でいきいきと暮らせるまち
中分類	02 健康づくりの推進
小分類	02 保健・医療の推進

所管部局
健康長寿部

事務事業名	心身障害児通園事業費	所管課	保健推進課
		決算額	30,374千円
事業内容	市内に居住する心身障害児等の育成を助長するため、通園施設において子ども及び保護者に対し、指導、訓練を行う。（福）宇治福祉園、（福）かおり福祉会、NPOアジュール舎及び子ども発達さぼーとセンターあゆみ園に、介護給付費のほか市単費補助金を交付する。		
成果・実績	<p>障害児通園（児童デイサービス）事業について補助金を交付した。また、通園事業での療育を希望しながら待機となった子どもに対し、待機児親子サポート事業を実施しているが、平成27年度は待機児がなかった。</p> <p style="text-align: center;"> 児童デイサービス 児童デイころぼっくる（アジュール舎） 宇治福祉園 かおり之園（かおり福祉会） 子ども発達さぼーとセンターあゆみ園 </p>		
事業評価	心身障害児支援のため事業者が運営する通園施設への補助金について適正に執行したことにより、心身障害児等の育成に努めることができた。発達支援が必要な子どもは増加傾向にあり、今後の利用予測及び利用ニーズの把握、分析に努めるとともに、国、京都府との連携等を検討する必要がある。		

事務事業名	発達相談事務費	所管課	保健推進課
		決算額	9,047千円
事業内容	健診、乳幼児相談及び家庭訪問などを通して、発育・発達上に問題がある子ども（疑いも含む）、並びに子どもへの関わりに不安及び心配のある保護者に対し、発達相談（個別相談、診断）を実施し、今後の対応の方向性、家庭での具体的な関わりについての指導・援助を行う。		
成果・実績	<p>保護者が子どもの育ちに見通しを持ちやすくなり、適切な親子関係を築くとともに、子どもの健やかな成長を図った。</p> <p style="text-align: center;"> 開設数 895回 相談件数 1,142件 </p>		
事業評価	発達相談を実施することにより、子どもの健やかな成長支援に努めることができた。利用ニーズの把握、分析に努める中で、今後も引き続き実施する。		

平成 27 年度決算成果説明書

総合計画の体系		所管部局
大分類	03 健康でいきいきと暮らせるまち	健康長寿部
中分類	02 健康づくりの推進	
小分類	02 保健・医療の推進	

事務事業名	早期療育ネットワーク会議運営費	所管課	保健推進課
		決算額	148千円
事業内容	「宇治市早期療育ネットワーク会議」設置規程により、療育等の専門的な指導が必要な子どもの早期発見と早期に適切な指導が行われるよう、関係機関のネットワーク化、療育システムの確立を図るための検討と研究を行う。		
成果・実績	心身に障害のある子ども及び発達上支援が必要と思われる子どもに対して、発達に応じた適切な療育指導を行うため、保健・福祉・教育・医療の関係者が集まって意見交換を行った。 開催回数 2回		
事業評価	療育に関わる関係機関とのネットワーク形成により、情報共有と業務連携を図ることができた。引き続き的確な状況把握及び現状分析を踏まえ、国・京都府・関係機関との連携を図るなど支援体制を検討する必要がある。		

事務事業名	幼児期後期フォロー教室開催費	所管課	保健推進課
		決算額	968千円
事業内容	LD、ADHD、広汎性発達障害などの発達障害、またはその疑いのある子どもに対する早期支援として、各子どもの課題にあわせた発達支援を行い、保護者及び就園先の関係者と必要な関わり並びに手立てを相談する。対象児の発達を促進し、障害から生じる困難を予防する。少人数の教室を開催し、保護者懇談及び園連携を行う。		
成果・実績	個別指導と集団指導を時間を分けて実施し、個々の課題解決に取り組んだ。指導は、発達相談員、保育士、作業療法士が行い、子どもの発達を促した。また、保護者及び幼稚園・保育所（園）等の担当者に子どもの特性を理解してもらい、適切な関わりを促し二次障害を防いだ。 開催数 1クール全7回を4クラス 月1回全10回を1クラス 処遇児数 28人		
事業評価	教室の開催により、子どもの発達段階に応じた健やかな成長支援に努めることができた。発達支援が必要な子どもは増加傾向であり、利用ニーズの把握、分析に努め、運営方法を検討する必要がある。		

平成 27 年度決算成果説明書

総合計画の体系		所管部局
大分類	03 健康でいきいきと暮らせるまち	健康長寿部
中分類	02 健康づくりの推進	
小分類	02 保健・医療の推進	

事務事業名	親子あそびの教室運営費	所管課	保健推進課
		決算額	2,418千円
事業内容	1歳8か月児健康診査の中で、発達面で経過をみていく必要があるとされた子どものフォローの場として、遊びの場を提供し、保護者への指導を行う。教室は、発達相談員、保健師、保育士が運営する。		
成果・実績	<p>親子で具体的な遊びを体験することにより、子どもの発達を促した。また、子どもとの関わりに不安を持っている保護者に対し、自信を持って子どもと関われる親になってもらうきっかけづくりを行った。</p> <p style="margin-left: 20px;">開催数 1クール全10回を4クラス 1クール全11回を2クラス</p> <p style="margin-left: 20px;">処遇児数 77人</p>		
事業評価	教室の開催により、適切な親子関係を築き、子どもの健やかな成長支援に努めることができた。発達支援が必要な子どもは増加傾向にあり、利用ニーズの把握、分析に努め、運営方法を検討する必要がある。		

事務事業名	障害者歯科治療事業費	所管課	保健推進課
		決算額	7,476千円
事業内容	市内に居住する身体障害者手帳及び療育手帳の交付を受けた者に、週1回水曜日（年末年始除く）、歯科サービスセンター（うじ安心館内）で、口腔衛生指導、処置、歯科治療並びに歯科相談を行う。		
成果・実績	<p>歯科サービスセンターにおいて、京都府宇治久世歯科医師会及び（公社）京都府歯科衛生士会の協力を得て、歯科治療等を行った。</p> <p style="margin-left: 20px;">診療日数 52日 受診者数 349人</p>		
事業評価	歯科サービスセンターにおける歯科治療等により、障害者の歯をはじめとする健康保持・増進を図ることができた。事業効果の検証及び市民ニーズの把握、分析に努める中で、今後も引き続き実施する。		

平成 27 年度決算成果説明書

総合計画の体系		所管部局
大分類	03 健康でいきいきと暮らせるまち	健康長寿部
中分類	02 健康づくりの推進	
小分類	02 保健・医療の推進	

事務事業名	休日急病診療所運営費	所管課	保健推進課									
		決算額	29,348千円									
事業内容	日曜、祝日、国民の休日及び年末・年始において、急病で医療を望む市民に対し応急的な診療を、内科・小児科・歯科について行う。保健・消防センター（うじ安心館内）に開設している。											
成果・実績	（一社）宇治久世医師会・京都府宇治久世歯科医師会・宇治久世薬剤師会並びに（公社）京都府歯科衛生士会の協力を得て、休日に内科・小児科・歯科の応急診療を行った。 <table border="1" style="margin: 10px auto; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th></th> <th>受診者数(人)</th> <th>診療日数(日)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>内科・小児科</td> <td style="text-align: center;">1,543</td> <td style="text-align: center;">70</td> </tr> <tr> <td>歯科</td> <td style="text-align: center;">513</td> <td style="text-align: center;">72</td> </tr> </tbody> </table>				受診者数(人)	診療日数(日)	内科・小児科	1,543	70	歯科	513	72
	受診者数(人)	診療日数(日)										
内科・小児科	1,543	70										
歯科	513	72										
事業評価	休日、年末・年始における応急診療を行うことにより、市民の健康保持に努めることができた。感染症の流行等、緊急的な事態にも対応できる体制を維持する必要がある。											

事務事業名	風しん予防接種助成事業費	所管課	保健推進課				
		決算額	354千円				
事業内容	妊婦と生まれてくる子どもの健康を守るため、京都府の助成制度を活用し、風しん予防接種にかかる費用を助成する。						
成果・実績	風しん（R）ワクチン及び麻しん風しん混合（MR）ワクチンを全額自己負担にて接種した後に、1人1回を限度に費用の2/3程度を助成した。 <table style="margin: 10px auto;"> <tr> <td style="padding-right: 20px;">助成者数</td> <td style="text-align: center;">71人</td> </tr> <tr> <td>助成額</td> <td style="text-align: center;">354千円</td> </tr> </table>			助成者数	71人	助成額	354千円
助成者数	71人						
助成額	354千円						
事業評価	京都府が実施する抗体検査等で抗体価が低いと診断された対象者の風しん予防接種へ助成することにより、ワクチン接種を促進し妊婦と生まれてくる子どもの健康を守ることができた。京都府と連携し、今後も引き続き実施する。						

平成 27 年度決算成果説明書

総合計画の体系	
大分類	03 健康でいきいきと暮らせるまち
中分類	02 健康づくりの推進
小分類	02 保健・医療の推進

所管部局
健康長寿部

事務事業名	未熟児養育医療費給付費	所管課	保健推進課・年金医療課
		決算額	12,727千円
事業内容	未熟児の養育に必要な医療の給付を行う。		
成果・実績	<p>入院養育にかかる「医療費（医療保険各法の適用範囲内）の患者負担額」及び「食事療養費の患者負担額」について、その自己負担額（食事療養費については標準負担額）の一部を助成した。</p> <p style="margin-left: 20px;">給付決定児数 55人 給付延件数 125件 給付延日数 2,372日</p>		
事業評価	養育支援の必要な家庭を早期かつ的確に把握し必要な医療給付を行うことにより、未熟児の健やかな成長を図ることができた。給付状況の把握、分析に努める中で、今後も引き続き実施する。		

総合計画の体系	
大分類	03 健康でいきいきと暮らせるまち
中分類	04 少子化社会への対応
小分類	01 総合的な子育て支援の充実

所管部局
健康長寿部

事務事業名	乳児家庭全戸訪問事業費	所管課	保健推進課
		決算額	6,451千円
事業内容	生後4カ月になるまでの子どもがいる家庭を対象に訪問し、子育てに関する悩み及び不安を聞き、子育て支援に関する情報提供を行うとともに、子ども及びその保護者の心身の状況並びに養育環境等の把握を行い、支援が必要な家庭に対し、適切なサービスの提供につなげる。		
成果・実績	<p>親の育児不安の軽減と、子育て支援に関する必要な情報提供を行い、支援が必要な家庭に対しては適切なサービス提供に結び付ける。</p> <p style="margin-left: 20px;">訪問件数 605件</p>		
事業評価	乳児家庭を全戸訪問することにより、子育ての孤立化を防ぐとともに、適切な行政サービスの提供につなげることができた。今後も、関係機関等との連携及びその他の訪問指導事業等との整理を検討する必要がある。		

平成27年度決算成果説明書

総合計画の体系	
大分類	03 健康でいきいきと暮らせるまち
中分類	03 長寿社会への対応
小分類	02 高齢者福祉サービスの充実

所管部局
健康長寿部

事務事業名	保険給付費	所管課	介護保険課
		決算額	11,760,419千円
事業内容	要介護・要支援認定者が介護サービス・介護予防サービス等を受けた時、その費用の一部を負担する。		
成果・実績	(千円)		
		平成27年度	平成26年度
	介護サービス等諸費	11,228,650	10,855,391
	居宅介護サービス	4,556,888	4,359,725
	地域密着型介護サービス	1,328,619	1,184,333
	施設介護サービス	3,935,095	3,982,321
	特定入所者介護サービス	414,913	424,467
	その他	993,135	904,545
	介護予防サービス等諸費	518,993	547,543
	介護予防サービス	409,629	438,498
	地域密着型介護予防サービス	0	0
	特定入所者介護予防サービス	472	822
	その他	108,892	108,223
	その他諸費	12,776	12,100
	審査支払手数料	12,776	12,100
事業評価	国制度に基づき適正に給付した。今後も高齢者数の増加に伴い要介護・要支援認定者、サービス利用者が増加する見込みであり、持続可能な事業運営のため、的確に状況を把握し分析する必要がある。		

事務事業名	介護相談員派遣事業費	所管課	介護保険課
		決算額	1,992千円
事業内容	申し出のあったサービス事業者等に相談員の派遣を行うことにより、利用者の疑問及び不満、不安の解消を図るとともに、相談等を通してサービスの現状を把握し、派遣先事業者の介護サービスの質的な向上を図る。また、苦情に至る事態を未然に防止すること及び利用者・家族の日常的な不満・疑問に対応して改善を図る事前的な対応を行う。		
成果・実績	介護相談員を通して利用者の疑問及び不安を事業者側へ伝え、解消・改善につなげた。また、事業所ごとのサービスの現状を把握した。		
	派遣事業所種別	派遣事業所数 (力所)	派遣人数 (人)
	特別養護老人ホーム	7	16
	介護老人保健施設	2	5
	グループホーム	14	24
	地域密着型特別養護老人ホーム	1	2
事業評価	相談員の派遣を実施したことにより、利用者の疑問及び不安を解消しサービスの質の向上を図ることができた。相談員は利用者施設とつなぐ役割を担っており、今後も相談員の資質の向上に努める必要がある。		

平成 27 年度決算成果説明書

総合計画の体系	
大分類	03 健康でいきいきと暮らせるまち
中分類	03 長寿社会への対応
小分類	02 高齢者福祉サービスの充実

所管部局
健康長寿部

事務事業名	福祉人材研修事業費	所管課	介護保険課
		決算額	800千円
事業内容	介護保険制度創設後、要介護・要支援認定者数及び介護サービス利用者数は年々増加しており、介護サービスの質の向上・確保が課題となっている。ケアマネジャー及び介護サービス事業所職員を対象にサービスの質の向上・確保を目的とした研修を行い、介護サービス事業者が利用者の自立支援につながる質の高いサービスを提供できる環境を整備する。		
成果・実績	(一財)宇治市福祉サービス公社に委託し、ケアマネジャー及び介護サービス事業所職員を対象に研修を行った。		
	研修名	参加者数(人)	対象者
	「宇治市の行政施策とインフォーマルサービスを学ぼう」「ケアマネジメント業務において押さえておきたいポイント」	61	ケアマネジャー
	施設も!在宅も!「支援の質を高めるケアプラン」を目指して!~もう一度振り返ってみませんか!アセスメントからモニタリングまで~	52	
	高齢者を介護する家族の介護負担~介護負担の軽減が図れるケアプランとは~	51	
	医療系サービス導入のポイントとケアプランへの位置付け方を事例から学ぶ	27	
	障害者の高齢化を考える~障害福祉サービスから介護保険サービスへのスムーズな移行のために~	44	介護サービス事業所職員
	介護職員のための介護技術研修「移動・移乗介助を学ぶ!」	25	
	認知症ケアを学ぶ	84	
	介護・福祉職のための知っておきたい医療知識と服薬ケアのポイント第2弾~昨年参加した人も!ケアマネジャーも!~	45	
	看取りについて考える~多職種協働でお見送りできた事例を通して~	34	
	地域で支えよう心の病~出会いから関わり方まで~(うつ病、統合失調症等々...)	39	
	伝えたいことが伝わり、情報の共有ができる記録の書き方・残し方を学ぶ	32	
事業評価	ケアマネジャー及び介護サービス事業所職員に対し研修を実施したことにより、介護サービス事業者が提供するサービスの質の向上・確保を図ることができた。		

平成 27 年度決算成果説明書

総合計画の体系	
大分類	03 健康でいきいきと暮らせるまち
中分類	03 長寿社会への対応
小分類	02 高齢者福祉サービスの充実

所管部局
健康長寿部

事務事業名	介護保険料（歳入）	所管課	介護保険課																																
		決算額	3,074,969千円																																
事業内容	平成27年度から平成29年度までの第1号被保険者の保険料は、第6期介護保険事業計画期間の介護保険サービス見込み量等を基に算出し、15の段階の設定としている。																																		
成果・実績	<p>第1号被保険者数 50,992人 （平成27年度末現在）</p> <p>保険料収納率 現年度分 99.03%</p> <p>滞納繰越分 9.35%</p> <p>合計 96.98%</p> <table border="1" style="width: 100%; margin-top: 10px;"> <thead> <tr> <th style="width: 40%;">保険料段階</th> <th style="width: 60%;">年間保険料額(円)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>第1段階</td><td>24,920</td></tr> <tr><td>第2段階</td><td>37,380</td></tr> <tr><td>第3段階</td><td>43,610</td></tr> <tr><td>第4段階</td><td>49,840</td></tr> <tr><td>第5段階</td><td>62,300</td></tr> <tr><td>第6段階</td><td>68,530</td></tr> <tr><td>第7段階</td><td>80,990</td></tr> <tr><td>第8段階</td><td>102,800</td></tr> <tr><td>第9段階</td><td>121,490</td></tr> <tr><td>第10段階</td><td>130,830</td></tr> <tr><td>第11段階</td><td>140,180</td></tr> <tr><td>第12段階</td><td>149,520</td></tr> <tr><td>第13段階</td><td>158,870</td></tr> <tr><td>第14段階</td><td>168,210</td></tr> <tr><td>第15段階</td><td>183,790</td></tr> </tbody> </table> <p style="text-align: right; margin-top: 5px;">（基準額）</p> <p style="margin-top: 10px;">保険料段階が第2段階または第3段階の者のうち、特に低所得である者については申請により保険料の減額を行っている。</p>			保険料段階	年間保険料額(円)	第1段階	24,920	第2段階	37,380	第3段階	43,610	第4段階	49,840	第5段階	62,300	第6段階	68,530	第7段階	80,990	第8段階	102,800	第9段階	121,490	第10段階	130,830	第11段階	140,180	第12段階	149,520	第13段階	158,870	第14段階	168,210	第15段階	183,790
保険料段階	年間保険料額(円)																																		
第1段階	24,920																																		
第2段階	37,380																																		
第3段階	43,610																																		
第4段階	49,840																																		
第5段階	62,300																																		
第6段階	68,530																																		
第7段階	80,990																																		
第8段階	102,800																																		
第9段階	121,490																																		
第10段階	130,830																																		
第11段階	140,180																																		
第12段階	149,520																																		
第13段階	158,870																																		
第14段階	168,210																																		
第15段階	183,790																																		
事業評価	現年度分の収納率については、「第6期介護保険事業計画」策定時に見込んでいる収納率を上回ることができた。厳しい経済状況の中ではあるが、今後も引き続き、ケースに応じた納付指導等、収納率の向上に努める必要がある。																																		

平成27年度決算成果説明書

総合計画の体系	
大分類	03 健康でいきいきと暮らせるまち
中分類	04 少子化社会への対応
小分類	01 総合的な子育て支援の充実

所管部局
健康長寿部

事務事業名	子育て支援医療費支給費	所管課	年金医療課																												
		決算額	457,021千円																												
事業内容	乳幼児の健康保持増進と子育て支援を図ることを目的に、平成5年10月1日から乳幼児医療助成事業を実施している。子育て家庭の経済的負担を軽減するため、保険診療における自己負担分から一部負担金を控除した額を助成する。申請に基づいて乳幼児、小学生及び中学生の保護者に京都子育て支援医療費受給者証を交付し、現物給付方式か償還給付方式で助成を行う。																														
成果・実績	<p>子育て支援の観点から子育て家庭の経済的負担を軽減するため、保険診療における自己負担分のうち一部負担金を除いて助成を行った。</p> <p>受給者数 19,510人 扶助費 441,773千円</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; margin-top: 10px;"> <thead> <tr> <th></th> <th>0歳</th> <th>1歳</th> <th>2歳</th> <th>3歳</th> <th>4歳</th> <th>5歳</th> <th>小学校卒業まで</th> <th>中学校卒業まで</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>入院</td> <td colspan="7" style="text-align: center;">現物給付（月200円負担）</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>外来</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td style="text-align: center;">市独自</td> <td style="text-align: center;">償還 （3,000円）</td> </tr> </tbody> </table>				0歳	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	小学校卒業まで	中学校卒業まで	入院	現物給付（月200円負担）									外来							市独自	償還 （3,000円）
	0歳	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	小学校卒業まで	中学校卒業まで																							
入院	現物給付（月200円負担）																														
外来							市独自	償還 （3,000円）																							
事業評価	平成27年9月に中学生まで保険診療における自己負担分のうち一部負担金を除いて助成対象を拡充したことにより、対象者の健康保持と子育て家庭の経済的負担の軽減をより一層図ることができた。少子化対策の一環として子育てに要する経済的負担の軽減は、本来国において対策すべきであり、引き続き国等に要望を行う必要がある。																														

総合計画の体系	
大分類	03 健康でいきいきと暮らせるまち
中分類	07 年金・保険制度の運営
小分類	01 年金・各種医療制度の運営

所管部局
健康長寿部

事務事業名	老人医療費支給費	所管課	年金医療課
		決算額	256,289千円
事業内容	安心して医療を受けられるよう、65歳から69歳までの医療保険加入者で一定の条件に該当する者に対して、保険診療の自己負担分のうち、高齢者の医療の確保に関する法律に規定する一部負担金相当額（平成27年4月1日以降、一部負担金1割負担については、2割負担となる。）を除いて助成する。		
成果・実績	<p>対象となる医療費について助成を行った。</p> <p>受給者数 5,655人 扶助費 247,512千円</p>		
事業評価	高齢者の医療の確保に関する法律に基づき適正に執行し、対象となる高齢者の経済的負担の軽減を図ることができた。国・京都府の動向を注視する中で、今後も引き続き実施する。		

平成 27 年度決算成果説明書

総合計画の体系		所管部局
大分類	03 健康でいきいきと暮らせるまち	健康長寿部
中分類	07 年金・保険制度の運営	
小分類	01 年金・各種医療制度の運営	

事務事業名	健康診査費	所管課	年金医療課				
		決算額	62,931千円				
事業内容	後期高齢者医療制度において努力目標として明記されている健診事業を行う。健診は疾病の早期発見に役立ち医療費の抑制につながるものとする。保険者である京都府後期高齢者医療広域連合と連携して事業を行う。						
成果・実績	6月1日～10月31日に（一社）宇治久世医師会に委託して実施した。 <table style="margin-left: 20px;"> <tr> <td>受診者数</td> <td style="text-align: right;">6,377人</td> </tr> <tr> <td>健診委託料</td> <td style="text-align: right;">62,653千円</td> </tr> </table>			受診者数	6,377人	健診委託料	62,653千円
受診者数	6,377人						
健診委託料	62,653千円						
事業評価	後期高齢者医療制度に基づき適正に執行し、被保険者の健康の保持増進を図ることができた。今後も高齢者人口の増加による医療費の増加が見込まれるため、的確な状況把握と医療費を抑制する効果を検証する必要がある。						

事務事業名	後期高齢者医療保険料（歳入）	所管課	年金医療課																												
		決算額	1,773,578千円																												
事業内容	平成20年度から施行された後期高齢者医療制度の保険料を徴収する。2年ごとに保険料の見直しが行われ、平成26・27年度保険料については、均等割額が47,480円に、所得割率が9.17%に改定された。																														
成果・実績	<table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 30%;">被保険者数</td> <td colspan="3" style="text-align: right;">21,589人</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">保険料収納率</td> <td style="width: 20%;">現年度分</td> <td style="width: 10%; text-align: right;">99.51%</td> <td style="width: 10%;"></td> </tr> <tr> <td>滞納繰越分</td> <td style="text-align: right;">19.04%</td> <td></td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td style="text-align: right;">98.05%</td> <td></td> </tr> </table> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 30%; border: 1px solid black; padding: 5px;"> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="text-align: center;">保険料</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">（限度額57万円）</td> </tr> </table> </td> <td style="width: 5%; text-align: center;">=</td> <td style="width: 30%; border: 1px solid black; padding: 5px;"> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="text-align: center;">均等割額</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">（被保険者一人あたり）</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">47,480円</td> </tr> </table> </td> <td style="width: 5%; text-align: center;">+</td> <td style="width: 30%; border: 1px solid black; padding: 5px;"> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="text-align: center;">所得割額</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">（総所得金額等 -</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">基礎控除額（33万円）</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">× 9.17%</td> </tr> </table> </td> </tr> </table> <p>保険料軽減 世帯（被保険者全員と世帯主）の所得に応じて、保険料の被保険者均等割額が軽減される。 所得割額の算定に係る基礎控除後の総所得金額等が58万円以下の場合、所得割額が5割軽減される。</p>			被保険者数	21,589人			保険料収納率	現年度分	99.51%		滞納繰越分	19.04%		合計	98.05%		<table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="text-align: center;">保険料</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">（限度額57万円）</td> </tr> </table>	保険料	（限度額57万円）	=	<table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="text-align: center;">均等割額</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">（被保険者一人あたり）</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">47,480円</td> </tr> </table>	均等割額	（被保険者一人あたり）	47,480円	+	<table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="text-align: center;">所得割額</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">（総所得金額等 -</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">基礎控除額（33万円）</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">× 9.17%</td> </tr> </table>	所得割額	（総所得金額等 -	基礎控除額（33万円）	× 9.17%
被保険者数	21,589人																														
保険料収納率	現年度分	99.51%																													
	滞納繰越分	19.04%																													
	合計	98.05%																													
<table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="text-align: center;">保険料</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">（限度額57万円）</td> </tr> </table>	保険料	（限度額57万円）	=	<table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="text-align: center;">均等割額</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">（被保険者一人あたり）</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">47,480円</td> </tr> </table>	均等割額	（被保険者一人あたり）	47,480円	+	<table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="text-align: center;">所得割額</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">（総所得金額等 -</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">基礎控除額（33万円）</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">× 9.17%</td> </tr> </table>	所得割額	（総所得金額等 -	基礎控除額（33万円）	× 9.17%																		
保険料																															
（限度額57万円）																															
均等割額																															
（被保険者一人あたり）																															
47,480円																															
所得割額																															
（総所得金額等 -																															
基礎控除額（33万円）																															
× 9.17%																															
事業評価	京都府後期高齢者医療広域連合と協力して後期高齢者医療制度の適切な運営に努めることができた。今後も安定した事業運営のため、継続して収納に努める必要がある。																														

平成 27 年度決算成果説明書

総合計画の体系	
大分類	03 健康でいきいきと暮らせるまち
中分類	07 年金・保険制度の運営
小分類	01 年金・各種医療制度の運営

所管部局
健康長寿部

事務事業名	人間ドック受診補助金	所管課	年金医療課				
		決算額	6,903千円				
事業内容	後期高齢者医療制度被保険者を対象に、生活習慣病の早期発見・治療を図るために半日人間ドックに係る健診料の7割を後期高齢者医療事業特別会計から補助する。						
成果・実績	<table style="width: 100%; border: none;"> <tr> <td style="padding-right: 20px;">受診者数</td> <td style="text-align: right;">231人</td> </tr> <tr> <td>人間ドック受診補助金</td> <td style="text-align: right;">6,739千円</td> </tr> </table>			受診者数	231人	人間ドック受診補助金	6,739千円
受診者数	231人						
人間ドック受診補助金	6,739千円						
事業評価	被保険者を対象に、人間ドックに係る健診料を補助することにより、被保険者の健康保持と経済的負担の軽減を図ることができた。利用状況等の把握、分析に努める中で、今後も引き続き実施する。						

事務事業名	障害基礎年金裁定請求等診断書料助成金	所管課	年金医療課				
		決算額	221千円				
事業内容	国民年金法に規定する障害基礎年金（障害厚生年金・障害共済年金と併せて請求するものは除く）の裁定請求等の際に要する診断書料の全部または一部を助成することにより、障害者の経済的負担を軽減し、福祉の増進を図る。						
成果・実績	<table style="width: 100%; border: none;"> <tr> <td style="padding-right: 20px;">助成件数</td> <td style="text-align: right;">78件</td> </tr> <tr> <td>助成額</td> <td style="text-align: right;">221千円</td> </tr> </table>			助成件数	78件	助成額	221千円
助成件数	78件						
助成額	221千円						
事業評価	裁定請求等に要する診断書料の助成を行うことにより、障害者の経済的負担の軽減を図ることができた。利用状況等の把握、分析に努める中で、今後も引き続き実施する。						

平成 27 年度決算成果説明書

総合計画の体系	
大分類	03 健康でいきいきと暮らせるまち
中分類	07 年金・保険制度の運営
小分類	01 年金・各種医療制度の運営

所管部局
健康長寿部

事務事業名	福祉医療費支給費	所管課	年金医療課								
		決算額	449,797千円								
事業内容	一定の障害のある重度心身障害者並びにひとり親家庭児及びその親に対し、健康の保持と福祉の向上を図るため、疾病に係る医療保険各法による医療費のうち本人負担分を支給し、経済的負担の軽減を図る。										
成果・実績	<p>対象者へ助成を行い、経済的負担の軽減を図った。</p> <table style="width: 100%; border: none;"> <tr> <td style="padding-left: 20px;">重度障害者</td> <td style="text-align: right;">1,766人</td> </tr> <tr> <td style="padding-left: 20px;">ひとり親家庭児</td> <td style="text-align: right;">2,597人</td> </tr> <tr> <td style="padding-left: 20px;">ひとり親家庭児の親</td> <td style="text-align: right;">1,691人</td> </tr> <tr> <td style="padding-left: 20px;">扶助費</td> <td style="text-align: right;">443,833千円</td> </tr> </table>			重度障害者	1,766人	ひとり親家庭児	2,597人	ひとり親家庭児の親	1,691人	扶助費	443,833千円
重度障害者	1,766人										
ひとり親家庭児	2,597人										
ひとり親家庭児の親	1,691人										
扶助費	443,833千円										
事業評価	府制度に基づき適正に執行し、対象者の健康の保持と福祉の向上を図ることができた。対象者の経済的負担の軽減を図り、安心して医療が受けられるように引き続き実施する。今後も制度運営について研究する中で、引き続き京都府へ要望を行う必要がある。										

事務事業名	重度心身障害老人健康管理費	所管課	年金医療課				
		決算額	157,241千円				
事業内容	後期高齢者医療制度の被保険者である重度心身障害老人に対し、一部負担金に相当する額を健康管理費として給付する。						
成果・実績	<p>対象者に健康管理に要する費用を給付し、健康の保持と障害者福祉の向上を図った。</p> <table style="width: 100%; border: none;"> <tr> <td style="padding-left: 20px;">受給者数</td> <td style="text-align: right;">1,697人</td> </tr> <tr> <td style="padding-left: 20px;">扶助費</td> <td style="text-align: right;">155,868千円</td> </tr> </table>			受給者数	1,697人	扶助費	155,868千円
受給者数	1,697人						
扶助費	155,868千円						
事業評価	府制度に基づき適正に執行し、対象者の健康の保持と福祉の向上を図ることができた。対象者の経済的負担の軽減を図り、安心して医療が受けられるように引き続き実施する。今後も制度運営について研究する中で、引き続き京都府へ要望を行う必要がある。						

平成 27 年度決算成果説明書

総合計画の体系	
大分類	03 健康でいきいきと暮らせるまち
中分類	07 年金・保険制度の運営
小分類	01 年金・各種医療制度の運営

所管部局
健康長寿部

事務事業名	在日外国人重度障害者特別給付金支給費	所管課	年金医療課
		決算額	1,800千円
事業内容	<p>昭和57年1月1日より、国民年金法の国籍要件が撤廃されたが、既に重度の障害者となっている在日外国人は、障害福祉年金（昭和61年改正により障害基礎年金に移行）の適用から除外され、無年金となっているため、国の救済措置がなされるまでの間、宇治市独自の暫定措置として給付金を支給することにより、福祉の増進を図る。</p>		
成果・実績	<p>昭和56年12月31日以前に既に重度の障害があり、障害福祉年金（昭和61年改正により障害基礎年金）の対象外とされた制度的無年金である在日外国人を対象に、月額36,000円の給付を行った。</p> <p style="text-align: right;"> 受給者総数 5人 支給額 1,800千円 </p>		
事業評価	<p>暫定措置として給付金を支給することにより、対象となる無年金者の福祉の向上を図ることができた。平成28年度も引き続き実施するが、国制度の不備を補うものであり、国事業としての実施を引き続き働きかける必要がある。</p>		

事務事業名	在日外国人高齢者特別給付金支給費	所管課	年金医療課
		決算額	720千円
事業内容	<p>昭和57年1月1日より、国民年金法の国籍要件が撤廃されたが、大正15年4月1日以前生まれの在日外国人は、老齢年金を受給できず無年金となっているため、国の救済措置がなされるまでの間、宇治市独自の暫定措置として給付金を支給することにより、福祉の増進を図る。</p>		
成果・実績	<p>大正15年4月1日以前生まれの制度的無年金者である在日外国人高齢者を対象に、月額10,000円の給付を行った。</p> <p style="text-align: right;"> 受給者総数 6人 支給額 720千円 </p>		
事業評価	<p>暫定措置として給付金を支給することにより、対象となる無年金者の福祉の向上を図ることができた。平成28年度も引き続き実施するが、国制度の不備を補うものであり、国事業としての実施を引き続き働きかける必要がある。</p>		

平成 27 年度決算成果説明書

総合計画の体系	
大分類	03 健康でいきいきと暮らせるまち
中分類	07 年金・保険制度の運営
小分類	02 国民健康保険の運営

所管部局
健康長寿部

事務事業名	特定健康診査等事業費	所管課	国民健康保険課																				
		決算額	110,637千円																				
事業内容	生活習慣病の予防による医療費削減を目的とし、メタボリックシンドロームに着目した特定健康診査・特定保健指導を実施する。メタボリックシンドローム該当者・予備群の減少を図る。																						
成果・実績	<p>特定健康診査は、6月1日～10月31日に（一社）宇治久世医師会に委託して実施した。</p> <p style="text-align: center;">特定健康診査委託の支払件数と支払額</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; margin: 10px 0;"> <thead> <tr> <th style="width: 15%;">年度</th> <th style="width: 15%;">23</th> <th style="width: 15%;">24</th> <th style="width: 15%;">25</th> <th style="width: 15%;">26</th> <th style="width: 15%;">27</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>件数</td> <td style="text-align: center;">9,373</td> <td style="text-align: center;">9,293</td> <td style="text-align: center;">8,487</td> <td style="text-align: center;">9,596</td> <td style="text-align: center;">10,450</td> </tr> <tr> <td>支払額(千円)</td> <td style="text-align: center;">60,395</td> <td style="text-align: center;">80,067</td> <td style="text-align: center;">72,944</td> <td style="text-align: center;">86,715</td> <td style="text-align: center;">102,974</td> </tr> </tbody> </table>					年度	23	24	25	26	27	件数	9,373	9,293	8,487	9,596	10,450	支払額(千円)	60,395	80,067	72,944	86,715	102,974
年度	23	24	25	26	27																		
件数	9,373	9,293	8,487	9,596	10,450																		
支払額(千円)	60,395	80,067	72,944	86,715	102,974																		
事業評価	高齢者の医療の確保に関する法律に基づきメタボリックシンドロームに着目した検査項目での健診を行ったことにより、メタボリックシンドローム該当者・予備群の減少に努めることができた。特定健康診査・特定保健指導を今後も引き続き実施する。																						

事務事業名	人間ドック受診補助金	所管課	国民健康保険課																										
		決算額	55,790千円																										
事業内容	35歳以上の国民健康保険加入者を対象に、生活習慣病の早期発見・治療を図り健康管理に対する自覚を深め、健全な保険給付を行うことを目的とし、半日人間ドック、脳ドックに係る健診料の7割を国民健康保険事業特別会計から補助する。																												
成果・実績	<p>半日人間ドック・脳ドックに対する受診補助事業を行った。</p> <p style="text-align: center;">ドック受診者数と決算額</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; margin: 10px 0;"> <thead> <tr> <th style="width: 15%;">年度</th> <th style="width: 15%;">23</th> <th style="width: 15%;">24</th> <th style="width: 15%;">25</th> <th style="width: 15%;">26</th> <th style="width: 15%;">27</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>人間ドック(人)</td> <td style="text-align: center;">1,134</td> <td style="text-align: center;">1,151</td> <td style="text-align: center;">1,162</td> <td style="text-align: center;">1,365</td> <td style="text-align: center;">1,403</td> </tr> <tr> <td>脳ドック(人)</td> <td style="text-align: center;">564</td> <td style="text-align: center;">587</td> <td style="text-align: center;">583</td> <td style="text-align: center;">650</td> <td style="text-align: center;">671</td> </tr> <tr> <td>決算額(千円)</td> <td style="text-align: center;">44,073</td> <td style="text-align: center;">45,484</td> <td style="text-align: center;">45,506</td> <td style="text-align: center;">54,157</td> <td style="text-align: center;">55,790</td> </tr> </tbody> </table>					年度	23	24	25	26	27	人間ドック(人)	1,134	1,151	1,162	1,365	1,403	脳ドック(人)	564	587	583	650	671	決算額(千円)	44,073	45,484	45,506	54,157	55,790
年度	23	24	25	26	27																								
人間ドック(人)	1,134	1,151	1,162	1,365	1,403																								
脳ドック(人)	564	587	583	650	671																								
決算額(千円)	44,073	45,484	45,506	54,157	55,790																								
事業評価	国民健康保険加入者を対象に人間ドック・脳ドック健診料を補助することにより、受診者の健康保持と経済的負担の軽減を図ることができた。																												

平成 27 年度決算成果説明書

総合計画の体系	
大分類	03 健康でいきいきと暮らせるまち
中分類	07 年金・保険制度の運営
小分類	02 国民健康保険の運営

所管部局
健康長寿部

事務事業名	国民健康保険料（歳入）	所管課	国民健康保険課																				
		決算額	3,959,888千円																				
事業内容	保険料の設定にあたっては、現行制度内での事業運営を慎重に見定め、適切かつ可能な財源対策及び将来見通しも精査し、財政収支の均衡を図ることを前提として検討するとともに、宇治市国民健康保険運営協議会への諮問に対する答申を尊重している。																						
成果・実績	加入世帯数 27,111世帯 （一般26,120世帯、退職991世帯） 被保険者数 45,183人 （一般43,782人、退職1,401人） （平成27年度末現在） 保険料収納率 現年度分 93.83% 合計 77.73% 滞納繰越分 8.56% 平成27年度 国民健康保険料率 <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; margin-top: 10px;"> <thead> <tr> <th></th> <th style="text-align: center;">医療給付費分</th> <th style="text-align: center;">後期高齢者支援金分</th> <th style="text-align: center;">介護納付金分</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>所得割(%)</td> <td style="text-align: center;">8.37</td> <td style="text-align: center;">2.45</td> <td style="text-align: center;">3.30</td> </tr> <tr> <td>均等割(円)</td> <td style="text-align: center;">25,200</td> <td style="text-align: center;">7,300</td> <td style="text-align: center;">9,300</td> </tr> <tr> <td>平等割(円)</td> <td style="text-align: center;">27,400</td> <td style="text-align: center;">7,800</td> <td style="text-align: center;">5,600</td> </tr> <tr> <td>賦課限度額(円)</td> <td style="text-align: center;">520,000</td> <td style="text-align: center;">170,000</td> <td style="text-align: center;">160,000</td> </tr> </tbody> </table>				医療給付費分	後期高齢者支援金分	介護納付金分	所得割(%)	8.37	2.45	3.30	均等割(円)	25,200	7,300	9,300	平等割(円)	27,400	7,800	5,600	賦課限度額(円)	520,000	170,000	160,000
	医療給付費分	後期高齢者支援金分	介護納付金分																				
所得割(%)	8.37	2.45	3.30																				
均等割(円)	25,200	7,300	9,300																				
平等割(円)	27,400	7,800	5,600																				
賦課限度額(円)	520,000	170,000	160,000																				
事業評価	国民健康保険事業特別会計は単年度において収支均衡を図るものであり、当該年度の保険給付費等を見通して保険料収入を確保する原則に基づき、適切な事業運営を行うことができた。																						



平成 27 年度決算成果説明書

総合計画の体系		所管部局
大分類	05 歴史香るみどりゆたかで快適なまち	建設部
中分類	04 良好な市街地・都市基盤施設の整備	
小分類	02 道路の整備	

事務事業名	道路台帳整備費	所管課	建設総務課
		決算額	14,125千円
事業内容	道路法第28条及び同法施行規則第4条の2に沿って、道路の変化した状況を図面と調書からなる道路台帳に的確に反映させ、効果的な道路行政を推進する。		
成果・実績	<p>道路台帳を調製・保管することにより、道路管理事務の円滑な遂行を図るとともに道路台帳を閲覧に供した。</p> <p>平成26年度中の道路改良工事・新規認定等によって変化した道路の状況及び占用物件の変更についての経年補正を行った。</p> <p style="margin-left: 20px;">道路台帳経年補正業務委託料 14,040千円</p>		
事業評価	道路台帳を調製・保管及び閲覧に供することにより、道路管理事務の円滑な遂行と市民の利便性の向上を図ることができた。道路管理情報のより多目的な活用に向けて、課題について検討する必要がある。		

平成 27 年度決算成果説明書


総合計画の体系		所管部局
大分類	05 歴史香るみどりゆたかで快適なまち	建設部
中分類	04 良好な市街地・都市基盤施設の整備	
小分類	02 道路の整備	


事務事業名	交通安全施設整備事業費	所管課	道路建設課
		決算額	61,211千円
事業内容	歩行者等の交通安全対策として、ガードレール、カーブミラー、歩道の設置、段差解消などを実施する。		
成果・実績	交通安全施設の設置を行い、歩行者等の安全を確保した。 8件の安全対策事業及び、ゾーン30事業を含む市内全域の安全施設設置を実施した。また、5件の測量・調査等の委託業務を実施した。		
	安全施設設置	14,479千円	
	道路反射鏡設置 17基		
	防護柵設置 62m		
	警戒標識設置 4カ所		
	区画線設置 3,088m		
	安全対策事業	41,520千円	
	菟道188号線 大久保町15号線 広野町57号線ほか5件		
	ゾーン30事業	1,334千円	
	榎島町46号線		
測量・設計・委託工事等	3,878千円		
白川15号線ほか4件			
榎島町46号線			
			
着工前		完成後	
事業評価	道路の安全対策に係る施設整備を実施したことにより、歩行者等の安全を図ることができた。今後も地域の安全対策を図るとともに、重点課題である通学路安全対策についても引き続き実施する。		

平成 27 年度決算成果説明書

総合計画の体系	
大分類	05 歴史香るみどりゆたかで快適なまち
中分類	04 良好な市街地・都市基盤施設の整備
小分類	02 道路の整備

所管部局
建設部

事務事業名	新宇治淀線関連道路整備事業費	所管課	道路建設課
		決算額	64,830千円
事業内容	新宇治淀線のJR奈良線のアンダーパス区間において、沿道利用に必要となる北側側道の整備を行うとともに、新宇治淀線の供用とあわせた周辺の市道整備を実施する。		
成果・実績	北側側道の整備に必要な用地取得を完了するとともに、道路整備工事に着手し、一部では側溝の設置を完了した。  北側側道（現況）		
事業評価	大久保駅周辺地区整備構想に基づき、課題であった北側側道の用地取得により、円滑な駅前誘導等の動線確保に努めることができた。京都府が行う新宇治淀線整備事業の完成時期との整合を図り、今後も引き続き実施する。		

事務事業名	菟道志津川線道路改良事業費	所管課	道路建設課
		決算額	9,997千円
事業内容	JR奈良線の高速化・複線化第二期事業に合わせて、踏切の拡幅改良を行うとともに、道路拡幅による歩道整備を行い、歩行者の安全を確保する。		
成果・実績	JR奈良線の高速化・複線化第二期事業と調整を行い、踏切の拡幅改良に必要な道路及び踏切詳細設計を実施した。  菟道志津川線（現況）		
事業評価	JR奈良線の高速化・複線化第二期事業と調整を行い、道路及び踏切詳細設計を実施することにより、道路拡幅に向けた整備に努めることができた。JR奈良線の高速化・複線化第二期事業と連携し、今後も引き続き実施する。		



平成27年度決算成果説明書

総合計画の体系		所管部局	
大分類	05 歴史香るみどりゆたかで快適なまち	建設部	
中分類	04 良好な市街地・都市基盤施設の整備		
小分類	02 道路の整備		
事務事業名	一般道路改良事業費	所管課	道路建設課
		決算額	55,881千円
事業内容	市内生活道路等の整備を図り、安全で安心な道路網を確保する。		
成果・実績	<p>地元町内会等からの要望を受け、側溝整備及び舗装等の道路改良工事を実施した。平成27年度は、矢落藪場線ほか14路線について測量・設計及び道路改良工事を行った。</p> <p>矢落藪場線(道路改良工事)</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;"> <div style="text-align: center;">  <p>着工前</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>完成後</p> </div> </div>		
事業評価	市民の要望等により小規模な道路改良工事を実施したことにより、安全で安心な道路網が確保できた。要望等も多く必要な箇所を精査しつつ、今後も引き続き実施する。		

平成 27 年度決算成果説明書

総合計画の体系	
大分類	01 環境に配慮した安全・安心のまち
中分類	01 環境保全対策の推進
小分類	01 地球環境対策の推進



所管部局
建設部

事務事業名	街灯LED化事業費	所管課	維持課
		決算額	41,121千円
事業内容	宇治市内に存する防犯灯をLED灯に器具交換することで、省電力化並びに温室効果ガス及び維持管理費・電気料金等の軽減を図る。		
成果・実績	<p>宇治市内において、全体の防犯灯（蛍光灯）の概ね1/5に当る約3,300灯についてLED灯への器具交換を実施した。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;"> <div style="text-align: center;">  <p>施工後</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>施工後（点灯状況）</p> </div> </div>		
事業評価	市内防犯灯のLED化を実施したことにより、維持管理費の低減、節電及び温室効果ガス排出量を削減することができた。今後も引き続き実施する。		

平成 27 年度決算成果説明書

総合計画の体系	
大分類	05 歴史香るみどりゆたかで快適なまち
中分類	04 良好な市街地・都市基盤施設の整備
小分類	02 道路の整備

所管部局
建設部

事務事業名	橋梁長寿命化修繕事業費	所管課	維持課
		決算額	76,990千円
事業内容	平成24年に策定した「橋梁長寿命化修繕計画」に基づき、本市で管理する橋梁について修繕を実施する。また道路法の改正により義務付けられた近接目視による定期点検を実施する。		
成果・実績	<p>「橋梁長寿命化修繕計画」に基づき、宇治川橋の塗装塗替え修繕工事を実施した。また、市管理橋98橋について定期点検を行った。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;"> <div style="text-align: center;"> <p>宇治川橋</p>  <p>着手前</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>修繕工事75%完成</p> </div> </div>		
事業評価	本市管理の道路橋について、「橋梁長寿命化修繕計画」に基づき修繕を実施したことにより、安全で快適な通行の確保と維持管理の省力化を図ることができた。今後も引き続き計画的な施設管理に努める必要がある。		

事務事業名	私道改良事業費	所管課	維持課
		決算額	13,499千円
事業内容	私道に係る舗装新設・補修工事、排水設備の改良補修工事を実施する自治会等に対して、その対象工事費の80%を補助する。（平成21年度より横断側溝は90%）		
成果・実績	<p>実施数 4件 補助金額 13,499千円</p>		
事業評価	自治会等に対して工事費を補助したことにより、私道の安全な通行確保を図ることができた。市民の身近な道路整備に対応している事業であり要望も多く、今後も引き続き実施する。		

平成27年度決算成果説明書


総合計画の体系	
大分類	05 歴史香るみどりゆたかで快適なまち
中分類	04 良好な市街地・都市基盤施設の整備
小分類	02 道路の整備

所管部局
建設部

事務事業名	道路等維持修繕関連事業費	所管課	維持課
		決算額	694,452千円
事業内容	<p>道路を常に安全な状態に維持するため、市民要望等に基づき道路の修繕及び清掃、側溝改修、舗装補修、橋梁及び街灯の維持管理などを行い、安全安心なまちづくりを推進するほか、草刈り、街路樹の剪定・補植などを実施する。また、市民要望に即応するため、緊急を要する維持修繕については直営により機動修理班が対応する。</p>		
成果・実績	<p>地元要望による側溝改修(2,554m)や舗装補修(11,797.6㎡)工事を実施するとともに、道路区画線の敷設及び道路側溝などの清掃のほか、街灯の新設、街路樹の剪定・補植などの道路全般に係る維持管理を実施した。</p> <p>緊急を要する維持修繕については、2班体制の機動修理班によって対処した。</p> <p>本年度の機動修理班による対処件数は、道路側溝修繕310件、道路保全247件、交通安全施設の補修等188件、防災関係145件、溶接関係84件で、全体では1,721件であった。このうち特に緊急対応が必要な出動回数は33件であり、いずれも応急処置等を行い、事故・災害の未然防止を行った。</p> <p>道路維持修繕事業費 602,210千円 街灯設置保全事業費 92,242千円</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;">  <p>機動修理班による道路維持作業</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>奈良町御蔵山線(側溝改修工事)</p> </div> </div>		
事業評価	<p>道路の修繕及び清掃、側溝改修、舗装補修、橋梁及び街灯の維持管理などを実施するとともに、即時、緊急対応を行ったことにより、着実に道路等の環境整備及び事故の未然防止、安全な通行の確保を図ることができた。町内会等からの要望は年々増加しており、緊急性を鑑み今後も引き続き実施する。</p>		


平成 27 年度決算成果説明書

総合計画の体系		所管部局
大分類	05 歴史香るみどりゆたかで快適なまち	建設部
中分類	04 良好な市街地・都市基盤施設の整備	
小分類	03 河川・排水路の整備	

事務事業名	河川維持管理費	所管課	雨水対策課
		決算額	14,106千円
事業内容	河川施設等の機能の維持・向上に努め、流域の水害防除と沿川の環境整備を図る。		
成果・実績	老朽化に伴う河川護岸等の補修工事及び調査、測量設計業務を行った。		
	宇治7号排水路調査設計業務委託		5,705千円
	実施設計（内径1000mm）	L=200.0m	
	調査工	L=544.0m	
	他設計等業務委託	4件	1,985千円
	大久保12号（宇治市界水路）改良工事		4,433千円
	護岸補修	L= 45.2m	
	他工事	2件	1,883千円
	老朽化水路の維持修繕等		
			
	大久保12号（宇治市界水路）改良工事完成後		
事業評価	河川施設等を適正に維持管理したことにより、水害防除及び沿川の環境整備を図ることができた。		


平成 27 年度決算成果説明書

総合計画の体系		所管部局
大分類	05 歴史香るみどりゆたかで快適なまち	建設部
中分類	04 良好な市街地・都市基盤施設の整備	
小分類	03 河川・排水路の整備	

事務事業名	名木川改修事業費	所管課	雨水対策課												
		決算額	117,338千円												
事業内容	名木川流域の水害対策として流下能力不足区間の解消と、名木川散策道整備の一環として、沿川部の修景整備を行うなど快適な都市環境づくりを目標として、京都府が行う新宇治淀線整備事業と整合を図り、近鉄大久保駅周辺地区まちづくり整備事業において名木川改修事業を実施する。														
成果・実績	<p>JR奈良線から市道一里山寺山線までの区間の改良工事を行った。</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 60%;">準用河川名木川JR跨川橋調査点検業務委託 大型カルバート（河川）調査・点検</td> <td style="text-align: right; width: 40%;">1,147千円</td> </tr> <tr> <td>準用河川名木川改修工事（B-1-1）工区（工事委託） 工事延長 L= 8.3m</td> <td style="text-align: right;">6,245千円</td> </tr> <tr> <td>準用河川名木川改修工事（B-3-2）工区 工事延長 L=34.0m</td> <td style="text-align: right;">54,732千円</td> </tr> <tr> <td>準用河川名木川改修工事仮設構造物設計業務委託 仮設構造物設計 一式 旧橋撤去検討 一式 ボーリング調査 一式</td> <td style="text-align: right;">3,131千円</td> </tr> <tr> <td>他工事委託 1件</td> <td style="text-align: right;">31,494千円</td> </tr> <tr> <td>用地・物件補償 2件</td> <td style="text-align: right;">20,288千円</td> </tr> </table> <div style="display: flex; justify-content: space-around; margin-top: 10px;"> <div style="text-align: center;">  <p>準用河川名木川改修工事（B-1-1）工区 完成後</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>準用河川名木川改修工事（B-3-2）工区 完成後</p> </div> </div>			準用河川名木川JR跨川橋調査点検業務委託 大型カルバート（河川）調査・点検	1,147千円	準用河川名木川改修工事（B-1-1）工区（工事委託） 工事延長 L= 8.3m	6,245千円	準用河川名木川改修工事（B-3-2）工区 工事延長 L=34.0m	54,732千円	準用河川名木川改修工事仮設構造物設計業務委託 仮設構造物設計 一式 旧橋撤去検討 一式 ボーリング調査 一式	3,131千円	他工事委託 1件	31,494千円	用地・物件補償 2件	20,288千円
準用河川名木川JR跨川橋調査点検業務委託 大型カルバート（河川）調査・点検	1,147千円														
準用河川名木川改修工事（B-1-1）工区（工事委託） 工事延長 L= 8.3m	6,245千円														
準用河川名木川改修工事（B-3-2）工区 工事延長 L=34.0m	54,732千円														
準用河川名木川改修工事仮設構造物設計業務委託 仮設構造物設計 一式 旧橋撤去検討 一式 ボーリング調査 一式	3,131千円														
他工事委託 1件	31,494千円														
用地・物件補償 2件	20,288千円														
事業評価	事業用地の取得及び2工区において改修工事を実施したことにより、名木川流域の水害対策等を行うことができた。新宇治淀線の開通にあわせ京都府と調整を図りながら、今後も引き続き実施する。														

平成 27 年度決算成果説明書

総合計画の体系		所管部局
大分類	05 歴史香るみどりゆたかで快適なまち	建設部
中分類	04 良好な市街地・都市基盤施設の整備	
小分類	03 河川・排水路の整備	

事務事業名	中学校雨水流出抑制対策事業費	所管課	雨水対策課
		決算額	54,187千円
事業内容	流域貯留浸透施設設置計画に基づき、局部的豪雨（ゲリラ豪雨）の発生による浸水対策の一環として、中学校敷地に降った雨を一時的にグラウンドに貯留し、徐々に排出することで、周辺地域及び下流域における浸水被害の軽減に努める。		
成果・実績	<p>宇治中学校において、雨水貯留浸透事業の一環としてグラウンドの整備工事を行った。</p> <p style="text-align: center;">宇治中学校グラウンド整備工事（流域貯留浸透事業） 54,187千円</p> <p style="text-align: center;">工事延長 L=210.0m</p> <p style="text-align: center;">グラウンド舗装工 A = 10,030m²</p> <p style="text-align: center;">最大貯留量 1,087m³</p> <div style="text-align: center;">  <p>宇治中学校グラウンド整備工事完成後</p> </div>		
事業評価	グラウンド整備工事を実施したことにより、グラウンドの流出抑制機能が向上した。今後は、「宇治市公共下水道（洛南処理区）雨水排除計画」との整合を図り、公共施設等の雨水貯留施設の整備を検討する必要がある。		

事務事業名	大島・針ノ木排水機場管理費	所管課	雨水対策課
		決算額	17,452千円
事業内容	国及び京都府との受託契約に基づき、国土交通省所管の排水機場の排水操作・保守点検業務を常駐体制（年間委託により操作員配置）により実施し、堂ノ川及び岡本川流域の内水排除と水害防除を図る。		
成果・実績	<p>排水機場の操作管理及び保守点検を行った。</p> <p style="text-align: center;">大島排水機場操作保守業務 8,788千円</p> <p style="text-align: center;">針ノ木排水機場操作保守業務 8,646千円</p>		
事業評価	適正に排水機場の操作保守業務を実施したことにより、流域の水害防除に努めた。		

平成 27 年度決算成果説明書

総合計画の体系		所管部局
大分類	05 歴史香るみどりゆたかで快適なまち	建設部
中分類	04 良好な市街地・都市基盤施設の整備	
小分類	01 良好な市街地の形成	

事務事業名	ウトロ地区住環境改善事業費	所管課	住宅課他
		決算額	107,966千円
事業内容	ウトロ地区の住環境を改善するため、平成26年度に策定したウトロ地区小規模住宅地区改良事業計画に基づき、国・府・市の三者の連携のもとウトロ地区小規模住宅地区改良事業を推進する。		
成果・実績	ウトロ地区小規模住宅地区改良事業計画に基づき、各事業を実施した。		
	(千円)		
	事業名	担当課	事業費
	基本・実施設計業務	住宅課	59,789
	下水道布設工事に伴うガス管移設補償		
	雨水貯留施設(西宇治中)詳細設計業務	雨水対策課	11,600
	伊勢田町123号線道路改良工事	道路建設課	35,050
事業評価	「ウトロ地区小規模住宅地区改良事業計画」に基づき事業を実施することにより、ウトロ地区における住環境を改善する取り組みを行うことができた。今後も引き続き実施する。		


総合計画の体系		所管部局
大分類	05 歴史香るみどりゆたかで快適なまち	建設部
中分類	04 良好な市街地・都市基盤施設の整備	
小分類	04 住宅の整備	

事務事業名	高齢者優良賃貸住宅供給事業費補助金	所管課	住宅課
		決算額	9,522千円
事業内容	高齢者の居住の安定の確保を図るため、高齢者の身体機能に対応したバリアフリー化及び入居者の緊急時に対応するシステムを備えた高齢者向け優良賃貸住宅を民間事業者等が整備・運営するにあたり、建設費、家賃などの一部補助を行う。		
成果・実績	高齢者向け優良賃貸住宅を運営する事業者に対し、家賃減額補助金の交付を行った。		
	交付件数	1件	
	補助金額	9,522千円	
事業評価	高齢者向け優良賃貸住宅を運営する事業者へ入居者の家賃減額分に対する補助を適正に執行することにより、高齢者の居住の安定に努めることができた。国制度の動向を注視しながら、今後も引き続き実施する。		

平成 27 年度決算成果説明書

総合計画の体系		所管部局
大分類	05 歴史香るみどりゆたかで快適なまち	都市整備部
中分類	01 みどりとうるおいのある環境整備	
小分類	01 みどりの保全・緑化の推進	

事務事業名	名木百選保全費	所管課	公園緑地課
		決算額	489千円
事業内容	「宇治市名木百選保全要綱」に基づき調査・診断を実施し、保全のために処置が必要な場合には補助金を交付する。		
成果・実績	<p>貴重な名木を保全するため、全名木の調査を3年周期で行うとともに、申請に基づき処置が必要な名木に対し、適切な保全策を講じた。また、パンフレットの更新を行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・名木調査委託料 20千円 ・補助金交付件数 2件 ・補助金 297千円 ・選定名木数 89本 ・パンフレット更新 2,500部 		
事業評価	本市の緑のシンボルである名木のパンフレット更新等により、緑化の啓発を図ることができた。選定名木数の維持に向けた保全を図りつつ、さらなる緑化啓発に向けて、市民により親しまれる名木を活用した取組を検討する必要がある。		


事務事業名	まちかどふれあい花だん推進事業費	所管課	公園緑地課
		決算額	3,345千円
事業内容	市民が日常生活の関わりの中で、自らの意思と手法により身近な地域の環境美化に努め、ゆとりとうるおいのある生活空間を創造するため、公園の一部及び道路敷などの公共空地をボランティア団体等に提供し、花及び木を植えて花だん化する。		
成果・実績	<p>町内会・喜老会及びまちの美化・緑化活動をしているボランティア団体を対象に、花壇管理に必要な花苗・肥料等の支給を行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・花壇箇所数 62カ所 <div style="text-align: center;">  <p>まちかどふれあい花だん</p> </div>		
事業評価	ふれあい花だんとして維持管理してもらうことにより、緑化意識の高揚を図るとともに、地域活動の支援を図ることができた。継続して事業に取り組むため、より多くの団体が参画できる環境づくりに努める必要がある。		

平成27年度決算成果説明書

総合計画の体系	
大分類	05 歴史香るみどりゆたかで快適なまち
中分類	01 みどりとうるおいのある環境整備
小分類	01 みどりの保全・緑化の推進

所管部局
都市整備部

事務事業名	緑化啓発費	所管課	公園緑地課
		決算額	1,538千円
事業内容	市民の「みどり」を守り育てる意識の高揚を図るため、春の「みどりの月間」の「緑のウォークラリー」及び秋の都市緑化月間の「緑化フェア」を中心に啓発事業を展開する。		
成果・実績	<p>各種イベントの実施により多くの参加者に楽しみながら緑の大切さを伝えることができた。</p> <p>緑のウォークラリー 開催日 4月29日 開催場所 植物公園、太陽ヶ丘 参加者数 約3,000人</p> <p>緑化フェア 開催日 10月11日 開催場所 植物公園 参加者数 約3,000人</p>  <p style="text-align: center;">緑化フェア</p>		
事業評価	緑化啓発イベントを実施したことにより、都市における緑化の必要性を市民に認識してもらったことができた。今後は、事業効果を検証しながら、イベント内容等の工夫に努める必要がある。		

事務事業名	みどりのボランティア推進事業費	所管課	公園緑地課
		決算額	2,232千円
事業内容	本市の緑の拠点である植物公園で市民が園芸の知識及び技術などを学びながら、魅力あふれる植物公園づくりを協働で行うとともに、そこで得た知識・技術を活かして地域の公共施設・公共空地の緑化・美化を進め、みどりのボランティアリーダーの育成を図る。		
成果・実績	<p>「緑のボランティア養成講座」修了生が学んだ知識及び技術を活かして、植物公園をはじめ、西宇治公園、黄檗公園、市役所北玄関で花壇管理を行ったほか、植物公園で苗作り、花壇管理、バラ園管理、ハーブ園管理、イベント協力などの活動を行った。また、新規ボランティアの募集を行い、全7回の養成講座を32人が受講しボランティア活動を開始した。</p> <p>ボランティア登録数 84人(平成27年度末時点)</p>  <p style="text-align: center;">ボランティア活動の様子</p>		
事業評価	都市の緑化及び美化を進めるための緑化リーダーとなるボランティアの養成とその活動を支援することにより、緑化・美化の推進を図ることができた。今後もボランティア活動の幅を広げる手法等を検討する必要がある。		

平成 27 年度決算成果説明書

総合計画の体系		所管部局
大分類	05 歴史香るみどりゆたかで快適なまち	都市整備部
中分類	01 みどりとうるおいのある環境整備	
小分類	02 公園・緑地の有効活用	

事務事業名	公園施設管理委託費	所管課	公園緑地課
		決算額	323,588千円
事業内容	有料都市公園施設の管理運営及び施設の小修繕などを（公財）宇治市公園公社を指定管理者として行い、利用者の利便性向上を図る。		
成果・実績	各施設の運営にあたっては、維持管理及び施設貸出業務を適切に行うとともに、利用者へのサービス向上と利用者の一層の拡大、増加、併せて業務の見直し、経費の削減に努めた。		
	指定管理料	196,617千円	
	人件費補助	112,973千円	
	体育館トレーニング室運営事業費	13,998千円	
事業評価	指定管理者によって、適切に管理運営できた。利用者の利便性向上のため、今後も適切な管理運営に努める必要がある。		

事務事業名	源氏ゆめほたる事業費	所管課	公園緑地課
		決算額	4,300千円
事業内容	植物公園内において、蛍が永続的に棲息・繁殖可能な環境整備を行うことにより、毎年、植物公園入園者に蛍観賞の場を提供し、あわせて関連イベントを実施する。都市生活の中で身近に蛍に触れ合えることにより、市民生活に憩いと安らぎを与え、植物公園の集客力向上につなげる。		
成果・実績	平成18年度に蛍の棲息地として整備した植物公園の「秋のゾーン」を中心に「蛍ナイト開園」を実施した。		
	開催期間	20日間(5月23日～6月14日)	
	夜間入園者数	13,352人	
事業評価	市民等に蛍観賞の場を提供したことにより、植物公園の集客力につなげることができた。夜間入園者数は減少傾向にあり蛍の棲息環境を整え蛍観賞に限らず付加価値のある事業内容とするように努める必要がある。		

平成 27 年度決算成果説明書



総合計画の体系		所管部局
大分類	05 歴史香るみどりゆたかで快適なまち	都市整備部
中分類	01 みどりとうるおいのある環境整備	
小分類	02 公園・緑地の有効活用	

事務事業名	黄檗公園再整備事業費	所管課	公園緑地課
		決算額	141,432千円
事業内容	黄檗公園は、宇治市地域防災計画において防災拠点として位置付けられており、災害時における現地対策本部及び避難場所などの機能を兼ね備えた都市公園として施設の再整備を行う。		
成果・実績	防災拠点としての機能の基幹となる非常用発電機・オイルタンク及び事務室に設置されている防災総合盤の更新等を行った。		
事業評価	体育館耐震改修工事等黄檗公園再整備事業を実施したことにより、防災拠点としての機能強化を図ることができた。市の財政見通し等考慮しながら、今後も引き続き実施する。		

事務事業名	公園維持管理費	所管課	公園緑地課
		決算額	98,531千円
事業内容	公園の運営管理等、公園としての機能を維持し、適正な利用を増進する。		
成果・実績	市内にある約500カ所の公園の維持管理を行った。 除草・樹木剪定等の業務委託及び公園施設の維持修繕・改良工事などを行った。また、地元自治会・町内会の公園管理に対する報償費及び公園に係る光熱水費などを支出した。		
事業評価	清掃及び剪定などについて地元自治会及び外部委託により、適正な管理に努め、公園利用を増進することができた。今後は、公園施設の管理・利用状況等把握する中で、計画的な修繕・更新を図る必要がある。		

平成 27 年度決算成果説明書


総合計画の体系		所管部局
大分類	05 歴史香るみどりゆたかで快適なまち	都市整備部
中分類	04 良好な市街地・都市基盤施設の整備	
小分類	01 良好な市街地の形成	

事務事業名	まちづくり活動支援事業費	所管課	都市計画課
		決算額	882千円
事業内容	宇治市まちづくり・景観条例に基づくまちづくりへの市民参加を推し進めるため、まちづくり活動への支援を行うとともに、条例の趣旨・制度の周知を目的とした「まちづくり地域セミナー」及び地域のまちづくり活動のリーダー育成を目的とした「まちづくり塾」を開催し、地区まちづくり協議会の設立及び地区まちづくり計画の作成を促す。		
成果・実績	<p>地区まちづくり協議会パネル展 開催期間 6月29日～7月3日 目的 協議会の活動内容について紹介</p>  <p>うじ井戸端会議 開催日 7月2日、11月27日、3月18日 「地区まちづくり協議会パネル展」 目的 協議会及びまちづくりマイスター（まちづくり塾修了生）の情報や意見の交換、交流</p> <p>宇治市まちづくり審議会 2回開催 宇治市まちづくり審議会部会 3回開催</p> <p>認定した協議会に対して行う支援 専門家派遣件数 0件 活動費助成件数 2件</p>  <p>「うじ井戸端会議」</p>		
事業評価	まちづくり活動への支援を通じて市民参加の担い手を増やすことができた。自治会区域を活動範囲とする大きなまちづくり協議会は一定充足していることから、街区単位等での小さな協議会活動の広がりに向けた検討をする必要がある。		

平成27年度決算成果説明書

総合計画の体系	
大分類	05 歴史香るみどりゆたかで快適なまち
中分類	02 歴史と景観が調和したまちづくり
小分類	01 歴史と調和したまちづくりと景観の形成



所管部局
都市整備部

事務事業名	(仮)宇治川太閤堤跡歴史公園史跡ゾーン整備事業費	所管課	歴史まちづくり推進課
		決算額	118,308千円
事業内容	平成21年7月に国史跡指定を受けた宇治川太閤堤跡の良好な保存、未来への継承を行うため、史跡公園の整備を行う。		
成果・実績	<p>史跡整備のため、太閤堤築堤期を再現するAゾーンでは遺構再現部基礎造成工事を行うとともに、石張り遺構の再現に使用するGRCパネル86.5㎡を製作した。また太閤堤が埋没し茶園ができた江戸後期の景観再現を計画するBゾーンでは埋没期再現のための修景茶園の地形造成を行った。生涯学習センターで太閤堤フォーラムを開催し120名の参加を得た。</p>  <p>Aゾーン石出遺構再現部分の工事の様子</p>		
事業評価	史跡整備に向け事業進捗を図るとともに、遺構再現パネルの作成と史跡整備工事及び太閤堤フォーラムを行うことにより、市民等に史跡の歴史的価値・必要性等を普及することができた。宇治川太閤堤跡の良好な保存・活用のため、周辺地域と一体となったまちづくりを今後も引き続き実施する。		

事務事業名	(仮)宇治川太閤堤跡歴史公園交流ゾーン整備事業費	所管課	歴史まちづくり推進課
		決算額	668,276千円
事業内容	平成21年7月に策定した「宇治茶と歴史・文化の香るまちづくり構想」の実現に向け、平成21年7月に国の史跡指定を受けた宇治川太閤堤跡を保存・活用していくため、歴史公園の交流ゾーンの整備を行う。		
成果・実績	<p>歴史公園交流ゾーンの整備に向けて、平成24年3月に国の認定を受けた、歴史的風致維持向上計画で示された「宇治の歴史・文化を分かりやすく情報発信する」及び「歴史のまちにふさわしい観光振興を図る」などの基本方針を実現するため、情報発信・観光交流施設の機能等の見直し及びその運営を含めた民間活力の導入の検討を行った結果を受け、PFI方式の具体的な内容について検討した結果、PFI方式での実施に向けて、「実施方針の策定・公表」を6月に行った。また、事業者を対象とした事業説明会を開催する中、14社の参加があり、多数の質問・意見が寄せられた。本事業は、これらの質問及び意見を含め検討した結果、9月に「特定事業の選定・公表」を行い、その後、本事業の予算を確保するために必要な「債務負担行為」を議会に提案したが、議会の判断により、予算の確保はされていない現状である。一方、国土交通省所管の社会資本整備総合交付金に係る都市再生整備計画の交付金については、1億9,460万円の交付が決定され、宇治市土地開発公社からの用地買戻しに充当した。</p>		
事業評価	予算の確保ができていない中で、スケジュールの見直しを含め、今後のあり方について早期に検討する必要がある。		

平成27年度決算成果説明書

総合計画の体系		所管部局
大分類	05 歴史香るみどりゆたかで快適なまち	都市整備部
中分類	02 歴史と景観が調和したまちづくり	
小分類	01 歴史と調和したまちづくりと景観の形成	

事務事業名	文化的景観保護推進事業費	所管課	歴史まちづくり推進課
		決算額	11,015千円
事業内容	平成21年2月に「宇治の文化的景観」が都市部の景観としては全国初の重要文化的景観に選定されたことから、その保全と活用を図るため、整備計画を策定するとともに、重要構成要素の修理・修景事業を推進し、白川地区・黄檗地区への重要文化的景観区域の拡大を目指す。		
成果・実績	<p>重要文化的景観の追加選定を目指して取り組むとともに、景観の保全を図るため委員会を2回開催した。修理事業としては茶商中村藤吉本店の表屋の壁塗り直し事業、旧丸五百貨店建物の屋根修理事業、旧京都府茶業会議所建物の修理設計を行った。また、文化的景観整備計画書の印刷を行った。全国文化的景観地区連絡協議会の顧問市として、長野県千曲市で開催された全国大会を支援した。市民の文化的景観への理解度を高めるため、文化的景観フォーラム2016を開催し50名の参加を得た。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;">  <p>壁塗り修理を完了した中村藤吉本店</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>文化的景観フォーラムの様子</p> </div> </div>		
事業評価	文化的景観フォーラムの実施及び重要構成要素の修理修景業務を実施したことにより、市民の文化的景観への理解度を高めることができた。今後も引き続き整備計画の策定を進め、歴史的な資産と一体となった魅力あふれる宇治のまちづくりに努める必要がある。		

事務事業名	歴史的風致維持向上計画推進事業費	所管課	歴史まちづくり推進課
		決算額	186千円
事業内容	平成21年7月に策定した「宇治茶と歴史・文化の香るまちづくり構想」の実現とともに平成24年3月に策定した宇治市歴史的風致維持向上計画により、（仮称）宇治川太閤堤跡歴史公園の整備等、様々な取組を総合的に実施する。		
成果・実績	<p>平成24年3月5日に国土交通大臣、文部科学大臣、農林水産大臣の3大臣認定を受けた法定計画の進行管理として、外部委員により構成され、計画の変更及び進捗評価などを担う、歴史的風致維持向上協議会（以下「法定協議会」）の運営及び庁内の横断的な協議を行う組織である、歴史まちづくり推進調整会議の運営を行い、歴史的風致維持向上に資する取組の進行管理を実施した。</p> <p>また、歴史的風致維持向上計画の既存事業（歩道整備事業・歩行空間整備事業）において、路線箇所追加（届出）を行い、計画の充実を図っている。</p>		
事業評価	法定協議会の開催により、計画事業の進捗管理とあわせた計画の変更・追加を行うことができた。歴史的風致を後世へ継承していく気運を高めるため、今後のあり方について検討する必要がある。		

平成27年度決算成果説明書

総合計画の体系	
大分類	05 歴史香るみどりゆたかで快適なまち
中分類	02 歴史と景観が調和したまちづくり
小分類	01 歴史と調和したまちづくりと景観の形成

所管部局
都市整備部

事務事業名	違反広告物除却推進事業費	所管課	歴史まちづくり推進課
		決算額	61千円
事業内容	市民と協働して良好な景観を形成していくために、市民参加による違反広告物の除却を行う。		
成果・実績	<p>違反広告物除却推進団体員として、3団体32人を登録し、違反広告物の除却を行う。市民が自ら違反広告物を除却することで、推進団体員以外の市民にも違反広告物に対する意識向上を図った。</p> <p>違反広告物撤去枚数 466枚（推進団体撤去枚数 12枚）</p>		
事業評価	市民と協働して違反広告物の除却を推進したことにより、良好なまちなみ形成と景観への意識向上を図ることができた。今後も、登録団体数の増加を図るとともに、登録団体と連携し、地域の目による抑止力向上及び景観への意識向上に努める必要がある。		



事務事業名	都市景観形成対策費	所管課	歴史まちづくり推進課
		決算額	3,719千円
事業内容	良好な景観の形成に著しく寄与する行為や阻害要因の除去に対して景観形成助成を行った。また、京都府、近隣市町村との意見交換及び景観アドバイザーの助言などを受け、良好な景観の形成を推進していく。		
成果・実績	<p>景観形成助成事業として、景観計画重点区域内の建築物（設計費含む2件）、工作物（設計費含む1件）に対して、景観形成助成を行った。</p> <p>本市の景観に寄与するだけでなく、地域の住民の景観に対する意識も高まった。</p> <p>また、景観アドバイザー会議を5回開催し、専門家の助言を受け良好な景観形成の推進を行った。</p>		
	 <p>改修前</p>	 <p>改修後</p>	
事業評価	景観計画重点区域における助成を実施したことにより、良好な景観の形成を図ることができた。今後は、地域住民の景観に対する意識を高め、住民が主体的に良好な景観の形成に取り組む手法を検討する必要がある。		

平成 27 年度決算成果説明書

総合計画の体系	
大分類	05 歴史香るみどりゆたかで快適なまち
中分類	02 歴史と景観が調和したまちづくり
小分類	01 歴史と調和したまちづくりと景観の形成

所管部局
都市整備部

事務事業名	風致地区内建築行為等許可事務費	所管課	歴史まちづくり推進課
		決算額	83千円
事業内容	平成27年4月より京都府から権限移譲を受け、風致地区内の建築行為等の許可事務を行うことで、風致地区内の風致の維持を行う。		
成果・実績	風致地区内の建築行為等の許可事務を行うに当たり、許可基準の運用書を作成し、公表することで、円滑な許可事務を行う。		
事業評価	許可基準の運用書を作成及び公表することにより、円滑な許可事務を行い、風致の維持を図ることができた。今後も引き続き実施する。		

平成27年度決算成果説明書

総合計画の体系	
大分類	05 歴史香るみどりゆたかで快適なまち
中分類	02 歴史と景観が調和したまちづくり
小分類	02 文化財保護と伝統文化の継承

所管部局
都市整備部

事務事業名	文化財指定推進費	所管課	歴史まちづくり推進課
		決算額	3,547千円
事業内容	市内各所に所在する文化財調査を行い、本市にとって歴史上、芸術上価値の高いものを市指定文化財に指定し、伝えられてきた貴重な文化財の保護と活用を図る。併せて国・京都府指定及び未指定文化財の修理等に補助を行い、文化財保護を推進する。		
成果・実績	<p>国宝の平等院鳳凰堂中堂壁画の修理、橋寺の重要文化財地蔵菩薩立像の修理事業はじめ、宇治市指定無形民俗文化財の大幣神事など所有者修理・維持等の15件に補助を行った。</p> <p>また、平成25年9月の台風第18号接近による災害復旧として京都府史跡萬福寺天真院土塀修理に昨年に引き続き補助を行った。</p>		
事業評価	文化財の修理等へ補助を実施したことにより、保全に努めることができた。今後も文化財保護の推進を図るとともに、未指定を含めた文化財の修理等に補助を行う中で、保存・活用に努める必要がある。		



補助を行った大幣神事

事務事業名	埋蔵文化財発掘調査費（受託・国庫補助）	所管課	歴史まちづくり推進課
		決算額	13,027千円
事業内容	文化財保護法に基づいて、埋蔵文化財包蔵地内での開発事業と重要な遺跡保存の調和を図るため、発掘調査を実施する。また、発掘成果を基に史跡指定等の保存処置の検討を行うほか、市民へ成果を公開する。		
成果・実績	<p>国庫補助事業としては平安後期の貴族藤原基房の造営と伝わる重要な邸宅遺跡である木幡の松殿跡の測量図作成、内容が未確認の仏徳山の試掘、個人飲食店建設に係る宇治市街遺跡試掘を実施し、史跡指定等の保存措置に必要なデータの収集及び文化財の保全を行った。また、開発に伴う埋蔵文化財の保護のため受託事業として大久保環濠集落遺跡、大鳳寺跡などの緊急発掘調査3件の発掘調査監理を実施した。</p>		
	<p>受託発掘調査 4件 （緊急発掘3件・報告書作成1件） 3,027千円 国庫補助発掘調査 3件 （発掘1件・試掘1件・測量1件） 10,000千円</p>		
事業評価	市内に遺存する重要な遺跡について発掘調査及び調査記録の作成を行うとともに、広く発掘成果を公開することにより、文化財保護の啓発を図ることができた。		



仏徳山発掘調査の様子

平成 27 年度決算成果説明書


総合計画の体系	
大分類	05 歴史香るみどりゆたかで快適なまち
中分類	04 良好な市街地・都市基盤施設の整備
小分類	01 良好な市街地の形成

所管部局
都市整備部

事務事業名	開発指導事務費	所管課	開発指導課																			
		決算額	204千円																			
事業内容	無秩序な宅地開発を防止し、安全で良好な都市環境の形成と円滑な都市機能の発現を図るため、宅地開発事業及び特定用途建築行為を行う事業者に対し、本市の行財政に重要な影響を及ぼす公共・公益施設等の整備について適正な指導を行う。																					
成果・実績	<p>本市における宅地開発等について、「宇治市良好な居住環境の整備及び景観の形成を図るためのまちづくりに関する条例」等関係諸法令に基づき指導した。</p> <p>開発指導事務費 204千円</p> <p>平成27年度における宅地開発等協力寄付金の納入については下表のとおりである。</p> <p style="text-align: center;">宅地開発等協力寄付金 (歳入)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th colspan="2"></th> <th>件数</th> <th>金額(千円)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="2" style="text-align: center;">宅地開発事業</td> <td style="text-align: center;">10</td> <td style="text-align: right;">32,851</td> </tr> <tr> <td rowspan="2" style="text-align: center;">特定用途 建築行為</td> <td style="text-align: center;">集合住宅</td> <td style="text-align: center;">20</td> <td style="text-align: right;">52,917</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">集合住宅以外</td> <td style="text-align: center;">3</td> <td style="text-align: right;">884</td> </tr> <tr> <td colspan="2" style="text-align: center;">合計</td> <td style="text-align: center;">33</td> <td style="text-align: right;">86,652</td> </tr> </tbody> </table>					件数	金額(千円)	宅地開発事業		10	32,851	特定用途 建築行為	集合住宅	20	52,917	集合住宅以外	3	884	合計		33	86,652
		件数	金額(千円)																			
宅地開発事業		10	32,851																			
特定用途 建築行為	集合住宅	20	52,917																			
	集合住宅以外	3	884																			
合計		33	86,652																			
事業評価	宅地開発等について条例に基づき指導を実施したことにより、良好な居住環境の保全を図ることができた。今後も引き続き事業者に対して指導を行うとともに、本市のまちづくりへの理解と協力を求め、良好な居住環境の保全に努める必要がある。																					

平成27年度決算成果説明書

総合計画の体系		所管部局
大分類	01 環境に配慮した安全・安心のまち	都市整備部
中分類	02 安全・安心なまちづくりへの対応	
小分類	01 安全・安心なまちづくり	

事務事業名	耐震診断・耐震改修推進事業費	所管課	建築指導課
		決算額	39,878千円
事業内容	<p>「建築物の耐震改修の促進に関する法律」第6条により、平成20年度に「宇治市建築物耐震改修促進計画」を策定し、市有建築物を含めた既設建築物の耐震化を促進する。民間の既設建築物（木造住宅・共同住宅）について、耐震化を図るため、耐震診断・耐震改修の助成制度を実施している。</p>		
成果・実績	<p>9月6日に宇治中学校で行われた防災訓練ほか、各地域の防災訓練に参加し「耐震診断相談コーナー」の設置及び自治会の防災出前講座でのPR等の啓発活動を行い、耐震診断・耐震改修希望者に対し、助成事業を実施した。</p> <p>木造住宅耐震診断 55棟 木造住宅耐震改修 29棟 (本格改修19棟、簡易改修10棟)</p>		
			
	<p>宇治市防災訓練（宇治中学校）</p>		
事業評価	<p>耐震診断・耐震改修の助成制度を実施したことにより、既設建築物の耐震化の促進を図ることができた。宇治市建築物耐震改修促進計画の計画期間が平成27年度までであることから、耐震化の状況の把握、分析に努め、耐震診断、改修に係る基本的な取組の方向性を検討する必要がある。</p>		

平成 27 年度決算成果説明書

総合計画の体系	
大分類	05 歴史香るみどりゆたかで快適なまち
中分類	04 良好な市街地・都市基盤施設の整備
小分類	01 良好な市街地の形成

所管部局
都市整備部

事務事業名	建築指導事務費	所管課	建築指導課																				
		決算額	1,317千円																				
事業内容	<p>建築主は、建築工事に着手する前に建築基準法による確認申請書を提出し、建築主事または民間指定確認検査機関にて確認を受けなければならない。本市は建築基準法を所管する特定行政庁として、安全・安心な建築物の供給、法の的確な履行に取り組んでいる。</p>																						
成果・実績	<p>建築確認等申請件数（計画通知を含む/計画変更含まず）</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>建築物</th> <th>昇降機等</th> <th>工作物</th> <th>計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>本市</td> <td>23</td> <td>0</td> <td>1</td> <td>24</td> </tr> <tr> <td>民間確認検査機関</td> <td>650</td> <td>13</td> <td>17</td> <td>680</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>673</td> <td>13</td> <td>18</td> <td>704</td> </tr> </tbody> </table> <p>建築主から建築基準法に基づく申請を受け、建築確認処分を行った。 また、安全で安心な、環境にやさしい建築物が供給されるよう、以下の各事業に取り組んだ。</p> <p>違反建築物対策（行政指導件数 30件） 違反建築物防止のため、建築関係者への啓発及び現場パトロールなどを実施した。また、違反建築物に対する是正指導等を行った。</p> <p>長期優良住宅の認定（認定件数 122件） 長期優良住宅の普及の促進に関する法律に基づき認定を行った。</p> <p>建設リサイクル法に基づく業務（届出・通知件数 428件） 建築物の分別解体及び再資源化等の適正かつ円滑な実施を確保するため、届出の受理を行い、併せて制度定着のため広報及び現場パトロールを実施した。</p> <p>省エネルギー法に基づく業務（届出件数 40件） 地球温暖化の防止及び省エネルギーの実効性を向上させるため、一定規模以上の建築物について省エネルギー措置の届出と定期報告が義務付けられている。</p> <p>京都府地球温暖化対策条例に基づく業務（届出件数 5件） 地球環境問題への関心が高まる中、建築分野においても地球温暖化防止等への配慮が求められているため、一定規模以上の建築物に対して計画書等の届出が義務付けられている。</p>				建築物	昇降機等	工作物	計	本市	23	0	1	24	民間確認検査機関	650	13	17	680	合計	673	13	18	704
		建築物	昇降機等	工作物	計																		
本市	23	0	1	24																			
民間確認検査機関	650	13	17	680																			
合計	673	13	18	704																			
事業評価	<p>パトロール等の啓発活動を実施したことにより、建築確認・検査制度の適正な執行及び適正な建築物の供給を担保することができた。今後は効果的な啓発内容を検討しながら、適正な建築物の供給に努める必要がある。</p>																						

平成 27 年度決算成果説明書

総合計画の体系		所管部局
大分類	05 歴史香るみどりゆたかで快適なまち	都市整備部
中分類	03 快適な都市交通とバリアフリーのまちづくり	
小分類	01 交通安全とバリアフリーの推進	

事務事業名	交通安全対策事務費	所管課	交通政策課
		決算額	569千円
事業内容	交通安全対策の推進を図り、市民生活の利便性、快適性の向上を図る。		
成果・実績	<p>実施希望のあった町内会等を対象に、警察の協力による参加体験型の交通安全研修会を実施した。また、幼児・児童に対して交通安全思想の普及を図るため、交通安全教室を春・秋に保育所、幼稚園、小・中学校、高等学校などで開催し、交通安全ルール・マナーについて学習した。</p> <p>また、市民の交通の円滑化と事故防止のため、地域からの要望を踏まえ、安全対策及び交通規制の実施のために警察及び関係機関との緊密な連携を図り、市民の交通安全の向上に努めた。</p> <p>交通安全教室 開催数 84回 受講者数 延べ約7,700人</p>		
事業評価	交通安全教室を開催することにより、市民の交通安全への意識向上を図ることができた。今後も引き続き、ハード・ソフトの多様な取組手法を関係機関とより一層の連携を図る中で、交通安全対策に努める必要がある		

事務事業名	自転車等駐車場管理費	所管課	交通政策課																							
		決算額	161,963千円																							
事業内容	自転車等駐車場の適切な管理運営により、交通結節点における市民の利便性の向上及び自転車等の放置防止、歩行者及び通行車両などの安全確保を図るため、市内の14駅中11駅周辺に17の有料自転車等駐車場を設置し、通勤・通学等で利用される自転車等を収容する。																									
成果・実績	<p>自転車等駐車場利用台数 (台)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">年度</th> <th>25</th> <th>26</th> <th>27</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">自転車</td> <td>一時利用</td> <td>95,769</td> <td>92,814</td> <td>89,652</td> </tr> <tr> <td>定期利用</td> <td>14,512</td> <td>13,851</td> <td>13,079</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">原動機付き自転車等</td> <td>一時利用</td> <td>38,911</td> <td>39,094</td> <td>38,594</td> </tr> <tr> <td>定期利用</td> <td>3,485</td> <td>3,342</td> <td>3,226</td> </tr> </tbody> </table>			年度		25	26	27	自転車	一時利用	95,769	92,814	89,652	定期利用	14,512	13,851	13,079	原動機付き自転車等	一時利用	38,911	39,094	38,594	定期利用	3,485	3,342	3,226
年度		25	26	27																						
自転車	一時利用	95,769	92,814	89,652																						
	定期利用	14,512	13,851	13,079																						
原動機付き自転車等	一時利用	38,911	39,094	38,594																						
	定期利用	3,485	3,342	3,226																						
事業評価	施設の適切な管理運営により歩行者及び通行車両などの安全確保を図ることができた。施設の老朽化等の問題があるため、利用者ニーズを踏まえながら、自転車等駐車場の今後のあり方について検討する必要がある。																									

平成 27 年度決算成果説明書

総合計画の体系	
大分類	05 歴史香るみどりゆたかで快適なまち
中分類	03 快適な都市交通とバリアフリーのまちづくり
小分類	01 交通安全とバリアフリーの推進

所管部局
都市整備部

事務事業名	自転車放置防止対策費	所管課	交通政策課																
		決算額	7,976千円																
事業内容	<p>駅周辺において良好な環境を保つため、駅周辺の自転車放置禁止区域内に放置されている自転車を定期的に撤去し、景観の維持を図るとともに、歩行者及び通行車両などの安全確保を図る。</p>																		
成果・実績	<p>自転車撤去台数は年々減少している。撤去自転車のうち228台は所有者に引き取られ、その他は福祉施設に無償譲渡及び、有価物として売却を行った。</p> <p style="text-align: center;">放置自転車撤去台数等 (台)</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>25</th> <th>26</th> <th>27</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>撤去台数</td> <td style="text-align: center;">962</td> <td style="text-align: center;">795</td> <td style="text-align: center;">517</td> </tr> <tr> <td>返還台数</td> <td style="text-align: center;">375</td> <td style="text-align: center;">387</td> <td style="text-align: center;">228</td> </tr> <tr> <td>売却処理台数</td> <td style="text-align: center;">272</td> <td style="text-align: center;">248</td> <td style="text-align: center;">244</td> </tr> </tbody> </table>			年度	25	26	27	撤去台数	962	795	517	返還台数	375	387	228	売却処理台数	272	248	244
年度	25	26	27																
撤去台数	962	795	517																
返還台数	375	387	228																
売却処理台数	272	248	244																
事業評価	<p>自転車放置対策に係る啓発及び放置自転車の撤去などを実施したことにより、歩行者及び通行車両などの安全確保を図ることができた。これまでの取組により自転車放置禁止区域での放置自転車の数は確実に減少しており、引き続き放置防止対策に努める必要がある。</p>																		

事務事業名	市営駐車場管理費	所管課	交通政策課												
		決算額	4,772千円												
事業内容	<p>JR宇治駅前及び近鉄大久保駅前における迷惑駐車をなくし、安全で快適な駅前交通環境を維持するため、自動車駐車場を設置し、管理・運営を行う。</p>														
成果・実績	<p>駐車場は乗降客の多い駅前に立地し、終日営業するなど利便性が高いことから、多くの市民等が利用した。</p> <p style="text-align: center;">自動車駐車場利用台数 (台)</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>25</th> <th>26</th> <th>27</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>JR宇治駅前</td> <td style="text-align: center;">19,375</td> <td style="text-align: center;">20,140</td> <td style="text-align: center;">19,994</td> </tr> <tr> <td>近鉄大久保駅前</td> <td style="text-align: center;">75,055</td> <td style="text-align: center;">109,414</td> <td style="text-align: center;">100,144</td> </tr> </tbody> </table>			年度	25	26	27	JR宇治駅前	19,375	20,140	19,994	近鉄大久保駅前	75,055	109,414	100,144
年度	25	26	27												
JR宇治駅前	19,375	20,140	19,994												
近鉄大久保駅前	75,055	109,414	100,144												
事業評価	<p>指定管理者によって、適切に管理運営できた。迷惑駐車をなくし、安全で快適な駅前交通環境を維持するため、今後も適切な施設管理・運営に努める必要がある。</p>														

平成 27 年度決算成果説明書

総合計画の体系	
大分類	05 歴史香るみどりゆたかで快適なまち
中分類	03 快適な都市交通とバリアフリーのまちづくり
小分類	01 交通安全とバリアフリーの推進

所管部局
都市整備部

事務事業名	交通バリアフリー推進事業費	所管課	交通政策課
		決算額	5,769千円
事業内容	平成17年に策定した「宇治市交通バリアフリー全体構想」に基づき、市内のバリアフリー化に取り組んできたが、平成18年の法改正及び平成23年に国の基本方針が見直されたことを受け、全体構想を見直すとともに、改訂した全体構想に基づき、基本構想を策定するなど、さらに市内のバリアフリー化を推進する。		
成果・実績	平成26年度に「宇治市交通バリアフリー検討委員会」を設置し、委員会での議論及びパブリックコメントを経て、宇治市交通バリアフリー全体構想を改訂し、新たに「木幡」「黄檗」「伊勢田」の3地区を重点整備地区と位置付けた。 平成27年度には「木幡駅周辺地区交通バリアフリー基本構想」を策定した。また、近鉄大久保駅では、国・府・市が事業費の一部を補助する形で内方線の整備が行われた。		
事業評価	タウンウォッチング等による地域住民等の意見を踏まえて課題を抽出、整理し、木幡駅周辺地区交通バリアフリー基本構想を策定することができた。当該構想に基づき、建築物及び交通安全施設のバリアフリー化事業について検討する。		

平成27年度決算成果説明書

総合計画の体系		所管部局
大分類	05 歴史香るみどりゆたかで快適なまち	都市整備部
中分類	03 快適な都市交通とバリアフリーのまちづくり	
小分類	02 公共交通機関の整備促進	

事務事業名	地域公共交通活性化事業費	所管課	交通政策課
		決算額	3,273千円
事業内容	バス路線の再編等により公共交通の利用が困難となった明星町・西小倉・槇島の3地域において公共交通を確保するため、地域住民と協働で「宇治市のりあい交通事業」に取り組む。また、全市的な利用促進に取り組み、公共交通の活性化を図る。		
成果・実績	<p>明星町地域では自治会が主体となって「宇治市のりあい交通事業」を活用し、路線バスの運行を実施し、収支改善のための利用促進にも取り組んだ。西小倉、槇島町地域においても地域に合った運行計画を検討し始めるなど、のりあい交通事業の実施に向けて取り組んだ。</p> <p>また、平成26年11月に道路運送法に基づき設置した「宇治市地域公共交通会議」において、明星町・西小倉・槇島町の3地域の取り組み状況を報告した。</p> <p>11月に三室戸小学校の2年生83名を対象に、小学生が公共交通を利用するきっかけづくりを目的とした「交通学習」を実施した。</p> <p>その他、バス路線利用促進のため「宇治市おでかけマップ」を作成し、市ホームページに掲載するとともに、主な公共施設等へ配布した。</p>		
事業評価	「宇治市のりあい交通事業」に取り組むことにより、公共交通の確保に努めることができた。今後も地域住民と協働して移動手段確保に努めるとともに、全市的な公共交通の利用促進に努める必要がある。		

事務事業名	JR奈良線複線化事業補助金	所管課	交通政策課
		決算額	53,075千円
事業内容	JR奈良線の高速化・複線化第二期事業について、京都府・本市を含む沿線市町・JR西日本で締結した「基本協定書」「実施等に関する協定書」及び「実施等に関する変更協定書」に基づき、補助金をJR西日本に支出し事業の推進を図る。		
成果・実績	<p>JR奈良線の高速化・複線化第二期事業に係る鉄道施設変更認可申請に向け、環境影響評価法に基づく評価書の確定・公告手続きが完了した。</p> <p>また平成25年度より引き続き行っている鉄道施設等の設計及び、用地調査を順次行っており、京都駅奈良線ホーム改良工事の仮ホーム拡幅工事等が完了した。</p>		
事業評価	事業にあたり環境影響評価法に基づく評価書の確定・公告手続きが完了した。今後も引き続き、京都府、沿線市町及び事業者と調整しながら、協定書等に基づく事業進捗に努める必要がある。		

平成 27 年度決算成果説明書

総合計画の体系		所管部局
大分類	04 生きる力を育む教育の充実と生涯学習の推進のまち	教育部
中分類	01 学校教育の充実	
小分類	01 幼稚園、小・中学校教育の充実	

事務事業名	事務事業点検評価事業費	所管課	教育総務課
		決算額	120千円
事業内容	<p>「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」に基づき、教育委員会は、その権限に関する事務・事業の管理及び執行の状況について点検・評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、議会に提出するとともに、市民へ公表する。</p>		
成果・実績	<p>教育委員会の基本方針に沿って効果的な教育行政が実施できたか、学識者とともに点検・評価し、市民への説明責任を果たした。 宇治市教育振興基本計画（平成26～33年度）の施策体系に沿った点検・評価を行い、合わせて各施策の指標値・目標値と実績値を報告書の中で示した。</p> <p style="text-align: center;">学識経験者等謝礼 120千円</p>		
事業評価	<p>「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」に基づき、事務事業点検・評価を実施したことにより、効果的な教育行政を進めることができた。市民にとって、よりわかりやすい点検・評価とするため、今後も学識者の意見を踏まえて目標達成度及び評価項目の設定等について検討する必要がある。</p>		

平成 27 年度決算成果説明書

総合計画の体系		所管部局
大分類	04 生きる力を育む教育の充実と生涯学習の推進のまち	教育部
中分類	01 学校教育の充実	
小分類	01 幼稚園、小・中学校教育の充実	


事務事業名	学校図書館費	所管課	学校教育課
		決算額	40,392千円
事業内容	児童・生徒の基礎学力の定着・向上のため、小・中学校の学校図書館図書を充実させるとともに、学校司書の配置と学校図書館ボランティアの活用により図書館教育の充実を図る。また、学校図書館ボランティアの養成のため、希望する保護者・市民が必要な知識・技術を修得する講座を開催する。		
成果・実績	図書館教育充実事業費 22,823千円 拠点校7校及び代表校1校に学校司書を配置し、各学校を巡回して児童・生徒の学習活動及び読書活動の充実を図った。 図書館ボランティア養成事業費 69千円 ボランティア養成講座開催数 2回 ボランティア登録者数 434人 学校図書館図書充実費 小学校 9,800千円 中学校 7,700千円		
事業評価	図書の購入・配架、学校司書による支援及び図書館ボランティアの活動により、児童・生徒の学習活動及び読書活動の充実を図ることができた。事業の状況の把握、成果等の分析に努め、今後も引き続き実施する。		

事務事業名	幼稚園、小・中学校保健管理費	所管課	学校教育課
		決算額	128,426千円
事業内容	学校保健及び学校安全に関し、法令に定める健康診断を実施し、環境衛生の確保に努めるとともに、学校管理下における事故災害に対する必要な給付を行い、園児、児童・生徒の心身の健全な育成を図る。		
成果・実績	園児、児童・生徒の健康診断及び各種検診・検査を実施した。 小学校保健管理費 80,367千円 中学校保健管理費 35,111千円 幼稚園保健管理費 4,975千円 小学校心臓検診充実費 5,369千円 中学校心臓検診充実費 2,538千円 結核予防対策費 66千円		
事業評価	適切に健康診断及び各種検診・検査を実施したことにより、園児、児童・生徒の心身の健全な育成を図ることができた。今後も引き続き実施する。		

平成27年度決算成果説明書

総合計画の体系	
大分類	04 生きる力を育む教育の充実と生涯学習の推進のまち
中分類	01 学校教育の充実
小分類	01 幼稚園、小・中学校教育の充実

所管部局
教育部

事務事業名	へき地校通学対策費	所管課	学校教育課							
		決算額	18,205千円							
事業内容	へき地における特殊な教育条件を考慮し、教育水準の維持・向上を図り、児童・生徒の通学の負担を軽減するために、笠取地区内及び笠取地区と市街地を結ぶ通学用輸送車を運行する。									
成果・実績	笠取地区スクールバス3台及び給食配送車の運行・維持管理を行った。（笠取小学校特認校児童の送迎を含む）									
	<table border="0"> <tr> <td>特認入学パンフレット印刷費</td> <td>69千円</td> </tr> <tr> <td>笠取地区通学バス等維持管理費</td> <td>442千円</td> </tr> <tr> <td>笠取地区通学バス等運行委託料</td> <td>15,924千円</td> </tr> <tr> <td>笠取小学校スクールバス購入費</td> <td>1,770千円</td> </tr> </table>	特認入学パンフレット印刷費	69千円	笠取地区通学バス等維持管理費	442千円	笠取地区通学バス等運行委託料	15,924千円	笠取小学校スクールバス購入費	1,770千円	
特認入学パンフレット印刷費	69千円									
笠取地区通学バス等維持管理費	442千円									
笠取地区通学バス等運行委託料	15,924千円									
笠取小学校スクールバス購入費	1,770千円									
事業評価	通学用輸送車及び給食配送車の運行により、へき地における教育水準の維持・向上を図ることができた。山間部の通学と特認校制度維持のため、今後も引き続き実施する。									

事務事業名	小・中学校教材充実費	所管課	学校教育課			
		決算額	55,014千円			
事業内容	各教科の授業等で必要な教材について、教材備品の整備に関する規程を設けるなど学校間の格差が生じないよう配慮しながら、教材の充実を図る。					
成果・実績	小・中学校の一般教材備品、理科教育振興備品などの充実を図り、教育環境の整備に努めた。					
	<table border="0"> <tr> <td>小学校教材充実費</td> <td>36,488千円</td> </tr> <tr> <td>中学校教材充実費</td> <td>18,526千円</td> </tr> </table>	小学校教材充実費	36,488千円	中学校教材充実費	18,526千円	
小学校教材充実費	36,488千円					
中学校教材充実費	18,526千円					
事業評価	教材等の購入費用を適正に執行し、児童・生徒の教育環境を整備できた。国の方針等に基づき、教材の充実のため、今後も引き続き実施する。					

平成27年度決算成果説明書

総合計画の体系	
大分類	04 生きる力を育む教育の充実と生涯学習の推進のまち
中分類	01 学校教育の充実
小分類	01 幼稚園、小・中学校教育の充実

所管部局
教育部

事務事業名	小・中学校就学援助費	所管課	学校教育課						
		決算額	147,369千円						
事業内容	義務教育を受ける機会を均等に保障するため、経済的な理由で就学が困難な児童・生徒の保護者に対し、学校に必要な学用品費、給食費、校外活動費、医療費などの援助を行う。								
成果・実績	<table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 30%;">小学校就学援助費</td> <td style="width: 30%; text-align: right;">100,961千円</td> <td style="width: 40%;"></td> </tr> <tr> <td>中学校就学援助費</td> <td style="text-align: right;">46,408千円</td> <td></td> </tr> </table>			小学校就学援助費	100,961千円		中学校就学援助費	46,408千円	
小学校就学援助費	100,961千円								
中学校就学援助費	46,408千円								
事業評価	就学援助費の支給を適正に執行したことにより、児童・生徒の教育機会を確保することができた。全ての様々な生活環境の子どもが均等に義務教育を受けられるようにするため、今後も引き続き実施する。								

事務事業名	私立幼稚園就園助成費補助金	所管課	学校教育課												
		決算額	264,800千円												
事業内容	宇治市内に居住し、私立幼稚園に就園する園児の保護者に対し、国庫補助基準額による所得基準に応じて助成を行うことにより、保護者の経済的負担軽減と幼稚園教育の振興を図る。														
成果・実績	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; margin-bottom: 10px;"> <thead> <tr> <th style="width: 20%;">区分</th> <th style="width: 80%;">助成者数(人)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>満3歳児</td> <td style="text-align: center;">95</td> </tr> <tr> <td>3歳児</td> <td style="text-align: center;">599</td> </tr> <tr> <td>4歳児</td> <td style="text-align: center;">746</td> </tr> <tr> <td>5歳児</td> <td style="text-align: center;">794</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td style="text-align: center;">2,234</td> </tr> </tbody> </table> <p>満3歳児は3歳の誕生日を迎えた園児</p>			区分	助成者数(人)	満3歳児	95	3歳児	599	4歳児	746	5歳児	794	合計	2,234
区分	助成者数(人)														
満3歳児	95														
3歳児	599														
4歳児	746														
5歳児	794														
合計	2,234														
事業評価	国庫補助基準に沿って適正に助成したことにより、保護者の経済的負担を軽減することができた。国の動向を注視し、今後も引き続き実施する。														

平成 27 年度決算成果説明書

総合計画の体系	
大分類	04 生きる力を育む教育の充実と生涯学習の推進のまち
中分類	01 学校教育の充実
小分類	01 幼稚園、小・中学校教育の充実

所管部局
教育部

事務事業名	緊急安全対策事業費	所管課	教育総務課・学校教育課
		決算額	38,315千円
事業内容	幼稚園、小・中学校に、地域・保護者の協力を得て学校運営支援員（スクールサポーター）を配置し、園児、児童・生徒の安全確保を図る。		
成果・実績	<p>地域緊急安全対策事業費（教育総務課） 37,822千円 35校・園のモニターカメラ監視、校内巡視、門扉状況監視</p> <p>幼稚園緊急安全対策事業費（学校教育課） 493千円 私立幼稚園における運営支援員の配置に対して補助を行った。</p>		
事業評価	幼稚園、小・中学校で各種安全対策を講じるとともに、私立幼稚園の安全対策補助金を適正に執行したことにより、園児、児童・生徒の安全を確保することができた。活動実態の把握、分析とともに、他の地域安全活動との連携を検討しながら、引き続き安全確保に努める必要がある。		

事務事業名	学校版環境ISO実施事業費	所管課	学校教育課
		決算額	765千円
事業内容	幼稚園、小・中学校が環境問題に目を向け、身近な学校生活の中で環境に配慮した生活態度を実践するため、園児、児童・生徒、教職員が環境活動について計画、行動、点検、見直しを行う。		
成果・実績	各幼稚園、小・中学校において、園・校内の緑化運動及び、ごみの分別、ペットボトルのエコキャップ回収運動、節電・節水など、環境に配慮した学習及び活動を実施した。		
事業評価	学校版環境ISO事業を実施したことにより、自主的な環境活動を促進し環境意識を醸成することができた。		

平成27年度決算成果説明書

総合計画の体系	
大分類	04 生きる力を育む教育の充実と生涯学習の推進のまち
中分類	01 学校教育の充実
小分類	01 幼稚園、小・中学校教育の充実

所管部局
教育部


事務事業名	小・中学校「総合的な学習の時間」推進費		所管課	学校教育課
			決算額	11,760千円
事業内容	画一的な授業ではなく、地域及び子どもの実態に応じて各学校が創意工夫し、特色ある教育活動を展開する。国際理解、環境、情報、福祉、健康など従来の教科等の枠を超えた横断的、総合的な学習をより円滑に実施する。			
成果・実績	小学校「総合的な学習の時間」推進費	6,388千円	主な学習内容	
	・国際（異文化）理解			
成果・実績	中学校「総合的な学習の時間」推進費	5,372千円	主な学習内容	
	・国際（異文化）理解 ・緑化推進			
事業評価	社会人講師等によって従来の授業とは異なる総合的な学習を実施したことにより、幅広い教育振興を図ることができた。「宇治学」等体験的な学習機会の提供により、自主的・実践的な児童・生徒を育成できるようにするため、今後も引き続き実施する。			

事務事業名	小・中学校特別支援教育費		所管課	学校教育課・一貫教育課
			決算額	5,570千円
事業内容	特別な支援を必要とする児童・生徒の就学を保障するため、特別支援学級等の運営を行う。また、特別支援学級在級児童・生徒の保護者の経済的負担軽減を図り、義務教育を保障するため、就学奨励費の支給事業を行う。			
成果・実績	小学校特別支援教育費	2,600千円	うち扶助費（学校教育課分） 2,333千円	
	うち備品等（一貫教育課分）	267千円		
成果・実績	中学校特別支援教育費	1,449千円	うち扶助費（学校教育課分） 1,180千円	
	うち備品等（一貫教育課分）	269千円		
成果・実績	小学校特別支援学級開設費（一貫教育課）	1,261千円	小学校21校40学級、中学校10校19学級の特別支援学級を設置し、児童・生徒の発達促進と学力充実に努めるとともに、就学奨励費を支給した。	
	中学校特別支援学級開設費（一貫教育課）	260千円		
事業評価	就学奨励費の支給及び物品の購入などを実施したことにより、保護者の経済的負担の軽減を図るとともに、特別な支援を必要とする児童・生徒の教育機会を確保することができた。			

平成 27 年度決算成果説明書

総合計画の体系	
大分類	04 生きる力を育む教育の充実と生涯学習の推進のまち
中分類	01 学校教育の充実
小分類	01 幼稚園、小・中学校教育の充実

所管部局
教育部

事務事業名	フッ化物洗口事業費	所管課	学校教育課
		決算額	1,826千円
事業内容	児童の健全な発育のために、乳歯から永久歯へ生え変わる時期に小学校でフッ化物洗口を実施し、虫歯を予防する。		
成果・実績	児童の健全な発育のために、全校・全学年児童の希望者を対象に、虫歯予防効果の高いフッ化物洗口を実施した。		
	事業実施児童数 9,342人 事業実施率 約89% 平均実施回数 27回		
事業評価	フッ化物洗口を実施したことにより、児童の虫歯予防を推進することができた。状況の把握、分析に努め、今後も引き続き実施する。		

事務事業名	給食・調理環境充実費（管理運営分）	所管課	学校教育課
		決算額	203,422千円
事業内容	小学校給食運営の中で、本市調理職員が行っていた調理業務のみを学校単位で段階的に民間の給食専門会社に委託し、これまでの給食内容を変えることなく、運営経費の効率化を図り、それによって確保された財源で多様な子どもたちのニーズを踏まえた学校給食等の条件整備を行う。		
成果・実績	調理業務委託料 14校委託 167,715千円 非常勤職員（学校栄養士）配置 10校 26,307千円 PEN食器等購入費 PEN食器等の購入費用 9,400千円		
事業評価	調理委託によって給食運営の効率化を図るとともに、PEN食器の導入等、学校給食環境の整備を行うことにより、成長期にある児童の健全な育成を推進することができた。今後も計画的な給食食器の更新に努める必要がある。		

平成 27 年度決算成果説明書

総合計画の体系	
大分類	04 生きる力を育む教育の充実と生涯学習の推進のまち
中分類	01 学校教育の充実
小分類	01 幼稚園、小・中学校教育の充実

所管部局
教育部

事務事業名	中学校昼食提供事業費	所管課	学校教育課																								
		決算額	3,995千円																								
事業内容	中学校での昼食は生徒が弁当を持参することを原則としているが、家庭の事情等で持参できない場合に補完するため昼食の提供を行う。																										
成果・実績	<p style="text-align: center;">利用実績</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 25%;">学校名</th> <th style="width: 25%;">平均利用率</th> <th style="width: 25%;">学校名</th> <th style="width: 25%;">平均利用率</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>南宇治中学校</td> <td style="text-align: center;">6.3%</td> <td>西宇治中学校</td> <td style="text-align: center;">0.5%</td> </tr> <tr> <td>西小倉中学校</td> <td style="text-align: center;">0.2%</td> <td>広野中学校</td> <td style="text-align: center;">0.6%</td> </tr> <tr> <td>宇治中学校</td> <td style="text-align: center;">0.6%</td> <td>東宇治中学校</td> <td style="text-align: center;">0.4%</td> </tr> <tr> <td>北宇治中学校</td> <td style="text-align: center;">0.2%</td> <td>木幡中学校</td> <td style="text-align: center;">0.2%</td> </tr> <tr> <td>槇島中学校</td> <td style="text-align: center;">0.9%</td> <td>黄檗中学校</td> <td style="text-align: center;">1.2%</td> </tr> </tbody> </table>			学校名	平均利用率	学校名	平均利用率	南宇治中学校	6.3%	西宇治中学校	0.5%	西小倉中学校	0.2%	広野中学校	0.6%	宇治中学校	0.6%	東宇治中学校	0.4%	北宇治中学校	0.2%	木幡中学校	0.2%	槇島中学校	0.9%	黄檗中学校	1.2%
学校名	平均利用率	学校名	平均利用率																								
南宇治中学校	6.3%	西宇治中学校	0.5%																								
西小倉中学校	0.2%	広野中学校	0.6%																								
宇治中学校	0.6%	東宇治中学校	0.4%																								
北宇治中学校	0.2%	木幡中学校	0.2%																								
槇島中学校	0.9%	黄檗中学校	1.2%																								
事業評価	弁当を持参できない生徒に栄養面を考慮した昼食を提供したことにより、生徒の健全な発育を促進できた。利用状況の把握、分析に努める中で、今後のあり方について検討する必要がある。																										

事務事業名	多子世帯支援事業費	所管課	学校教育課
		決算額	12,235千円
事業内容	幼稚園に通う園児の保護者の経済的負担を軽減し、安心して子どもを産み育てられる環境づくりを推進するため、幼稚園保育料に係る多子計算の年齢制限を小学校3年生から満18歳未満に拡大し、第3子以降の保育料無償化を行う。		
成果・実績	<p>対象世帯の幼稚園保育料について、補助金を交付することにより、多子世帯の経済的負担軽減に努めた。</p> <p style="margin-left: 40px;">補助金交付延べ人数 1,332人</p> <p style="margin-left: 40px;">補助金交付額 10,478千円</p>		
事業評価	京都府制度に基づき、多子世帯の経済的負担を軽減することができた。今後も国、京都府の動向を注視し、安心して子どもを産み育てる環境づくりに努める必要がある。		

平成 27 年度決算成果説明書

総合計画の体系		所管部局
大分類	04 生きる力を育む教育の充実と生涯学習の推進のまち	教育部
中分類	01 学校教育の充実	
小分類	02 学校教育環境の充実	

事務事業名	中学校コンピュータ教育充実事業費	所管課	学校教育課						
		決算額	29,035千円						
事業内容	市立中学校のコンピュータ教室におけるICT環境を整備し、活用を図ることにより、授業内容の充実及び学習意欲の向上などを旨とする。								
成果・実績	<p>市立中学校のうち9校でコンピュータ教室の専用サーバ等の機器類の更新を行い、指導用端末、生徒用端末については、デスクトップ型からタブレット型ノート端末へ機器の見直しを行った。</p> <table style="width: 100%; margin-top: 10px;"> <tr> <td style="width: 60%;">中学校コンピュータ教室環境設定業務委託</td> <td style="text-align: right;">8,748千円</td> </tr> <tr> <td>中学校コンピュータシステム周辺機器一式貸借</td> <td style="text-align: right;">13,858千円</td> </tr> <tr> <td>中学校コンピュータ教室用施設備品</td> <td style="text-align: right;">6,429千円</td> </tr> </table>			中学校コンピュータ教室環境設定業務委託	8,748千円	中学校コンピュータシステム周辺機器一式貸借	13,858千円	中学校コンピュータ教室用施設備品	6,429千円
中学校コンピュータ教室環境設定業務委託	8,748千円								
中学校コンピュータシステム周辺機器一式貸借	13,858千円								
中学校コンピュータ教室用施設備品	6,429千円								
事業評価	各校においてコンピュータ教室の機器類の更新を行うと同時に、各教室でもPCを活用した学習ができるようにタブレット型ノート端末に機器を更新したことにより、使用場所を限定しない学習環境の整備ができた。								

事務事業名	三室戸小学校増築事業費	所管課	学校教育課		
		決算額	6,799千円		
事業内容	児童数推計において児童数が増加するため、教室不足が見込まれる三室戸小学校の校舎増築等を実施する。				
成果・実績	<p>教室不足が見込まれる三室戸小学校の環境整備を行った。</p> <table style="width: 100%; margin-top: 10px;"> <tr> <td style="width: 60%;">校舎増築設計業務委託他</td> <td style="text-align: right;">6,799千円</td> </tr> </table>			校舎増築設計業務委託他	6,799千円
校舎増築設計業務委託他	6,799千円				
事業評価	増築することにより三室戸小学校における児童数の増加への対応を図り、学習環境の維持・向上に努める。				

平成 27 年度決算成果説明書

総合計画の体系		所管部局
大分類	04 生きる力を育む教育の充実と生涯学習の推進のまち	教育部
中分類	01 学校教育の充実	
小分類	02 学校教育環境の充実	

事務事業名	幼稚園、小・中学校維持整備事業	所管課	学校教育課
		決算額	581,577千円
事業内容	学校教育環境の充実と安全性の確保のため、幼稚園、小・中学校の施設・設備について、老朽化対応修繕、緊急修繕、及び法令等に適合させる修繕を行う。また、老朽化と損耗が著しい施設・設備について、計画的に改修を実施する。さらに、第2次学校施設整備計画に基づいて、トイレ改修及び空調機の設置など大規模改造事業を実施する。		
成果・実績	良好な教育環境の確保と施設の維持・保全を図るために対応を行った。		
	事業名	主な内容	事業費
	幼稚園維持修繕費	各幼稚園施設の小修理他	3,180千円
	幼稚園大規模改造事業費	東宇治幼稚園進入路改修工事他	23,793千円
	小学校維持修繕費	各小学校施設の小修理他	51,156千円
	小学校施設整備費	小倉小学校小桜橋改修工事他	53,868千円
	小学校大規模改造事業費	岡屋小学校便所改修工事他	244,266千円
	中学校維持修繕費	各中学校施設の小修理他	23,405千円
	中学校施設整備費	北宇治中学校公共下水道接続設計業務委託他	25,485千円
	中学校大規模改造事業費	宇治中学校便所改修工事他	156,424千円
事業評価	老朽化に対応し、計画的に改修工事に着手した。今後も計画的に施設の維持・保全に努め、施設の整備を図る必要がある。		



事務事業名	小倉小学校給食施設改築事業費	所管課	学校教育課
		決算額	222,755千円
事業内容	施設の維持・保全を図るため、また給食調理室の衛生管理と調理業務従事者の労働安全衛生を確保するために、老朽化した小倉小学校給食室の改築等を実施する。		
成果・実績	ライフライン改修工事	114,414千円	
	給食棟他新築工事	105,830千円	
	工事に伴う移設他	2,511千円	
事業評価	給食調理室を改築することにより、衛生管理と調理業務従事者の労働安全衛生の維持・向上に努めている。		

平成27年度決算成果説明書

総合計画の体系	
大分類	04 生きる力を育む教育の充実と生涯学習の推進のまち
中分類	01 学校教育の充実
小分類	03 総合的に進める教育の充実

所管部局
教育部

事務事業名	学校施設地域開放費	所管課	生涯学習課		
		決算額	1,818千円		
事業内容	西宇治中学校の地域開放型教室の特質を活かし、特別教室の積極的な開放を行うことで、子どもが仲間と楽しく学び、様々な活動を行う場を提供する。また、各種教育情報を提供し、地域住民に学習機会場の場を設け、地域の活性化を図る。				
成果・実績	利用状況				
	視聴覚室	音楽室	美術室	調理室	図書室
	63件	131件	87件	3件	548人
事業評価	西宇治オープンフェスタ 地域開放型教室の利用団体が、コーラス、楽器演奏、弾き語りなど、日頃の活動の成果を発表した。				
	地域住民のニーズに応じた特別教室の開放により、地域の活性化を図ることができた。近年、登録団体数及び利用者数が減少傾向であり、地域の運営委員会及び事業のあり方について検討する必要がある。				

総合計画の体系	
大分類	04 生きる力を育む教育の充実と生涯学習の推進のまち
中分類	02 生涯学習の充実
小分類	01 生涯学習の推進

所管部局
教育部

事務事業名	子どもの居場所づくり支援事業費	所管課	生涯学習課		
		決算額	242千円		
事業内容	土曜日午前公民館の一室を開放し、公民館サークル及び地域ボランティアによる遊び及び自然・文化体験またはスポーツなどの学習指導を行う。子どもに生活体験・社会体験・自然体験の機会を提供し、健やかな成長を促す。				
成果・実績	遊び及び自然・文化体験またはスポーツなどの学習指導により、子どもたちが学校及び家庭では経験できない種々の体験をし、優しさ・たくましさを育む活動及び場所を提供・支援した。5公民館で開催回数は68回、延べ1,324人が参加した。				
事業評価	公民館サークル及び地域住民の協力による種々の体験活動を実施したことにより、地域のひととの触れ合いを通して子どもの健やかな成長を促すことができた。市民のニーズに応じた地域ぐるみでの子育て支援となるように創意工夫して、今後も引き続き実施する。				

平成27年度決算成果説明書

総合計画の体系	
大分類	04 生きる力を育む教育の充実と生涯学習の推進のまち
中分類	02 生涯学習の充実
小分類	01 生涯学習の推進

所管部局
教育部

事務事業名	障害者教室開催費	所管課	生涯学習課				
		決算額	140千円				
事業内容	「宇治市障害者福祉基本計画」の趣旨を踏まえ、障害者の自立と社会参加を促進するため、学習機会の提供と仲間づくりを目的として、障害者関係団体及びボランティアと連携しながら、障害の種別に応じた障害者教室を開催する。						
成果・実績	障害の種別に応じた教室及び講座を開催し、延べ398人の参加があった。						
	各障害者教室開催状況						
		内容	対象者	人数	内容	対象者	人数
		やまぶき学級(2回)	心身障害者	82	社会見学	聴覚障害者	54
		やまぶきコーヒーハウス(10回)	心身障害者	176	社会見学	肢体障害者	18
					講座	視覚障害者	24
		社会見学	視覚障害者	24	講座	聴覚障害者	20
事業評価	障害者団体及びボランティアと連携した教室の開催により、学習機会の提供及び仲間づくりに取り組み、障害者の自立と社会参加を促進することができた。参加人数の減少が課題であり、事業の充実に向けて改善に取り組む必要がある。						

事務事業名	人材バンク事業費	所管課	生涯学習課								
		決算額	49千円								
事業内容	市内を中心に活動する個人講師及びグループの人材情報などを集めた「宇治市生涯学習人材バンク」を構築し、市ホームページ上と冊子版(市内公共施設に配布)で情報を提供することにより、総合的な市民の学習活動を促進する。また、登録講師の指導技術向上と人材バンクの広報のため、研修会・イベント等を開催する。										
成果・実績	ホームページと冊子版による情報提供のほか、広報及び登録講師の意識向上を目的とした講座・研修会を開催して延べ17人が参加した。市役所1階においてイベント「展示と体験コーナー」(出展講師5組)を開設し、5日間で延べ66人が体験に参加した。										
	登録者数の推移 (人)										
		年度	19	20	21	22	23	24	25	26	27
		登録者数	172	137	127	121	125	144	113	118	89
		個人	127	98	95	91	94	110	81	87	68
		団体	45	39	32	30	31	34	32	31	21
		うち新規	23	16	10	12	19	15	8	7	5
		運用開始時(平成19年1月11日)の登録者数:125件									
事業評価	学びたい意欲を持つ人と自身の持つ力を発信したい人の双方のニーズに応え、市民の総合的な学習活動を促進することができた。利用実態の把握及び広報の工夫に努め、今後も引き続き実施する。										

平成 27 年度決算成果説明書

総合計画の体系	
大分類	04 生きる力を育む教育の充実と生涯学習の推進のまち
中分類	02 生涯学習の充実
小分類	01 生涯学習の推進

所管部局
教育部

事務事業名	公民館活動費	所管課	生涯学習課																																																			
		決算額	2,946千円																																																			
事業内容	<p>公民館を拠点として活動する市民が、より住みよい地域づくりの担い手として活動するため、市民がいつでも気軽に利用できる公民館を目指し、地域住民の学習意欲及び社会の変化に対応する各種講座及び教室の開設、文化活動事業など、学習機会を提供する。</p>																																																					
成果・実績	<p>高齢者の生きがいづくり・健康づくりを目的に鳳凰大学及び各公民館高齢者教室を開催し、子ども対象事業として茶道教室等を行った。また、市民が公民館で学習を通してつながりを作り、地域で活躍するスキルを身に付けてもらうよう、各館の特色を活かして事業に取り組んだ。</p>																																																					
	中央公民館活動費	1,480千円																																																				
	木幡公民館活動費	364千円																																																				
	宇治公民館活動費	282千円																																																				
	小倉公民館活動費	513千円																																																				
	広野公民館活動費	307千円																																																				
	<p>高齢者を対象とした学級・講座等</p>																																																					
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>公民館名</th> <th>事業名</th> <th>講座数</th> <th>参加延べ人数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">中央</td> <td>宇治鳳凰大学(4コース)</td> <td>各10</td> <td>4,149</td> </tr> <tr> <td>宇治鳳凰大学 大学祭</td> <td>1</td> <td>1,000</td> </tr> <tr> <td>宇治</td> <td>宇治鳳凰学級</td> <td>8</td> <td>1,067</td> </tr> <tr> <td>木幡</td> <td>許乃国教室</td> <td>8</td> <td>925</td> </tr> <tr> <td>小倉</td> <td>小倉蓮の実教室</td> <td>8</td> <td>846</td> </tr> <tr> <td>広野</td> <td>広野久里古教室</td> <td>8</td> <td>1,093</td> </tr> </tbody> </table>			公民館名	事業名	講座数	参加延べ人数	中央	宇治鳳凰大学(4コース)	各10	4,149	宇治鳳凰大学 大学祭	1	1,000	宇治	宇治鳳凰学級	8	1,067	木幡	許乃国教室	8	925	小倉	小倉蓮の実教室	8	846	広野	広野久里古教室	8	1,093																								
	公民館名	事業名	講座数	参加延べ人数																																																		
	中央	宇治鳳凰大学(4コース)	各10	4,149																																																		
宇治鳳凰大学 大学祭		1	1,000																																																			
宇治	宇治鳳凰学級	8	1,067																																																			
木幡	許乃国教室	8	925																																																			
小倉	小倉蓮の実教室	8	846																																																			
広野	広野久里古教室	8	1,093																																																			
<p>公民館まつり等</p>																																																						
<table border="1"> <thead> <tr> <th>公民館名</th> <th>事業名</th> <th>回数</th> <th>参加延べ人数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">中央</td> <td>公民館まつり(2日間)</td> <td>1</td> <td>2,000</td> </tr> <tr> <td>人形劇フェスティバル</td> <td>1</td> <td>200</td> </tr> <tr> <td>楽しい絵手紙講座</td> <td>4</td> <td>69</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">宇治</td> <td>公民館まつり(2日間)</td> <td>1</td> <td>2,850</td> </tr> <tr> <td>宇治の形・学びの広場</td> <td>3</td> <td>101</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">木幡</td> <td>公民館まつり(3日間)</td> <td>1</td> <td>675</td> </tr> <tr> <td>親と子のちょっとおしゃれな木幡倶楽部</td> <td>4</td> <td>137</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">小倉</td> <td>公民館まつり(2日間)</td> <td>1</td> <td>1,062</td> </tr> <tr> <td>茶香服大会</td> <td>1</td> <td>30</td> </tr> <tr> <td>盆おどり大会・講習会</td> <td>3</td> <td>99</td> </tr> <tr> <td>宇治茶講座</td> <td>2</td> <td>33</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">広野</td> <td>ジャズコンサート</td> <td>1</td> <td>180</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">地域生涯学習支援事業</td> <td>今昔しゃべり場</td> <td>10</td> <td>56</td> </tr> <tr> <td>ひろの人形劇</td> <td>9</td> <td>163</td> </tr> </tbody> </table>			公民館名	事業名	回数	参加延べ人数	中央	公民館まつり(2日間)	1	2,000	人形劇フェスティバル	1	200	楽しい絵手紙講座	4	69	宇治	公民館まつり(2日間)	1	2,850	宇治の形・学びの広場	3	101	木幡	公民館まつり(3日間)	1	675	親と子のちょっとおしゃれな木幡倶楽部	4	137	小倉	公民館まつり(2日間)	1	1,062	茶香服大会	1	30	盆おどり大会・講習会	3	99	宇治茶講座	2	33	広野	ジャズコンサート	1	180	地域生涯学習支援事業	今昔しゃべり場	10	56	ひろの人形劇	9	163
公民館名	事業名	回数	参加延べ人数																																																			
中央	公民館まつり(2日間)	1	2,000																																																			
	人形劇フェスティバル	1	200																																																			
	楽しい絵手紙講座	4	69																																																			
宇治	公民館まつり(2日間)	1	2,850																																																			
	宇治の形・学びの広場	3	101																																																			
木幡	公民館まつり(3日間)	1	675																																																			
	親と子のちょっとおしゃれな木幡倶楽部	4	137																																																			
小倉	公民館まつり(2日間)	1	1,062																																																			
	茶香服大会	1	30																																																			
	盆おどり大会・講習会	3	99																																																			
	宇治茶講座	2	33																																																			
広野	ジャズコンサート	1	180																																																			
	地域生涯学習支援事業	今昔しゃべり場	10	56																																																		
		ひろの人形劇	9	163																																																		
事業評価	<p>公民館を拠点として多くの市民が参加・活動できる事業を実施したことにより、地域での交流及び生きがいづくり、地域づくりを進めることができた。今後も地域貢献に取り組む人材の育成に向けて、事業内容の工夫に努める必要がある。</p>																																																					

平成27年度決算成果説明書

総合計画の体系	
大分類	04 生きる力を育む教育の充実と生涯学習の推進のまち
中分類	02 生涯学習の充実
小分類	01 生涯学習の推進

所管部局
教育部

事務事業名	総合野外活動センター管理運営費	所管課	生涯学習課																								
		決算額	128,352千円																								
事業内容	「自然とのふれあい、自然のなかでの交流」をテーマに、（公財）宇治市野外活動センターを指定管理者として、総合野外活動センター「アクトパル宇治」の施設管理・運営を行う。センターの各施設を活用した野外活動、宿泊研修、スポーツ活動などを行う。																										
成果・実績	<p>野外活動に関する事業を通じて、青少年の豊かな感性を育むとともに、市民のふれあいの場を提供するなど、生涯学習の推進を図った。平成11年度から27年度までの延べ利用者数は約144万人となった。</p> <p>利用者数 (人)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>23</th> <th>24</th> <th>25</th> <th>26</th> <th>27</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>宿泊</td> <td>40,491</td> <td>40,370</td> <td>39,281</td> <td>37,489</td> <td>40,759</td> </tr> <tr> <td>日帰り</td> <td>65,131</td> <td>57,500</td> <td>60,778</td> <td>58,359</td> <td>69,254</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>105,622</td> <td>97,870</td> <td>100,059</td> <td>95,848</td> <td>110,013</td> </tr> </tbody> </table>			年度	23	24	25	26	27	宿泊	40,491	40,370	39,281	37,489	40,759	日帰り	65,131	57,500	60,778	58,359	69,254	合計	105,622	97,870	100,059	95,848	110,013
年度	23	24	25	26	27																						
宿泊	40,491	40,370	39,281	37,489	40,759																						
日帰り	65,131	57,500	60,778	58,359	69,254																						
合計	105,622	97,870	100,059	95,848	110,013																						
事業評価	指定管理者によって適切に管理運営できた。様々な野外活動を通じた生涯学習の充実を図るため、今後も適切な施設管理に努める必要がある。																										

総合計画の体系	
大分類	04 生きる力を育む教育の充実と生涯学習の推進のまち
中分類	02 生涯学習の充実
小分類	02 スポーツ・レクリエーションの普及

所管部局
教育部

事務事業名	全日本中学ボウリング選手権大会事業補助金	所管課	生涯学習課
		決算額	4,170千円
事業内容	（一財）地域活性化センターの「スポーツ拠点づくり推進事業」として、平成19年度から平成28年度までの10年間、本市、宇治市教育委員会、（一財）宇治市体育協会、（公財）全日本ボウリング協会などの主催により中学生の全国ボウリング選手権大会を開催する。スポーツ推進とともに、多世代交流、地域交流などを図る。		
成果・実績	42の都道府県から選手198人の参加のもと、7月21日～23日の3日間で大会を実施した。さらに、大会参加者の宿泊所であるアクトパル宇治でお茶会・交流会を開催した。また、同大会の一環として、小学生を対象とした「ふれあいボウリング教室」及び小学4年生～中学2年生を対象とした「ジュニアボウリングスクール」を開催した。		
事業評価	大会の実施により、スポーツ推進及び地域交流を図ることができた。「スポーツ拠点づくり推進事業」が平成28年度に終了するため、これまでの実績等の検証、分析に努め、今後の事業のあり方について検討する必要がある。		

平成 27 年度決算成果説明書

総合計画の体系		所管部局
大分類	04 生きる力を育む教育の充実と生涯学習の推進のまち	教育部
中分類	02 生涯学習の充実	
小分類	02 スポーツ・レクリエーションの普及	

事務事業名	スポーツ振興基金活用事業費	所管課	生涯学習課																																								
		決算額	4,774千円																																								
事業内容	市民の健康・体力の増進、競技力の向上、地域コミュニティの形成、競技人口の拡大を図るため、スポーツ振興基金を活用した諸事業を実施する。																																										
成果・実績	<p>基金を活用し、市民レベルのスポーツ交流の促進、競技力の向上、競技人口の拡大を図った。</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="padding-left: 20px;">府民総体選手派遣費</td> <td style="text-align: right;">1,026千円</td> <td colspan="2"></td> </tr> <tr> <td style="padding-left: 40px;">参加団体数</td> <td>20団体</td> <td colspan="2"></td> </tr> <tr> <td style="padding-left: 20px;">世界大会等参加者激励金</td> <td style="text-align: right;">2,640千円</td> <td colspan="2"></td> </tr> <tr> <td style="padding-left: 40px;">交付件数</td> <td>188件</td> <td style="padding-left: 20px;">交付人数</td> <td>332人</td> </tr> <tr> <td style="padding-left: 20px;">生涯スポーツ育成事業</td> <td style="text-align: right;">300千円</td> <td colspan="2"></td> </tr> <tr> <td style="padding-left: 40px;">（一財）宇治市体育協会に委託</td> <td></td> <td style="padding-left: 20px;">参加団体数</td> <td>13団体</td> </tr> <tr> <td style="padding-left: 40px;">ジュニア技術講習会</td> <td style="text-align: right;">150千円</td> <td colspan="2"></td> </tr> <tr> <td style="padding-left: 40px;">宇治市中学校体育連盟に委託</td> <td></td> <td style="padding-left: 20px;">参加者数</td> <td>279人</td> </tr> <tr> <td style="padding-left: 20px;">第23回宇治市・宇部市スポーツ交流大会</td> <td style="text-align: right;">500千円</td> <td colspan="2"></td> </tr> <tr> <td style="padding-left: 40px;"></td> <td></td> <td style="padding-left: 20px;">参加者数</td> <td>104人</td> </tr> </table>			府民総体選手派遣費	1,026千円			参加団体数	20団体			世界大会等参加者激励金	2,640千円			交付件数	188件	交付人数	332人	生涯スポーツ育成事業	300千円			（一財）宇治市体育協会に委託		参加団体数	13団体	ジュニア技術講習会	150千円			宇治市中学校体育連盟に委託		参加者数	279人	第23回宇治市・宇部市スポーツ交流大会	500千円					参加者数	104人
府民総体選手派遣費	1,026千円																																										
参加団体数	20団体																																										
世界大会等参加者激励金	2,640千円																																										
交付件数	188件	交付人数	332人																																								
生涯スポーツ育成事業	300千円																																										
（一財）宇治市体育協会に委託		参加団体数	13団体																																								
ジュニア技術講習会	150千円																																										
宇治市中学校体育連盟に委託		参加者数	279人																																								
第23回宇治市・宇部市スポーツ交流大会	500千円																																										
		参加者数	104人																																								
事業評価	基金を活用して各取組を実施したことにより、市民スポーツの水準向上とスポーツ人口の拡大を図ることができた。今後も引き続き実施するが、基金は有限の財源であるため、活用については計画的な基金運用に努める必要がある。																																										

事務事業名	各種大会事業補助金	所管課	生涯学習課																																								
		決算額	4,480千円																																								
事業内容	地域に根ざした市民スポーツの推進と競技力の向上を目的に、各種大会等の体育団体の事業を助成し、自主活動の促進と団体育成を図る。																																										
成果・実績	<p>大会等に助成を行い、自主活動の促進及び団体育成に努めた。</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="padding-left: 20px;">市長杯等各種競技大会補助金</td> <td style="text-align: right;">940千円</td> <td colspan="2"></td> </tr> <tr> <td style="padding-left: 40px;">参加者数</td> <td>13,223人</td> <td colspan="2"></td> </tr> <tr> <td style="padding-left: 20px;">障害者スポーツ大会補助金</td> <td style="text-align: right;">340千円</td> <td colspan="2"></td> </tr> <tr> <td style="padding-left: 40px;">参加者数</td> <td>646人</td> <td colspan="2"></td> </tr> <tr> <td style="padding-left: 20px;">地域体育振興事業補助金</td> <td style="text-align: right;">1,500千円</td> <td colspan="2"></td> </tr> <tr> <td style="padding-left: 40px;">加盟数</td> <td>38,490世帯</td> <td colspan="2"></td> </tr> <tr> <td style="padding-left: 20px;">スポーツ少年団育成事業補助金</td> <td style="text-align: right;">1,100千円</td> <td colspan="2"></td> </tr> <tr> <td style="padding-left: 40px;">団体数</td> <td>63団体</td> <td colspan="2"></td> </tr> <tr> <td style="padding-left: 20px;">宇治川マラソン大会事業補助金</td> <td style="text-align: right;">600千円</td> <td colspan="2"></td> </tr> <tr> <td style="padding-left: 40px;">参加者数</td> <td>2,308人</td> <td colspan="2"></td> </tr> </table>			市長杯等各種競技大会補助金	940千円			参加者数	13,223人			障害者スポーツ大会補助金	340千円			参加者数	646人			地域体育振興事業補助金	1,500千円			加盟数	38,490世帯			スポーツ少年団育成事業補助金	1,100千円			団体数	63団体			宇治川マラソン大会事業補助金	600千円			参加者数	2,308人		
市長杯等各種競技大会補助金	940千円																																										
参加者数	13,223人																																										
障害者スポーツ大会補助金	340千円																																										
参加者数	646人																																										
地域体育振興事業補助金	1,500千円																																										
加盟数	38,490世帯																																										
スポーツ少年団育成事業補助金	1,100千円																																										
団体数	63団体																																										
宇治川マラソン大会事業補助金	600千円																																										
参加者数	2,308人																																										
事業評価	各種団体が主催する大会を支援し、本市の競技レベルの向上及び市民スポーツの推進を図ることができた。市民のニーズ等を考慮しながら、今後も引き続き実施する。																																										

平成 27 年度決算成果説明書

総合計画の体系	
大分類	04 生きる力を育む教育の充実と生涯学習の推進のまち
中分類	01 学校教育の充実
小分類	01 幼稚園、小・中学校教育の充実

所管部局
教育部

事務事業名	講座等開催費	所管課	一貫教育課
		決算額	238千円
事業内容	学校教育に係る体系的な教職員研修と校内研修への助成を行い、教職員の資質向上と学校教育の充実・発展を図る。		
成果・実績	<p>一般研修 開催数 25回 受講者数 688人 道徳教育公開授業講座、中堅教職員研修講座、人権教育研修講座など</p> <p>専門研修 開催数 2回 受講者数 44人 小学校外国語活動研修講座 小学校外国語活動公開授業講座</p> <p>情報教育研修 開催数 5回 受講者数 51人 ICT活用講座、情報モラル教育研修講座など</p>		
事業評価	多くの教職員が参加したことにより、指導力の向上を図ることができた。近年は大量退職に伴う新規採用の教職員が多く、多様な教育課題に対応できる学校全体の教育力の維持・向上と人材育成を進めるため、今後も引き続き実施する。		

事務事業名	基礎学力課題支援費	所管課	一貫教育課
		決算額	8,176千円
事業内容	児童・生徒の基礎学力の定着・向上及び希望進路の実現を図るため、非常勤講師の配置及び補習授業・学習相談の実施、教材・参考図書の配布などを行う。		
成果・実績	<p>小学校では、全校児童を対象に少人数指導及び個別指導、補習授業などを実施した。</p> <p>中学校では、全校生徒を対象にした授業支援とともに、希望者を対象とした補習授業及びテスト前の学習相談会などを実施した。</p> <p>指導方法及び指導機会の方策について全小・中学校へ啓発するとともに、児童・生徒の学力の充実、希望進路実現に向けて、教材・参考図書の配布等を行った。</p>		
事業評価	少人数指導及び個別指導などを実施したことにより、児童・生徒の学習への意欲向上を図ることができた。今後は対象となる児童・生徒の補習授業、学習相談への参加率を上げるため、学校・家庭と連携しながら、指導方法を工夫し、今後も引き続き実施する。		

平成 27 年度決算成果説明書

総合計画の体系	
大分類	04 生きる力を育む教育の充実と生涯学習の推進のまち
中分類	01 学校教育の充実
小分類	01 幼稚園、小・中学校教育の充実

所管部局
教育部

事務事業名	教育研究費	所管課	一貫教育課
		決算額	518千円
事業内容	様々な教育課題を解決するため、指導主事と教育研究員が協働して学校教育に係る指導・助言や相談を行う。また、教育研究員が日常の教育実践に基づいた教育研究を行い、学校教育の充実を図る。		
成果・実績	5部会で教育研究を行い、その成果を公開授業及び本市教育委員会ホームページ、本市教職員研修講座などにより報告した。		
	教育研究員部会と研究内容		
	設置部会	部員数	主な研究内容
	学力充実研究部	6	小・中学校の学力充実・向上に関する研究
	宇治学研究部	6	「宇治学」副読本作成に係る研究
	外国語活動研究部	6	小中一貫教育に資する外国語活動の在り方の研究
	道徳教育研究部	6	道徳的価値の内面的自覚を促す指導方法の研究
	情報教育研究部	6	教科指導における効果的なICT活用に係る研究
事業評価	教育研究員の日常の教育実践に基づいた研究によって、本市学校教育の課題解決を図ることができた。その時々々の教育課題に対応する教育力の向上に資する取組であり、今後も引き続き実施する。		

事務事業名	英語指導助手設置費	所管課	一貫教育課
		決算額	44,303千円
事業内容	児童・生徒の国際理解教育とコミュニケーション能力の向上を図るため、英語指導助手（AET）を、幼稚園、小・中学校に派遣する。 また、教職員研修で活用するとともに、生涯学習の一環として市民への学習機会での活用を図る。		
成果・実績	8月より、JETプログラムで招致した10人を、英語指導助手として市立小・中学校へ派遣した。また、市立幼稚園にも定期的に派遣した。		
	英語指導助手	10人	
	小学校派遣日数	945日	
	中学校派遣日数	778日	
	幼稚園派遣日数	64日	
事業評価	英語指導助手の活用により、園児、児童・生徒の国際理解を深め、コミュニケーション能力の向上を図ることができた。今後は英語指導助手の効果を検証し、効果的な活用及び実施手法を検討する必要がある。		

平成 27 年度決算成果説明書

総合計画の体系		所管部局
大分類	04 生きる力を育む教育の充実と生涯学習の推進のまち	教育部
中分類	01 学校教育の充実	
小分類	01 幼稚園、小・中学校教育の充実	

事務事業名	小中一貫教育推進費	所管課	一貫教育課
		決算額	47,944千円
事業内容	<p>義務教育9年間の学びの連続性を意識した系統的、継続的な指導を行い、子どもたちの学習意欲を高め、確かな学力を身に付けさせることをねらいとした小中一貫教育を推進する。全ての中学校ブロックにチーフコーディネーターと教科連携教員を配置し、きめ細かな指導を進め、小中一貫教育を実施する。</p>		
成果・実績	<p>市内10中学校ブロックの全小・中学校において小中一貫教育を推進するにあたり、全中学校ブロックでチーフコーディネーターと教科連携教員を選任するために市費負担非常勤講師を配置して、系統的・継続的指導を進めた。</p> <p>また、小中一貫教育を推進するにあたり「宇治市小中一貫教育推進協議会」による取組状況の進行管理並びに、各中学校ブロックの取組への支援及びリーフレット発行による広報・啓発を行った。</p> <p style="margin-left: 20px;">宇治市小中一貫教育推進協議会 110千円 学識経験者、保護者、地域関係団体、教職員により構成し、本市小中一貫教育の取組についての進行管理を行った。</p> <p style="margin-left: 20px;">小中一貫教育取組推進教員の配置 46,935千円 全中学校ブロックに小中一貫教育非常勤講師（チーフコーディネーター後補充教員及び教科連携教員）を配置し、系統的・継続的指導を進めた。</p> <p style="margin-left: 20px;">広報及び啓発 899千円 小中一貫教育の推進及び啓発を目的として広報紙を作成し、市内保育所、幼稚園及び小・中学校の各家庭及び公民館などの市関係公共機関に配布した。 また、各中学校ブロックの取組推進並びに啓発を目的としてブロック広報紙等を作成した。</p>		
事業評価	<p>小中一貫教育の推進により、義務教育期間の連続性を考慮した指導等を実施することができた。一貫教育の推進状況の把握、分析に努め、今後のあり方について検討する必要がある。</p>		

平成 27 年度決算成果説明書

総合計画の体系	
大分類	04 生きる力を育む教育の充実と生涯学習の推進のまち
中分類	01 学校教育の充実
小分類	01 幼稚園、小・中学校教育の充実

所管部局
教育部


事務事業名	青少年電話相談活動費	所管課	教育支援課																					
		決算額	3,736千円																					
事業内容	青少年の人的成長を育むため、市民ボランティア相談員が電話で青少年問題に係る相談を受ける。																							
成果・実績	<p>午前9時から午後5時まで3交替制で243日、相談を実施した。相談内容は「健康」「家族」「人生」「教育」に関わる相談が全体の6割を占めている。</p> <table style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <thead> <tr> <th colspan="2">相談件数推移</th> <th colspan="5">(件)</th> </tr> <tr> <th>年度</th> <th></th> <th>23</th> <th>24</th> <th>25</th> <th>26</th> <th>27</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>件数</td> <td></td> <td>697</td> <td>477</td> <td>471</td> <td>668</td> <td>519</td> </tr> </tbody> </table>			相談件数推移		(件)					年度		23	24	25	26	27	件数		697	477	471	668	519
相談件数推移		(件)																						
年度		23	24	25	26	27																		
件数		697	477	471	668	519																		
事業評価	青少年及び保護者などが相談しやすい環境を整備することにより、青少年の人的成長に寄与することができた。市民ニーズ及び事業効果を踏まえて、京都府等本市以外の相談窓口との役割分担及び制度の周知など運営手法を検討する必要がある。																							

事務事業名	学校支援チーム活動費	所管課	教育支援課
		決算額	8,008千円
事業内容	いじめ及び不登校といった教育課題への取組を推進するため、学校現場のみでは解決困難な問題について、組織的、体系的な支援を行う。		
成果・実績	<p>学校等のみでは解決が困難であったり、解決にあたり時間を要する問題について、専門的な助言及び支援を行い、現場の教職員が幼児、児童・生徒と向き合う時間をより一層確保できるように、社会福祉士、臨床心理士などの専門家を交えた「宇治市学校支援チーム」を設置し、また、顧問弁護士及びスクールソーシャルワーカーを配置することにより、学校支援の取組を進めた。</p> <p style="text-align: center;">支援チーム会議開催数 13回</p>		
事業評価	「宇治市学校支援チーム」を設置し、平成27年度からは顧問弁護士及びスクールソーシャルワーカーを配置して、円滑な運営に取り組んだことにより、学校現場で起こる解決困難な問題等に対して、専門的、組織的な支援を行うことができた。問題事象は増加傾向にあり、効果的な学校支援の方法を検討する必要がある。		

平成27年度決算成果説明書

総合計画の体系		所管部局
大分類	04 生きる力を育む教育の充実と生涯学習の推進のまち	教育部
中分類	01 学校教育の充実	
小分類	03 総合的に進める教育の充実	


事務事業名	少年補導活動費	所管課	教育支援課
		決算額	5,578千円
事業内容	少年補導委員を中心に、街頭補導活動、社会環境浄化活動、市民啓発活動などを実施し、地域での青少年非行の未然防止に努め、青少年の健全育成を図る。		
成果・実績	<p>各小学校区ごとに補導委員として120人を委嘱し、毎月の校区補導、特別ブロック補導、県祭りでの全体補導、パネル展、地域懇談会、社会環境調査、浄化活動などを実施した。</p> <p>啓発パネル展 2回開催 (7月1日～7月10日、11月4日～11月13日) 地域懇談会(校区の小・中学校及び育友会・PTAと共催) 10中学校区で開催 宇治市少年補導委員会だより「北極星」の発行</p>		
事業評価	地域住民を主体とする警察と連携した活動を実施し、青少年の非行の未然防止に取り組んだ。各種団体との連携を図る中で、活動の維持、活性化に努め、今後も引き続き実施する。		

事務事業名	中学生の主張大会開催費	所管課	教育支援課
		決算額	761千円
事業内容	宇治市教育委員会・宇治市青少年健全育成協議会・宇治市連合育友会の共催により、中学生、保護者、市民などが参加し、各中学校の代表生徒が主張を発表して互いに考え学び合う機会とするとともに、市民全般に中学生への理解と認識を深め、青少年の健全育成を推進する。		
成果・実績	<p>中学生が考え、悩み、求めていることを発表し、市民の青少年に対する理解と認識を深めるため、「第34回宇治市『中学生の主張』大会」を開催した。</p> <p>開催日 11月14日 開催場所 宇治市文化センター小ホール 発表者数 中学生11人 参加者数 421人</p> 		
事業評価	中学生が学校や家庭・地域での生活の中で、考え、悩み、求めていることを発表することにより、同世代の青少年が学び合うとともに、市民全般の中学生に対する理解と認識を深めることができた。一般市民の参加者の増加に努めながら、今後も引き続き実施する。		

平成 27 年度決算成果説明書

総合計画の体系	
大分類	04 生きる力を育む教育の充実と生涯学習の推進のまち
中分類	01 学校教育の充実
小分類	03 総合的に進める教育の充実

所管部局
教育部

事務事業名	青少年健全育成推進費	所管課	教育支援課
		決算額	2,460千円
事業内容	青少年の健全育成及び社会環境づくりの推進を図るため、社会参加等の青少年育成事業を実施するとともに、青少年育成団体の活動を助成し、青少年育成に係る啓発活動を行う。		
成果・実績	市内団体で組織されている青少年健全育成協議会の活動に対し支援を行った。また、次世代の地域活動を担う人材育成のため、ジュニアリーダーの養成学習会を府立青少年海洋センター（マリンピア）で行った。		
	青少年健全育成協議会補助金 1,500千円 ジュニアリーダー養成（ふる里）学習会 960千円		
事業評価	各種関係団体が連携しながら、活動を実施したことにより、青少年の健全育成を図ることができた。中・高校生を中心としたジュニアリーダー活動をより活性化するために、活動の内容及び広報の充実に努める必要がある。		

事務事業名	生徒指導研究推進費	所管課	教育支援課																
		決算額	2,973千円																
事業内容	児童・生徒の問題行動は低年齢化等の課題があり、適切な指導体制、相談体制を確保するため、生徒指導の推進と研究、指導体制の整備、保護者に対する啓発などを行う。また、「いじめ防止月間」を設定し、いじめ防止の取組を強化する。																		
成果・実績	生徒指導の研究及び保護者への啓発を行うとともに、児童・生徒の問題行動に対し適切な指導を行うため、教職員に対して事例研究セミナー等を開催した。また、11月を「いじめ防止月間」として設定し、いじめ防止のための啓発活動を実施した。																		
	<table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 20%;">問題行動</td> <td style="width: 10%;">延べ指導人数</td> <td style="width: 10%;">小学校</td> <td style="width: 10%;">586人（前年比 65人増）</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>中学校</td> <td>878人（前年比 535人減）</td> </tr> <tr> <td>不登校</td> <td>人数</td> <td>小学校</td> <td>84人（前年比 13人増）</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>中学校</td> <td>201人（前年比 28人増）</td> </tr> </table>	問題行動	延べ指導人数	小学校	586人（前年比 65人増）			中学校	878人（前年比 535人減）	不登校	人数	小学校	84人（前年比 13人増）			中学校	201人（前年比 28人増）		
問題行動	延べ指導人数	小学校	586人（前年比 65人増）																
		中学校	878人（前年比 535人減）																
不登校	人数	小学校	84人（前年比 13人増）																
		中学校	201人（前年比 28人増）																
事業評価	生徒指導の研究及び保護者への啓発などを実施したことにより、適切な生徒指導に努めることができた。今後は、問題行動の低年齢化に対応するため、さらなる指導力の向上に向けた取組を検討する必要がある。																		

平成27年度決算成果説明書

総合計画の体系	
大分類	04 生きる力を育む教育の充実と生涯学習の推進のまち
中分類	01 学校教育の充実
小分類	03 総合的に進める教育の充実

所管部局
教育部

事務事業名	適応指導教室運営費	所管課	教育支援課																				
		決算額	8,344千円																				
事業内容	不登校の児童・生徒が学校生活及び社会生活に適応できるように、教室を開設し、小集団による援助・指導を行う。																						
成果・実績	<p>小学校3年生から中学校3年生までの不登校児童・生徒に対して、個々の状態に応じて適応指導教室で受け入れ、学校、保護者、関係機関と連携を図り、学校復帰へ向けて支援を行った。</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 30%;">在籍児童・生徒数</td> <td style="width: 20%;"></td> <td style="width: 20%; text-align: right;">11人</td> <td style="width: 30%;"></td> </tr> <tr> <td>改善状況</td> <td>学校復帰</td> <td style="text-align: right;">4人</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>部分登校</td> <td style="text-align: right;">2人</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>好転</td> <td style="text-align: right;">3人</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>変化なし</td> <td style="text-align: right;">2人</td> <td></td> </tr> </table>			在籍児童・生徒数		11人		改善状況	学校復帰	4人			部分登校	2人			好転	3人			変化なし	2人	
在籍児童・生徒数		11人																					
改善状況	学校復帰	4人																					
	部分登校	2人																					
	好転	3人																					
	変化なし	2人																					
事業評価	適応指導教室を通して支援・指導を行うことにより、児童・生徒の学校・社会生活への適応を促進することができた。複合した要因を持つ不登校児童・生徒が増加傾向にあり、学校及び関係機関との連携を強化する中で、効果的な教室運営に努める必要がある。																						

事務事業名	心と学びのパートナー派遣事業費	所管課	教育支援課				
		決算額	3,339千円				
事業内容	問題行動及び不登校の未然防止を図るため、児童・生徒が身近に感じられる兄姉的な若い世代の相談員を配置し、いつでも気軽に相談できる環境をつくる。						
成果・実績	<p>別室登校及び不登校傾向の児童・生徒の悩みに気軽に応じる相談員として、臨床心理を専攻する大学院生を中心とした「心と学びのパートナー」を市内10中学校に派遣した。小学生の不登校増加に伴い、平成26年度は2小学校に、平成27年度からは4小学校に拡充し、計23名派遣した。</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 30%;">対応延べ人数</td> <td style="width: 20%;"></td> <td style="width: 20%; text-align: right;">1,581人</td> <td style="width: 30%;"></td> </tr> </table>			対応延べ人数		1,581人	
対応延べ人数		1,581人					
事業評価	児童・生徒の悩みに気軽に応じる相談員を配置したことにより、家庭・学校・関係機関等と連携しながら問題行動及び不登校の未然防止を図ることができた。事業効果の分析に取り組む中で、今後も相談員となる人材の確保に努める必要がある。						

平成27年度決算成果説明書

総合計画の体系	
大分類	04 生きる力を育む教育の充実と生涯学習の推進のまち
中分類	01 学校教育の充実
小分類	03 総合的に進める教育の充実

所管部局
教育部

事務事業名	メンタルフレンド推進事業費	所管課	教育支援課																	
		決算額	1,312千円																	
事業内容	家庭に閉じこもった状態の不登校児童・生徒宅へ学生ボランティアを派遣し、心のふれあいを通して学校復帰へのきっかけをつくる。																			
成果・実績	<p>学生ボランティアが不登校、引きこもり状態の児童・生徒（小学校3年生～中学校3年生）の家庭を定期的に訪問し、「よき友」「よき兄妹」として寄り添いながら、生活に密着した相談活動を行い、学校生活への復帰を支援した。</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 30%;">派遣家庭児童・生徒数</td> <td style="width: 20%;"></td> <td style="width: 20%; text-align: right;">9人</td> <td style="width: 30%;"></td> </tr> <tr> <td rowspan="4">改善状況</td> <td>学校復帰</td> <td style="text-align: right;">0人</td> <td></td> </tr> <tr> <td>部分登校</td> <td style="text-align: right;">5人</td> <td></td> </tr> <tr> <td>好転</td> <td style="text-align: right;">4人</td> <td></td> </tr> <tr> <td>変化なし</td> <td style="text-align: right;">0人</td> <td></td> </tr> </table>			派遣家庭児童・生徒数		9人		改善状況	学校復帰	0人		部分登校	5人		好転	4人		変化なし	0人	
派遣家庭児童・生徒数		9人																		
改善状況	学校復帰	0人																		
	部分登校	5人																		
	好転	4人																		
	変化なし	0人																		
事業評価	児童・生徒に寄り添った相談を実施したことにより、学校復帰へのきっかけとすることができた。今後も学校と連携し、訪問対象家庭への働きかけを強化するなど、学校復帰に向けた効果的な支援に努める必要がある。																			

総合計画の体系	
大分類	04 生きる力を育む教育の充実と生涯学習の推進のまち
中分類	02 生涯学習の充実
小分類	01 生涯学習の推進

所管部局
教育部

事務事業名	放課後子ども教室支援事業費	所管課	教育支援課																				
		決算額	185千円																				
事業内容	平日の放課後及び土曜日の午前中に、地域住民等で構成される推進組織の運営により、子どもに安全・安心な居場所を提供し、自主的な学習及びスポーツ・文化活動、地域住民との交流活動などの支援を行う。また、地域の人材を活用することによって地域と学校との連携を図り、子どもが心豊かで健やかに育まれる環境づくりを進める。																						
成果・実績	<p>遊び及び学びの場を提供する地域活動に対して、教育活動推進員及び教育活動サポーターの派遣を行い、子どもの放課後の居場所を確保した。</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 30%;">推進組織</td> <td style="width: 20%;">北檜つながりプロジェクト</td> <td style="width: 30%;"></td> <td style="width: 20%;"></td> </tr> <tr> <td>開催場所</td> <td>北檜島小学校</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>開催期間</td> <td>5月9日～28年3月9日</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>開催回数</td> <td>24回</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>参加人数</td> <td>延べ1,252人</td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			推進組織	北檜つながりプロジェクト			開催場所	北檜島小学校			開催期間	5月9日～28年3月9日			開催回数	24回			参加人数	延べ1,252人		
推進組織	北檜つながりプロジェクト																						
開催場所	北檜島小学校																						
開催期間	5月9日～28年3月9日																						
開催回数	24回																						
参加人数	延べ1,252人																						
事業評価	放課後を活用した遊びと学びの場を提供することにより、子どもを地域で育てる社会教育の環境づくりを推進することができた。教室を持続的に運営するための地域の安定した協力体制の構築等が課題であり、人材の確保等を検討する必要がある。																						



平成27年度決算成果説明書

総合計画の体系	
大分類	04 生きる力を育む教育の充実と生涯学習の推進のまち
中分類	02 生涯学習の充実
小分類	03 歴史資料の充実と古典文化の普及

所管部局
教育部

事務事業名	企画展示費	所管課	源氏物語ミュージアム
		決算額	2,423千円
事業内容	<p>話題性のある企画展の開催はミュージアムの広報・宣伝にもつながり、企画展を目的としたリピーターを含む来館者を誘致する。館蔵品のみではなく、他館及び関係者から作品・資料を借用し、毎回テーマを決めて魅力ある展示を行う。</p>		
成果・実績	<p>様々な視点から趣向を凝らし、源氏物語及び平安時代の文化を紹介する展示を行った。</p> <p>源氏物語の美術工芸 平成27年2月18日～4月19日 館蔵品・寄託品を中心に、『源氏物語』を題材とした美術工芸品を展示した。</p> <p>小林等の源氏絵 4月22日～7月5日 日本画家小林等の描いた源氏絵54点（当館蔵）を展示した。</p> <p>絵で見る平安時代 王朝びとのくらし 7月8日～9月27日 夏休み期間にあわせた小・中学生向けの企画展で、『源氏絵鑑帖』（当館蔵）を中心に、特に牛車に焦点を当て、絵画資料から平安時代の貴族の暮らしを探った。関連事業として、館長からの招待状を配布、源氏探検、ギャラリートークを実施した。</p> <p>小倉百人一首殿堂「時雨殿」連携企画 紫式部と源氏物語 9月30日～11月29日 秋の観光シーズンに「紫式部」をテーマとした連携企画展を開催した。当館では、『源氏物語』の作者紫式部の足跡と、後世に語り継がれた様々な伝承を紹介した。</p> <p>宇治市歴史資料館合同企画 「源氏」的なるものと宇治 都名所図会の世界 12月2日～平成28年2月14日 「源氏」とは何か？『源氏物語』『平家物語』を切り口に、双方の館蔵品を展示し、宇治をはじめ「源氏」ゆかりの名所を紹介した。</p> <p>源氏物語 かさねの色目 宇治十帖の世界 平成28年2月18日～4月17日 染織史家吉岡幸雄氏が再現した『源氏物語』『かさねの色目』から、宇治十帖シリーズを中心に展示した。</p>		
	事業評価	<p>毎回テーマを工夫した話題性のある企画展の開催により、観覧者に満足度の高い展示を提供することができた。今後も、他施設等と連携を図り、魅力ある企画展を開催するとともに、積極的な広報を実施し、リピーターを含む入館者の増加に努める必要がある。</p>	



平成27年度決算成果説明書

総合計画の体系	
大分類	04 生きる力を育む教育の充実と生涯学習の推進のまち
中分類	02 生涯学習の充実
小分類	03 歴史資料の充実と古典文化の普及

所管部局
教育部

事務事業名	源氏物語ミュージアム広報活動費	所管課	源氏物語ミュージアム
		決算額	1,148千円
事業内容	「源氏物語をテーマとしたまちづくり」の中核的役割を担う施設として、初めての来館者の獲得をはじめ、リピーターの増加を目指し、広報宣伝活動を行う。		
成果・実績	旅行情報誌等、計6誌に当館の広告を掲載した。広告には観覧料の割引等を付け、来館者増加に向けて、積極的に周知・PRを行った。新たに、東京メトロガイドに挿入される「京あれこれ」に広告を掲載し、関東方面からの誘客を図った。		
事業評価	旅行雑誌等への広告掲載を中心とした広報活動に加え、関東地方の鉄道会社設置のフリーペーパーを用いた広報を行ったことにより、関東方面からの集客につながった。今後は、近年増加している外国人観光客に向けた広報を強化し、国内外の観光客の誘致を図り、入館者の確保に努める必要がある。		

事務事業名	講座等開催費	所管課	源氏物語ミュージアム																																				
		決算額	999千円																																				
事業内容	源氏物語及び平安時代の文化について、より理解を深めるために、講演会及び講座などを実施する。ミュージアムの展示を観覧し、源氏物語及び平安時代の文化について、興味及び関心を抱いた来館者のニーズに応え、さらに学ぶ機会を提供するとともに、より多くの人にミュージアムの存在を知ってもらうきっかけをつくる。																																						
成果・実績	<p>連続講座、源氏物語セミナーは、最新の研究を織り交ぜた講義により、深く学べる場を提供した。かるた教室は子どもたちが積極的に参加し、恒例行事として定着している。さらに参加・体験型事業として源氏香に関する聞香会と、古代の繊維でプレスレットを作る子ども体験型教室を開催した。</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td>連続講座「私」と源氏物語」(全10回)</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>5月～平成28年3月</td> <td>参加者数</td> <td style="text-align: right;">延べ1,062人</td> </tr> <tr> <td>入門講座「源氏物語の雅と俗」(全8回)</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>5月～平成28年2月</td> <td>参加者数</td> <td style="text-align: right;">延べ816人</td> </tr> <tr> <td>源氏物語セミナー「源氏物語の奥深い楽しみ」</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>10月17日</td> <td>参加者数</td> <td style="text-align: right;">125人</td> </tr> <tr> <td>聞香会 源氏香の世界</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>平成28年1月17日</td> <td>参加者数</td> <td style="text-align: right;">13人</td> </tr> <tr> <td>子ども体験型教室「古代の繊維カラムシでプレスレットを作ろう！」</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>平成28年2月14日</td> <td>参加者数</td> <td style="text-align: right;">11人</td> </tr> <tr> <td>かるた教室</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>平成28年3月13日</td> <td>参加者数</td> <td style="text-align: right;">50人</td> </tr> </table>			連続講座「私」と源氏物語」(全10回)			5月～平成28年3月	参加者数	延べ1,062人	入門講座「源氏物語の雅と俗」(全8回)			5月～平成28年2月	参加者数	延べ816人	源氏物語セミナー「源氏物語の奥深い楽しみ」			10月17日	参加者数	125人	聞香会 源氏香の世界			平成28年1月17日	参加者数	13人	子ども体験型教室「古代の繊維カラムシでプレスレットを作ろう！」			平成28年2月14日	参加者数	11人	かるた教室			平成28年3月13日	参加者数	50人
連続講座「私」と源氏物語」(全10回)																																							
5月～平成28年3月	参加者数	延べ1,062人																																					
入門講座「源氏物語の雅と俗」(全8回)																																							
5月～平成28年2月	参加者数	延べ816人																																					
源氏物語セミナー「源氏物語の奥深い楽しみ」																																							
10月17日	参加者数	125人																																					
聞香会 源氏香の世界																																							
平成28年1月17日	参加者数	13人																																					
子ども体験型教室「古代の繊維カラムシでプレスレットを作ろう！」																																							
平成28年2月14日	参加者数	11人																																					
かるた教室																																							
平成28年3月13日	参加者数	50人																																					
事業評価	子どもから大人まで幅広い世代が参加・体験できる講座等を実施し、多くの学習機会を提供したことにより、源氏物語及び平安時代の文化への理解を深めることができた。今後も、多様な事業を展開することにより、新たな参加者の獲得に努める必要がある。																																						



平成27年度決算成果説明書

総合計画の体系	
大分類	04 生きる力を育む教育の充実と生涯学習の推進のまち
中分類	02 生涯学習の充実
小分類	01 生涯学習の推進

所管部局
教育部

事務事業名	生涯学習センター講座等開催費	所管課	生涯学習センター
		決算額	2,135千円

事業内容 宇治市教育振興基本計画に基づき、生涯学習センター及び公民館などで、市民のライフステージに対応した講座・事業を実施し、学習の機会を提供する。

各種講座を実施し、学習機会の確保と学習情報提供の充実など生涯学習を推進した。

社会・時代の変化に対応する講座

事業名	回数	参加人数
環境講座「失敗や想定外事態から学ぶ」	3	69
安心Myコミュニティのための防災減災	3	49
インターネットを使用した講座 人とどう向き合うか?	1	-
近現代史を学ぶ 「昭和初期から太平洋戦争終結後まで」	3	135
暮らしに役立つ金融経済講座	3	257

青少年を対象とする講座・事業

事業名	回数	参加人数
こどもスポーツチャンバラ道場	5	115
夏休み子どもフェア(2日間)	1	2,800
小学生のための講座「理科出前実験授業」	5	62
自分リサーチ講座	3	29

成果・実績



環境講座



夏休み子どもフェア

教養講座

事業名	回数	参加人数
国際交流講座「こんにちは! AETです」	1	21
天気に関心講座	3	53
古典に関心講座「『枕草子』を読む楽しさ」	3	126
漢字の何故?	3	146
最先端の科学を学ぶ講座「地球環境の未来」	3	38

映画鑑賞事業

事業名	回数	参加人数
文化庁優秀映画鑑賞推進事業(2日間)	1	291
第18回バリアフリー映画上映会「愛を積むひと」	1	340

平成27年度決算成果説明書

総合計画の体系	
大分類	04 生きる力を育む教育の充実と生涯学習の推進のまち
中分類	02 生涯学習の充実
小分類	01 生涯学習の推進

所管部局
教育部



事務事業名	生涯学習センター講座等開催費	所管課	生涯学習センター
		決算額	2,135千円

成果・実績	生涯学習団体等の育成・人材養成と活用																										
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>事業名</th> <th>回数</th> <th>参加人数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>センター協力者・グループ交流会</td> <td>1</td> <td>27</td> </tr> <tr> <td>ロビー展 ミニ講習会</td> <td>15</td> <td>145</td> </tr> <tr> <td>うじ市民活動サポート事業(12事業)</td> <td>31</td> <td>887</td> </tr> <tr> <td>災害とボランティア</td> <td>5</td> <td>66</td> </tr> <tr> <td>はじめよう!セカンドライフ</td> <td>6</td> <td>104</td> </tr> <tr> <td>Uji 手づくり市</td> <td>6</td> <td>99</td> </tr> <tr> <td>孫育てから始める地域の子育て応援講座</td> <td>4</td> <td>17</td> </tr> </tbody> </table>			事業名	回数	参加人数	センター協力者・グループ交流会	1	27	ロビー展 ミニ講習会	15	145	うじ市民活動サポート事業(12事業)	31	887	災害とボランティア	5	66	はじめよう!セカンドライフ	6	104	Uji 手づくり市	6	99	孫育てから始める地域の子育て応援講座	4	17
	事業名	回数	参加人数																								
	センター協力者・グループ交流会	1	27																								
	ロビー展 ミニ講習会	15	145																								
	うじ市民活動サポート事業(12事業)	31	887																								
	災害とボランティア	5	66																								
	はじめよう!セカンドライフ	6	104																								
	Uji 手づくり市	6	99																								
	孫育てから始める地域の子育て応援講座	4	17																								
家庭の教育力向上のための講座																											
<table border="1"> <thead> <tr> <th>事業名</th> <th>回数</th> <th>参加人数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>おやこっくらんど</td> <td>11</td> <td>744</td> </tr> <tr> <td>中学生の福祉体験事業の受け入れ</td> <td>1</td> <td>9</td> </tr> <tr> <td>小学生の親のための講座「どうなっているの?小学校算数」</td> <td>2</td> <td>93</td> </tr> <tr> <td>小学生の親のための講座「小学校国語・音読は何のためにするの?」</td> <td>2</td> <td>69</td> </tr> <tr> <td>思春期講座「変化する子ども社会」</td> <td>2</td> <td>16</td> </tr> <tr> <td>学ぼう!子どもの食と栄養</td> <td>4</td> <td>55</td> </tr> </tbody> </table>			事業名	回数	参加人数	おやこっくらんど	11	744	中学生の福祉体験事業の受け入れ	1	9	小学生の親のための講座「どうなっているの?小学校算数」	2	93	小学生の親のための講座「小学校国語・音読は何のためにするの?」	2	69	思春期講座「変化する子ども社会」	2	16	学ぼう!子どもの食と栄養	4	55				
事業名	回数	参加人数																									
おやこっくらんど	11	744																									
中学生の福祉体験事業の受け入れ	1	9																									
小学生の親のための講座「どうなっているの?小学校算数」	2	93																									
小学生の親のための講座「小学校国語・音読は何のためにするの?」	2	69																									
思春期講座「変化する子ども社会」	2	16																									
学ぼう!子どもの食と栄養	4	55																									
<div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;">  <p>災害とボランティア</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>孫育てから始める地域の子育て応援講座</p> </div> </div>																											
その他の事業																											
<table border="1"> <thead> <tr> <th>事業名</th> <th>回数</th> <th>参加人数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>NHK公開講演会 特別展覧会 桃山時代の狩野派「狩野派、生き残り“大作戦”」</td> <td>1</td> <td>139</td> </tr> <tr> <td>NHK公開講演会 奈良国立博物館開館120年記念特別展「白鳳の考古学」～古墳の終焉を考える～</td> <td>1</td> <td>103</td> </tr> </tbody> </table>			事業名	回数	参加人数	NHK公開講演会 特別展覧会 桃山時代の狩野派「狩野派、生き残り“大作戦”」	1	139	NHK公開講演会 奈良国立博物館開館120年記念特別展「白鳳の考古学」～古墳の終焉を考える～	1	103																
事業名	回数	参加人数																									
NHK公開講演会 特別展覧会 桃山時代の狩野派「狩野派、生き残り“大作戦”」	1	139																									
NHK公開講演会 奈良国立博物館開館120年記念特別展「白鳳の考古学」～古墳の終焉を考える～	1	103																									

事業評価	講座等を開催することにより、市民の生涯学習の充実、地域での市民交流、地域で活動する人材の育成を図ることができた。今後も引き続き、市民ニーズの把握・分析に努め、市民が主体的に生涯学習に取り組む機会となるように努める必要がある。
------	--

平成27年度決算成果説明書

総合計画の体系		所管部局
大分類	04 生きる力を育む教育の充実と生涯学習の推進のまち	教育部
中分類	02 生涯学習の充実	
小分類	01 生涯学習の推進	

事務事業名	市民まなびの集い(宇治まなびんぐ)	所管課	生涯学習センター
		決算額	281千円
事業内容	「つながれ・ひろがれ・まなびの”わ”」をテーマに、生涯学習に取り組んでいる人々の日常活動の発表と交流、及びこれから何かを始めたい人にきっかけづくりの場を提供するため、「市民まなびの集い(宇治まなびんぐ)」を開催する。		
成果・実績	<p>市民公募による実行委員会形式によって、「宇治まなびんぐ2016」を平成28年2月6日・7日に開催した。例年と同じく、実行委員が準備及び当日の運営を主体的に行った。また、当日ボランティアが出展者補助等を積極的に行った。両日の参加団体・個人(出展数)45、参加者延べ人数は約900人を数えた。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;">  <p>ジャグリング体験</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>昔話の紙芝居</p> </div> </div>		
事業評価	市民主体で生涯学習の発表の場を設置することにより、学習意欲の向上と市民相互の交流を進めることができた。参加体験型を中心とした出展を充実させ、交流の機会を提供し参加者の増加を促しながら、市全体での生涯学習の発展に努める必要がある。		

事務事業名	生涯学習推進費(学習情報の収集と提供)	所管課	生涯学習センター
		決算額	52千円
事業内容	市民へ適切かつ迅速に情報提供できるように、学習情報を収集・整理し、生涯学習センター内に情報コ-ナ-を設置する。また、視聴覚ビデオライブラリーの活用を図る。		
成果・実績	<p>視聴覚ライブラリーで、多様なジャンルの視聴覚教材を1,645本所蔵し、市民の生涯学習及び小中学校での学習に活用されるよう広報に取り組んだ。貸出し件数は87件、延べ275本のソフトを貸し出した。</p> <p>視聴覚ライブラリー教材購入費 52千円</p>		
事業評価	学習情報の提供により、市民の生涯学習及び地域活動を促進することができた。市民のニーズの分析に努め、多くの市民が幅広く活用できるようにするため、周知方法の工夫等を図りながら、今後も引き続き実施する。		

平成27年度決算成果説明書

総合計画の体系		所管部局
大分類	04 生きる力を育む教育の充実と生涯学習の推進のまち	教育部
中分類	02 生涯学習の充実	
小分類	01 生涯学習の推進	

事務事業名	高齢者活動事業費	所管課	生涯学習センター												
		決算額	100千円												
事業内容	<p>高齢者が学び及び活動の成果を、豊かな暮らしの創造及び新しい地域づくりに活かすこと、また、若年者が学び及び活動の成果を、高齢者の豊かな暮らしの創造及び世代間交流などを目指した新しい地域づくりに活かすことを目的として、すでに自主活動に取り組んでいる団体が新しい活動を展開していくための支援を行った。</p>														
成果・実績	<p>平成27年度採択事業</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; margin-top: 10px;"> <thead> <tr> <th style="width: 25%;">団体名</th> <th style="width: 15%;">支援金</th> <th style="width: 40%;">内容</th> <th style="width: 20%;">参加者数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>京都府南部広域ふるさと探訪クラブ</td> <td style="text-align: center;">5万</td> <td>わくわくシルバー学びの歴史健康ウォーク</td> <td style="text-align: center;">182</td> </tr> <tr> <td>ええとこめっけuji</td> <td style="text-align: center;">5万</td> <td>「宇治と森一族・墓の謎」</td> <td style="text-align: center;">65</td> </tr> </tbody> </table>			団体名	支援金	内容	参加者数	京都府南部広域ふるさと探訪クラブ	5万	わくわくシルバー学びの歴史健康ウォーク	182	ええとこめっけuji	5万	「宇治と森一族・墓の謎」	65
団体名	支援金	内容	参加者数												
京都府南部広域ふるさと探訪クラブ	5万	わくわくシルバー学びの歴史健康ウォーク	182												
ええとこめっけuji	5万	「宇治と森一族・墓の謎」	65												
事業評価	<p>新たな高齢者活動の事業を企画、実施する団体を支援することにより、高齢者の生きがいづくりと参加者同士の交流を図ることができた。今後も、事業効果を検証しつつ、自主的な活動を促進し、生涯学習グループの活性化及び多世代交流に努める必要がある。</p>														

事務事業名	生涯学習センター再整備事業費	所管課	生涯学習センター
		決算額	25,594千円
事業内容	<p>生涯学習センターは、宇治市地域防災計画において、災害時に中核的機能を果たす第3次避難所として位置付けられている。（収容人数400人） 本事業では、避難時における停電時等に必要な電力が確保できるように、太陽光発電のための設備を設置する工事を行う。</p>		
成果・実績	<p>再生可能エネルギーシステム設置工事 25,594千円 災害時（停電時）に避難施設として利用するため、第1ホール及び第2ホールのコンセントに電力を供給する太陽光発電設備を設置する工事を行った。</p>		
事業評価	<p>災害時における中核的機能を果たす第3次避難所として利用できるように環境を整備し、災害への対応力の強化を図ることができた。今後も適切な施設管理に努める。</p>		

平成 27 年度決算成果説明書

総合計画の体系		所管部局
大分類	04 生きる力を育む教育の充実と生涯学習の推進のまち	教育部
中分類	02 生涯学習の充実	
小分類	01 生涯学習の推進	

事務事業名	図書館資料提供費等	所管課	各図書館		
		決算額	20,962千円		
事業内容	地域の情報拠点として、多様化し高度化する市民の生涯学習を支えるとともに読書活動を支援し、また、地域課題の解決支援及び情報提供などの利用者ニーズに応えるため、図書、雑誌、新聞をはじめ、郷土資料及び行政資料などを幅広く収集することにより、利用者に資料・情報を提供する。				
成果・実績	中央図書館資料提供費	12,374千円			
	東宇治図書館資料提供費	4,294千円			
	西宇治図書館資料提供費	4,294千円			
	資料数				
	館名	購入冊数	年度末蔵書数 (冊)	購入雑誌 (誌)	購入新聞 (紙)
	中央図書館	5,116	185,730	83	11
	東宇治図書館	2,233	63,914	47	9
	西宇治図書館	2,443	72,903	48	9
	合計	9,792	322,547	178	29
	利用状況				
館名等	貸出冊数	延べ貸出者数	登録者数	市民登録率(%)	
中央図書館	398,470	94,854	78,446	40.9	
東宇治図書館	201,795	48,891			
西宇治図書館	213,342	54,183			
団体貸出	6,766	-			
合計	820,373	197,928			
団体貸出					
16団体（地域文庫・家庭文庫、笠取地区、青少年センター）に、4,980冊の貸出を行った。					
19団体（幼稚園、小・中学校）に、1,786冊の貸出を行った。					
予約配本サービス					
図書館から遠い地域の利用者へのサービス向上のため、予約図書を週1回、5カ所の配本所に搬送し、13,628冊の貸出を行った。					
資料の活用（リサイクル事業：年1回）					
図書館資料の有効活用を図るため「リサイクル市」を11月22日に開催し、除籍した図書や保存期限の過ぎた雑誌などを市民に提供した。					
リサイクルした冊数5,854冊					

平成27年度決算成果説明書

総合計画の体系		所管部局
大分類	04 生きる力を育む教育の充実と生涯学習の推進のまち	教育部
中分類	02 生涯学習の充実	
小分類	01 生涯学習の推進	

事務事業名	図書館資料提供費等	所管課	各図書館
		決算額	20,962千円

成果・実績	読書の普及に向けて下記の取組を実施した。 図書展示 成人書 中央図書館：「IEYASU～徳川家康没後400年～」ほか16回 東宇治図書館：「リンボウ先生の世界」ほか15回 西宇治図書館：「体を動かしてみませんか」ほか8回 児童書 中央図書館：「なつなつなつなつなつやすみ」ほか13回 東宇治図書館：「いろんなところへお・で・か・け」ほか11回 西宇治図書館：「ともだちの本」ほか11回 読書推進事業																	
	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 15%;">館名</th> <th style="width: 10%;">回数</th> <th style="width: 15%;">参加者数</th> <th style="width: 60%;">内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>中央図書館</td> <td>13</td> <td>565</td> <td rowspan="3">季節、読書週間にあわせた事業 (夏休み行事、クリスマス会、 工作教室、講演など)</td> </tr> <tr> <td>東宇治図書館</td> <td>8</td> <td>362</td> </tr> <tr> <td>西宇治図書館</td> <td>7</td> <td>452</td> </tr> </tbody> </table>				館名	回数	参加者数	内容	中央図書館	13	565	季節、読書週間にあわせた事業 (夏休み行事、クリスマス会、 工作教室、講演など)	東宇治図書館	8	362	西宇治図書館	7	452
	館名	回数	参加者数	内容														
	中央図書館	13	565	季節、読書週間にあわせた事業 (夏休み行事、クリスマス会、 工作教室、講演など)														
東宇治図書館	8	362																
西宇治図書館	7	452																
平成28年1月31日に「武田綾乃講演会～響け！ユーフォニアムに描いた宇治のまち、そして青春を語る～」を開催し、125人の参加を得た。 おはなしかい(中央図書館は出張おはなし会を含む)																		
<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 15%;">館名</th> <th style="width: 10%;">回数</th> <th style="width: 15%;">参加者数</th> <th style="width: 60%;">内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>中央図書館</td> <td>16</td> <td>348</td> <td rowspan="3">絵本の読み聞かせ、紙芝居、 ペープサートなど</td> </tr> <tr> <td>東宇治図書館</td> <td>17</td> <td>238</td> </tr> <tr> <td>西宇治図書館</td> <td>10</td> <td>95</td> </tr> </tbody> </table>				館名	回数	参加者数	内容	中央図書館	16	348	絵本の読み聞かせ、紙芝居、 ペープサートなど	東宇治図書館	17	238	西宇治図書館	10	95	
館名	回数	参加者数	内容															
中央図書館	16	348	絵本の読み聞かせ、紙芝居、 ペープサートなど															
東宇治図書館	17	238																
西宇治図書館	10	95																

学校等連携

館名	図書館見学 (小学校・幼稚園等)		中学生の 職場体験学習	
	学校等数 (校・園)	参加者数	学校数 (校)	人数
中央図書館	12	1,021	5	10
東宇治図書館	5	526	1	2
西宇治図書館	4	219	4	8

事業評価	幅広い資料の収集等の取組により、豊富な知識・情報の提供を行い、市民の生涯学習を促進することができた。今後も、運営・整備手法を検討しながら、多様なニーズへの対応に努める必要がある。
-------------	---

平成 27 年度決算成果説明書


総合計画の体系		所管部局	
大分類	04 生きる力を育む教育の充実と生涯学習の推進のまち	教育部	
中分類	02 生涯学習の充実		
小分類	01 生涯学習の推進		


事務事業名	映像資料等整備事業費	所管課	中央図書館												
		決算額	2,598千円												
事業内容	市民及び利用者の多様化・高度化した学習要求のニーズに応じるため、CD・DVDなど視聴覚資料を収集し利用者提供する。														
成果・実績	<p>視聴覚資料の導入 平成27年10月からCD・DVDの収集・貸出を開始し、地域の情報拠点・学習拠点である図書館の情報資源の充実を図った。</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 10%;"></th> <th style="width: 20%;">購入数(点)</th> <th style="width: 20%;">貸出数(点)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td style="text-align: center;">CD</td> <td style="text-align: center;">134</td> <td style="text-align: center;">833</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">DVD</td> <td style="text-align: center;">247</td> <td style="text-align: center;">1,695</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">合計</td> <td style="text-align: center;">381</td> <td style="text-align: center;">2,528</td> </tr> </tbody> </table>				購入数(点)	貸出数(点)	CD	134	833	DVD	247	1,695	合計	381	2,528
	購入数(点)	貸出数(点)													
CD	134	833													
DVD	247	1,695													
合計	381	2,528													
事業評価	視聴覚資料を導入することにより、市民の生涯学習を促進することができた。今後、所蔵スペースを考慮し、市民及び利用者のニーズを把握する中で、視聴覚資料の選定については十分に検討する必要がある。														

平成 27 年度決算成果説明書

総合計画の体系	
大分類	04 生きる力を育む教育の充実と生涯学習の推進のまち
中分類	02 生涯学習の充実
小分類	03 歴史資料の充実と古典文化の普及


所管部局
教育部

事務事業名	資料調査整理費	所管課	歴史資料館
		決算額	227千円
事業内容	本市関係歴史資料について、旧家及び社寺、博物館などが所蔵する資料の調査を行い、データの充実を図るとともに、収蔵資料調査報告書により成果を広く公開する。		
成果・実績	本市関係歴史資料を調査し、資料の収集を行い、当館所蔵資料の調査成果をまとめた「収蔵資料調査報告書」を刊行した。 収蔵資料調査報告書発行数 400部		 <p style="text-align: center;">戦争関係資料2 「収蔵資料調査報告書」18</p>
事業評価	歴史資料の調査を行い、その結果を報告書としてまとめ、刊行したことにより、本市の歴史・文化を広く公開することができ、市民の生涯学習の促進を図ることができた。今後も引き続き実施する。		

事務事業名	資料収集保存費	所管課	歴史資料館
		決算額	469千円
事業内容	資料を購入して充実を図るとともに、これらをより良い状態で後世に伝えるため、資料の燻蒸及び収蔵庫の環境維持に努める。		
成果・実績	本市関係歴史資料として下記の資料等を購入した。 主な購入資料 日本国際航空工業ポスター「ボクラノ空ダ」 関西鉄道・奈良鉄道合併「仮契約書」「覚書」 宇治茶摘み絵はがき 12点		 <p style="text-align: center;">ポスター「ボクラノ空ダ」</p>
事業評価	資料の収集及び保存・管理を適切に行うことにより、資料館に留まらず、他館への貸出等、広く活用を図ることができた。今後も資料の充実・保管・整理に努めていくとともに、活用を図っていく必要がある。		

平成27年度決算成果説明書

総合計画の体系		所管部局
大分類	04 生きる力を育む教育の充実と生涯学習の推進のまち	教育部
中分類	02 生涯学習の充実	
小分類	03 歴史資料の充実と古典文化の普及	

事務事業名	特別展示費	所管課	歴史資料館
		決算額	1,713千円
事業内容	本市の歴史に関する多様なテーマについて、調査・研究成果を市民に還元し、後世に伝えるため、展示、図録刊行、講演会開催を実施する。テーマは、その年に相応しい時宜を得たものを心がけ、原物資料、写真パネル・映像資料を組み合わせ、市民が親しみやすい展示に努める。		
成果・実績	<p>特別展を開催するとともに、図録を刊行し、講演会を開催した。</p> <p>展覧会名 宇治茶 - トップブランドの成立と展開 - 会期 10月3日～11月22日 入場者数 1,655人</p> <p>講演会「日本茶800年のあゆみ」 寺本益英（関西学院大学教授） 開催日時 10月28日 参加人数 81人</p>  <p>展覧会チラシ</p>		
事業評価	本市を代表する伝統産業である宇治茶をテーマにした展覧会及び講演会を実施したことにより、市民が歴史資料に親しむ機会を提供し、宇治の歴史について理解を深めることができた。今後も引き続き、工夫を凝らした話題性の高い展示を実施し、積極的な広報を図っていく必要がある。		

事務事業名	企画展示費	所管課	歴史資料館															
		決算額	168千円															
事業内容	開館以来収集してきた資料を活用した企画展を開催する。多種多様な収蔵資料をテーマごとに精選して、市民が宇治の歴史及び文化を身近に感じられる内容とする。また、写真展等市民参加型の展覧会も開催する。																	
成果・実績	<p>宇治の歴史及び文化財に関する様々な視点からテーマを設定し、展覧会を開催した。なお、戦争遺品展は本市平和都市推進協議会の主催、当館の共催事業である。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>展覧会名</th> <th>会期</th> <th>目録配布数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>江戸の本100冊 - 和本の世界 -</td> <td>5月16日～6月28日</td> <td>468</td> </tr> <tr> <td>戦争遺品展 - 戦後70年 -</td> <td>7月18日～9月6日</td> <td>570</td> </tr> <tr> <td>ちょっと昔の街と暮らし - 人口4万牛500頭 -</td> <td>12月5日～28年2月7日</td> <td>371</td> </tr> <tr> <td>宇治橋歴史語り - 10のキーワード -</td> <td>28年2月27日～4月24日</td> <td>415</td> </tr> </tbody> </table> <p>入場者推計：10,000人</p>			展覧会名	会期	目録配布数	江戸の本100冊 - 和本の世界 -	5月16日～6月28日	468	戦争遺品展 - 戦後70年 -	7月18日～9月6日	570	ちょっと昔の街と暮らし - 人口4万牛500頭 -	12月5日～28年2月7日	371	宇治橋歴史語り - 10のキーワード -	28年2月27日～4月24日	415
展覧会名	会期	目録配布数																
江戸の本100冊 - 和本の世界 -	5月16日～6月28日	468																
戦争遺品展 - 戦後70年 -	7月18日～9月6日	570																
ちょっと昔の街と暮らし - 人口4万牛500頭 -	12月5日～28年2月7日	371																
宇治橋歴史語り - 10のキーワード -	28年2月27日～4月24日	415																
事業評価	市民が宇治の歴史及び文化を身近に感じられるテーマを選び、展示を実施したことにより、市民の生涯学習の促進を図ることができた。今後も様々な角度から市民に親しまれるテーマを設定し、内容の充実に努めながら、引き続き実施する。																	

平成 27 年度決算成果説明書

総合計画の体系	
大分類	04 生きる力を育む教育の充実と生涯学習の推進のまち
中分類	02 生涯学習の充実
小分類	03 歴史資料の充実と古典文化の普及

所管部局
教育部

事務事業名	教育普及活動費	所管課	歴史資料館																				
		決算額	113千円																				
事業内容	歴史講座、古文書講習会を開催し、調査・研究成果を広く公開する。講師は、他の博物館及び大学などからも迎えて市民の歴史研究に資するとともに、博物館活動への理解を深める。																						
成果・実績	歴史講座2回と古文書講習会を開催し、あわせて延べ150人の参加があった。																						
	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th style="width: 15%;">種別</th> <th style="width: 15%;">開催日</th> <th style="width: 30%;">テーマ</th> <th style="width: 20%;">講師</th> <th style="width: 10%;">参加者</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">歴史講座</td> <td>10月14日</td> <td>抹茶の世界は今</td> <td>桑原秀樹</td> <td>40</td> </tr> <tr> <td>11月4日</td> <td>毎日たべたい和菓子、日本の菓子</td> <td>日菓（内田美奈子・杉山早陽子）</td> <td>30</td> </tr> <tr> <td>古文書講習会</td> <td>28年1月26日～29日</td> <td>宇治茶師竹田家について</td> <td>館員</td> <td>80</td> </tr> </tbody> </table>				種別	開催日	テーマ	講師	参加者	歴史講座	10月14日	抹茶の世界は今	桑原秀樹	40	11月4日	毎日たべたい和菓子、日本の菓子	日菓（内田美奈子・杉山早陽子）	30	古文書講習会	28年1月26日～29日	宇治茶師竹田家について	館員	80
種別	開催日	テーマ	講師	参加者																			
歴史講座	10月14日	抹茶の世界は今	桑原秀樹	40																			
	11月4日	毎日たべたい和菓子、日本の菓子	日菓（内田美奈子・杉山早陽子）	30																			
古文書講習会	28年1月26日～29日	宇治茶師竹田家について	館員	80																			
事業評価	各講座を開催することにより、市民が宇治の歴史と文化について理解を深めることができた。今後も多くの学習機会の提供に努める必要がある。																						

平成 27 年度決算成果説明書

総合計画の体系	
大分類	04 生きる力を育む教育の充実と生涯学習の推進のまち
中分類	02 生涯学習の充実
小分類	01 生涯学習の推進

所管部局
教育部

事務事業名	善法青少年センター活動費	所管課	善法青少年センター
		決算額	2,059千円
事業内容	人権が尊重される豊かな社会の実現に向けて、青少年の教育・文化の向上、健全育成を目的に、学習・文化活動、体育・スポーツ・レクリエーション活動などのセンター事業を行う。		
成果・実績	学習・文化活動 書道教室、えいごくらぶ、手作り教室、料理教室、体験合宿、学習会などを実施した。 実施回数 245回 参加者数 1,925人 体育・スポーツ・レクリエーション活動 春・秋のレクリエーション、スポーツクラブ、お楽しみ会、体験シリーズ、おもしろパーティーなどを実施した。 実施回数 29回 参加者数 433人		
事業評価	各活動により、青少年の「生きる力」を育み、健全育成と地域文化活動及び学習の促進を図ることができた。事業内容を工夫し、参加者の増加に努めながら、今後も引き続き実施する。		

事務事業名	河原青少年センター活動費	所管課	河原青少年センター
		決算額	1,488千円
事業内容	人権が尊重される豊かな社会の実現に向けて、青少年の教育・文化の向上、健全育成を目的に、学習・文化活動、体育・スポーツ・レクリエーション活動などのセンター事業を行う。		
成果・実績	学習・文化活動 えいごであそぼ、工作教室、お茶教室、太鼓教室、体験学習、百人一首大会、活動発表会などを実施した。 実施回数 103回 参加者数 1,227人 体育・スポーツ・レクリエーション活動 ダンス教室、アウトドア教室、カメレオン・パニック、チャレンジクリスマスなどを実施した。 実施回数 17回 参加者数 740人		
事業評価	各活動により、青少年の「生きる力」を育み、健全育成と地域文化活動及び学習の促進を図ることができた。事業内容を工夫し、参加者の増加に努めながら、今後も引き続き実施する。		

平成27年度決算成果説明書

総合計画の体系		所管部局	
大分類	04 生きる力を育む教育の充実と生涯学習の推進のまち	教育部	
中分類	02 生涯学習の充実		
小分類	01 生涯学習の推進		
事務事業名	大久保青少年センター活動費	所管課	大久保青少年センター
		決算額	2,040千円
事業内容	<p>青少年の「生きる力」を育み、豊かな人間性及び協調性を養うことを目的に、文化・芸術・スポーツなどの活動事業を実施する。</p> <p>また、各種教室・催し物の開催及び、こどもクラブでの活動の育成指導を行う。</p>		
成果・実績	<p>子どもたちの参加意識が高くなっており、目的をもって主体的に活動する場面が多くなった。また、学校、学年、地域を越えた友達関係の輪がさらに広がってきた。</p> <p>教室 実施回数 33回 参加者数 657人</p> <p>催し物 実施回数 21回 参加者数 1,978人</p> <p>こどもクラブ 実施回数 170回 参加者数 3,322人</p> <div data-bbox="836 797 1369 1093" data-label="Image"> </div> <p style="text-align: center;">こども文化祭 ダンスクラブの実践発表の様子</p>		
事業評価	<p>各活動により、青少年の「生きる力」を育み、健全育成と地域文化活動及び学習の促進を図ることができた。事業内容を工夫し、参加者の増加に努めながら、今後も引き続き実施する。</p>		

平成 27 年度決算成果説明書

総合計画の体系	
大分類	01 環境に配慮した安全・安心のまち
中分類	02 安全・安心なまちづくりへの対応
小分類	02 消防・救急の充実

所管部局
消防本部

事務事業名	消防団活動費	所管課	消防総務課
		決算額	41,866千円
事業内容	消防団の任務は、火災等あらゆる災害から市民の生命、身体及び財産を守ることであり、消防精神を養うため日頃から教養訓練、研修などを逐次実施し、知識技能の向上を図って火災予防を推進し、災害のないまちづくりに努める。		
成果・実績	消防団員の報酬	375人	12,771千円
	消防団員退職報償金	19人	8,132千円
	出場費用弁償	延べ 5,430人	8,673千円
	消防団資機材（消防団用消防ホース等）購入		335千円
	京都府消防協会宇城久支部負担金等		639千円
事業評価	消防団によるきめ細やかな予防活動・啓発活動を実施し、地域一体となった安全・安心なまちづくりの推進を図ることができた。「消防団を中核とした地域防災力の充実強化に関する法律」に基づき、消防団員の確保等による消防団活動の活性化に努める必要がある。		




事務事業名	職員教養研修費	所管課	消防総務課	
		決算額	4,253千円	
事業内容	全国消防長会のほか、総務省消防大学校、京都府立消防学校が実施する各種の教養資格講習等を受講し、消防職員の知識、技能を向上させる。			
成果・実績	研修実績（主なもの）			
	研修名	場所	期間	
	初任教育	京都府立消防学校	8カ月	3人
	専科教育（救急・救助・警防各科）	京都府立消防学校	66日	8人
	専科教育（危険物・予防査察・特殊災害・火災調査 各科）	京都市消防学校	32日	4人
	消防大学校 火災調査科	消防大学校	51日	1人
近畿救急医学会	大阪府・兵庫県・和歌山県	4日	4人	
事業評価	国・京都府等が実施する各種教育課程の受講及び各種免許・資格習得により、職員の知識・技能の向上を図ることができた。今後も複雑多様化、専門化している災害等に対応するため、計画的な職員の知識・技能の向上に努める必要がある。			

平成27年度決算成果説明書

総合計画の体系	
大分類	01 環境に配慮した安全・安心のまち
中分類	02 安全・安心なまちづくりへの対応
小分類	02 消防・救急の充実

所管部局
消防本部

事務事業名	防火意識啓発費	所管課	予防課
		決算額	574千円
事業内容	市内における火災の発生防止を図るとともに、市民に火災時の対応等について啓発・指導を図り、防火等への関心を高めることによって、安全・安心で住みよい災害に強いまちづくりを推進する。また、防火啓発チラシ等を配布することにより、市及び消防を身近なものとし、より相談しやすく親しみやすい環境づくりを目指す。		
成果・実績	事業所への防火啓発ポスター、消防の仕事について学ぶ小学生への防火読本、市民への防火啓発リーフレットの作成配布等により、火災予防意識の高揚を図り、火災の発生防止に努めた。 また、市民に訓練の重要性及び初期消火における消火器の有効性を認識してもらうため、町内会等の消火訓練に使用した消火器及び初期消火に使用された消火器に対し、消火薬剤の補填を行うことにより火災予防意識の高揚に努めた。		
事業評価	防火啓発ポスター及びリーフレットの作成配布などを実施したことにより、火災予防への意識高揚及び火災発生の防止効果につなげることができた。より効果的な事業内容の工夫に努めつつ、今後も引き続き実施する。		







事務事業名	高度救急設備整備費	所管課	警防救急課						
		決算額	27,816千円						
事業内容	プレホスピタルケア充実強化及び高度救急業務の推進を図るため、現在使用している救急車及び資機材の更新整備を行う。								
成果・実績	<p>高度な救急救命処置を行うために必要な高規格救急車及び資機材の更新整備を行い伊勢田救急出張所へ配置した。</p> <table border="0" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 30%;">高規格救急車</td> <td style="width: 30%;">17,204千円</td> <td style="width: 40%;"></td> </tr> <tr> <td>高規格救急車用資機材</td> <td>10,568千円</td> <td></td> </tr> </table> <div style="text-align: center;">  <p>高規格救急車</p> </div>			高規格救急車	17,204千円		高規格救急車用資機材	10,568千円	
高規格救急車	17,204千円								
高規格救急車用資機材	10,568千円								
事業評価	救急車及び資機材の整備更新により、市民生活の安全・安心の確保及び救急高度化の推進を図ることができた。計画的な整備更新を今後も引き続き実施する。								

平成 27 年度決算成果説明書

総合計画の体系	
大分類	01 環境に配慮した安全・安心のまち
中分類	02 安全・安心なまちづくりへの対応
小分類	02 消防・救急の充実

所管部局
消防本部



事務事業名	消防水利維持管理・拡充事業費	所管課	警防救急課
		決算額	55,428千円
事業内容	消火活動において、消防水利が有効に活用できるよう維持管理するとともに必要に応じ修繕を行う。また、消防水利の基準に沿って、市街地における水利不便地へ消火栓等を新設し、基準の充足を図る。		
成果・実績	火災時に活用する消防水利等の維持管理、新設を行った。 消火栓維持管理 消火栓維持管理として、宇治・伊勢田町・大久保町・小倉町の各地区において、消火栓12基の維持管理に係る工事を行った。 消防水利新設 消火栓新設工事実施計画分として、宇治・小倉地区において各1基設置した。 新設耐震性貯水槽設置に伴う工事請負費 山間地域耐震性貯水槽4基の設置にかかる工事を実施した。 炭山地区2カ所 25,097千円 二尾・池尾地区各1カ所 24,058千円		
事業評価	消火栓の補修・改修及び新設をしたことにより、消防水利を確保し、火災へ備えることができた。消防水利等の維持管理、拡充を今後も引き続き実施する。		

事務事業名	消防機械器具整備費	所管課	警防救急課														
		決算額	63,840千円														
事業内容	老朽化している消防車両等を更新整備するとともに、災害活動時の安全管理対策につながる各種装備・機械器具について、軽量化・高機能化等を行う。																
成果・実績	<table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 60%;">消防ポンプ自動車の更新整備業務</td> <td style="width: 20%; text-align: right;">23,976千円</td> <td rowspan="5" style="width: 20%; text-align: center; vertical-align: middle;">  </td> </tr> <tr> <td>小型水槽付消防ポンプ自動車の更新整備業務</td> <td style="text-align: right;">30,996千円</td> </tr> <tr> <td>指令車の更新整備業務</td> <td style="text-align: right;">3,823千円</td> </tr> <tr> <td>15m消防はしご自動車修繕業務</td> <td style="text-align: right;">972千円</td> </tr> <tr> <td>消防用ホース更新整備業務 消防用ホース85本の更新整備</td> <td></td> </tr> <tr> <td>空気呼吸器本体及び面体の更新整備業務 空気呼吸器本体4基の更新整備 面体5基の更新整備</td> <td></td> <td style="text-align: center; vertical-align: middle;">  </td> </tr> </table>			消防ポンプ自動車の更新整備業務	23,976千円		小型水槽付消防ポンプ自動車の更新整備業務	30,996千円	指令車の更新整備業務	3,823千円	15m消防はしご自動車修繕業務	972千円	消防用ホース更新整備業務 消防用ホース85本の更新整備		空気呼吸器本体及び面体の更新整備業務 空気呼吸器本体4基の更新整備 面体5基の更新整備		
消防ポンプ自動車の更新整備業務	23,976千円																
小型水槽付消防ポンプ自動車の更新整備業務	30,996千円																
指令車の更新整備業務	3,823千円																
15m消防はしご自動車修繕業務	972千円																
消防用ホース更新整備業務 消防用ホース85本の更新整備																	
空気呼吸器本体及び面体の更新整備業務 空気呼吸器本体4基の更新整備 面体5基の更新整備																	
事業評価	各種装備・機械器具の更新により、被害の軽減及び隊員の安全管理を図ることができた。今後も引き続き必要な数量及び機能を精査する中で、計画的な消防機械器具の更新に努める必要がある。																

平成27年度決算成果説明書

総合計画の体系		所管部局
大分類	01 環境に配慮した安全・安心のまち	消防本部
中分類	02 安全・安心なまちづくりへの対応	
小分類	02 消防・救急の充実	

事務事業名	専門職員養成費	所管課	警防救急課																	
		決算額	5,967千円																	
事業内容	救急救命士制度の創設及び救急隊員の行う応急処置範囲の拡大に伴い、専門教育を受講し、隊員の資質・技能を向上することで救命率の向上を図る。																			
成果・実績	<p>救急救命士の新規養成2人と、処置拡大救急救命士として気管挿管認定2人及び平成26年度から開始の拡大2処置10人の養成を行い、救急高度化の充実・強化を図った。</p> <p style="text-align: center;">救急救命士新規養成及び処置拡大救急救命士研修実績</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; margin: 10px 0;"> <thead> <tr> <th style="width: 30%;">研修名</th> <th style="width: 30%;">場 所</th> <th style="width: 20%;">期 間</th> <th style="width: 20%;">人 数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>救急救命士養成教育</td> <td>京都市救急教育訓練センター</td> <td>7カ月</td> <td>2人</td> </tr> <tr> <td>気管挿管病院実習</td> <td>市内医療機関</td> <td>30症例</td> <td>2人</td> </tr> <tr> <td>拡大2処置追加講習</td> <td>京都市救急教育訓練センター</td> <td>4日</td> <td>10人</td> </tr> </tbody> </table>				研修名	場 所	期 間	人 数	救急救命士養成教育	京都市救急教育訓練センター	7カ月	2人	気管挿管病院実習	市内医療機関	30症例	2人	拡大2処置追加講習	京都市救急教育訓練センター	4日	10人
研修名	場 所	期 間	人 数																	
救急救命士養成教育	京都市救急教育訓練センター	7カ月	2人																	
気管挿管病院実習	市内医療機関	30症例	2人																	
拡大2処置追加講習	京都市救急教育訓練センター	4日	10人																	
事業評価	救急隊員の資質・技能を向上させることにより、救急高度化の充実・強化を図ることができた。今後も引き続き計画的な救急救命士の養成に努める必要がある。																			

事務事業名	AED整備費	所管課	警防救急課	
		決算額	1,838千円	
事業内容	市内各公共施設にAEDを設置し、心肺停止傷病者に対して即時対応できる体制整備を行い、市民の救命率の向上を図る。設置AEDと同型のAEDトレーナーを活用し、適切な取り扱いの習得に努める。			
成果・実績	<p>救命率の向上を図るため、平成20年度から市内公共施設にAEDを整備し平成25年の更新時期にあわせ、設置箇所を11カ所増設し、87カ所とした。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center; margin: 10px 0;"> <div style="text-align: center;">  <p>AED(自動体外式除細動器)</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>AEDマーク</p> </div> </div>			
事業評価	AEDを設置し心肺停止傷病者に対し迅速に除細動が行える体制を整備し、救命率の向上を図ることができた。安全・安心なまちづくりのため、効果的、効率的な維持管理に努める必要がある。			

平成 27 年度決算成果説明書

総合計画の体系		所管部局
大分類	06 信頼される都市経営のまち	その他
中分類	01 市民参加の機会と情報提供の充実	
小分類	01 市民参加機会の充実と情報公開の推進	

事務事業名	議会改革推進事業費	所管課	議会事務局
		決算額	613千円
事業内容	議会を円滑に行うための改革を行う事業として、各常任委員会活動充実のための研修会及び市民に開かれた議会を目指し、インターネット上で議会本会議（一般質問）の録画配信を行ってきたが、平成27年3月定例会からは本会議の全会議及び常任委員会の生中継と録画配信を開始した。		
成果・実績	委員会研修 138千円 常任委員会、広報委員会の委員会活動充実のため研修会を行った。		
	委員会	研修内容	参加人数
	総務	平成28年度とそれ以降の地方財政について	35
	市民環境	地域経済分析における産業連関表とその活用について	26
	建設水道	下水汚泥等の資源利用について	16
	文教福祉	障害者の就労支援について	24
	広報	議会だよりの高度化について	15
	議会映像インターネット配信経費	475千円	
	録画映像アクセス数	6,907件	
事業評価	常任委員会、広報委員会活動充実のための研修会を実施したことにより、政策的課題の把握と分析に努めることができた。また本会議・常任委員会のインターネット配信により、市民に議会の情報をより広く発信できた。今後も引き続き、議会改革に取り組み開かれた議会を目指し、さらなる議会運営の活性化に努める必要がある。		

事務事業名	議会広報活動費	所管課	議会事務局
		決算額	4,378千円
事業内容	議会活動を市民に周知し、議会への関心と理解を深め、住民自治の高揚を図るため、「議会だより」を発行する。また、「市政概要」を発行し、市政全般にわたる制度、市政執行の状況などを掲載して、市政の手引きとして活用する。		
成果・実績	議会だより発行経費	4,047千円	
	発行回数	4回	
	発行部数	81,980部/1回	81,800部/3回
	市政概要発行経費	313千円	
	発行回数	1回	
	発行部数	250部	
事業評価	議会だよりを各戸配布したことにより、全市民へ議会の情報を発信することができた。今後も市民の議会への関心を高めるため、情報発信のあり方について検討する必要がある。		

平成 27 年度決算成果説明書

総合計画の体系		所管部局
大分類	06 信頼される都市経営のまち	その他
中分類	01 市民参加の機会と情報提供の充実	
小分類	01 市民参加機会の充実と情報公開の推進	

事務事業名	選挙啓発推進費	所管課	選挙管理委員会事務局
		決算額	50千円
事業内容	選挙が公明かつ適正に行われるように、様々な機会を通じて選挙人の政治意識の向上に努める。		
成果・実績	<p>明るい選挙の推進のため、「市政を見る会」の開催をはじめ、啓発ポスター・標語の募集、成人式における啓発資料の配布、新有権者へのバースデーカードの送付などの各種啓発事業を行った。</p> <p>選挙時の店頭啓発活動では大学生等に参加してもらい、特に若年層に対して投票に行くよう働きかけた。</p>		
事業評価	各種啓発活動等を行ったことにより、投票率の向上に取り組んだ。特に若年層の投票を促進できるような啓発活動を引き続き検討する必要がある。		

事務事業名	京都府議会議員選挙執行費	所管課	選挙管理委員会事務局																
		決算額	33,687千円																
事業内容	任期満了に伴う京都府議会議員一般選挙を執行する。																		
成果・実績	<p>4月12日に京都府議会議員一般選挙を執行した。</p> <p>執行状況</p> <table border="1" style="margin-left: 20px; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th></th> <th>当日の有権者数</th> <th>投票者数</th> <th>投票率 (%)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>男</td> <td>72,064</td> <td>29,012</td> <td>40.26</td> </tr> <tr> <td>女</td> <td>78,693</td> <td>30,361</td> <td>38.58</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>150,757</td> <td>59,373</td> <td>39.38</td> </tr> </tbody> </table>				当日の有権者数	投票者数	投票率 (%)	男	72,064	29,012	40.26	女	78,693	30,361	38.58	合計	150,757	59,373	39.38
	当日の有権者数	投票者数	投票率 (%)																
男	72,064	29,012	40.26																
女	78,693	30,361	38.58																
合計	150,757	59,373	39.38																
事業評価	今後も迅速・正確な選挙事務の執行に努めるとともに投票所の環境整備に努める必要がある。																		

平成 27 年度決算成果説明書

総合計画の体系		所管部局
大分類	06 信頼される都市経営のまち	その他
中分類	01 市民参加の機会と情報提供の充実	
小分類	01 市民参加機会の充実と情報公開の推進	

事務事業名	市議会議員選挙執行費	所管課	選挙管理委員会事務局																
		決算額	66,142千円																
事業内容	任期満了に伴う市議会議員一般選挙を執行する。																		
成果・実績	4月26日に宇治市議会議員一般選挙を執行した。																		
	執行状況 <table border="1" style="margin-left: 20px; border-collapse: collapse; width: 100%;"> <thead> <tr> <th style="width: 10%;"></th> <th style="width: 35%;">当日の有権者数</th> <th style="width: 35%;">投票者数</th> <th style="width: 20%;">投票率 (%)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>男</td> <td style="text-align: center;">72,032</td> <td style="text-align: center;">30,580</td> <td style="text-align: center;">42.45</td> </tr> <tr> <td>女</td> <td style="text-align: center;">78,661</td> <td style="text-align: center;">33,047</td> <td style="text-align: center;">42.01</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td style="text-align: center;">150,693</td> <td style="text-align: center;">63,627</td> <td style="text-align: center;">42.22</td> </tr> </tbody> </table>				当日の有権者数	投票者数	投票率 (%)	男	72,032	30,580	42.45	女	78,661	33,047	42.01	合計	150,693	63,627	42.22
	当日の有権者数	投票者数	投票率 (%)																
男	72,032	30,580	42.45																
女	78,661	33,047	42.01																
合計	150,693	63,627	42.22																
事業評価	今後も迅速・正確な選挙事務の執行に努めるとともに投票所の環境整備に努める必要がある。																		

平成27年度決算成果説明書

総合計画の体系	
大分類	06 信頼される都市経営のまち
中分類	03 行政改革・適正な行政運営の推進
小分類	03 行政サービスの充実

所管部局
その他

事務事業名	監査委員活動費	所管課	監査委員事務局
		決算額	504千円
事業内容	本市の行政及び財務に関する事務の執行並びに経営に係る事業の管理が地方自治法の主旨に沿ってなされているかを主眼に厳正、公平の態度保持と指導監査を第一義として、違法、不当行為の防止と事務事業の改善に資す。例月現金出納検査、定期監査、随時監査、決算審査などを行う。		
成果・実績	<p>定期監査は、22課3消防署を抽出し実施した。</p> <p>随時監査は、志津川39号線(前川橋)道路復旧工事を抽出し実施した。</p> <p>例月現金出納検査は、一般会計、特別会計、公営企業会計について毎月実施した。</p> <p>決算審査は、一般会計・7特別会計・公営企業会計及び基金運用状況について実施した。</p> <p>住民監査請求による監査についても実施した。</p> <p>健全化判断比率等審査は、健全化判断比率・資金不足比率について実施した。</p> <p>このほか、先進地である平塚市、沼津市への行政視察を実施した。</p> <p>また、全国都市監査委員会、近畿地区都市監査委員会及び京都府都市監査委員会の構成員として総会、研修会などに参加し、監査等の手法、内容の改善を図り、監査機能の充実、強化に努めた。</p>		
事業評価	全国都市監査委員会総会及び研修会への参加等により、監査機能の向上を図り事務事業の指導監査を適正に行うことができた。		

事務事業名	公平委員会運営費	所管課	公平委員会事務局
		決算額	347千円
事業内容	地方公務員法の規定に基づき、職員の不利益処分の不服申立て及び勤務条件に関する措置の要求に対して審査、判定などを行う。		
成果・実績	<p>宇治市公平委員会議事規則により定例会を4回開催し、職員団体登録事項変更に伴う審査等を行った。また、臨時会を1回開催し、公平委員会規則の一部改正の議決等を行った。</p> <p>また、全国公平委員会連合会、同近畿支部の構成員として、総会、事務研究会などに出席したほか、京都府公平委員会連合会事務事業を実施し、公平委員会業務の円滑な推進に努めた。</p>		
事業評価	全国公平委員会連合会総会及び研修会への参加等により、審査機能の向上を図り適正に審査を行うことができた。		

平成 27 年度決算成果説明書

総合計画の体系	
大分類	06 信頼される都市経営のまち
中分類	03 行政改革・適正な行政運営の推進
小分類	03 行政サービスの充実

所管部局
その他

事務事業名	固定資産評価審査委員会運営費	所管課	固定資産評価審査委員会事務局
		決算額	242千円
事業内容	<p>地方税法の規定に基づき、固定資産税、都市計画税の課税の基礎となる固定資産課税台帳に登録された事項に関する納税義務者からの審査申出について審査、決定する。</p>		
成果・実績	<p>土地4件、家屋1件の審査申出を受け、審査決定を行うため実地調査等を含め、委員会を12回開催した。 このほか、審査委員会業務の円滑な推進のため、先進地である氷見市、小松市への行政視察を実施するとともに、(一財)資産評価システム研究センターが主催する研修会に参加した。</p>		
事業評価	<p>審査申出について、適正に審査を行うことができた。また、研修会への参加等により固定資産税制度の現状と課題及び審査委員会の運営について見識を深めることができた。</p>		

平成 27 年度決算成果説明書

総合計画の体系		所管部局
大分類	02 ゆたかな市民生活ができるまち	その他
中分類	03 農林漁業・茶業の振興	
小分類	01 農業の振興	

事務事業名	農業委員会運営費	所管課	農業委員会事務局
		決算額	1,103千円
事業内容	農業委員会等に関する法律第6条に規定する所掌事務、農業者年金業務、京都府国有農地等管理処分事業事務及び農業委員会の運営を行う。		
成果・実績	<p>「農業委員会等に関する法律」に基づき、農業委員会総会を12回開催し、「農地法」に基づく農地の権利移動及び転用などについて審議を行うとともに、「租税特別措置法」に基づく相続税納税猶予特例適用に係る証明願の承認及び農地の利用状況確認などについて審議を行った。</p> <p>また、各部会等の活動及び研修会を開催し、農地行政の適正な執行に努めた。</p> <p>一方、農業委員による農地利用状況調査を実施し、農政活動の中で関係機関との連携を図りながら、農地の適正管理を呼びかけるとともに、「農業経営基盤強化促進法」に基づく農地の利用権設定の推進、農業者年金の各種届出等への対応や、加入促進事業に取り組んだ。</p> <p>さらに、農家への啓発活動として「農委だより・うじ」の発行等を行った。</p>		
事業評価	「農業委員会等に関する法律」に基づき、適正に農地行政経費を執行し、農地利用の審議及び農家への啓発などを図ることができた。今後も円滑な委員会運営に努める必要がある。		

用品調達基金運用状況表

(単位：円)

借 方		科 目	貸 方	
残 高	累 計		累 計	残 高
1,662,906	3,224,503	在 庫 用 品	1,561,597	
4,337,094	6,572,647	預 金	2,235,553	
	2,100,656	未 収 金	2,100,656	
	1,695,584	未 払 金	1,695,584	
		基 金	6,000,000	6,000,000
6,000,000	13,593,390	小 計	13,593,390	6,000,000
		払 出 差 益	539,059	539,059
		受 取 利 息	910	910
		雑 利 益		
		雑 損 失		
539,969	539,969	一般会計繰出金		
539,969	539,969	小 計	539,969	539,969
6,539,969	14,133,359	合 計	14,133,359	6,539,969